

第3章 用途別実態把握

- 1 コスト情報とストック情報の的確な把握
- 2 公共施設の建物総合評価
- 3 公共施設の配置状況
- 4 主な施設の実態把握
 - (1) 庁舎等及び窓口業務
 - (2) 文化会館等施設
 - (3) 美術館等施設
 - (4) 産業系施設
 - (5) 観光施設
 - (6) 福祉施設
 - (7) スポーツ施設
 - (8) 図書館
 - (9) 公民館
 - (10) コミュニティセンター等施設
 - (11) 集会等施設
 - (12) 小学校・中学校
 - (13) 保育園
 - (14) 放課後児童クラブ
 - (15) 市営住宅

第3章 用途別実態把握

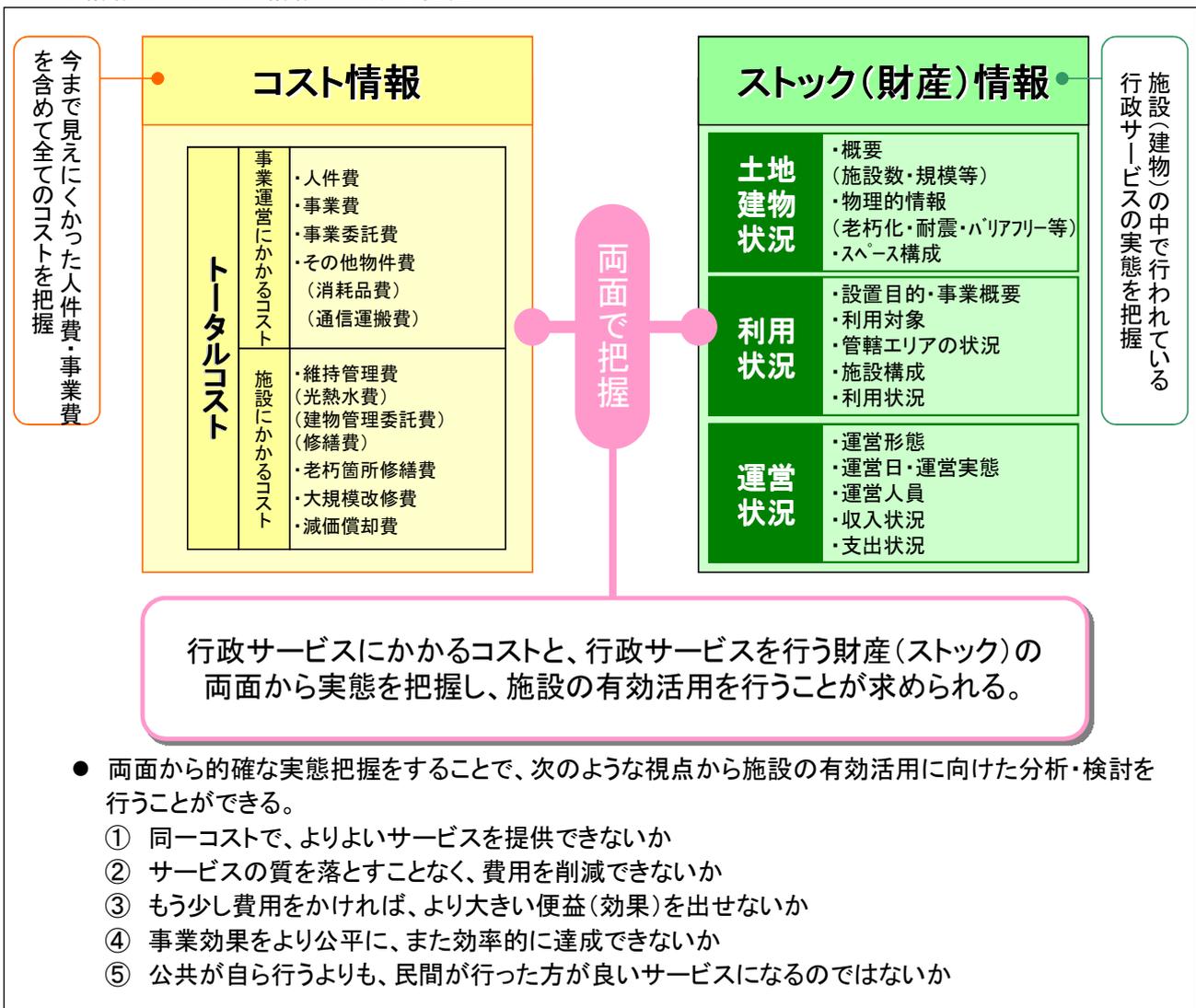
1 コスト情報とストック情報の的確な把握

公共施設の実態を把握するためには、老朽化や耐震化の状況だけでなく、利用状況や運営実態、さらには施設にかかる費用など複眼的な視点で分析することが重要です。具体的には、コスト情報として行政コスト計算書等を活用し、建物全体及びそこで行われている行政サービスの人件費や事業費も含め、全体でいくらかかっているか、また、ストック情報として、土地・建物の老朽化状況などの物理的な状況に加え、利用状況、運営状況を整理する必要があります。

そこで、第3章では、市民利用の多い公共施設を中心に、コスト情報とストック情報を整理し、この2つの情報から見えてきた公共施設の実態を総合的に把握することで、今後、公共施設に何を求め、何をすべきかなど、改善に向けた検討の方向性を明らかにしました。

なお、対象とした公共施設は、庁舎等（本庁舎、総合支所、支所、出張所）、文化会館等、美術館等、産業系施設、観光施設、福祉施設、スポーツ施設、図書館、公民館、コミュニティセンター、集会施設、小学校・中学校、保育園、放課後児童クラブ及び市営住宅の施設です。

コスト情報とストック情報の的確な把握

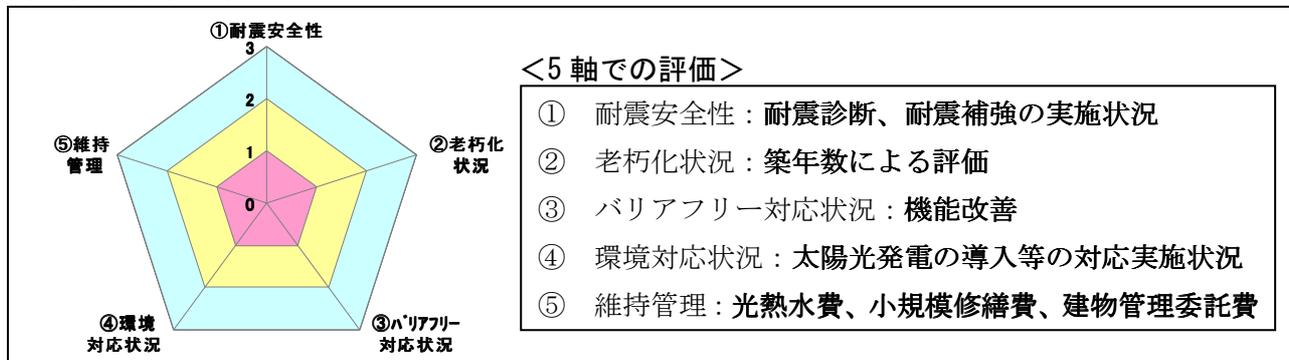


2 公共施設の建物総合評価

■ 公共施設の建物総合評価の方法

建物総合評価は、次の5項目の評価軸で各施設を簡易的に評価し、評価軸の重要度に基づいた代表的なパターンに分類します。各施設の評価結果をこのパターンに当てはめ、施設用途単位で課題整理の目安にします。

図 評価項目と指標



評価指標		3	2	1
① 耐震安全性	現行の耐震基準への適合	問題なし (新耐震基準以降又は、補強等を実施した建物)	対策中	対策が必要

評価指標		3	2	1
② 老朽化状況	築年数による評価	問題なし (築20年未満)	老朽対策が必要 (築20年以上30年未満)	老朽化が進行している (築30年以上)

評価指標		3	2	1
③ バリアフリー対応状況		対応済み (6項目全て実施)	一部未実施の項目がある (1項目～5項目実施)	バリアフリー対応が必要

<以下の項目に対応しているか>

車いす用エレベータ、身障者用トイレ、道路から入り口までの車いす用スロープ、自動ドア、手すり、点字ブロックの6項目

評価指標		3	2	1
④ 環境対応状況		対応済み (3項目全て実施)	一部改善の可能性がある (1項目～2項目実施)	環境対応が必要

<以下の項目に対応しているか>

自然エネルギー・太陽光発電の導入、屋上緑化・壁面緑化等の実施、環境対応設備（節水型便器・高効率照明器具・LED、雨水・中水設備）の導入

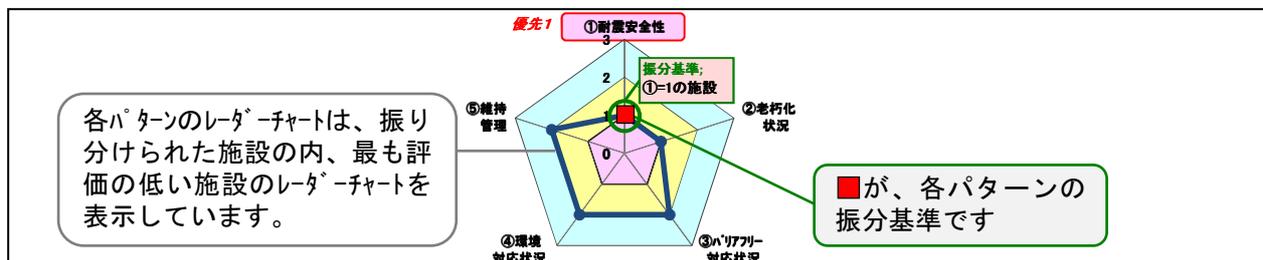
評価指標		3	2	1
⑤ 維持管理費		妥当 (延床面積当たりの単価が平均値の140%未満の建物)	—	改善の可能性がある (平均値の140%以上の建物)

※維持管理費＝建物管理委託費（清掃費・警備費・機械保守費等）＋光熱水費（電気・ガス・水道・燃料等）＋小規模修繕費（建物等の軽微な故障等に対する修繕）

■ 建物総合評価結果のパターン分類

建物総合評価結果を次の4パターンに分類します。

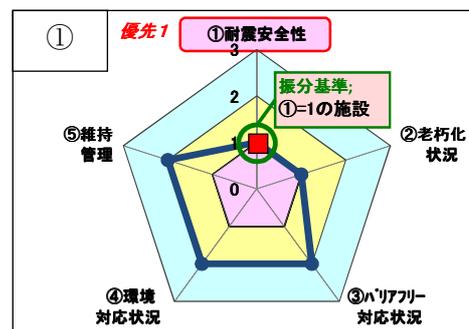
パターン分類を行う際の優先順位は、パターン①を最優先とします。パターン①から順に振分基準に該当するか判定し、振分基準に合致したパターンに分類されます。



> パターン①<<最優先>>

評価内容：耐震安全性が確保されていない、さらに老朽化が進行している施設

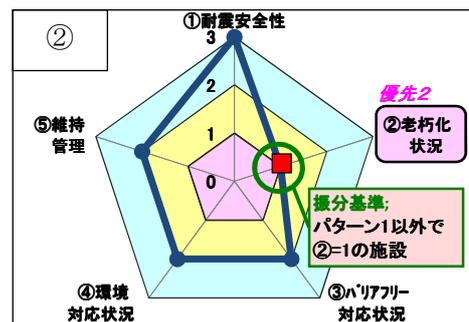
振分基準：評価軸「①耐震安全性」が“1”（対策が必要）と評価された施設



> パターン②

評価内容：老朽化が進行している施設

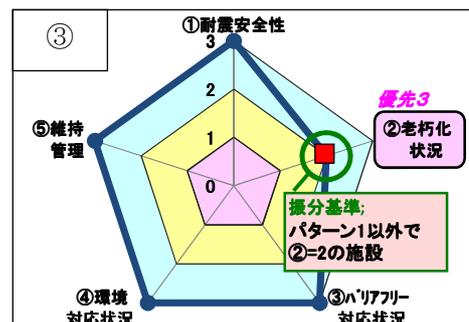
振分基準：評価軸「②老朽化状況」が“1”（老朽化が進行している）と評価された施設



> パターン③

評価内容：今後、老朽化対策の検討が必要な施設

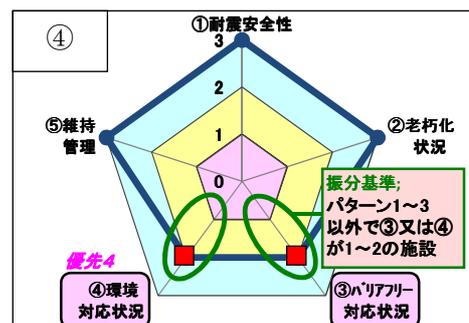
振分基準：評価軸「②老朽化状況」が“2”（対策検討が必要）と評価された施設



> パターン④

評価内容：バリアフリー化および環境対策が必要な施設

振分基準：評価軸「③バリアフリー対応状況」「④環境対応状況」のいずれかが“1”（対策が必要）、もしくは“2”（一部未実施の項目がある）と評価された施設



> 問題なし

評価内容：現状、特に問題がない施設

振分基準：評価軸が全て“3”

> 維持管理費

評価内容：維持管理費3項目の床面積単価が、それぞれの用途平均値の140%以上の施設（パターン①～④とは別個に評価する）

3 公共施設の配置状況

公共施設の配置状況については、次のとおりです。

4 主な施設の実態把握

(1) 庁舎等及び窓口業務

1) 施設概要

① 施設一覧

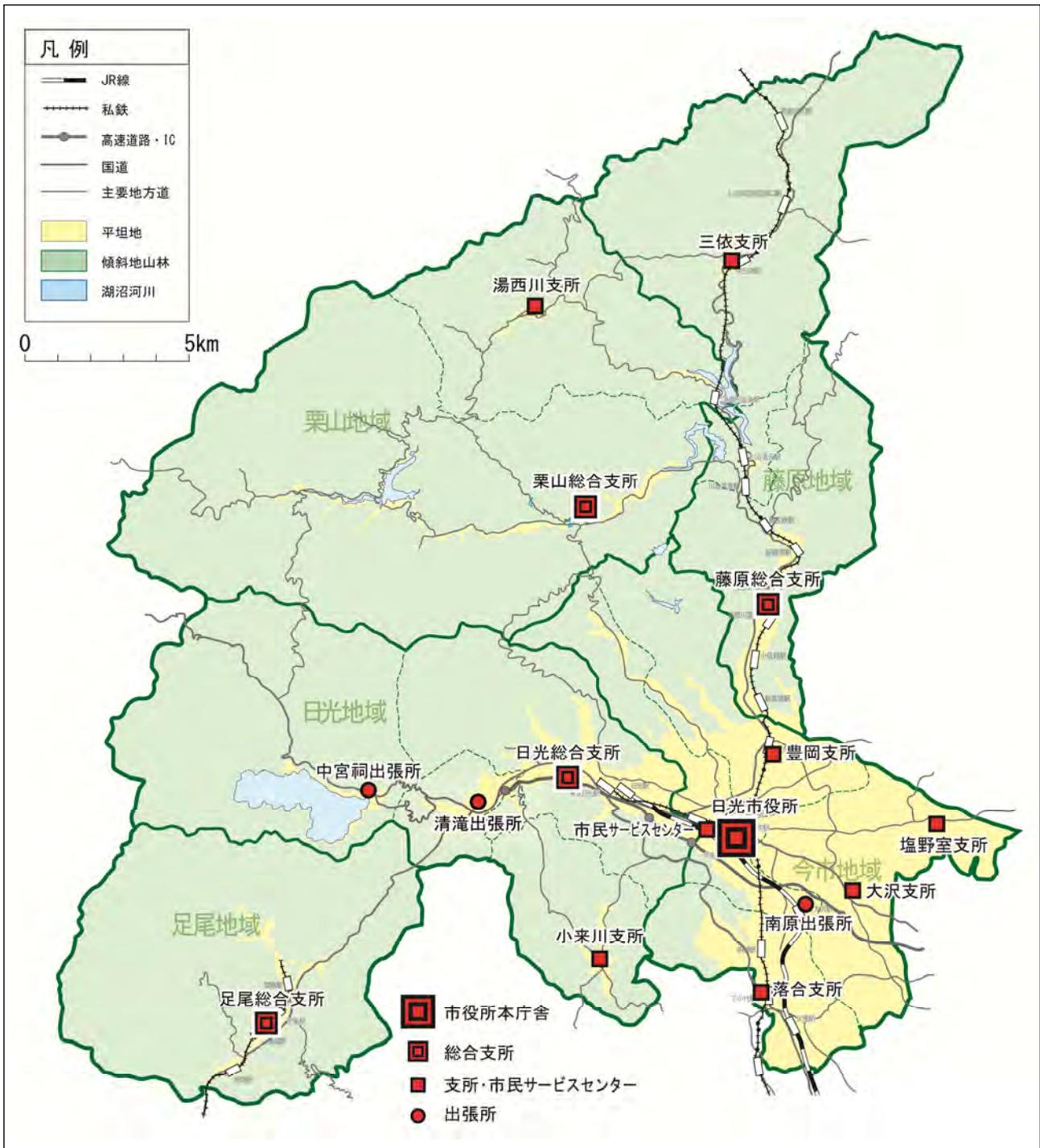
市は、市民サービスの拠点施設として、市役所（第2・3・4庁舎含む）のほか、総合支所4施設、支所7施設、出張所3施設及び市民サービスセンターの合計19施設を保有しています。

施設一覧

名称	住所	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	併設施設					
				公民館	コミュニティー センター	振興会館 等	スポーツ	その他	
市役所	1 本庁舎	今市本町1番地	4,552.0	昭和44	●	—	—	—	—
	2 第2庁舎		508.9	昭和56					
	3 第3庁舎		2,011.7	平成6					
	4 第4庁舎		1,614.5	昭和50					
総合支所	5 日光総合支所	中鉢石町999番地	2,381.0	大正8	—	—	—	—	—
	6 藤原総合支所	藤原1番地	1,539.0	昭和35					
	7 足尾総合支所	足尾町松原1番19号	1,514.3	昭和37					
	8 栗山総合支所	日蔭575番地	2,084.0	昭和46					
支所	9 落合支所	小代440番地1	750.1	昭和57	●	—	—	—	—
	10 豊岡支所	大桑町130番地3	826.6	昭和49	●	—	—	—	—
	11 大沢支所	大沢町809番地1	4,243.5	平成21	●	—	—	● (体育館)	—
	12 塩野室支所	沓掛260番地	651.0	昭和47	●	—	—	—	—
	13 小来川支所	中小来川2667番地1	514.3	昭和43	●	—	—	—	—
	14 三依支所	中三依319番地	432.7	昭和47	●	—	—	—	—
	15 湯西川支所	湯西川709番地	1,184.0	平成21	●	—	—	—	—
出張所	16 南原出張所	土沢2086番地	276.1	昭和59	—	●	—	—	—
	17 清滝出張所	清滝2丁目5番22号	452.4	昭和49	●	—	—	—	—
	18 中宮祠出張所	中宮祠2478番地4	778.6	昭和56	●	●	—	—	● (分署)
窓口 SC	19 市民サービスセンター	今市456番地 ショッピングプラザ 日光1階	99.0	平成13 (開所)	—	—	—	—	● (商業施設)
合計		—	26,314.7	—	—	—	—	—	—

※市民サービスセンターは、民間施設を利用しています。

庁舎等配置図



② 建物総合評価の結果

平成22年度において、市が保有する庁舎等17施設（市民サービスセンター及び落合支所を除く。）の建物総合評価を行いました。

施設名	基本情報		①耐震化	②老朽化	③バリアフリー対応					④環境対応			⑤維持管理					
	建築年度	延床面積(m ²)	耐震改修	築年数	車いす用エレベーター※1	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー・屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	維持管理費(千円)			床面積当たり(円/m ²)	
													光熱水費	建物管理委託費	小規模修繕費	光熱水費	建物管理委託費	小規模修繕費
本庁舎	昭和44	4,552	未実施	42	○	○	○	○	×	×	×	×	14,564	14,982	3,370	3,199	3,291	740
第2庁舎	昭和56	509	未実施	30	×	×	×	×	×	×	×	×	2,054	3,299	102	4,036	6,483	200
第3庁舎	平成6	2,012	-	17	○	×	○	○	×	×	×	×	7,388	6,059	96	3,673	3,012	48
第4庁舎	昭和50	1,615	実施済み	36	○	○	○	○	○	×	×	×	3,360	3,924	92	2,081	2,430	57
日光総合支所	大正8	2,381	未実施	92	×	○	○	○	×	×	×	×	2,243	4,799	4,564	942	2,016	1,917
藤原総合支所	昭和35	1,539	未実施	51	×	○	×	○	×	×	×	×	4,239	3,239	772	2,755	2,104	502
足尾総合支所	昭和37	1,514	未実施	49	×	×	×	×	×	×	×	×	1,400	871	167	925	575	110
栗山総合支所	昭和46	2,084	未実施	40	×	○	○	○	×	×	×	×	3,963	3,788	2,401	1,902	1,818	1,152
豊岡支所	昭和49	827	未実施	37	×	×	×	×	×	×	×	×	1,549	1,330	1,013	1,873	1,609	1,225
大沢支所	平成21	4,243	-	2	-	○	○	○	○	×	×	×	5,746	8,173	15	1,354	1,926	3
塩野室支所	昭和47	651	未実施	39	×	×	×	×	×	×	×	×	1,196	1,045	203	1,837	1,605	313
小来川支所	昭和43	514	未実施	43	×	×	×	×	×	×	×	×	610	879	314	1,186	1,708	610
三依支所	昭和47	433	未実施	39	×	○	○	×	×	×	×	×	446	374	2,035	1,031	865	4,703
湯西川支所	平成21	1,184	-	2	-	○	○	×	○	×	×	×	1,492	1,119	-	1,260	945	-
南原出張所	昭和59	276	-	27	-	×	×	×	×	×	×	×	470	106	72	1,703	383	261
清滝出張所	昭和49	452	未実施	37	×	×	×	○	×	×	×	×	481	732	137	1,063	1,618	302
中宮祠出張所	昭和56	779	-	30	×	○	○	×	○	×	×	×	2,540	591	450	3,263	759	578
合計		25,565											53,741	55,310	15,802	2,102	2,164	618

※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等
 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

記載例	実施済み=○
	未実施 = ×
	不要 ⇒ -

2,102 : 床面積当たり(円/m²)の平均値
 (床面積当たり(円/m²)の平均値=それぞれの費用の合計/延床面積の合計)
 2,164 : 平均値の1.4倍

※落合支所は、平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴い施設の損傷が激しく今後の利用が困難なため、評価の対象から除外します。

※市民サービスセンターは、民間施設のため、建物総合評価の対象から除外します。

※第2庁舎及び第3庁舎光熱水費等については、一括で支出しているため、面積により按分していません。

庁舎等 17 施設のうち、本庁舎をはじめ 11 施設は、いずれも築 30 年以上が経過し、すべて旧耐震基準の建物であり耐震安全性が確保されていないことから、早急な耐震化と老朽化対策が必要です。(パターン①)

第 4 庁舎は耐震改修工事が完了しており、また、中宮祠出張所は新耐震基準の建物ですが、いずれも老朽化が進行しており、今後、建替え又は大規模改修の検討が必要な施設となっております。(パターン②)

また、南原出張所、中宮祠出張所は、いずれも新耐震基準の建物ですが、築 20 年以上が経過し、今後、老朽化対策の検討が必要な施設となっています。(パターン③)

第 3 庁舎、大沢支所、湯西川支所は、新しい施設ですが、環境対応等が一部完了していないため、計画的な改修等での対応が必要となっています。(パターン④)

	パターン① 耐震性 老朽化	パターン② 老朽化	パターン③ 今後 老朽化	パターン④ バリアフリー・環境対応																																										
評価	<p>・耐震安全性が確保されていない ・さらに、老朽化が進行している ⇒早急な耐震安全性の確保とともに、老朽化対策も必要な施設</p> <p>優先1 ①耐震安全性 ①=1の施設</p> <p>②老朽化状況</p> <p>③バリアフリー対応状況</p> <p>④環境対応状況</p> <p>⑤維持管理</p> <p>(第2庁舎・豊岡支所)</p>	<p>・かなり老朽化が進行している ⇒建替え又は大規模改修などの老朽化対策が急がれる施設</p> <p>優先2 ②老朽化状況</p> <p>①耐震安全性</p> <p>③バリアフリー対応状況</p> <p>④環境対応状況</p> <p>⑤維持管理</p> <p>①=1の施設</p> <p>②=2の施設</p> <p>(中宮祠出張所)</p>	<p>・老朽化が進行している ⇒今後、老朽化対策の検討が必要な施設</p> <p>優先3 ③バリアフリー対応状況</p> <p>①耐震安全性</p> <p>②老朽化状況</p> <p>④環境対応状況</p> <p>⑤維持管理</p> <p>①=1の施設</p> <p>②=2の施設</p> <p>(南原出張所)</p>	<p>・バリアフリー、環境対応が未完了 ⇒今後、バリアフリーや環境対応が完了していない部分の整備が望まれる施設</p> <p>優先4 ④環境対応状況</p> <p>①耐震安全性</p> <p>②老朽化状況</p> <p>③バリアフリー対応状況</p> <p>⑤維持管理</p> <p>①=1の施設</p> <p>②=2の施設</p> <p>③=3の施設</p> <p>④=4の施設</p> <p>(第3庁舎)</p>																																										
該当施設	<table border="1"> <thead> <tr> <th>該当施設</th> <th>建築年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>本庁舎</td><td>昭和44</td></tr> <tr><td>第2庁舎</td><td>昭和56</td></tr> <tr><td>日光総合支所</td><td>大正8</td></tr> <tr><td>藤原総合支所</td><td>昭和35</td></tr> <tr><td>足尾総合支所</td><td>昭和37</td></tr> <tr><td>栗山総合支所</td><td>昭和46</td></tr> <tr><td>豊岡支所</td><td>昭和49</td></tr> <tr><td>塩野室支所</td><td>昭和47</td></tr> <tr><td>小来川支所</td><td>昭和43</td></tr> <tr><td>三依支所</td><td>昭和47</td></tr> <tr><td>清滝出張所</td><td>昭和49</td></tr> </tbody> </table> <p>< 11 施設 ></p>	該当施設	建築年度	本庁舎	昭和44	第2庁舎	昭和56	日光総合支所	大正8	藤原総合支所	昭和35	足尾総合支所	昭和37	栗山総合支所	昭和46	豊岡支所	昭和49	塩野室支所	昭和47	小来川支所	昭和43	三依支所	昭和47	清滝出張所	昭和49	<table border="1"> <thead> <tr> <th>該当施設</th> <th>建築年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>第4庁舎</td><td>昭和50</td></tr> <tr><td>中宮祠出張所</td><td>昭和56</td></tr> </tbody> </table> <p>< 2 施設 ></p>	該当施設	建築年度	第4庁舎	昭和50	中宮祠出張所	昭和56	<table border="1"> <thead> <tr> <th>該当施設</th> <th>建築年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>南原出張所</td><td>昭和59</td></tr> </tbody> </table> <p>< 1 施設 ></p>	該当施設	建築年度	南原出張所	昭和59	<table border="1"> <thead> <tr> <th>該当施設</th> <th>建築年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>第3庁舎</td><td>平成6</td></tr> <tr><td>大沢支所</td><td>平成21</td></tr> <tr><td>湯西川支所</td><td>平成21</td></tr> </tbody> </table> <p>< 3 施設 ></p>	該当施設	建築年度	第3庁舎	平成6	大沢支所	平成21	湯西川支所	平成21
該当施設	建築年度																																													
本庁舎	昭和44																																													
第2庁舎	昭和56																																													
日光総合支所	大正8																																													
藤原総合支所	昭和35																																													
足尾総合支所	昭和37																																													
栗山総合支所	昭和46																																													
豊岡支所	昭和49																																													
塩野室支所	昭和47																																													
小来川支所	昭和43																																													
三依支所	昭和47																																													
清滝出張所	昭和49																																													
該当施設	建築年度																																													
第4庁舎	昭和50																																													
中宮祠出張所	昭和56																																													
該当施設	建築年度																																													
南原出張所	昭和59																																													
該当施設	建築年度																																													
第3庁舎	平成6																																													
大沢支所	平成21																																													
湯西川支所	平成21																																													
コメント	<p>・いずれも旧耐震基準の建物で、特に築年も古く、早急な耐震化と老朽化対策が必要です。</p>	<p>・耐震改修工事は完了しているものの、築30年以上と老朽化がかなり進行しており、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。</p>	<p>・いずれも新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。</p>	<p>・比較的新しい施設ですが、バリアフリーや環境対応が完了していないため、計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望まれます。</p>																																										
維持管理費が割高な施設	<table border="1"> <thead> <tr> <th>該当施設</th> <th>建築年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>本庁舎</td><td>昭和44</td></tr> <tr><td>第2庁舎</td><td>昭和56</td></tr> <tr><td>第3庁舎</td><td>平成6</td></tr> <tr><td>日光総合支所</td><td>大正8</td></tr> <tr><td>栗山総合支所</td><td>昭和46</td></tr> <tr><td>豊岡支所</td><td>昭和49</td></tr> <tr><td>三依支所</td><td>昭和47</td></tr> <tr><td>中宮祠出張所</td><td>昭和56</td></tr> </tbody> </table> <p>< 8 施設 ></p> <p>・右記の施設は、維持管理費が用途内の平均値から4割以上高くなっています。保有設備や整備状況が要因となっている可能性が考えられますので、以下のような点について検証が必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各所の老朽化により、修繕頻度が高くなっている ・古く効率の低い設備が使用され続けている ・利用していない施設や設備に多額の管理費がかかっている 				該当施設	建築年度	本庁舎	昭和44	第2庁舎	昭和56	第3庁舎	平成6	日光総合支所	大正8	栗山総合支所	昭和46	豊岡支所	昭和49	三依支所	昭和47	中宮祠出張所	昭和56																								
該当施設	建築年度																																													
本庁舎	昭和44																																													
第2庁舎	昭和56																																													
第3庁舎	平成6																																													
日光総合支所	大正8																																													
栗山総合支所	昭和46																																													
豊岡支所	昭和49																																													
三依支所	昭和47																																													
中宮祠出張所	昭和56																																													

2) 窓口業務の利用実態

① 運営時間・運営日数

市では、市民課のほか、各総合支所市民福祉課、各支所出張所及び市民サービスセンターにおいて、住民票や戸籍証明書等の発行、さらに、各種申請の受付等の窓口業務を行っています。

平成22年度における基本的な運営時間は、平日の午前8時30分～午後5時30分（平成23年度からは、午後5時15分まで。）までとなっています。ただし、毎週月曜日は、市民課及び各総合支所市民福祉課で、午後7時まで窓口を延長し運営しています。

なお、市民サービスセンターについては、午前10時～午後7時までで、毎週月曜日が休所日となっています。

運営時間・運営日数

	平日	平日夜間 (毎週月曜日)	土日祝日	運営日数
本庁市民課	8:30～17:30	17:30～19:00	—	243日
日光総合支所市民福祉課	8:30～17:30	17:30～19:00	—	243日
藤原総合支所市民福祉課	8:30～17:30	17:30～19:00	—	243日
足尾総合支所市民福祉課	8:30～17:30	17:30～19:00	—	243日
栗山総合支所市民福祉課	8:30～17:30	17:30～19:00	—	243日
落合支所	8:30～17:30	—	—	243日
豊岡支所	8:30～17:30	—	—	243日
大沢支所	8:30～17:30	—	—	243日
塩野室支所	8:30～17:30	—	—	243日
小来川支所	8:30～17:30	—	—	243日
三依支所	8:30～17:30	—	—	243日
湯西川支所	8:30～17:30	—	—	243日
南原出張所	8:30～17:30	—	—	243日
清滝出張所	8:30～17:30	—	—	243日
中宮祠出張所	8:30～17:30	—	—	243日
市民サービスセンター	10:00～19:00	月曜日休館	10:00～19:00	308日

② 業務内容の整理

これら市の窓口では、住民票や戸籍に関する届出、証明書の発行などを行っています。なお、総合支所、支所などにおいては、同じ窓口で市税等の収納事務も実施しています。

施設別業務内容

	市民課	総合支所				支所						出張所			市民サービスセンター		
		日光総合支所市民福祉課	藤原総合支所市民福祉課	足尾総合支所市民福祉課	栗山総合支所市民福祉課	落合支所	豊岡支所	大沢支所	塩野室支所	小来川支所	三依支所	湯西川支所	南原出張所	清滝出張所		中宮祠出張所	
証明書交付業務	戸籍に関する証明書	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	住民登録関係証明書	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	印鑑登録証明書	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	外国人登録記載事項証明書	●	●	●	●	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	臨時運行	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—	—	—	—	—	—	—
	戸籍・住民登録に係るその他証明書	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
届異出動	パスポート(10月以降)	●	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●
	住民異動届出	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	戸籍届出	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
市税等収納	印鑑登録	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	市税等収納	—	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

③ 利用状況

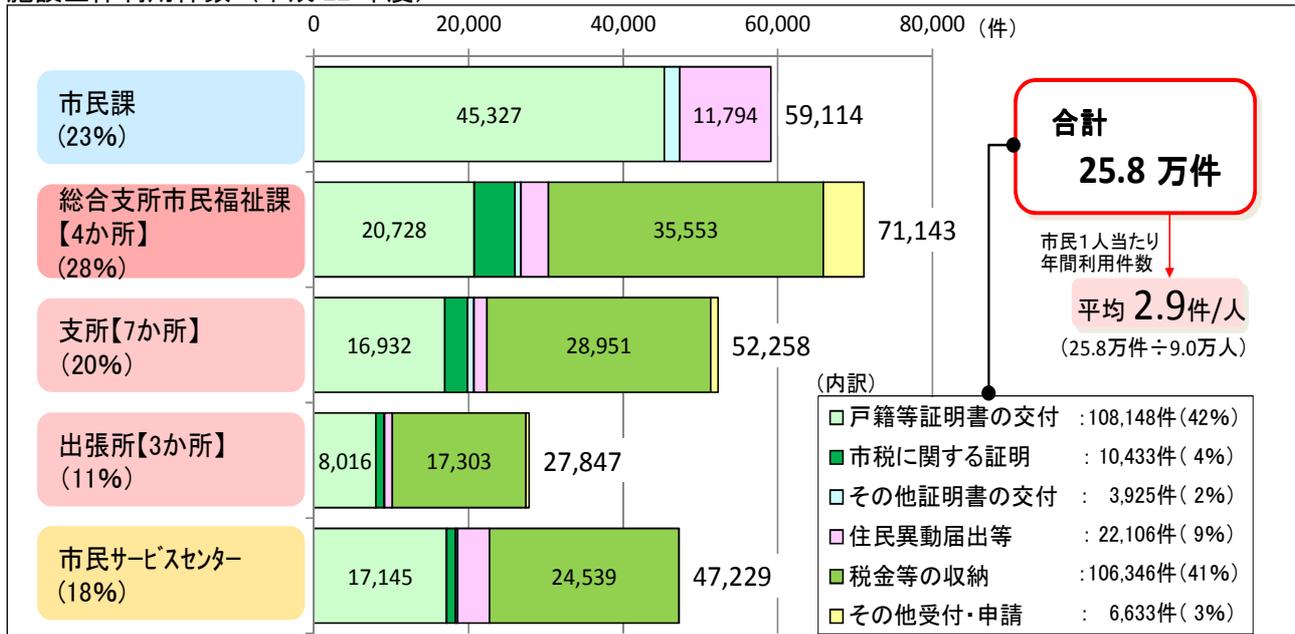
■ 全体利用件数

市民課のほか15施設の平成22年度の窓口総利用件数は、257,591件です。

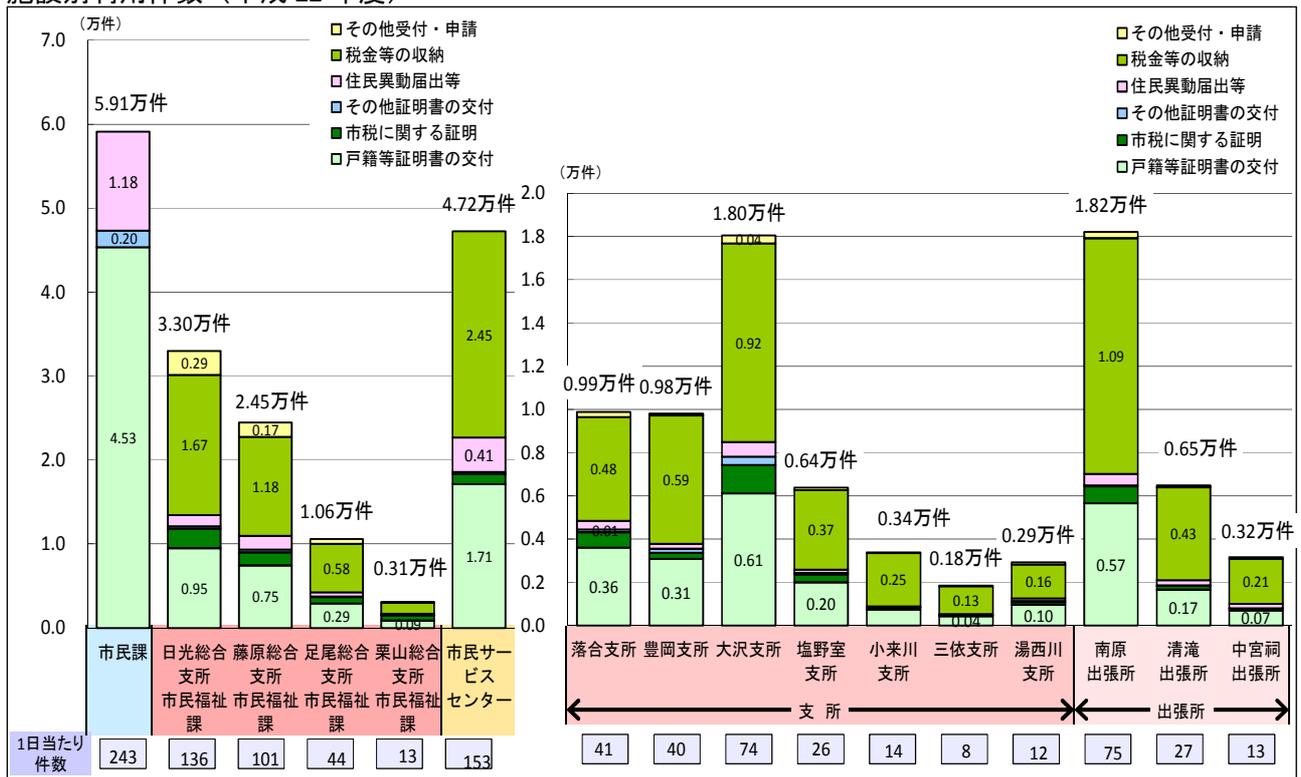
これを窓口ごとに単純に比較すると、市民課が59,114件、総合支所は3,081件～33,007件、市民サービスセンターは47,229件、支所は1,843件～18,048件、出張所は3,163件～18,205件となっています。

※市役所における税金等の収納は、収税課など他の窓口で行っているため、今回の調査対象から除いています。

施設全体利用件数（平成22年度）



施設別利用件数（平成22年度）



■ 市民サービスセンターの利用状況

平成 22 年度の市民サービスセンターの窓口利用件数 47,229 件について、平日及び土日祝日別に見ると、平日で 28,381 件（60%）、土日祝日が 18,848 件（40%）となっていますが、これを 1 日当たりの利用件数で比較してみると、平日が 149 件/日、土日祝日が 161 件/日と、1 日当たりだけでは土日祝日が多いことがわかります。

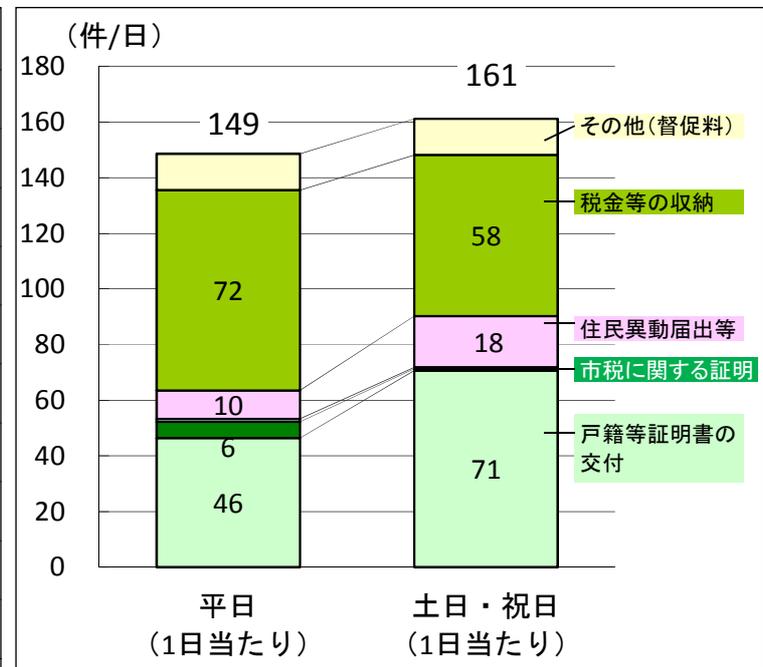
また、その内訳をみると、平日が税金等の収納が 48%あるのに対し、土日祝日は、戸籍等証明書の交付が 44%と最も多くなっています。

さらに、平日及び土日祝日別の昼間（10時～17時30分まで）と夜間（17時30分～19時まで）の利用件数を比較すると、いずれも昼間の利用が 1 日の 84%前後と大半を占めていますが、1 時間当たりの利用件数では、平日及び土日祝日ともに、夜間の利用件数が多くなっています。

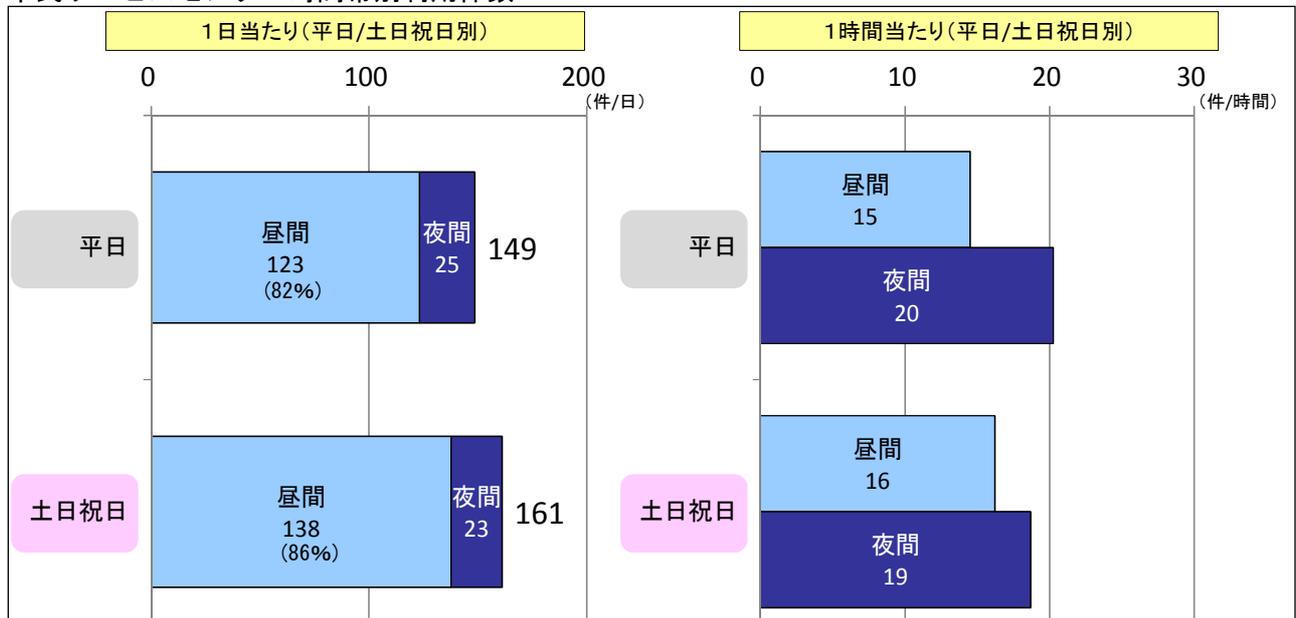
平日/土日祝日別利用件数



平日/土日祝日 1 日当たり利用件数



市民サービスセンター時間帯別利用件数



④ 運営状況

平成22年度の市民課のほか15施設の窓口業務に携わる職員数は、82人です。その内訳は、証明書等の発行・申請書等の受理及び異動事務から庶務事務に約67人、その他の事務に約15人が従事しています。

運営人員（平成22年度）

(人)

	市民課	日光総合支所 市民福祉課	藤原総合支所 市民福祉課	足尾総合支所 市民福祉課	栗山総合支所 市民福祉課	落合支所	豊岡支所	大沢支所	塩野支所	小来川支所	三依支所	湯西川支所	南原出張所	清滝出張所	中宮祠出張所	市民サービスセンター	合計
証明書等の発行・申請書等の受理及び異動事務	8.3	2.6	1.9	1.4	1.8	1.2	0.9	1.3	1.3	0.3	0.5	0.7	0.8	1.3	1.2	3.2	28.7
市税等収納及び税関連事務	0.2	1.4	1.2	0.6	1.0	1.0	1.1	0.9	0.9	0.1	0.7	0.5	0.5	0.6	0.7	0.9	12.3
その他各種申請、交付業務	1.9	3.1	2.1	2.9	2.4	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	14.4
臨時運行許可事務	0.7	0.3	0.3		0.5	0.0	0.2	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		2.3
庶務事務(一般職員)	1.1	0.5	0.4	0.5	0.2	0.4	0.2	0.4	0.4	0.4	0.3	0.4	0.3	0.4	0.6	0.3	6.8
庶務事務(臨時職員)	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
庶務事務(嘱託職員)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	2.0
その他の事務	4.8	0.1	0.1	0.6	0.1	0.4	0.2	1.1	0.4	1.2	0.5	2.4	1.4	0.7	0.5	0.0	14.5
合計	18.0	8.0	6.0	6.0	6.0	3.0	3.0	4.0	3.0	3.0	2.0	4.0	3.0	3.0	3.0	7.0	82.0

運営体制

市民課	平日(月～金) の運営体制 18人	8:30 17:30 19:00 職員 17人 臨時1人 3人
	土日祝日 の運営体制	(運営なし)
各総合支所 市民福祉課	平日(月～金) の運営体制 7人～8人	8:30 17:30 19:00 職員 7人～8人 2人
	土日祝日 の運営体制	(運営なし)
支所 出張所 (10施設)	平日(月～金) の運営体制 2～4人	8:30 17:30 職員 2～4人
	土日祝日 の運営体制	(運営なし)
市民 サービスセンター	平日(火～金) の運営体制 7人	10:00 17:30 19:00 職員 6人 嘱託 1人
	土日祝日 の運営体制 7人	職員 6人 嘱託 1人

3) コスト状況

① 庁舎等のコスト状況

■ 庁舎等のトータルコスト

平成22年度の庁舎等19施設にかかる維持管理費等の年間トータルコストは、3億3,519万円です。

このコストは、施設にかかる費用や減価償却相当額等、今まで見えてこなかったコストを含めたトータルコストになります。(公民館等と併設している施設については、施設全体の維持管理費を把握するため、それぞれで支出している費用の合算になります。)

その内訳は、施設にかかるコスト(光熱水費・建物管理委託費等)は、1億4,947円(45%)、減価償却相当額は、1億8,572万円(55%)となります。

※減価償却相当額とは、長期間にわたって使用される固定資産(白書では、建築物を対象にしている。)の取得に要した費用を、その資産が使用できる期間にわたって配分したのになり、企業会計では、減価償却相当額を資産の価値減少分の「コスト」として計上しています。

なお、今回の各施設で示している減価償却費相当額は、施設全体の統一を図るため、
「減価償却費相当額 = 再調達価額 ÷ 法定耐用年数」により算出しています。

施設別行政コスト計算書(平成22年度)

(千円)

I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		本庁舎	第2庁舎	第3庁舎	第4庁舎	日光総合支所	藤原総合支所	足尾総合支所	栗山総合支所	落合支所	豊岡支所
施設にかかるコスト	修繕費	3,370	102	96	92	424	772	167	2,401	240	1,013
	改修費	171	3,854	0	0	0	131	0	0	1,325	0
	光熱水費	14,564	2,054	7,338	3,360	4,564	4,239	1,400	3,963	448	1,549
	委託費	14,982	3,299	6,059	3,924	4,799	3,239	871	3,788	1,537	1,330
	使用料及び賃借料	0	0	0	11	2,243	342	0	407	0	0
	負担金補助及び交付金	13	0	0	0	37	17	0	34	0	0
	その他物件費	260	13	88	10	2,985	2,546	1,761	1,519	295	459
	施設にかかるコスト	33,360	9,322	13,581	7,397	15,052	11,286	4,199	12,112	3,845	4,351

【収入の部】		本庁舎	第2庁舎	第3庁舎	第4庁舎	日光総合支所	藤原総合支所	足尾総合支所	栗山総合支所	落合支所	豊岡支所
収入	使用料収入	1,208	0	0	168	50	100	0	85	0	0
収入の合計		1,208	0	0	168	50	100	0	85	0	0

II. 現金収支を伴わないもの		本庁舎	第2庁舎	第3庁舎	第4庁舎	日光総合支所	藤原総合支所	足尾総合支所	栗山総合支所	落合支所	豊岡支所
コスト	減価償却相当額	36,416	5,356	21,176	12,916	0	12,312	0	16,672	6,001	6,613

III. 総括		本庁舎	第2庁舎	第3庁舎	第4庁舎	日光総合支所	藤原総合支所	足尾総合支所	栗山総合支所	落合支所	豊岡支所
コストの部合計(トータルコスト)		69,776	14,678	34,757	20,313	15,052	23,598	4,199	28,784	9,846	10,964
収支差額(ネットコスト)		68,568	14,678	34,757	20,145	15,002	23,498	4,199	28,699	9,846	10,964

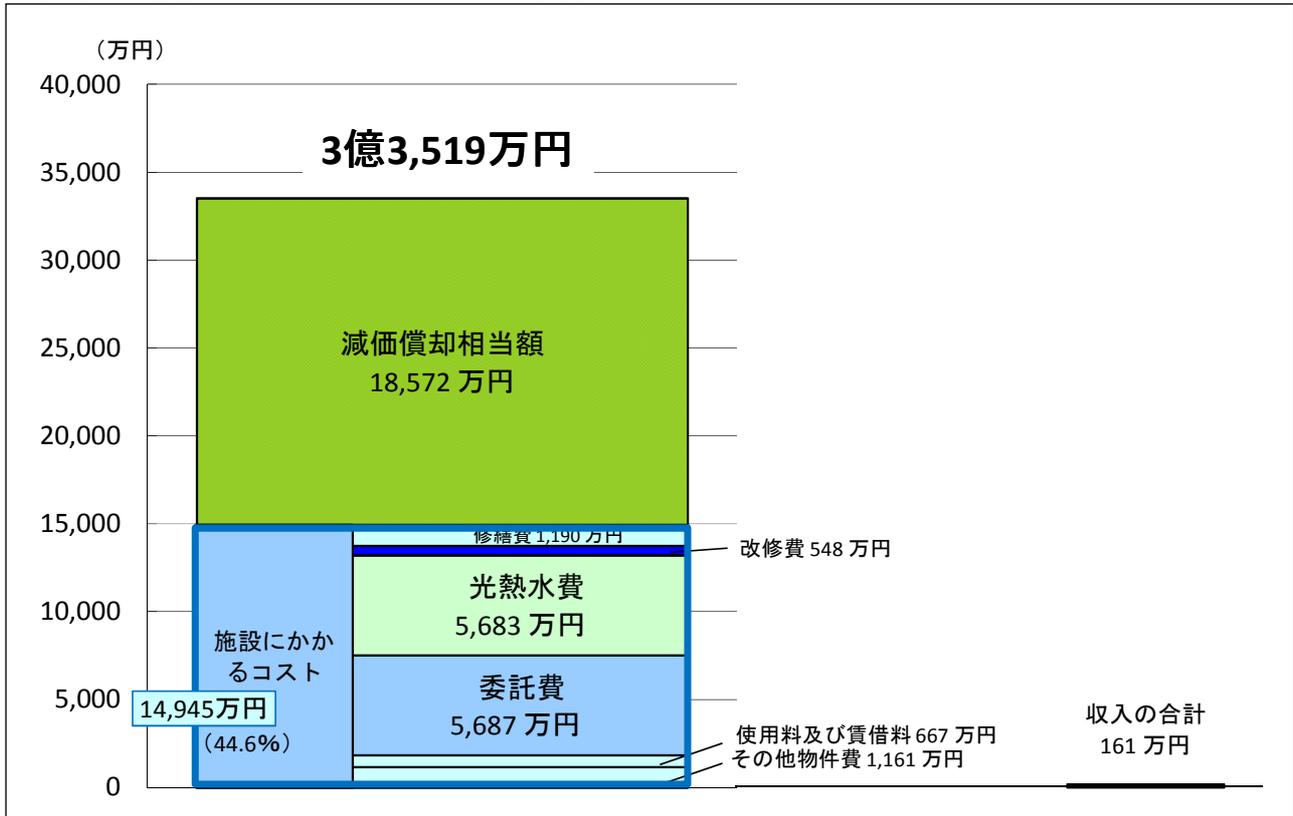
大沢支所	塩野室支所	小来川支所	三依支所	湯西川支所	南原出張所	清滝出張所	中宮祠出張所	市民サービスセンター	合計	施設にかかるコスト
15	203	314	2,035	0	72	137	450	0	11,903	修繕費
0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,481	改修費
5,746	1,196	610	446	1,492	470	481	2,540	373	56,833	光熱水費
8,173	1,045	879	374	1,119	106	732	591	21	56,868	委託費
0	0	0	0	0	0	0	0	3,667	6,670	使用料及び賃借料
0	0	0	0	4	0	0	0	0	105	負担金補助及び交付金
533	469	34	182	142	0	271	43	0	11,610	その他物件費
14,467	2,913	1,837	3,037	2,757	648	1,621	3,624	4,061	149,470	施設にかかるコスト

0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,611	使用料収入	収入
0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,611	収入の合計	

33,948	5,205	4,114	3,462	9,472	2,209	3,619	6,229	0	185,720	減価償却相当額	コスト
--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	---	---------	---------	-----

48,415	8,118	5,951	6,499	12,229	2,857	5,240	9,853	4,061	335,190	コストの部合計(トータルコスト)	
48,415	8,118	5,951	6,499	12,229	2,857	5,240	9,853	4,061	333,579	収支差額(ネットコスト)	

庁舎等 全施設トータルコスト（平成 22 年度）



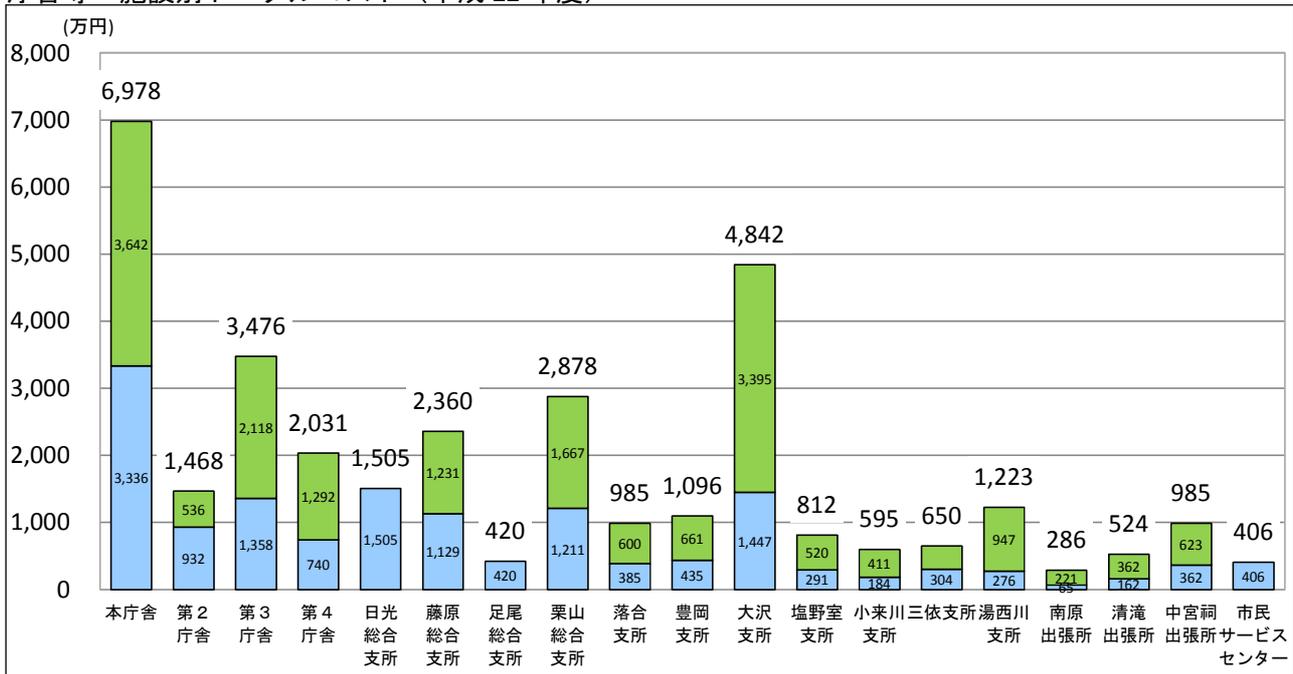
※収入の合計については、日光市行政財産使用料条例に基づく使用料収入になります。

■ 施設別のトータルコスト

施設別トータルコストでは、本庁舎が 6,978 万円で全施設トータルコストの約 21%を占めています。第 2 庁舎 1,468 万円、第 3 庁舎 3,476 万円、第 4 庁舎 2,031 万円となっています。

総合支所では、足尾総合支所の 420 万円～栗山総合支所の 2,878 万円、支所は、小来川支所の 595 万円～大沢支所の 4,842 万円、出張所は、南原出張所の 286 万円～中宮祠出張所の 985 万円となっています。

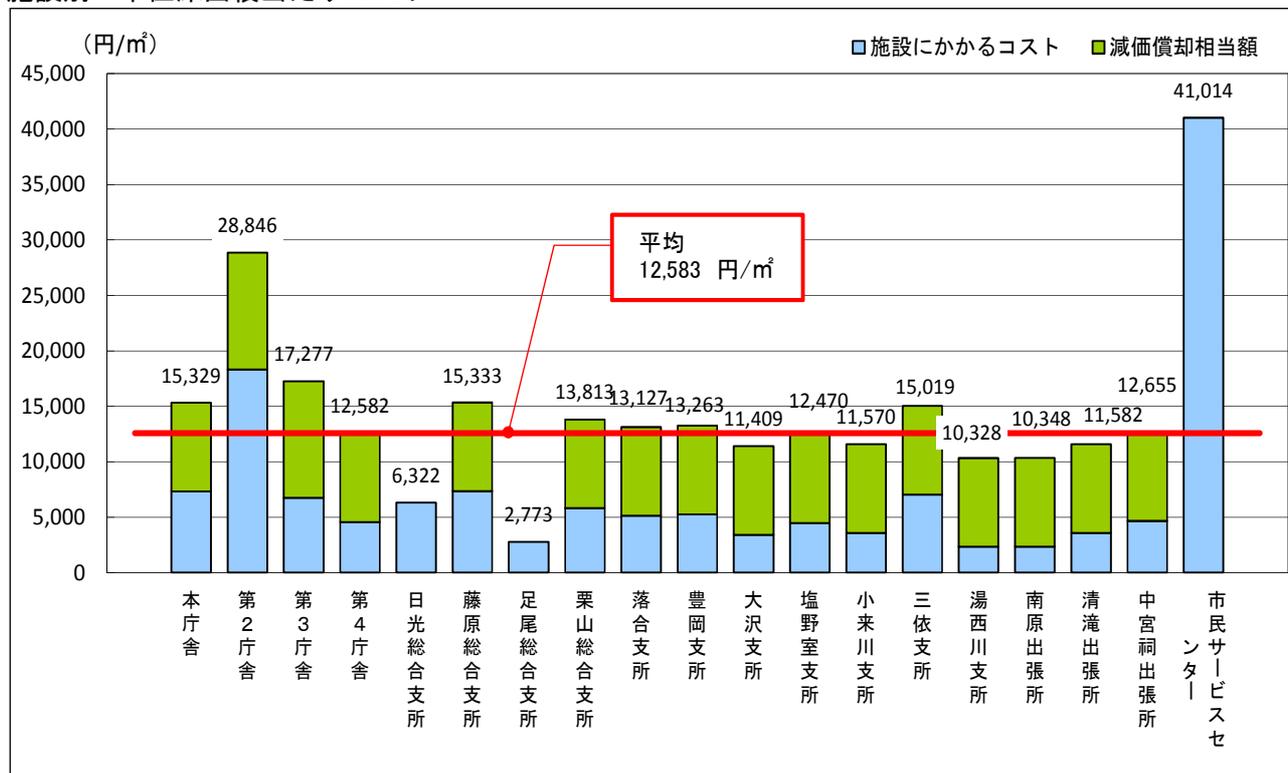
庁舎等 施設別トータルコスト（平成 22 年度）



■ 床面積 (㎡) 当たりのコスト

延床面積とトータルコストから施設1㎡当たりにかかる年間コストを算出すると、庁舎等19施設の平均は、12,583円/㎡です。内訳をみると、足尾総合支所の2,773円/㎡～市民サービスセンターの41,014円/㎡となっています。

施設別 単位床面積当たりコスト



② 窓口業務のコスト状況

■ 窓口業務のトータルコスト

平成22年度の窓口業務にかかる年間トータルコストは、7億1,097万円です。

全て事業運営にかかるコスト（人件費・その他物件費等）となります。

特に、事業運営にかかるコストの内訳では、一般職員・嘱託職員の人件費の合計が、6億5,846万円で全施設トータルコストの約93%を占めています。

施設別行政コスト計算書（平成22年度）

（千円）

I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		市民課	日光総合支所市民福祉課	藤原総合支所市民福祉課	足尾総合支所市民福祉課	栗山総合支所市民福祉課	落合支所	豊岡支所	大沢支所
事業運営にかかるコスト	一般職員人件費	140,346	66,045	49,534	49,534	49,534	24,767	24,767	33,022
	嘱託職員人件費	0	0	0	0	0	0	0	0
	臨時職員人件費	1,511	0	0	0	0	0	0	0
	修繕費	0	0	0	0	77	0	0	0
	委託費	391	0	0	50	101	0	0	0
	使用料及び賃借料	614	0	0	0	0	0	0	0
	その他物件費	2,726	14	0	59	183	0	0	0
	事務・庶務 小計	145,588	66,059	49,534	49,643	49,895	24,767	24,767	33,022
	システム管理費等	委託費	30,633	0	113	0	0	0	0
	使用料及び賃借料	11,337	0	13	0	0	0	0	0
	備品購入費	1,664	0	0	0	0	0	0	0
	負担金補助及び交付金	40	0	0	0	0	0	0	0
	その他物件費	1,513	0	225	0	0	0	0	0
	システム管理費等 小計	45,187	0	351	0	0	0	0	0
	支所及び出張所 事業費	修繕費	0	0	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0	49	0	0	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	
備品購入費	0	0	0	0	0	0	0	0	
負担金補助及び交付金	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他物件費	0	0	0	0	0	96	65	88	
支所及び出張所事業費 小計	0	0	0	0	0	145	65	88	
事業運営にかかるコスト	190,775	66,059	49,885	49,643	49,895	24,912	24,832	33,110	
現金収支を伴うコスト 計	190,775	66,059	49,885	49,643	49,895	24,912	24,832	33,110	

【収入の部】

収入	手数料収入	16,679	3,594	2,801	1,438	432	1,224	1,058	2,016
収入の合計		16,679	3,594	2,801	1,438	432	1,224	1,058	2,016

Ⅲ. 総括

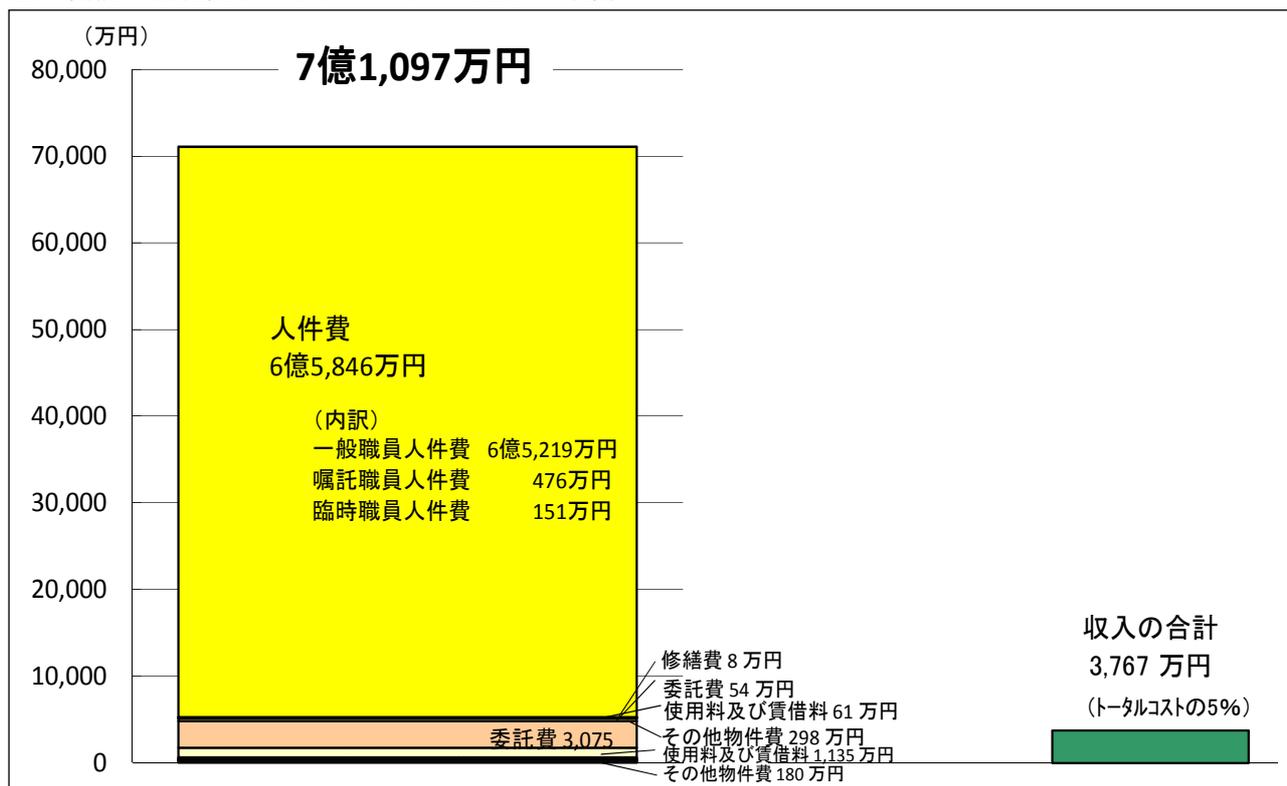
コストの部合計(トータルコスト)	190,775	66,059	49,885	49,643	49,895	24,912	24,832	33,110
収支差額(ネットコスト)	174,096	62,465	47,084	48,205	49,463	23,688	23,774	31,094

塩野室支所	小来川支所	三依支所	湯西川支所	南原出張所	清滝出張所	中宮祠出張所	市民サービスセンター	合計	事業運営にかかるコスト	
24,767	16,511	16,511	33,022	24,767	24,767	24,767	49,534	652,195	一般職員人件費	事業運営にかかるコスト
0	2,378	0	0	0	0	0	2,378	4,756	嘱託職員人件費	
0	0	0	0	0	0	0	0	1,511	臨時職員人件費	
0	0	0	0	0	0	0	0	77	修繕費	
0	0	0	0	0	0	0	0	542	委託費	
0	0	0	0	0	0	0	0	614	使用料及び賃借料	
0	0	0	0	0	0	0	0	2,982	その他物件費	
24,767	18,889	16,511	33,022	24,767	24,767	24,767	51,912	662,677	事務・庶務 小計	
0	0	0	0	0	0	0	0	30,746	委託費	
0	0	0	0	0	0	0	0	11,350	使用料及び賃借料	
0	0	0	0	0	0	0	0	1,664	備品購入費	
0	0	0	0	0	0	0	0	40	負担金補助及び交付金	
0	0	0	0	0	0	0	0	1,738	その他物件費	
0	0	0	0	0	0	0	0	45,538	システム管理費等 小計	
0	0	88	0	0	0	38	0	126	修繕費	
0	0	114	0	451	0	0	0	614	委託費	
0	93	0	0	10	15	15	71	204	使用料及び賃借料	
0	0	0	0	14	0	0	0	14	備品購入費	
0	3	0	0	0	0	0	0	3	負担金補助及び交付金	
77	94	221	439	186	55	79	400	1,800	その他物件費	
77	190	423	439	661	70	132	471	2,761	支所及び出張所事業費 小計	
24,844	19,079	16,934	33,461	25,428	24,837	24,899	52,383	710,976	事業運営にかかるコスト	
24,844	19,079	16,934	33,461	25,428	24,837	24,899	52,383	710,976	現金収支を伴うコスト 計	

699	264	148	216	1,519	487	320	4,779	37,674	手数料収入	収入
699	264	148	216	1,519	487	320	4,779	37,674	収入の合計	

24,844	19,079	16,934	33,461	25,428	24,837	24,899	52,383	710,976	コストの部合計(トータルコスト)
24,145	18,815	16,786	33,245	23,909	24,350	24,579	47,604	673,302	収支差額(ネットコスト)

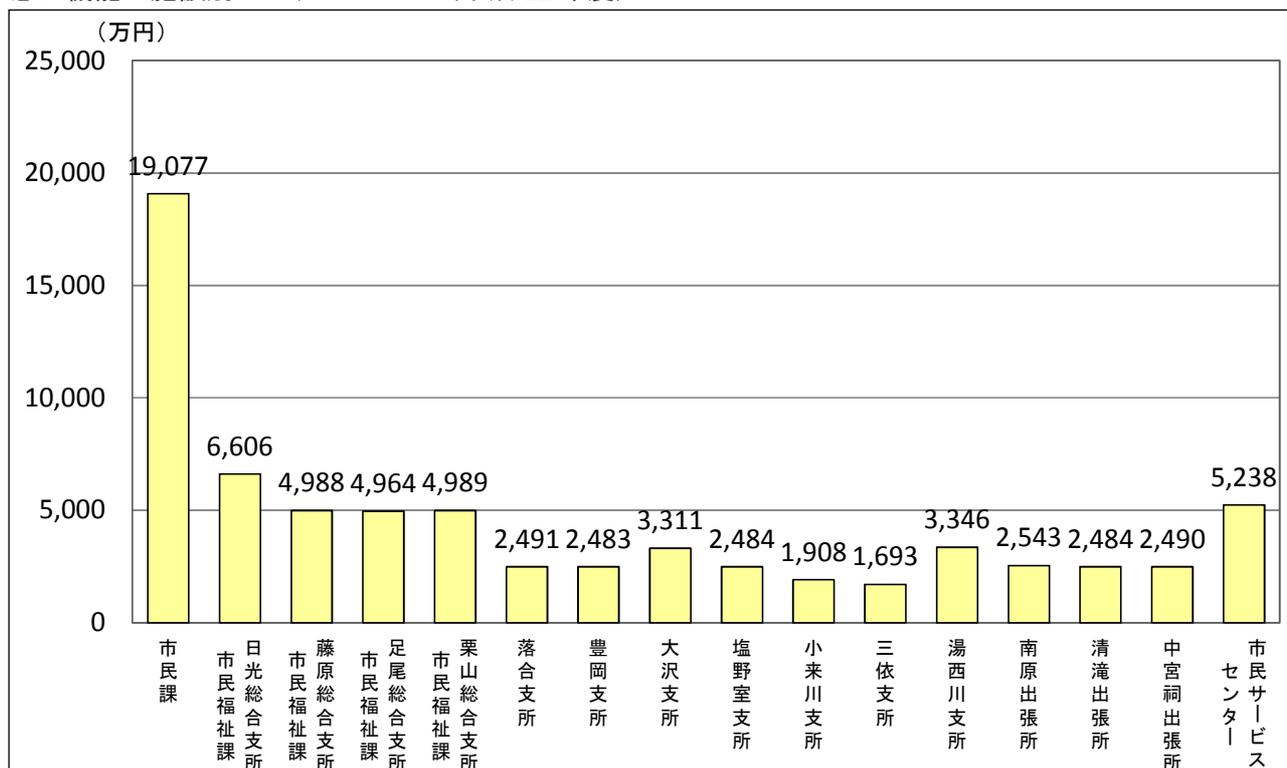
窓口機能 全施設トータルコスト（平成22年度）



■ 施設別のトータルコスト

施設別では、すべての施設で利用するシステム管理費含め市民課が1億9,077万円（システム管理費を除くと1億4,559万円）、総合支所が4,964万円～6,606万円、支所及び出張所が1,693万円～3,346万円、市民サービスセンターが5,238万円となっています。

窓口機能 施設別トータルコスト（平成22年度）

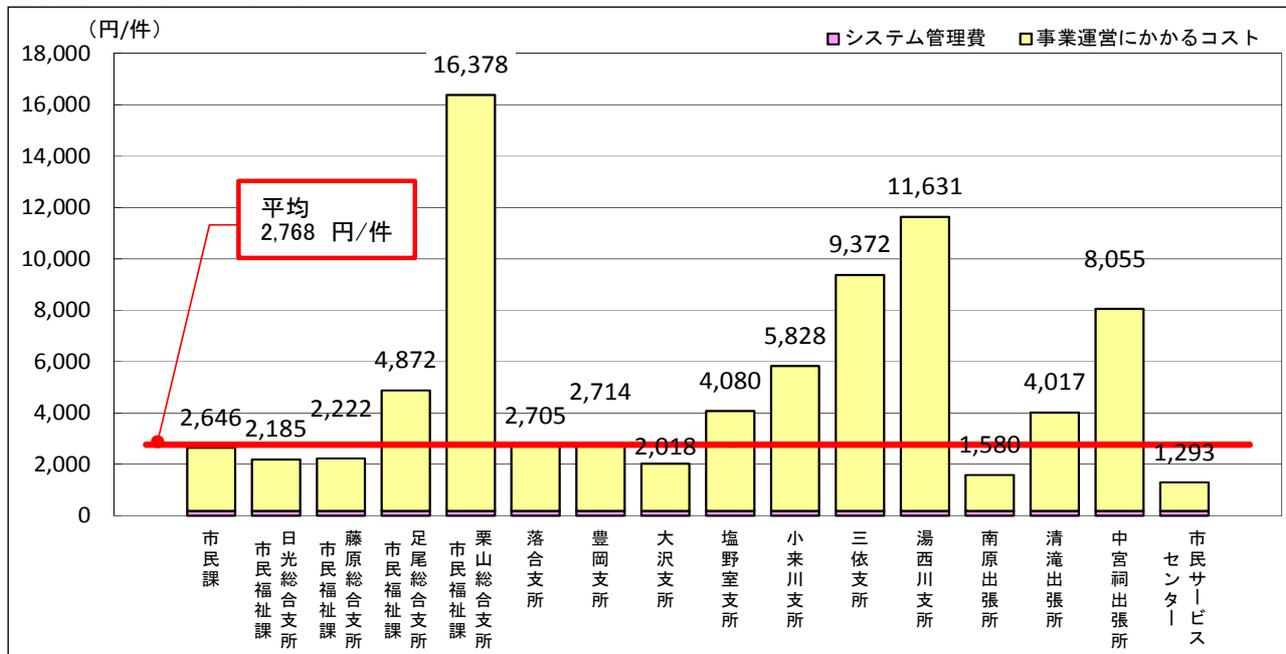


■ 利用1件当たりのコスト

平成22年度の年間利用件数と事業運営にかかるトータルコストから利用1件当たりにかかるコストを算出すると、全施設の平均は、2,768円/件になります。内訳は、市民サービスセンターの1,293円/件～栗山総合支所の16,378円/件となっています。

なお、システムに関する費用は、全施設共通の費用として算出してあります。

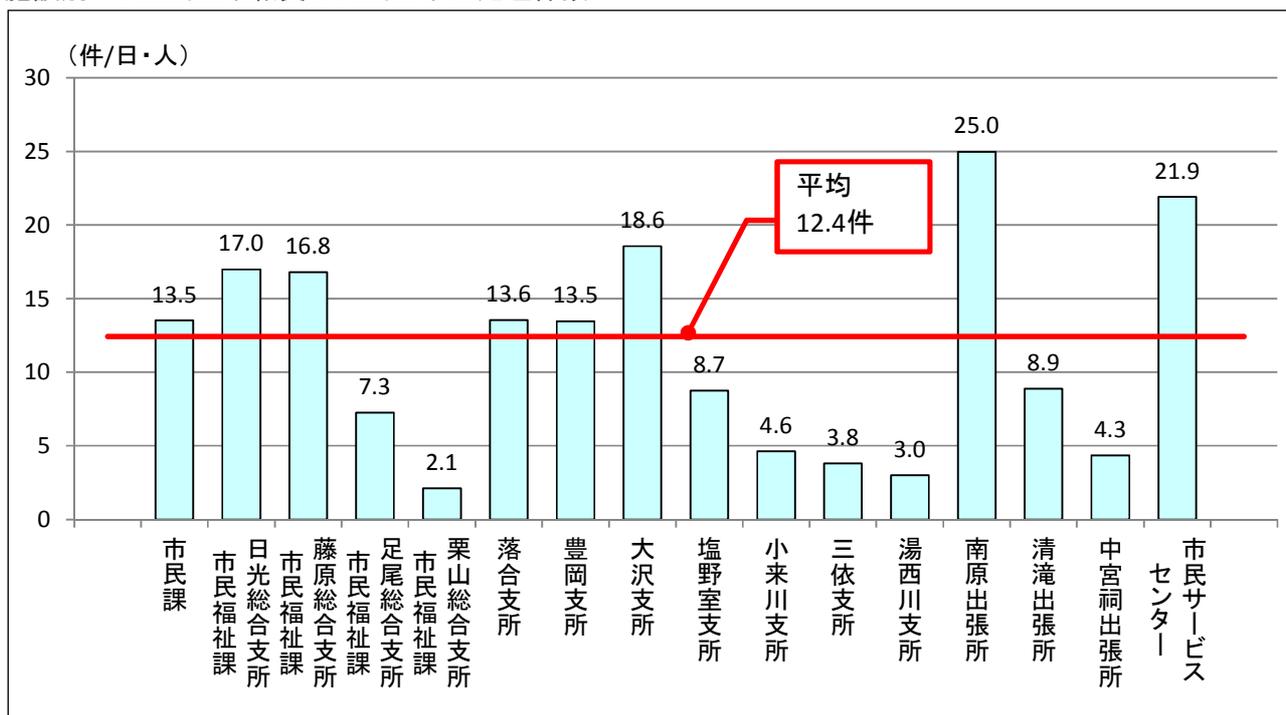
施設別 利用1件当たりコスト



■ 職員1人当たりの処理件数

運営人員と利用件数から職員1人当たりの1日の処理件数を算出すると、全施設の平均は、12.4件/人になります。内訳は、栗山総合支所の2.1件/人～南原出張所の25.0件/人となっています。

施設別 1日当たり職員1人当たりの処理件数



4) 今後の検討の視点

- 建物総合評価の結果、建物の耐震性及び老朽化の面では、庁舎等 17 施設のうち、11 施設で耐震安全性が確保されていません。庁舎等の建物は、行政機能の中核だけでなく、地域振興の中核となる施設であり、さらに災害時には、防災の拠点としての役割も担う重要な施設でもあります。そのため、災害対策本部である本庁舎を含めた11施設について、早急な対応が必要です。
- 支所及び出張所は、公民館・コミュニティセンター等、地域利用の施設と併設していることから、施設の建替え・改修等を行う際には、利用状況や地域のニーズにあわせた、施設整備の検討をする必要があります。
- 総合支所の建物は、旧市町村時代の庁舎をそのまま活用しているため、施設の維持管理にかかるコストが、他の施設（本庁舎を除く）より高くなっているため、コストの低減に向けた検討が必要です。
- 窓口業務については、トータルコストを低減するため、事務の効率化や業務の一部委託、さらには職員配置のあり方について検討が必要です。

(2) 文化会館等施設

1) 施設概要

① 施設一覧

市では、多くの市民を収容することが可能なホール機能を保有し、市民文化の向上と福祉の増進に寄与することを目的として、文化会館等3施設（今市文化会館、日光総合会館、藤原総合文化会館）を保有しています。

今市文化会館及び藤原文化会館は、教育施設として公民館と併設していますが、日光総合会館は、観光部が所管する複合的かつ、観光的施設として位置づけられ、市民及び観光客向けの駐車場が併設しているとともに、複数の会議室を所有しています。

設置目的

今市文化会館・藤原総合文化会館：市民の福祉の増進及び文化の向上を図る。

日光総合会館：本市の観光、経済及び文化の向上並びに市民福祉の増進を図る。

施設一覧

名称	住所	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	併設施設	備考
				公民館	
1 今市文化会館	平ヶ崎160番地	3,741.5	昭和51	●	
2 日光総合会館	安川町2番47号	5,679.2	昭和47		
3 藤原総合文化会館	鬼怒川温泉大原1404番地1	3,158.0	昭和48	●	
合 計		12,578.7	—	—	

文化会館等配置図



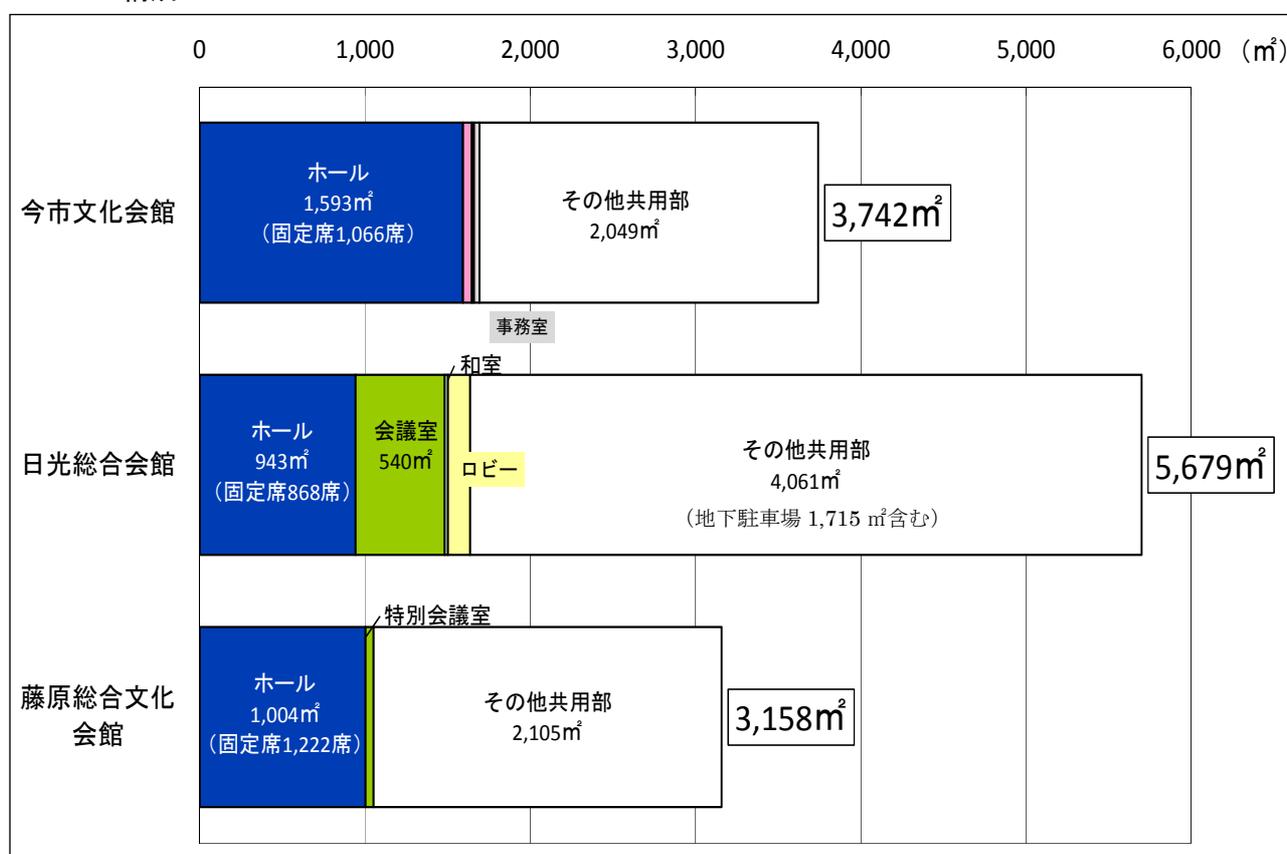
② スペース構成

文化会館等3施設の規模は、今市文化会館 3,742 m²、日光総合会館 5,679 m²、藤原総合文化会館 3,158 m²となっています。また、各施設の主な保有スペースでは、ホール機能がメインであり、施設別にみると、今市文化会館が 1,294 m²（舞台及び 1F・2F・3F 客席）で固定席 1,066 席、日光総合会館が 695 m²（舞台及び客席）で固定席 868 席、藤原総合文化会館が 850 m²（舞台及び客席）で固定席 1,222 席となっています。

※今市文化会館には、併設している中央公民館及び勤労青少年ホームは含まれません。

※藤原総合文化会館には、併設している藤原公民館は含まれません。

スペース構成



③ 建物総合評価の結果

平成 22 年度における文化会館等 3 施設の建物総合評価を行いました。

施設名	基本情報		① 耐震化	② 老朽化	③バリアフリー対応						④環境対応		⑤維持管理								
	建築年度	延床面積 (m ²)	耐震改修	築年数	1 車いす用エレベータ※	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー・屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	維持管理費(千円)	床面積当たり(円/m ²)	光熱水費	建物管理委託費	小規模修繕費	光熱水費	建物管理委託費	小規模修繕費
今市文化会館	昭和51	3,742	実施済み	35	×	○	○	○	○	○	×	×	×	-	-	1,430	-	-	-	-	382
日光総合会館	昭和47	5,679	未実施	39	×	×	○	×	×	×	×	×	×	-	-	1,647	-	-	-	-	290
藤原総合文化会館	昭和48	3,158	未実施	38	×	×	×	×	×	×	×	×	×	5,047	11,964	544	1,598	3,788	172	-	
合計		12,579												5,047	11,964	3,621	-	-	-	-	-

※1手すり・鏡・低い操作ボタン等
 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

記載例	実施済み=○
	未実施 =×
	不要 ⇒-

※維持管理費は、市が直接支出している費用

いずれの施設も旧耐震基準の建物ですが、日光総合会館と藤原総合文化会館は、耐震安全性が確保されていないことから、早急な耐震化と老朽化対策が必要です。(パターン①)

今市文化会館は、耐震安全性は確保されているものの、老朽化がかなり進行し、建替え又は大規模改修等の老朽化対策が早急に必要の施設となっています。(パターン②)

評価	パターン①	パターン②
	耐震性 老朽化	老朽化
評価	<p>・耐震安全性が確保されていない ・さらに、老朽化が進行している ⇒早急な耐震安全性の確保とともに、老朽化対策も必要な施設</p> <p>優先1 ①耐震安全性 振分基準; ①=1の施設</p> <p>藤原総合文化会館</p>	<p>・かなり老朽化が進行している ⇒建替え又は大規模改修などの老朽化対策が急がれる施設</p> <p>優先2 ②老朽化状況 振分基準; パターン1以外で ②=1の施設</p>
該当施設	<p>該当施設 建築年度 日光総合会館 昭和47 藤原総合文化会館 昭和48</p> <p>< 2 施設 ></p>	<p>該当施設 建築年度 今市文化会館 昭和51</p> <p>< 1 施設 ></p>
コメント	<p>・いずれの施設も旧耐震基準の建物で、特に築年も古く、早急な耐震化と老朽化対策が必要です。</p>	<p>・今市文化会館は耐震改修工事は完了しているものの、築34年と老朽化がかなり進行しており、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。</p>

2) 施設状況

① 開館状況

平成22年度の文化会館等3施設の開館状況は、次の表のとおりです。

開館時間・休館日

名称	開館時間	休館日
今市文化会館	午前8時30分～午後10時 (利用区分：午前・午後・夜間)	月曜日(※) 年末年始(12月29日～1月3日)
日光総合会館	午前8時30分～午後10時 (利用区分：午前・午後・夜間)	火曜日 年末年始(12月29日～1月3日)
藤原総合文化会館	午前8時30分～午後10時 (利用区分：午前・午後・夜間)	月曜日(※) 年末年始(12月29日～1月3日)

※祝日の場合は開館し、翌日が休館日となります。

② 利用方法

文化会館等3施設は、あらかじめ使用許可申請手続きが必要です。申込方法は、直接来館のうえ申し込みます。受付期間は、使用する日の1年前にあたる月の初日(休館日の場合は翌日)から使用する日の7日前までとなっています。なお、各施設とも原則として有料です。

(例) 藤原総合文化会館を使用する場合の使用料

使用区分\使用時間		午前	午後	夜間	全日	暖房料(1時間)	冷房料(1時間)
施設名	定員	午前9時から 正午まで	午後1時から 午後5時まで	午後6時から 午後9時まで	午前9時から 午後10時まで	1時間当たり	1時間当たり
ホール	人 1,222	12,000 -18,000	18,000 -27,000	18,000 -27,000	42,000 -63,000	4,120	2,000
ステージのみ		3,000 -4,500	5,000 -7,500	5,000 -7,500	12,000 -18,000	4,120	2,000
ロビー・ホワイエ		1,000 -1,500	1,500 -2,250	1,500 -2,250	3,500 -5,250	300	
ホワイエ(2階)		500 -750	700 -1,050	700 -1,050	1,600 -2,400	150	
特別会議	15	1,080	1,560	1,560	3,600	150	150

※料金の下段「-」以下の金額は、市外居住者が使用する場合の使用料となります。

③ 利用状況

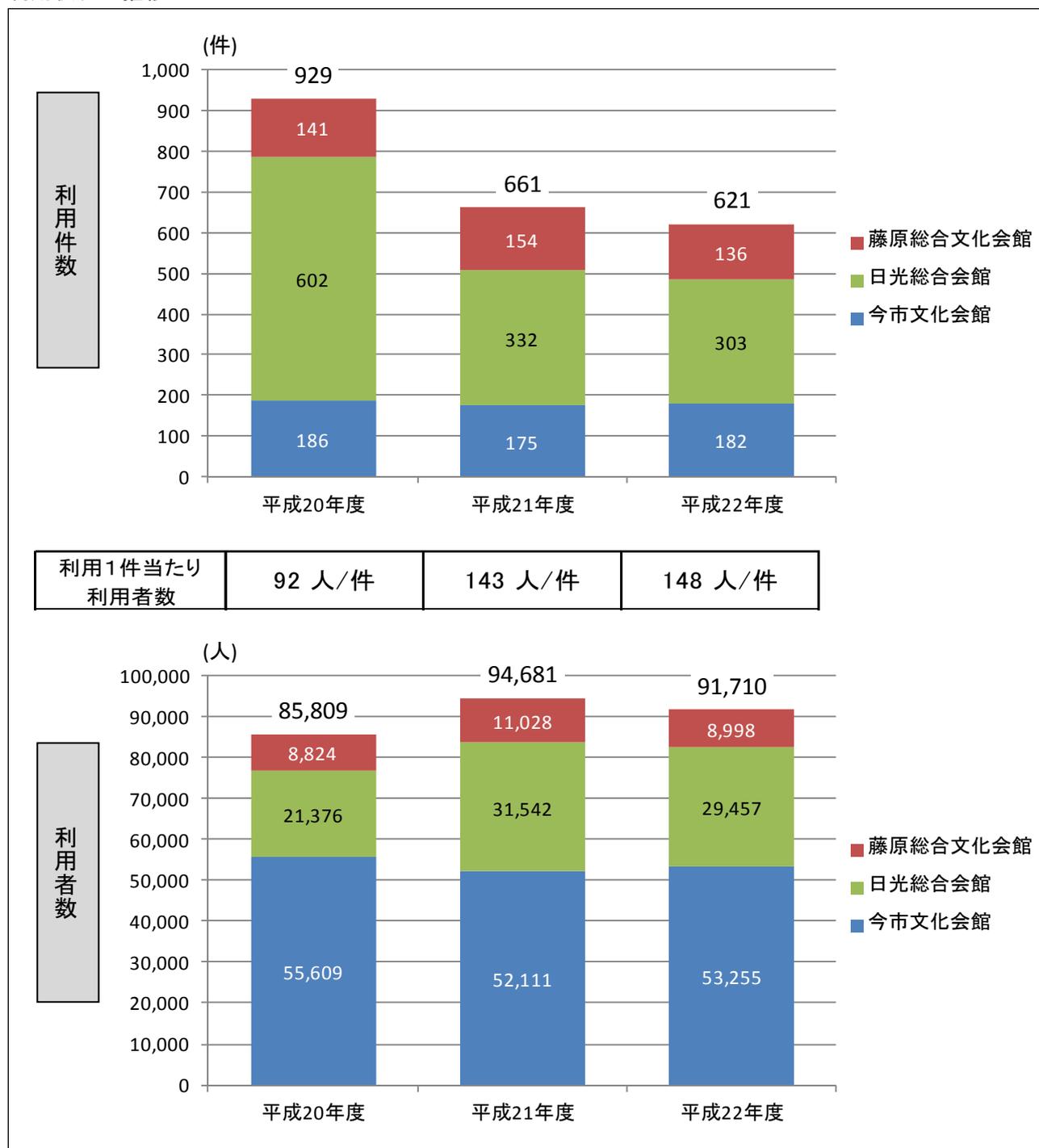
■ 利用状況の推移

平成 22 年度のホールや会議室などすべての利用件数及び利用者数の合計は、それぞれ、621 件・91,710 人です。

平成 20 年度との比較では、利用件数が平成 20 年度の 929 件から平成 22 年度の 621 件と 268 件約 33%減少している。一方、利用者数は、平成 20 年度の 85,809 人から平成 22 年度の 91,710 人と 7%増加していることが分かります。

そのため、利用 1 件当たりの利用者数は、平成 20 年度に比べ増加し、1.6 倍となっています。

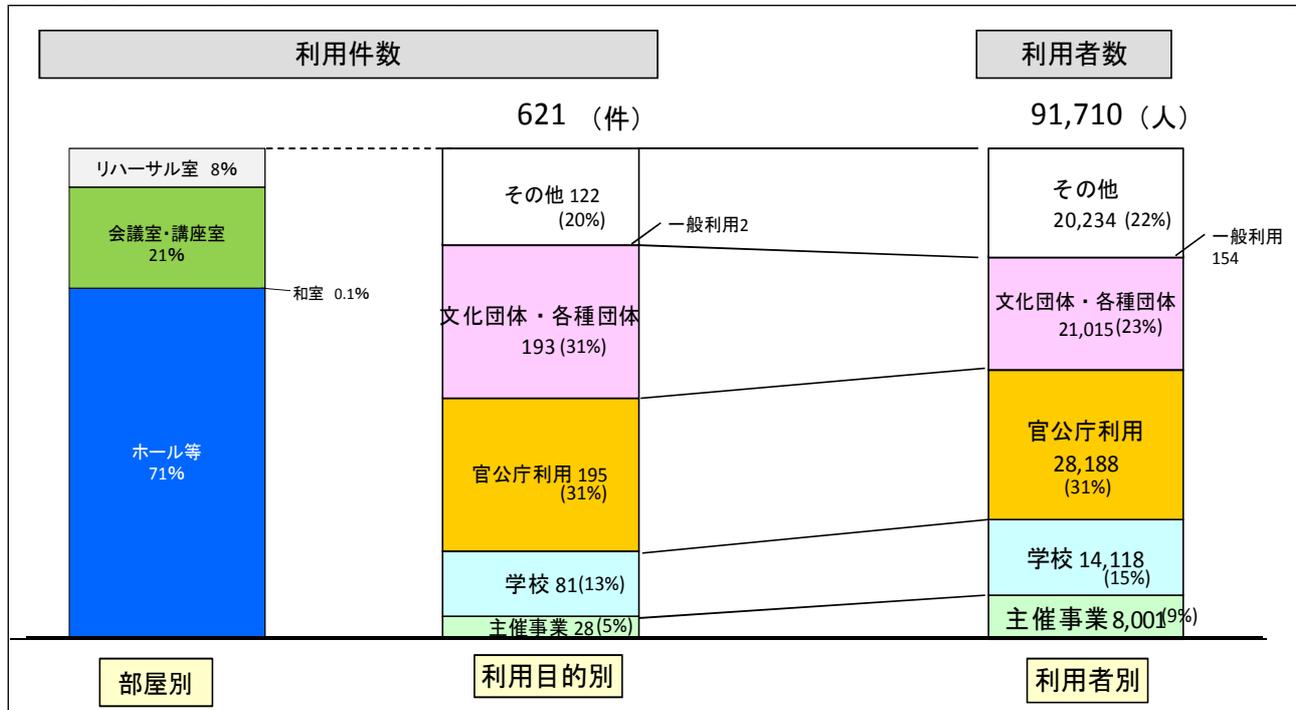
利用状況の推移



■ 目的別の利用状況

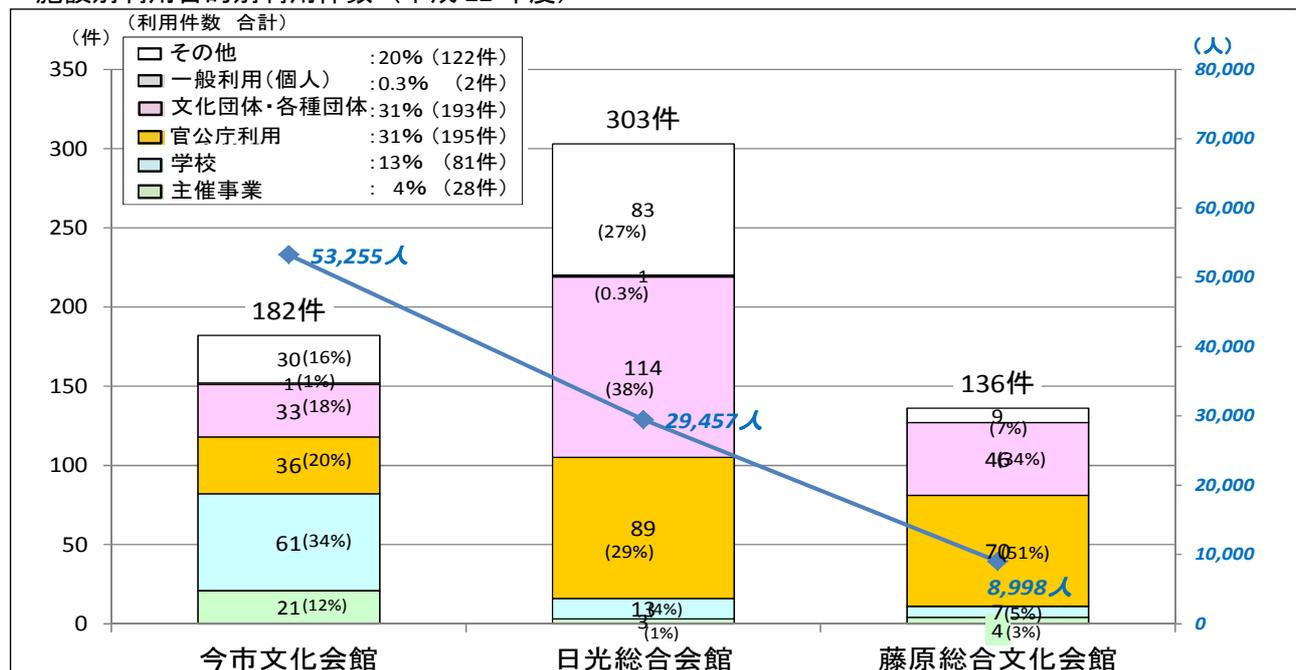
平成22年度の目的別利用状況では、利用件数別で見ると、官公庁利用の195件(31%)と最も多く、次いで文化団体・各種団体が193件(31%)となっています。これを利用者別で見ると、官公庁利用が28,188人(31%)、文化団体・各種団体が21,015人(23%)となっています。

年間利用件数・利用者数(平成22年度)



利用状況を施設別で見ると、今市文化会館では学校利用が約34%と最も多く、それ以外は官公庁利用、文化団体・各種団体、その他利用が同程度利用しています。日光総合会館では、文化団体・各種団体の利用が約38%と最も多くなっており、次に官公庁利用も約29%利用されています。藤原総合文化会館では、官公庁利用が最も多く約51%と過半の利用を占めています。

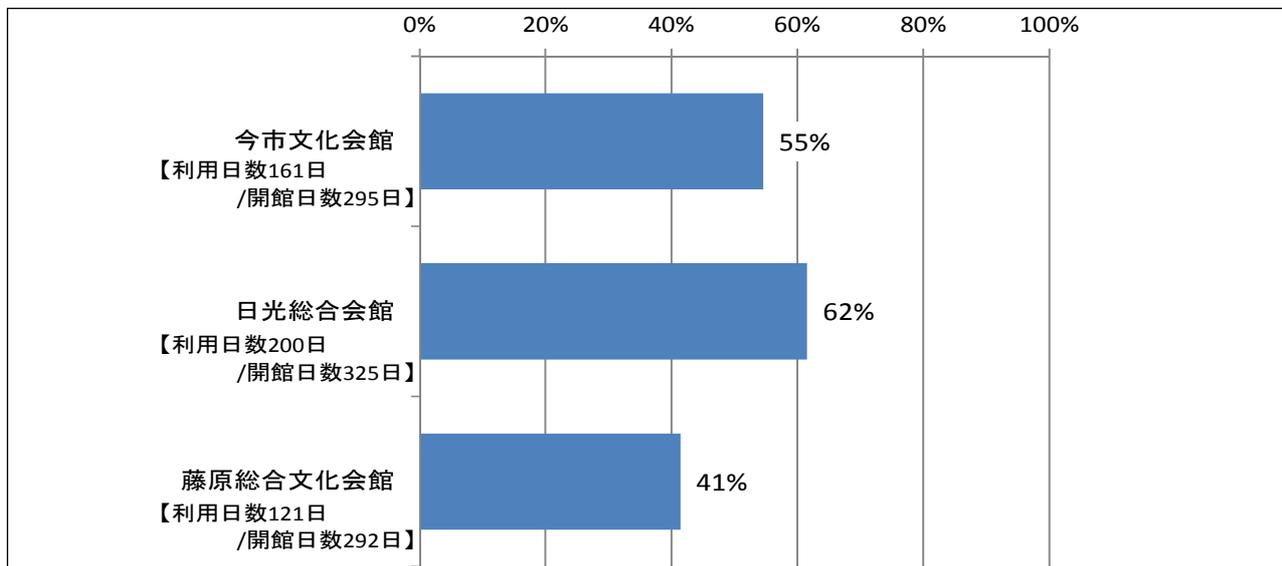
施設別利用目的別利用件数(平成22年度)



■ 施設別の利用率

平成22年度の施設別の利用率について、施設の開館日数に対し利用した日数を「利用率」として算出すると、今市文化会館は約55%、藤原総合文化会館は約41%、日光総合会館は約62%となっています。

施設別利用率（平成22年度）



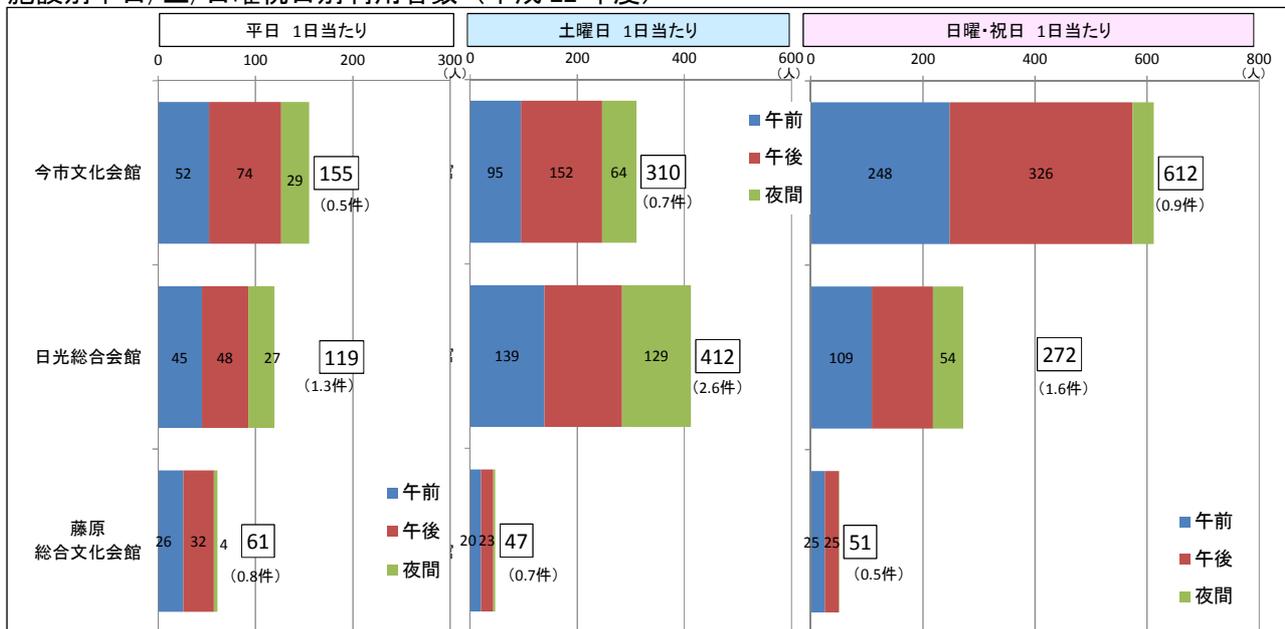
■ 曜日別利用状況

平成22年度の施設別の曜日別（平日／土／日祝日）の1日当たりの貸出件数は、今市文化会館が日曜・祝日の利用が最も多く、平日の利用の約4倍となっていますが、1日当たりの利用件数では、いずれも1件以下となっており、1日1件利用されていない日もあることが分かります。

藤原総合文化会館は、日曜・祝日では2日に1件程度の利用となっています。

日光総合会館は、土曜日の利用が最も多くなっており、平日の約3.5倍、日曜・祝日の約1.5倍の利用者があります。1日当たりの利用件数でみると、会議の利用が多いため、他の施設と異なり、1日1件以上利用されている状況です。

施設別平日/土/日曜祝日別利用者数（平成22年度）



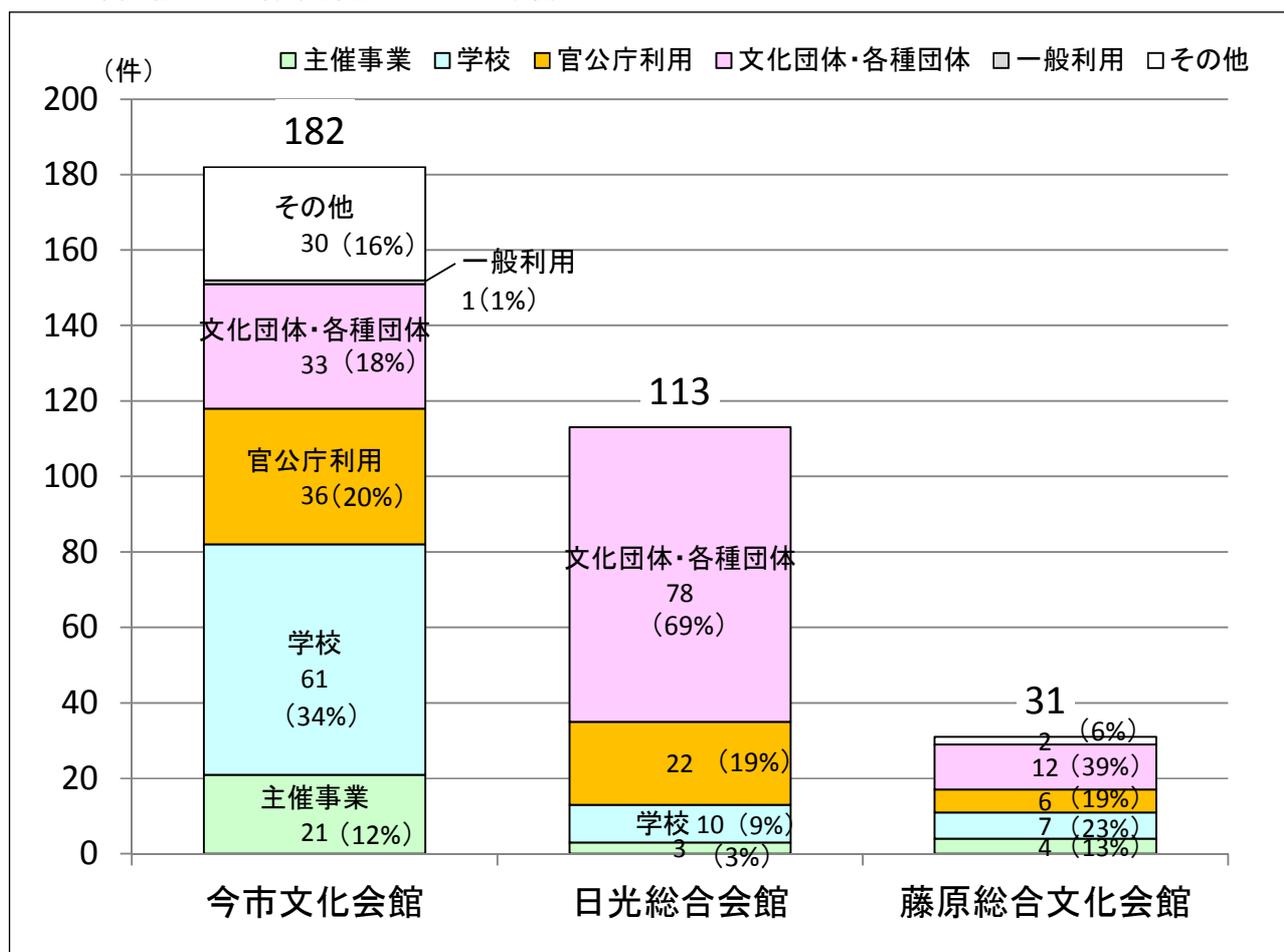
④ ホールの利用状況

文化会館等の保有機能のうち、ホールに着目して利用実態を把握しました。

■ 利用目的別利用状況

平成 22 年度のホール利用状況を利用目的別利用件数の割合で見ると、今市文化会館は、学校利用が約 34%、官公庁利用が約 20%となっています。日光総合会館では、文化団体・各種団体利用が約 69%と過半を占めています。藤原総合文化会館は、文化団体・各種団体利用が約 39%となっています。

ホール申請者別利用件数割合（平成 22 年度）



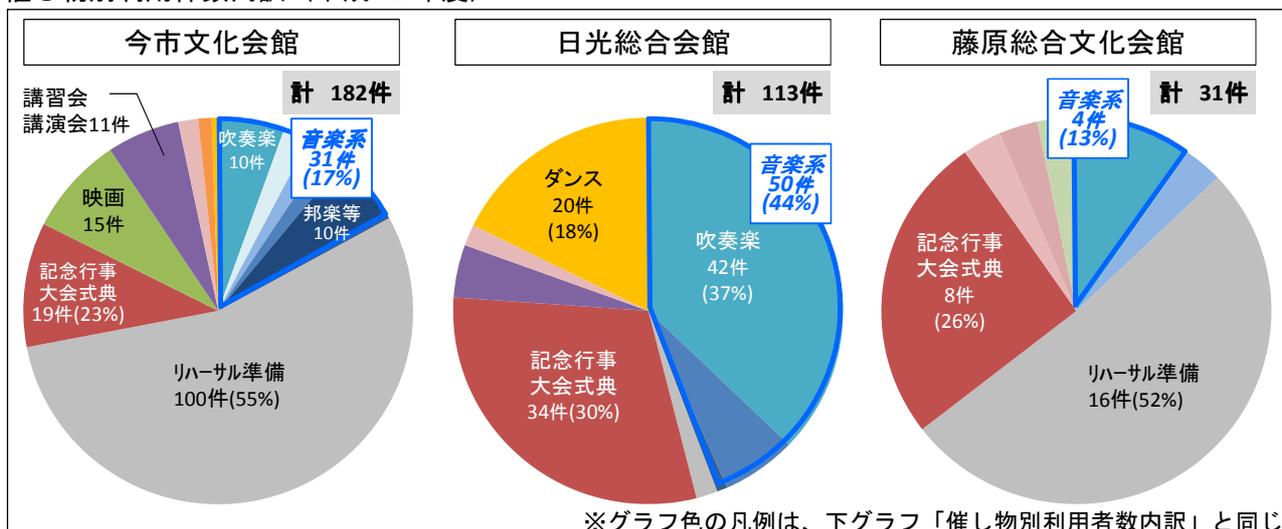
■ 催し物別の利用状況

催し物別に各施設の利用件数をみると、今市文化会館では、リハーサル準備室の利用が100件(55%)と最も多く、次に吹奏楽や邦楽コンサート等の音楽系利用が31件(38%)、記念行事大会式典19件(23%)となっています。今市文化会館は、近隣学校の吹奏楽の練習以外にも市の中心に位置していることから演奏会や映画会・講演会等の利用となっています。

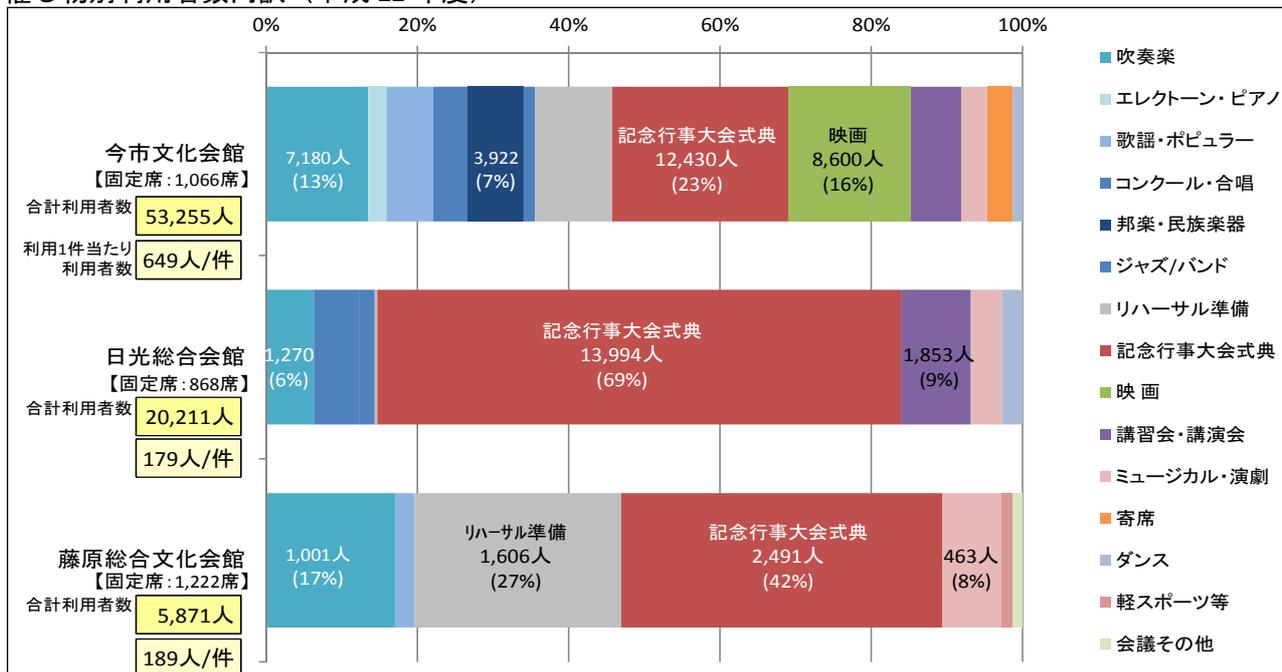
日光総合会館では、吹奏楽や合唱等の音楽系利用が50件(44%)と最も多く、次に記念行事大会式典34件(30%)、ダンス20件(18%)となっています。利用者数の内訳では、記念行事大会式典での利用者が多く、日光総合会館では約66%を占めています。そのほか、学校の吹奏楽の練習やダンス等の地域利用が多くなっています。

藤原総合文化会館では、リハーサル準備室の利用が16件(52%)と最も多く、次に記念行事大会式典8件(26%)となっています。藤原総合文化会館は、鬼怒川温泉駅前に立地していることもあり、観光協会や東武鉄道等の会社利用が多くなり、そのため、会議その他利用が4分の1を占めています。

催し物別利用件数内訳 (平成22年度)



催し物別利用者数内訳 (平成22年度)



⑤ 管理運営の状況

平成22年度の文化会館等3施設の管理運営は、今市文化会館及び日光総合会館が財団法人日光市公共施設振興公社を指定管理者として管理運営を行っており、藤原総合文化会館は、市の直営施設となっています。

運営方式

	指定管理者	直営
今市文化会館	(財)日光市公共施設振興公社(3名)	—
日光総合会館	(財)日光市公共施設振興公社(3名)	—
藤原総合文化会館	—	○(3名)

※今市文化会館については、平成23年度から指定管理者が変更になっています。

3) コスト状況

① トータルコスト

■ 全体のトータルコスト

平成22年度の文化会館等の3施設の年間トータルコストは、2億8,090万円です。

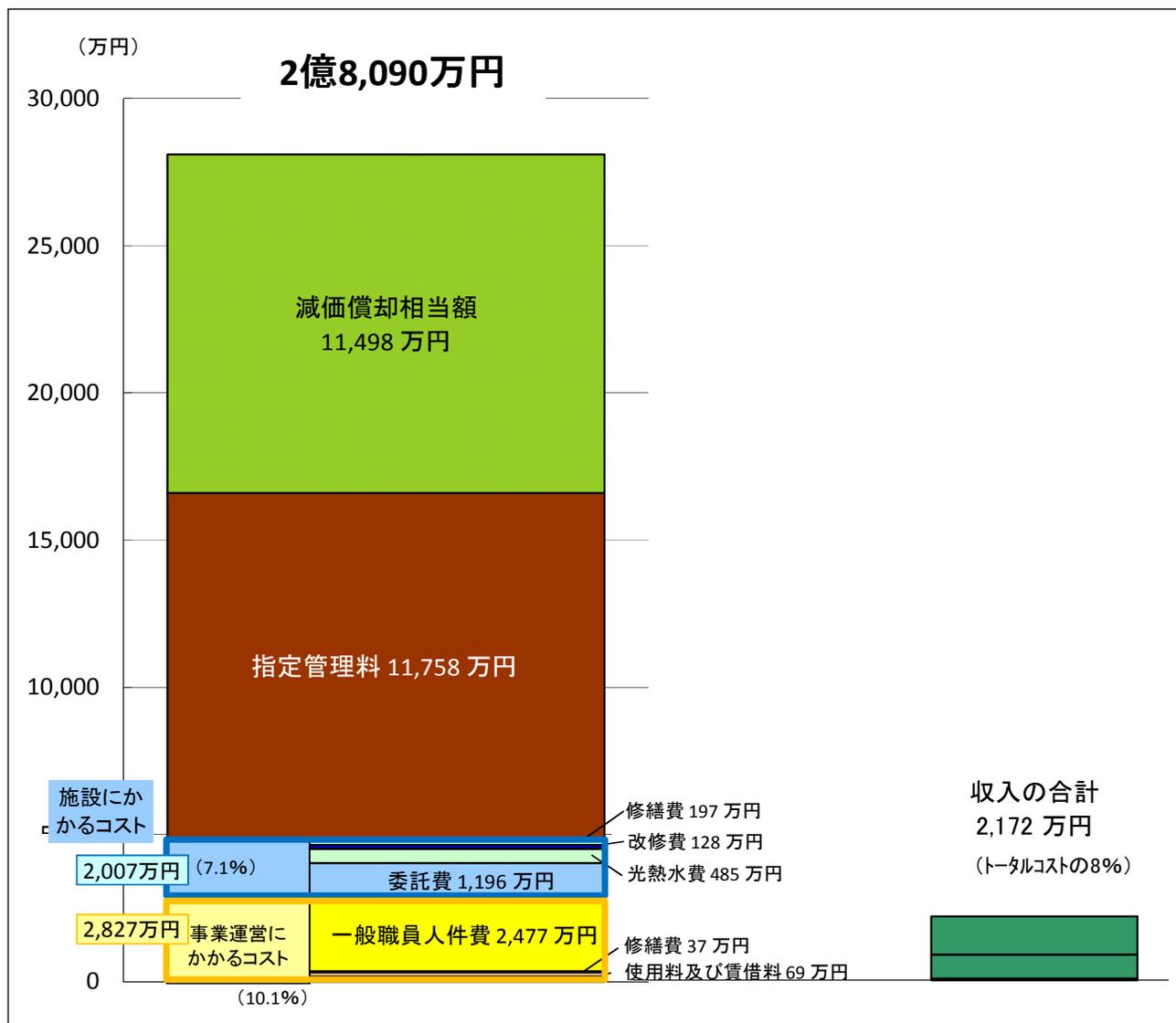
その内訳は、施設にかかるコスト（光熱水費・建物管理委託費等）が2,007万円（7%）、事業運営にかかるコスト（人件費・委託費等）が2,827万円（10%）、指定管理料が1億1,758万円（42%）、減価償却相当額が1億1,498万円（41%）となっています。

施設別行政コスト計算書（平成22年度）

I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		今市文化会館	日光総合会館	藤原総合 文化会館	合計	(千円)
施設 にか かる コス ト	修繕費	1,430	0	544	1,974	
	改修費	0	1,281	0	1,281	
	光熱水費	0	0	4,850	4,850	
	委託費	0	0	11,964	11,964	
	施設にかかるコスト	1,430	1,281	17,358	20,069	
事業 運 営 に か か る コス ト	一般職員人件費	0	0	24,767	24,767	
	修繕費	0	366	0	366	
	委託費	0	0	1,450	1,450	
	使用料及び賃借料	0	0	686	686	
	備品購入費	0	0	49	49	
	負担金補助及び交付金	0	0	5	5	
	その他物件費	0	0	951	951	
	事業運営にかかるコスト	0	366	27,908	28,274	
指定管理料	91,368	26,216	0	117,584		
現金収支を伴うコスト 計	92,798	27,863	45,266	165,927		
【収入の部】						
収入	分担金及び負担金(収入)	0	0	649	649	
	使用料収入	5,631	1,632	787	8,050	
	諸収入	11,557	906	556	13,019	
収入の合計	17,188	2,538	1,992	21,718		
II. 現金収支を伴わないもの						
コスト	減価償却相当額	29,932	59,781	25,264	114,977	
	不納欠損額	0	0	0	0	
収入	収入未済額等	0	0	0	0	
III. 総括						
コストの部合計(トータルコスト)		122,730	87,644	70,530	280,904	
収支差額(ネットコスト)		105,542	85,106	68,538	259,186	

※今市文化会館の指定管理料には、併設する中央公民館にかかる光熱水費が含まれています。

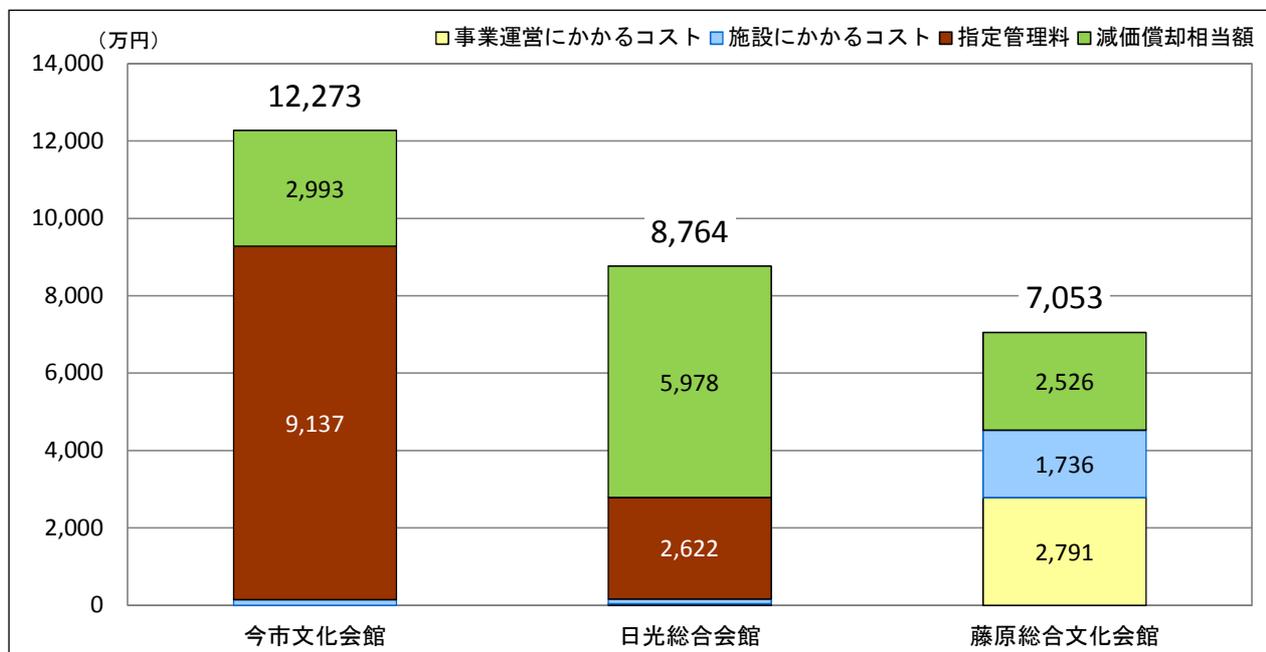
文化会館等 3施設トータルコスト（平成22年度）



■ 施設別のトータルコスト

文化会館等3施設の施設別トータルコストは、今市文化会館が1億2,273万円、日光総合会館が8,764万円、藤原総合文化会館が7,053万円です。

文化会館等 施設別トータルコスト（平成22年度）

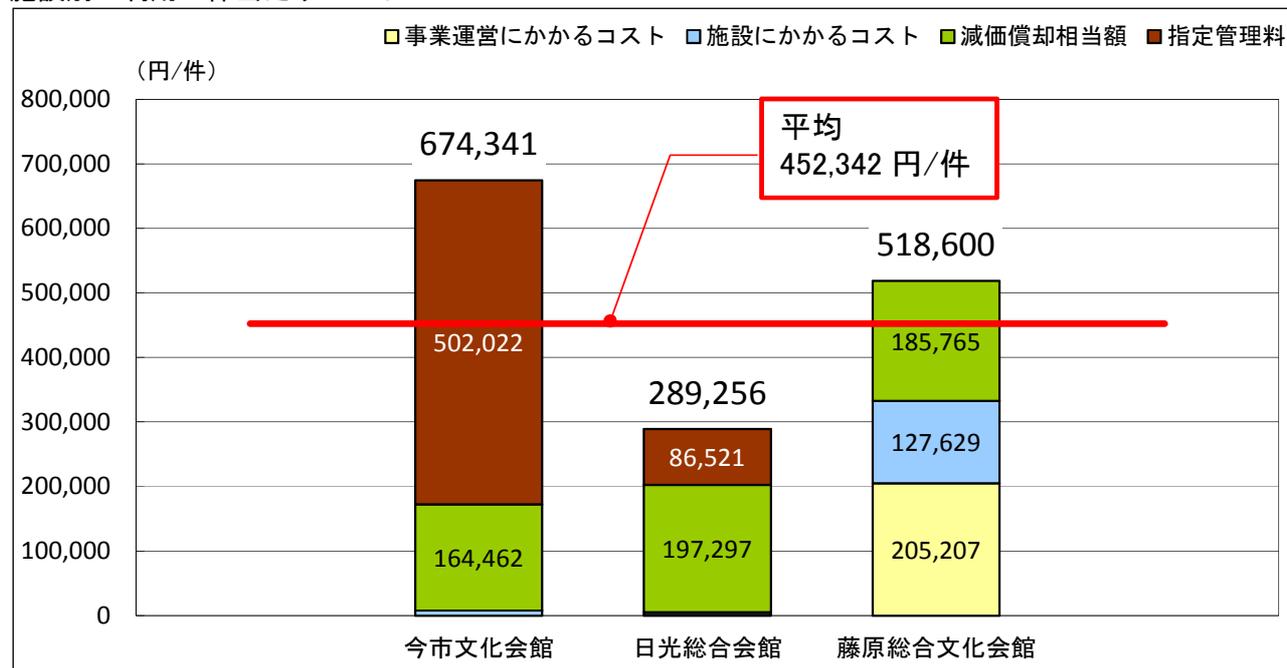


② 利用者当たりのコストと床面積当たりのコスト

■ 利用1件当たりのコスト

平成22年度の年間利用件数とトータルコストから利用1件当たりにかかるコストを算出すると、文化会館等の平均は452,342円/件となり、施設別で見ると、今市文化会館は674,341円/件、日光総合会館は289,256円/件、藤原総合文化会館は518,600円/件となっています。

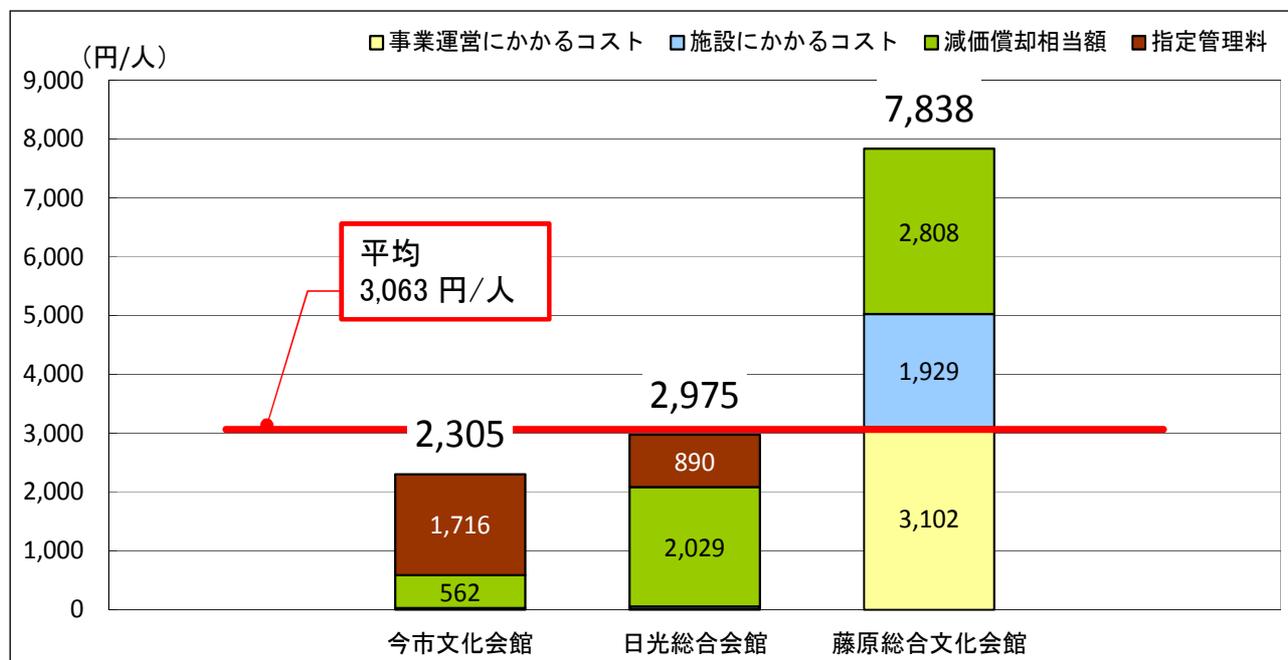
施設別 利用1件当たりコスト



■ 利用者1人当たりのコスト

年間利用者数とトータルコストから利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、文化会館等の平均は3,063円/人となり、施設別でみると、今市文化会館は2,305円/人、日光総合会館は2,975円/人、藤原総合文化会館は7,838円/人となっています。

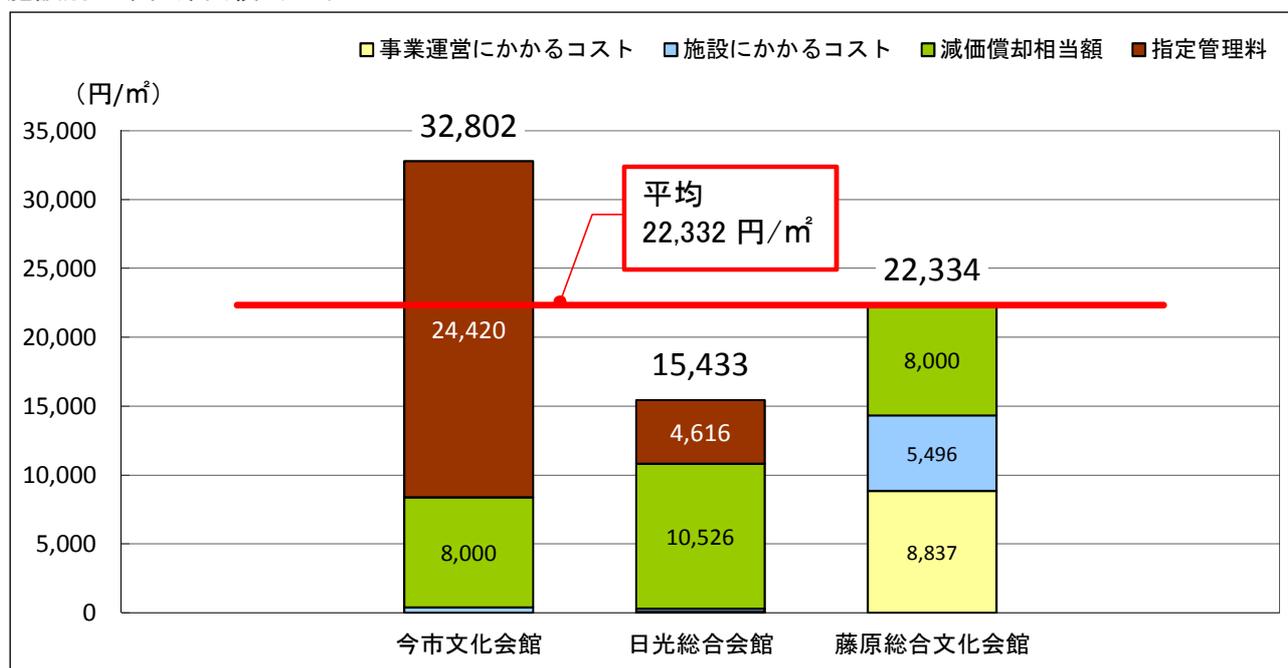
施設別 利用者1人当たりコスト



■ 床面積（1㎡）当たりのコスト

延床面積とトータルコストから単位床面積当たりにかかるコストを算出すると、文化会館等の平均は22,332円/㎡となり、施設別でみると、今市文化会館は32,802円/㎡、日光総合会館は15,433円/㎡、藤原総合文化会館は22,334円/㎡となっています。

施設別 単位床面積当たりコスト



4) 今後の検討の視点

- 建物の耐震性、老朽化の面では、文化会館等3施設のうち、日光総合会館及び藤原総合文化会館の2施設は耐震安全性が確保されていないことから、早急な対応が必要です。また、今市文化会館も耐震安全性確保は完了しているものの、築後34年が経過し老朽化が進行しているため大規模改修等を検討する必要があります。
- 施設別の利用件数及び利用率をみると、今市文化会館が182件55%、日光総合会館303件62%、藤原総合文化会館136件41%と比較的高くなっています。ただし、ホールの利用状況だけをみると、今市文化会館が182件と変わらないものの、日光総合会館が113件、藤原総合文化会館が57件とホールの利用件数が施設別の利用件数の半数にも満たない状況です。文化会館等3施設は、ホールの占める面積が大きく、維持するためのコストが高いことから、施設間の連携を図り、ホールの利用率を高めるための工夫が必要です。
- 現在、3施設中2施設が公民館と併設施設になっていることから、建物全体の維持管理や運営を含め、効果的・効率的な施設のあり方を検討する必要があります。

(3) 美術館等施設

1) 施設概要

① 施設一覧

市では、市民文化の振興発展に寄与することを目的として、歴史民俗資料館、杉並木公園ギャラリー、小杉放菴記念日光美術館の美術館等3施設を保有しています。

歴史民俗資料館は、市内に残る歴史民俗や自然科学に関する資料を収集・保存し、活用を図って市民の歴史や生活文化に関する知識と理解を手助けすることを目的とした施設です。

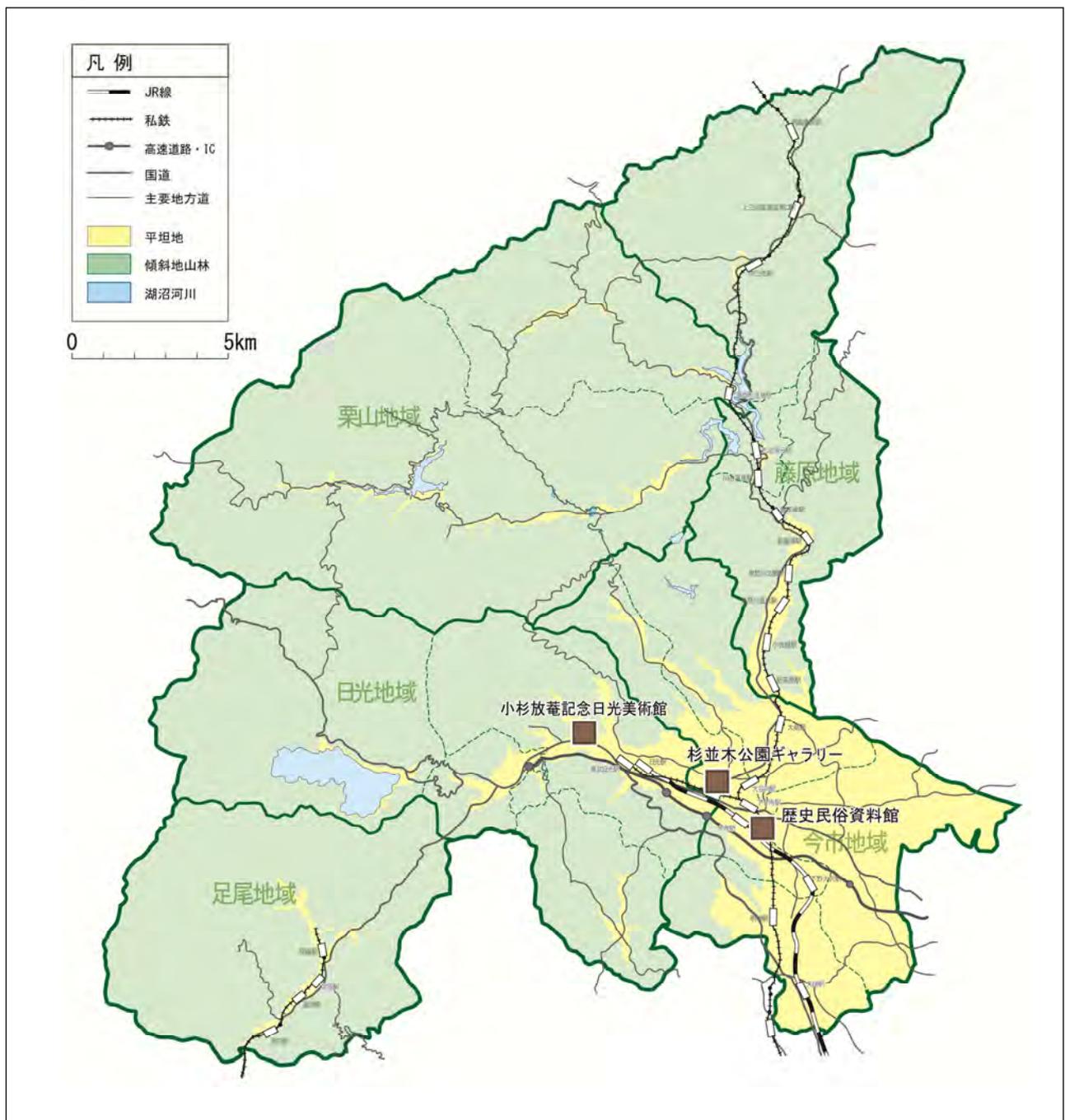
杉並木公園ギャラリーは、市民の文化活動の成果を展示・発表し、交流するための市民ギャラリーです。

小杉放菴記念日光美術館は、日光で唯一の「市立」美術館として、日光市出身の画家小杉放菴の画業を紹介するとともに、画家を育んだ近代日光における様々な文化的事象について、考察することを目標としています。

施設一覧

名称	住所	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	備考
1 歴史民俗資料館	中央町29番地1	720.5	昭和57	今市図書館と併設
2 杉並木公園ギャラリー	今市533番地5	233.4	平成7	東武上今市駅と併設
3 小杉放菴記念日光美術館	山内2388番地3	1,825.0	平成9	
合計	—	2,778.9	—	—

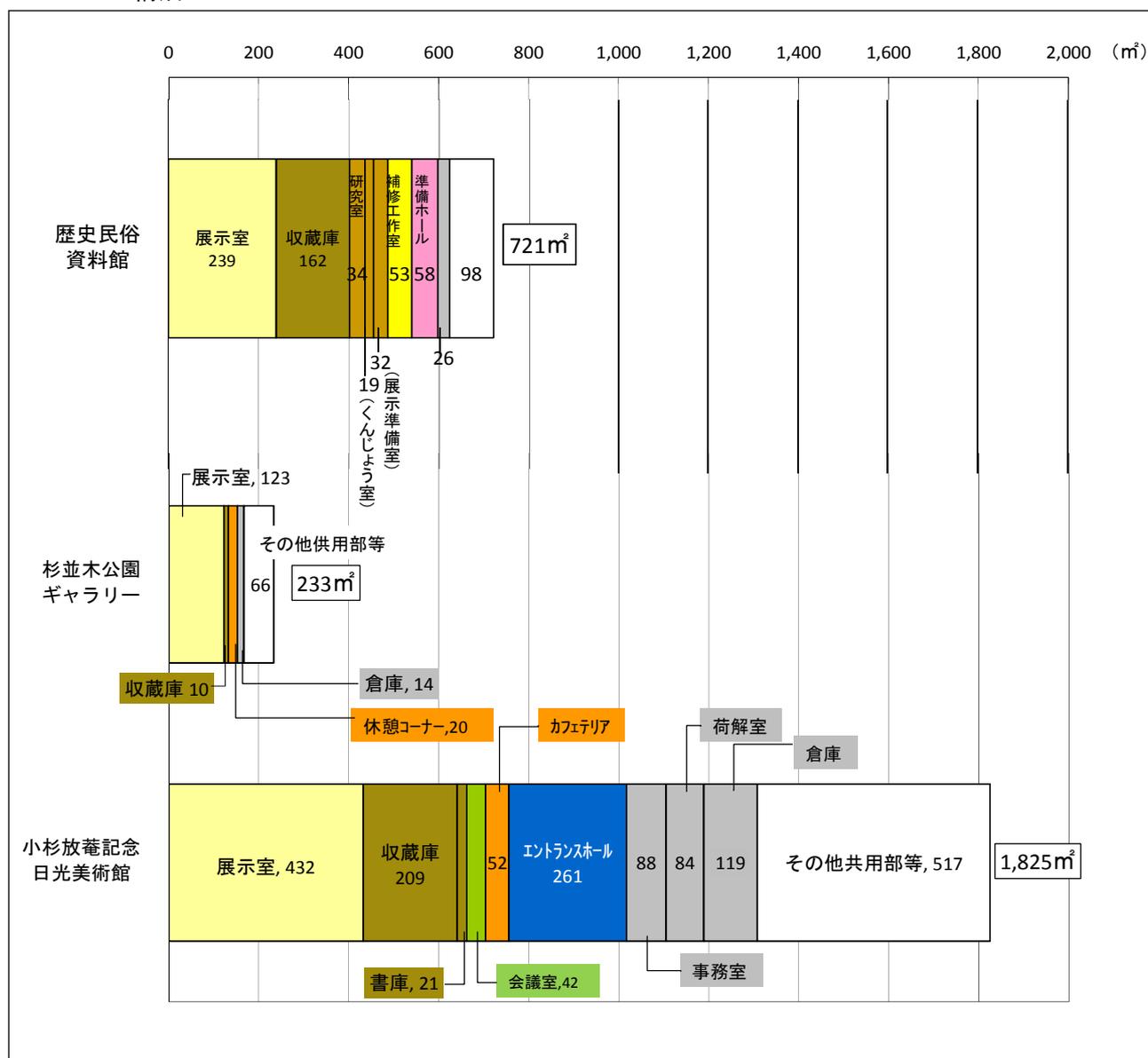
美術館等配置図



② スペース構成

美術館等3施設の規模は、歴史民俗資料館 721 m²、杉並木公園ギャラリー233 m²、小杉放菴記念日光美術館 1,825 m²となっています。

スペース構成



③ 建物総合評価の結果

平成22年度における美術館等3施設の建物総合評価を行いました。

※歴史民俗資料館の光熱水費については、今市図書館が一体となっていることから、把握することが難しい。

施設名	基本情報		①耐震化	②老朽化	③バリアフリー対応						④環境対応			⑤維持管理					
	建築年度	延床面積(㎡)	耐震改修	築年数	車いす用エレベータ※	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー・屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	光熱水費	建物管理委託費	小規模修繕費	光熱水費	建物管理委託費	小規模修繕費
歴史民俗資料館	昭和57	721	-	29	-	×	○	○	×	○	×	×	×	-	4,900	1,594	-	6,801	2,212
杉並木公園ギャラリー	平成7	233	-	16	-	○	-	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	-
小杉放菴記念日光美術館	平成9	1,825	-	14	○	○	○	○	○	×	×	×	-	-	2,478	-	-	-	1,358
合計		2,779											-	4,900	4,072	-	-	-	-

※1手すり・鏡・低い操作ボタン等
 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

記載例	実施済み=○
	未実施 = ×
	不要 ⇒ -

※維持管理費は、市が直接支出している費用

美術館等3施設のうち、歴史民俗資料館は、新耐震基準の建物ですが、老朽化がかなり進行しており、大規模改修等の老朽化対策が早急に必要施設となっています。(パターン③)

その他2施設は、比較的新しい施設ですが、バリアフリー対応や環境対応が一部完了していないため、計画的な改修等での対応が必要となっています。(パターン④)

評価	パターン③ 今後 老朽化	パターン④ バリアフリー・環境対応
	<p>・老朽化が進行している ⇒今後、老朽化対策の検討が必要な施設</p>	<p>・バリアフリー、環境対応が未完了 ⇒今後、バリアフリーや環境対応が完了していない部分の整備が望まれる施設</p>
該当施設	該当施設 建築年度 歴史民俗資料館 昭和57 < 1 施設 >	該当施設 建築年度 杉並木公園ギャラリー 平成7 小杉放菴記念日光美術館 平成9 < 2 施設 >
コメント	<p>・歴史民俗資料館は新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。</p>	<p>・比較的新しい施設ですが、バリアフリーや環境対応が完了していないため、計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望まれます。</p>

2) 施設状況

① 開館状況

平成22年度の美術館等3施設の開館日数及び開館時間は、次のとおりです。

開館時間・休館日

名称	開館時間	開館日数	休館日
歴史民俗資料館	午前9時～午後6時	262日	月曜日（月曜日が祝日にあたる場合は翌日も休館）、国民の祝日、年末年始（12月29日～1月3日）、展示替期間中
杉並木公園ギャラリー	午前10時～午後6時	359日	年末年始（12月29日～1月3日） 利用がない場合は、臨時休館する場合あり
小杉放菴記念日光美術館	午前9時30分～午後5時 （入館は午後4時30分）	283日	月曜日（※）、展示替期間中、館内メンテナンス期間中は休館

※祝日の場合は開館し、翌日が休館日となります。

② 利用方法（入館料等）

各施設の利用方法（入館料等）は、次のとおりです。

■歴史民俗資料館

入館料：無料

■杉並木公園ギャラリー

利用申込：利用希望日の6か月前にあたる月の初日から利用希望日の5日前までに窓口
へ利用申込書を提出

使用料金：利用料1日1,010円（予約時支払い）

※販売を目的にする場合や入場料を徴収する場合には上記使用料に1日7,000円を加算

■小杉放菴記念日光美術館

入場料：日光市民（一般300円、大学生・高校生200円、中学生以下無料）
市民以外（一般700円、大学生・高校生500円、中学生以下無料）

（平成23年度以降）

入場料：日光市民（一般300円、大学生200円、高校生以下無料）
市民以外（一般700円、大学生500円、高校生以下無料）

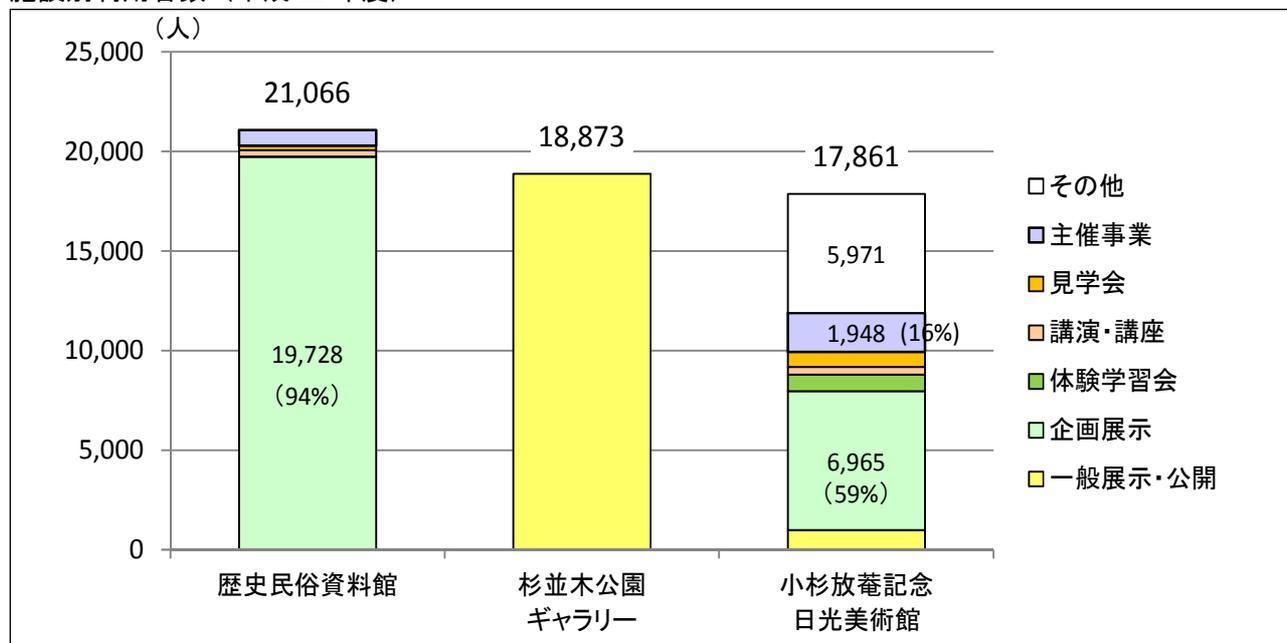
③ 利用状況

■ 利用者数

平成 22 年度の美術館等 3 施設の利用者数は、歴史民俗資料館が 21,066 人、杉並木公園ギャラリーが 18,873 人、小杉放菴記念日光美術館が 17,861 人となっています。

小杉放菴記念日光美術館や歴史民俗資料館では、企画展示の利用者が多くなっています。

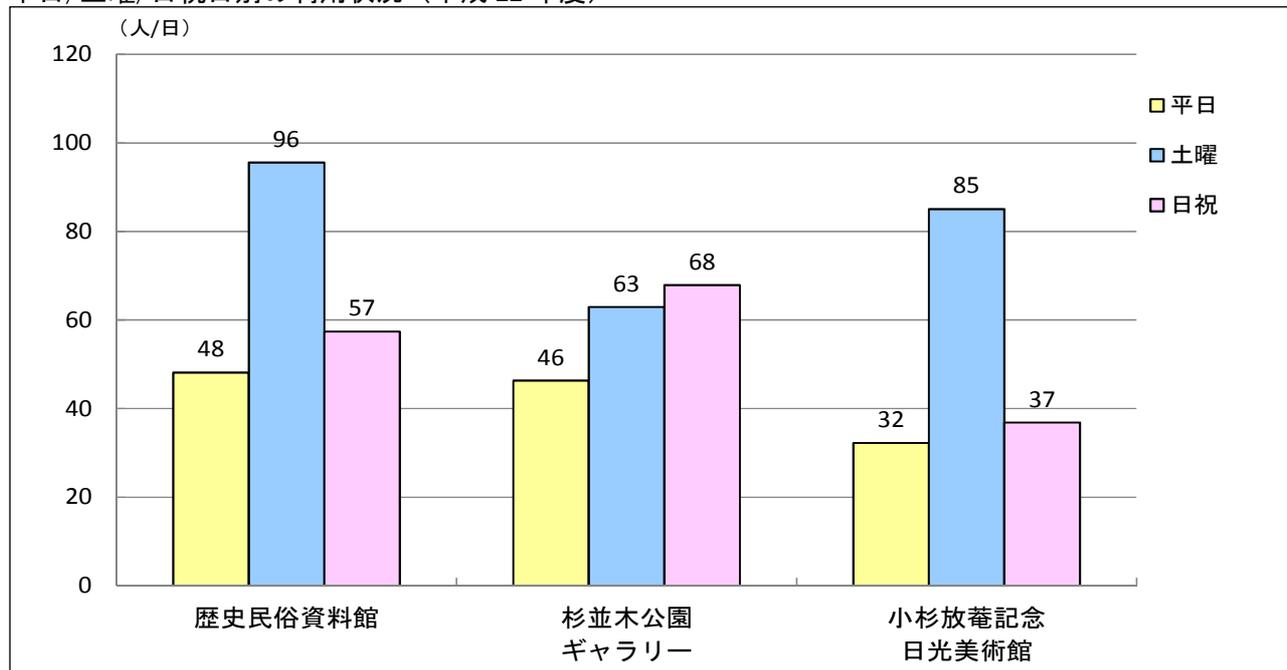
施設別利用者数（平成 22 年度）



■ 曜日別利用状況

平成 22 年度の美術館等 3 施設別の曜日別(平日/土/日祝日)の 1 日当たりの平均利用者数は、歴史民俗資料館は、土曜日の利用者が平日・日祝日の約 1.8 倍、杉並木公園ギャラリーは、土曜・日祝日の利用者が平日の約 1.4 倍、小杉放菴記念日光美術館は、土曜日の利用者が平日・日祝日の約 2.5 倍となっています。

平日/土曜/日祝日別の利用状況（平成 22 年度）



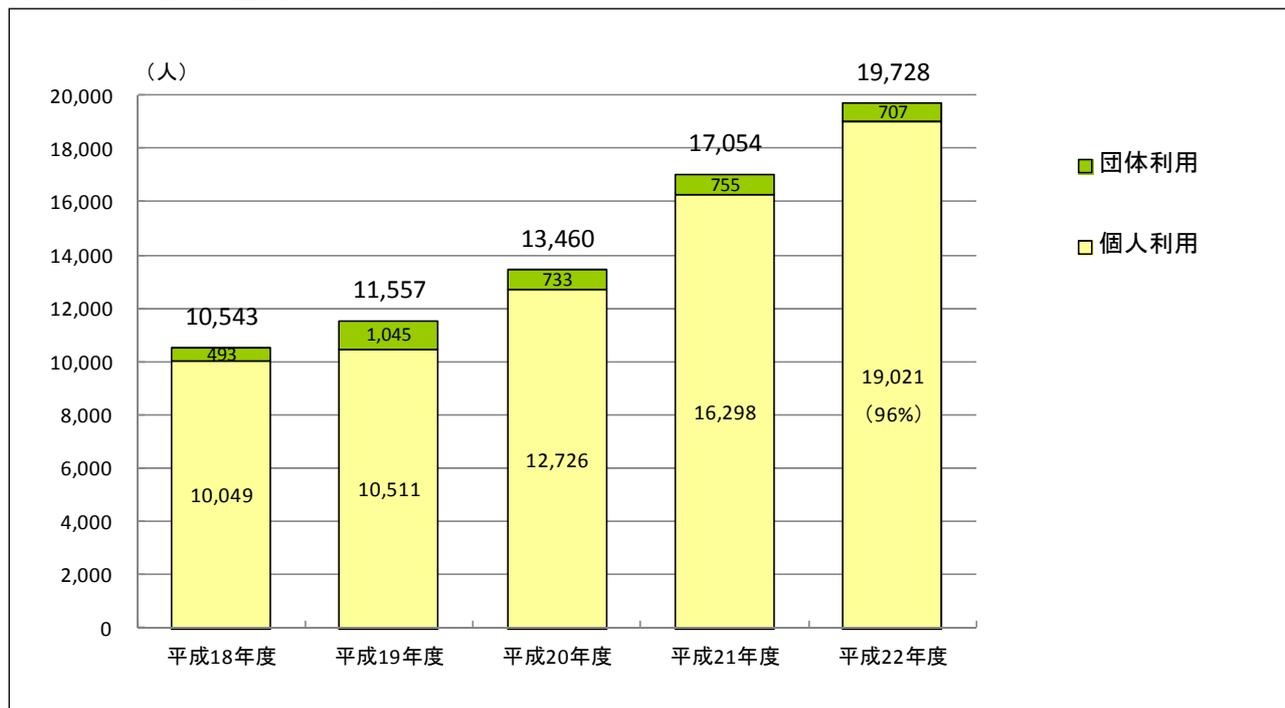
④ 施設別の利用状況

■ 歴史民俗資料館

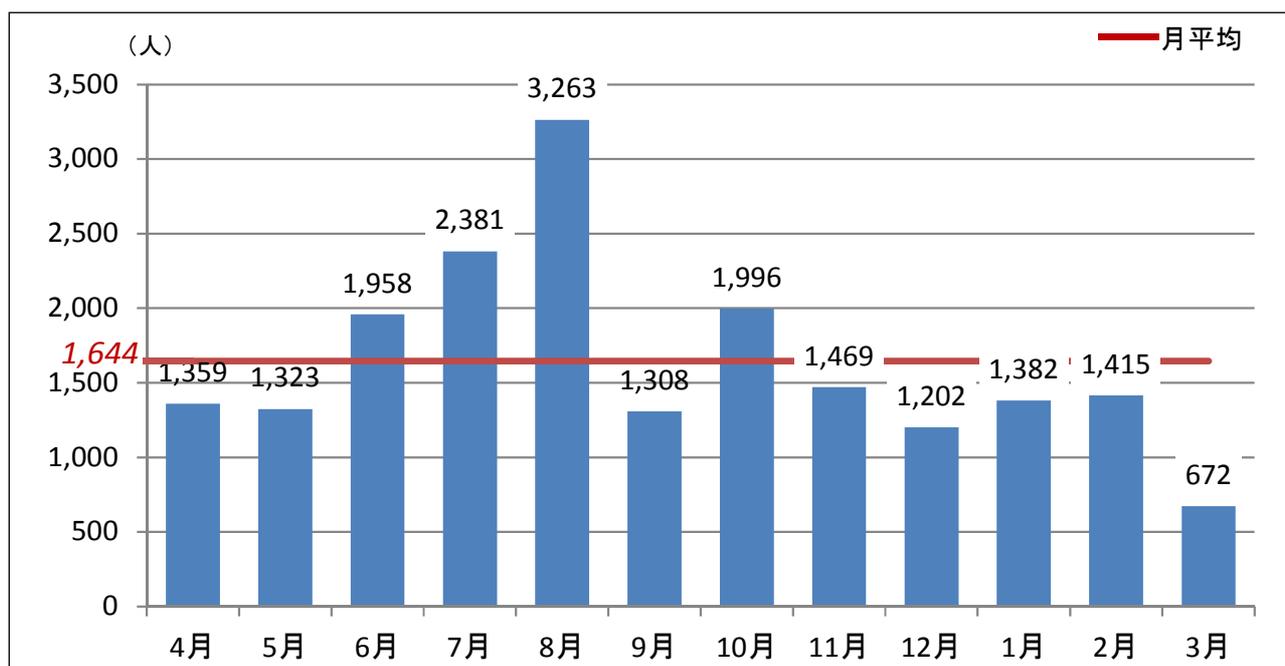
歴史民俗資料館は、平成18年度の10,543人から平成22年度の19,728人と、約1.9倍に増加していることが分かります。また、平成22年度の利用者割合では、個人利用の割合が全体の約96%を占めています。

平成22年度の月別利用者数では、672人～3,263人と月により差がみられますが、夏休み期間中（8月）の利用が特に多くなっています。ひと月当たり平均では、1,644人となります。

利用者数の推移【歴史民俗資料館】



月別利用状況（平成22年度）



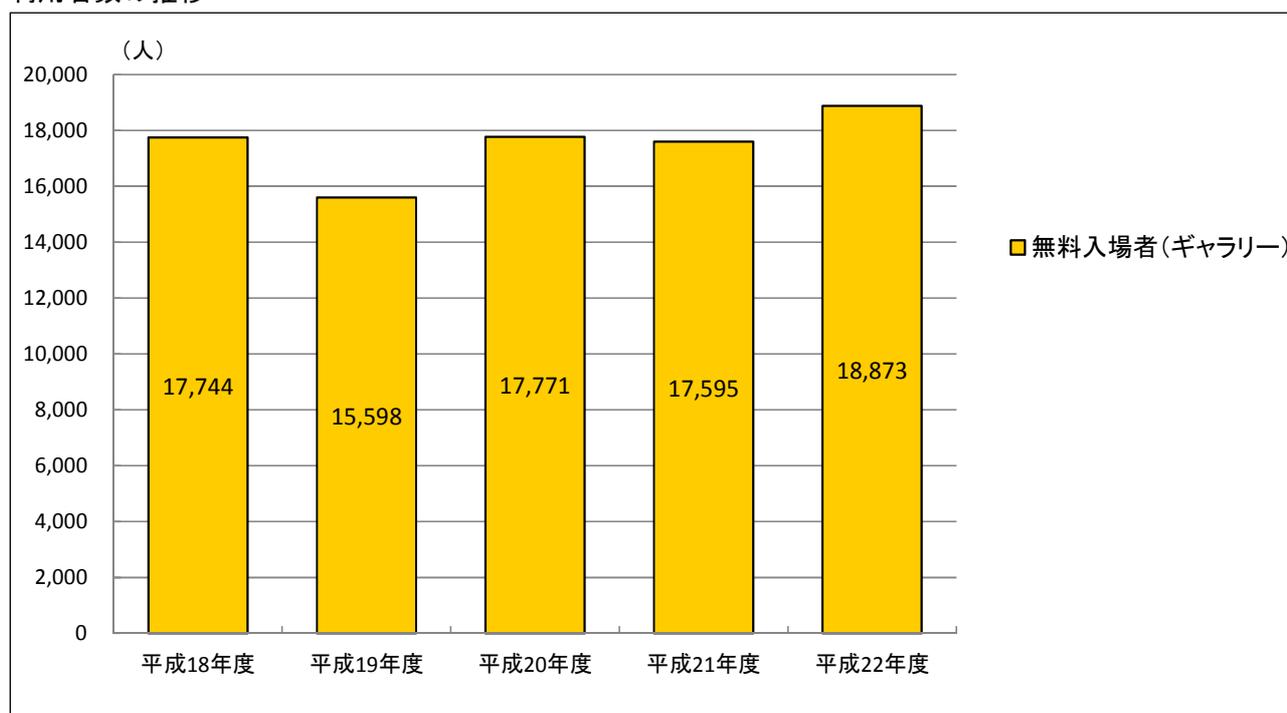
(資料：平成22年度生涯学習事業実績報告書)

■ 杉並木公園ギャラリー

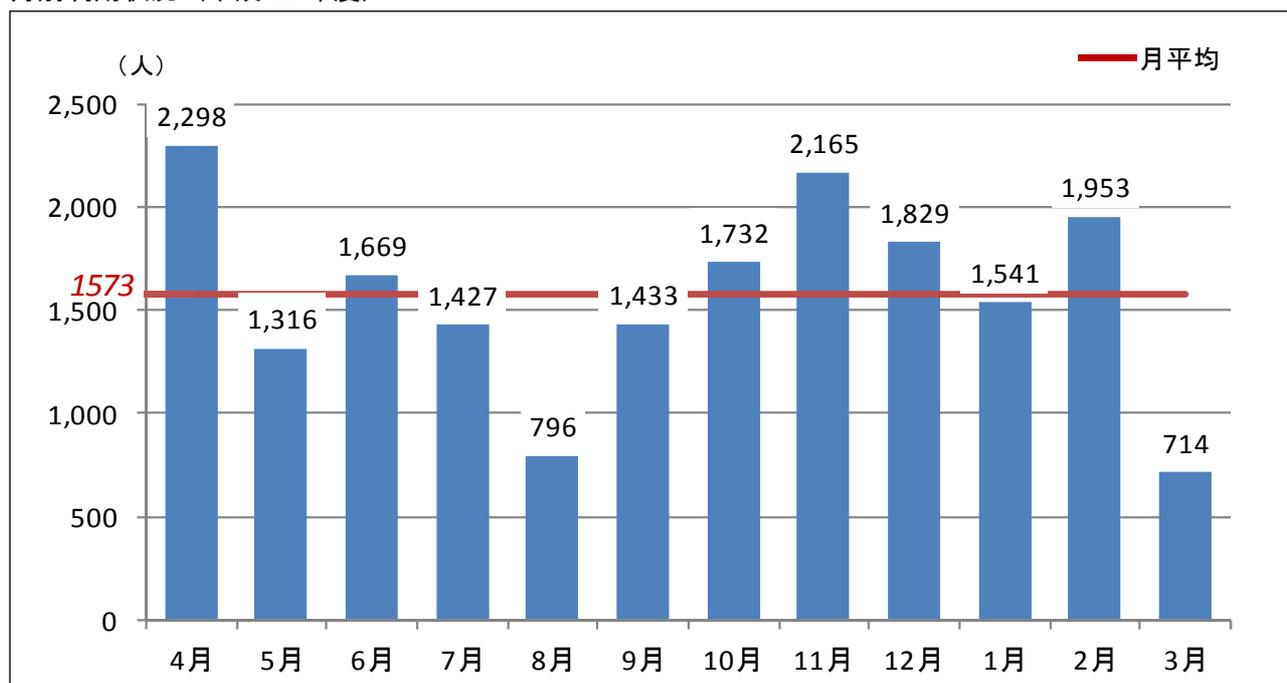
杉並木公園ギャラリーは、平成 18 年度の 17,744 人から平成 22 年度の 18,873 人まで、ほぼ横ばいで推移しています。

また、平成 22 年度の月別利用者数では、714 人～2,298 人と月により差がみられます。ひと月当たり平均では、1,573 人となります。

利用者数の推移

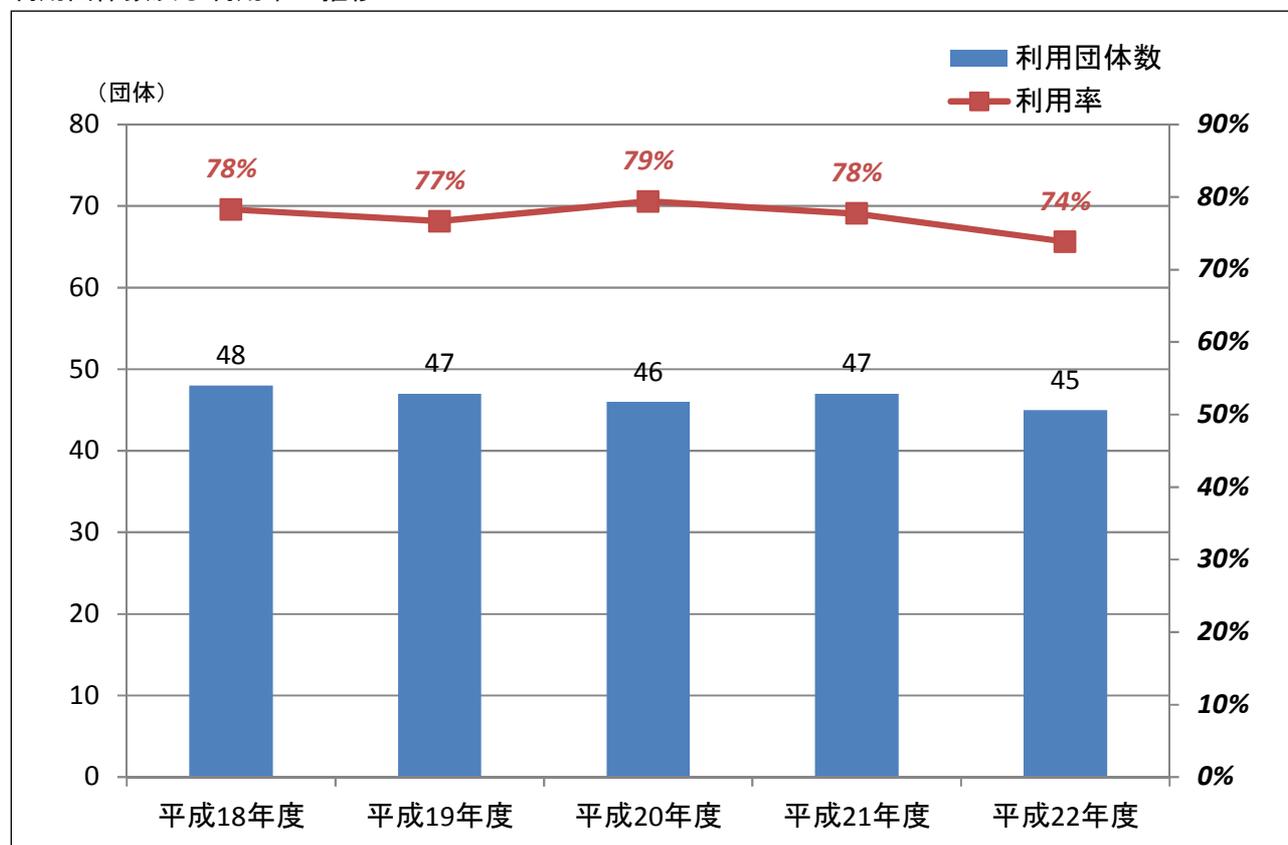


月別利用状況 (平成 22 年度)



また、利用団体数及び利用率をみると、利用団体数は、平成18年度の48団体から平成22年度の45団体、利用率は、平成18年度の約78%から平成22年度の約74%まで、ほぼ横ばいで推移しています。

利用団体数及び利用率の推移



(資料：平成22年度指定管理事業報告書)

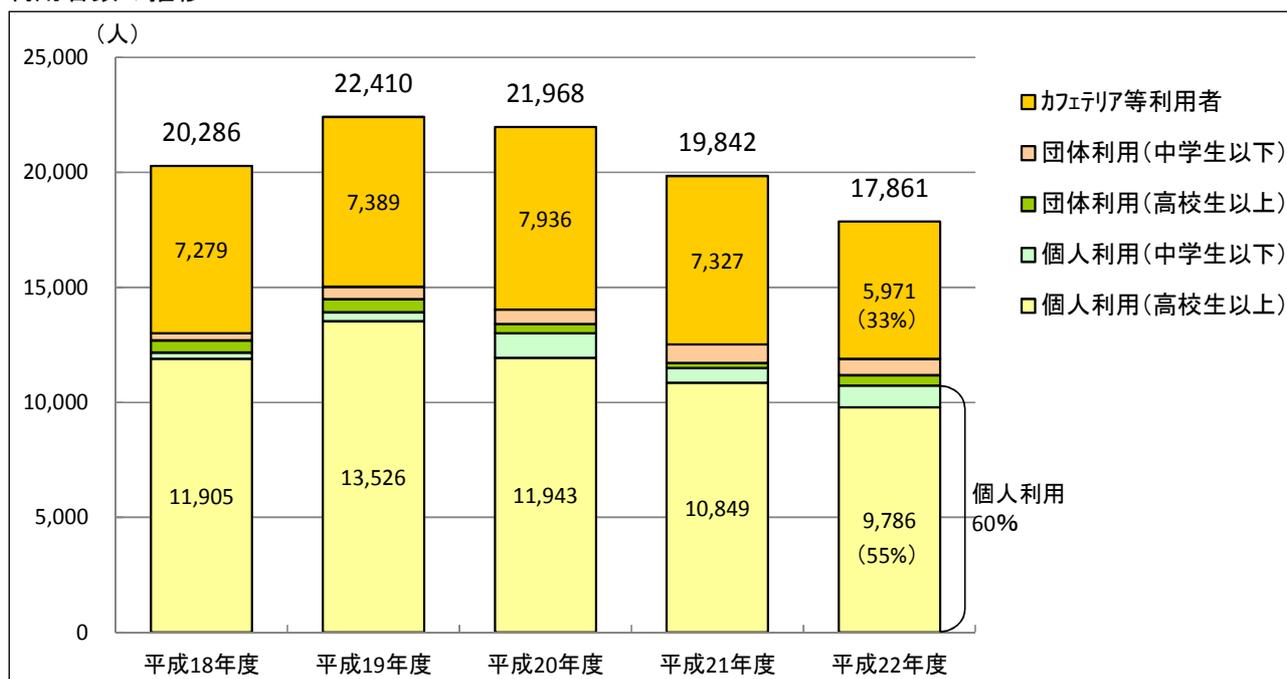
※利用率＝利用日数/開館日数

■ 小杉放菴記念日光美術館

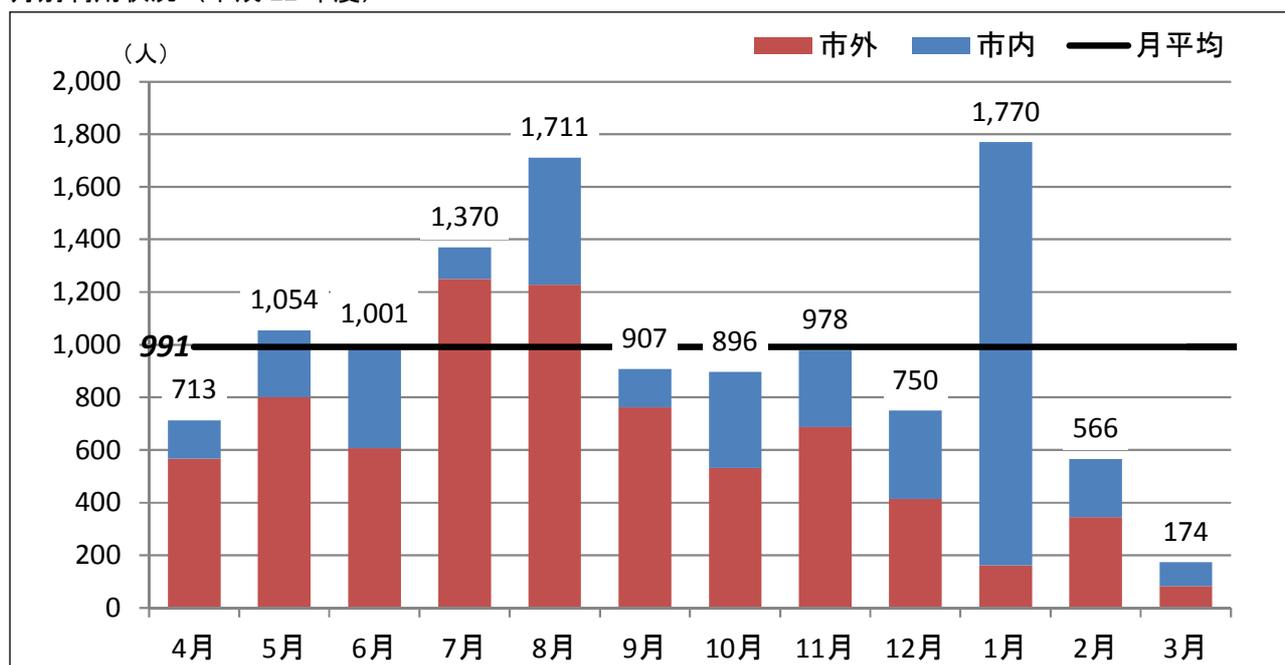
小杉放菴記念日光美術館は、平成19年度の22,410人から平成22年度の17,861人と、約20%減少していることがわかります。また、平成22年度の利用者割合では、個人利用の割合が約60%と過半を占めており、カフェテリア等の無料施設の利用者が約33%、団体利用者は約7%となっています。

また、平成22年度の月別利用者数では、566人～1,770人と月により差がみられます。年間を通して市外の利用者が、6割程度と多く、1月は毎年3ヶ日特別開館を実施しているため市内の利用が多くなっています。(3月は東日本大震災の影響で12日以降臨時休館)

利用者数の推移



月別利用状況 (平成22年度)



(資料：平成22年度指定管理事業報告書)

⑤ 管理運営の状況

平成 22 年度の美術館等 3 施設の管理運営は、杉並木公園ギャラリーと小杉放菴記念日光美術館は指定管理者による管理運営を行っており、歴史民俗資料館は直営施設となっています。

施設別の運営人員は、杉並木公園ギャラリーは受付・貸出等管理業務に 2 人、小杉放菴記念日光美術館は管理運営や事務・庶務、ショップ・カフェの運営補助等に学芸員も含めて 12 人、歴史民俗資料館は施設の維持管理や収集・保存活動に一般職員が 3 人従事しています。

運営方式

名称	指定管理者	直営
歴史民俗資料館	—	○
杉並木公園ギャラリー	(財)日光市公共施設振興公社	—
小杉放菴記念日光美術館	(財)小杉放菴記念日光美術館	—

運営人員 (平成 22 年度)

		歴史民俗資料館	杉並木公園 ギャラリー	小杉放菴記念 日光美術館	(人)
・施設維持管理 ・主催事業の企画・開催 ・施設の利用に関する受付・案内	市	一般職員	3.0	-	-
	指定管理	一般職員	-	1.0	3.0
		一般職員(学芸員)	-	0.0	3.0
		臨時職員	-	1.0	6.0
	計		3.0	2.0	12.0

運営体制 (平成 22 年度)

	9:00	18:00
歴史民俗資料館 運営体制 1日当たり 3人	一般職員 3人	
	10:00	18:00
杉並木公園ギャラリー 運営体制 1日当たり 2人	指定管理職員 2人	
	9:30	17:00
小杉放菴記念日光美術館 運営体制 1日当たり 12人	指定管理職員 12人	

3) コスト状況

① 施設別のトータルコスト

平成22年度の美術館等3施設の施設別トータルコストは、次のとおりです。

歴史民俗資料館の年間トータルコストは、4,322万円です。内訳は、施設にかかるコストが694万円（16%）、事業運営にかかるコストが3,052万円（71%）、減価償却相当額が576万円となっています。特に人件費が全体の57%を占めています。

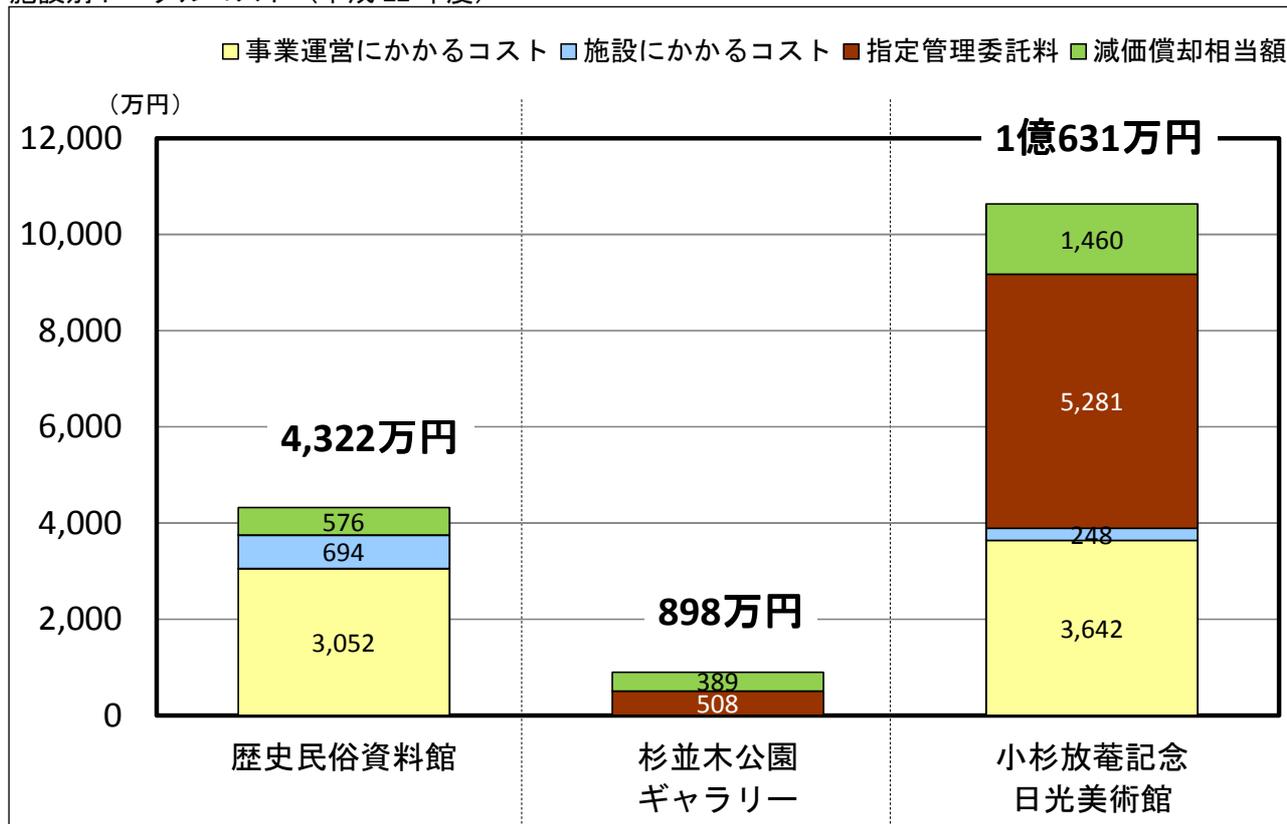
杉並木公園ギャラリーの年間トータルコストは、898万円です。内訳は、指定管理料が508万円（57%）、減価償却相当額が389万円となっています。

小杉放菴記念日光美術館の年間トータルコストは、1億631万円です。内訳は、指定管理料が5,281万円（50%）、施設にかかるコストが248万円（2%）、事業運営にかかるコストが3,642万円（34%）、減価償却相当額が1,460万円となっています。

施設別行政コスト計算書（平成22年度）

I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		歴史民俗資料館	杉並木公園ギャラリー	小杉放菴記念日光美術館	(千円)	
施設にかかるコスト	修繕費	1,594	0	2,478		
	改修費	446	0	0		
	委託費	4,900	0	0		
	施設にかかるコスト	6,940	0	2,478		
事業運営にかかるコスト	一般職員人件費	24,767	0	16,511		
	委託費	481	0	0		
	使用料及び賃借料	842	0	0		
	備品購入費	129	0	0		
	負担金補助及び交付金	37	0	9,366		
	その他物件費	772	11	516		
	事務・庶務 小計	27,028	11	26,393		
	保存・収集等	委託費	875	0	460	
	使用料及び賃借料	32	0	0		
	備品購入費	791	0	9,570		
その他物件費	1,288	0	0			
保存・収集等 小計	2,986	0	10,030			
企画	その他物件費	505	0	0		
企画展示事業 小計	505	0	0			
事業運営にかかるコスト	30,519	11	36,423			
指定管理料	0	5,077	52,811			
現金収支を伴うコスト 計	37,459	5,088	91,712			
【収入の部】						
収入	使用料収入	0	286	0		
	諸収入	111	0	0		
収入の合計	111	286	0			
II. 現金収支を伴わないもの						
コスト	減価償却相当額	5,764	3,890	14,600		
III. 総括						
コストの部合計(トータルコスト)	43,223	8,978	106,312			
収支差額(ネットコスト)	43,112	8,692	106,312			

施設別トータルコスト（平成 22 年度）

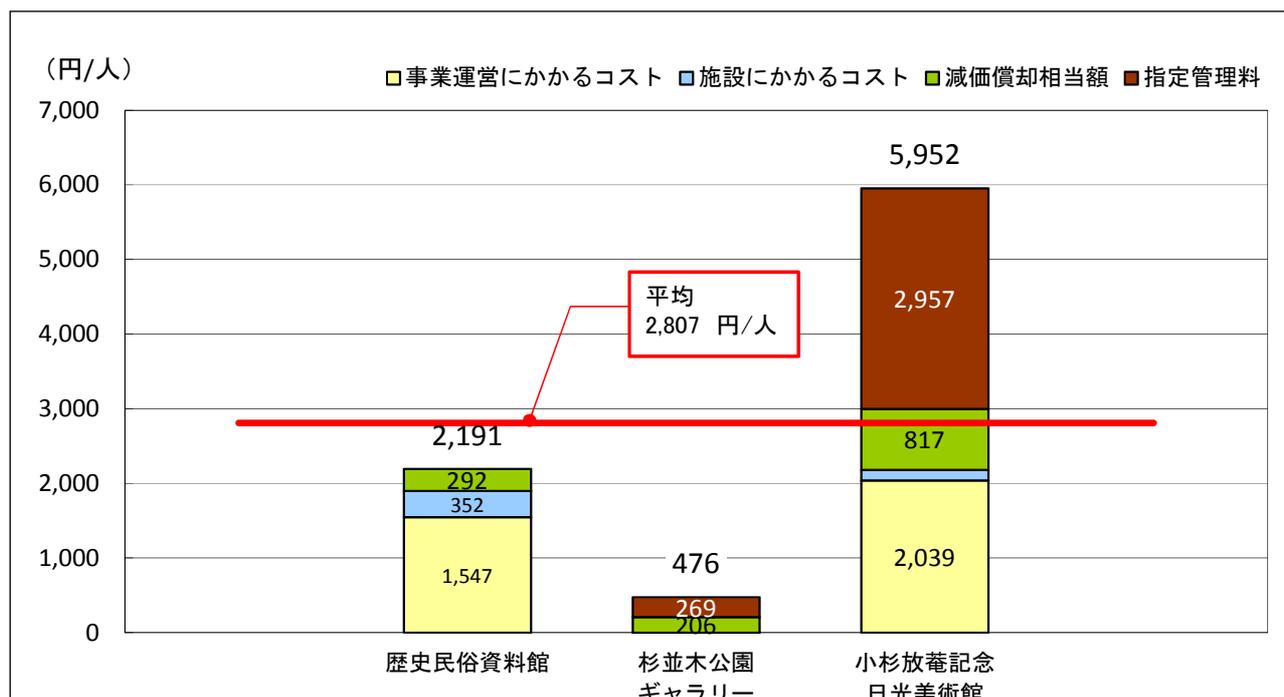


② 利用者当たりのコストと床面積当たりのコスト

■ 利用者 1 人当たりのコスト

平成 22 年度の年間利用者数とトータルコストから利用者 1 人当たりにかかるコストを算出すると、歴史民俗資料館が 2,191 円/人、杉並木公園ギャラリーが 476 円/人、小杉放菴記念日光美術館が 5,952 円/人となっています。

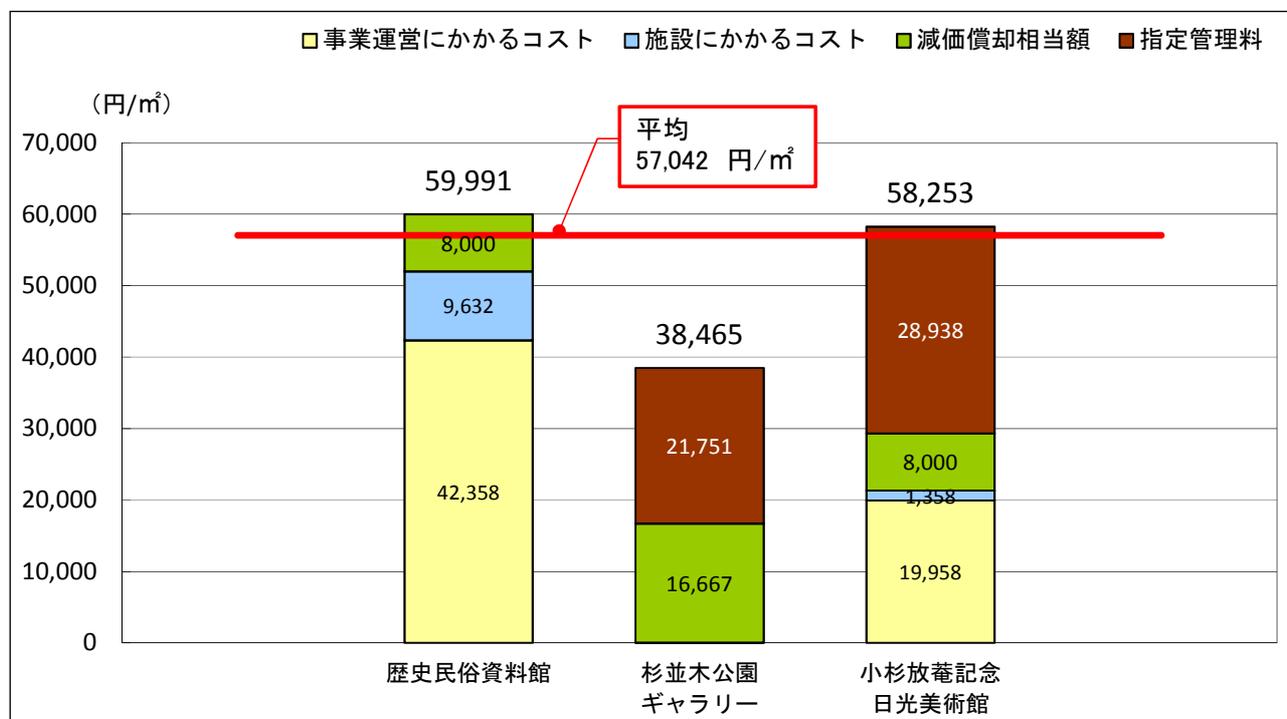
施設別 利用者 1 人当たりコスト



■ 床面積（1㎡）当たりのコスト

延床面積とトータルコストから単位床面積当たりにかかるコストを算出すると、歴史民俗資料館が59,991円/㎡、杉並木公園ギャラリーが38,465円/㎡、小杉放菴記念日光美術館が58,253円/㎡となっています。

施設別 単位床面積当たりコスト



4) 今後の検討の視点

- 建物の耐震性、老朽化の面では、美術館等3施設のうち、歴史民俗資料館は新耐震基準の建物ですが、築後30年近く経過しており、今後、大規模改修等を検討する必要があります。
- 歴史民俗資料館は、郷土の歴史、民俗等の資料を保護活用する施設として、直近5年間では特に個人の来館者が約2倍増加していますが、管理経費の6割近くを人件費が占めていることから、効果的な事業運営を進めていく必要があります。
- 杉並木公園ギャラリーの利用率は7割を超え、利用者数の推移は、ほぼ横ばいの状態です。今後、入場者が利用しやすいよう、バリアフリー化などに特に力を入れる必要があります。
- 小杉放菴記念日光美術館は、個人利用が約60%、団体利用が約7%となっています。また、土曜日の来館者数が平日の約2.6倍と多くなっていますが、日曜・祝日の来館者数は平日と同程度です。利用者1人当たりのコストも高くなっていることから、管理経費の削減に加え、企画展等の工夫等により日曜・祝日の来館者数と、秋以降の来館者数の増加に努めていく必要があります。

(4) 産業系施設

1) 施設概要

① 施設一覧

市では、農林業の振興や地域間の交流などを図るため、今市地域に農村環境改善センター、日光地域に小来川林業研修センターとふれあいの郷小来川、栗山地域に日蔭農村広場・湯西川農村広場・湯西川農産物処理加工実習施設・栗山林業振興会館と産業系施設を7施設保有しています。

なお、農村環境改善センターが、主に市内全域を対象とした広域利用を目的としているのに対し、その他の施設は、地域限定利用施設となっています。

また、小来川林業研修センターでは、施設の一部を用途変更し、たんぼぼ広場（子育て支援施設）としても利用しています。

(設置目的)

<農村環境改善センター>

設置目的：農業の振興、農村社会の活性化及び農村地域住民の健康増進と連帯感の醸成を図る。

<小来川林業研修センター>

設置目的：木材の有効利用の試験研究と、地域住民の連帯意識の醸成を図る。

<日蔭・湯西川農村広場>

設置目的：地域住民と都市住民との交流を推進し、農業の普及振興と活力ある地域社会の形成を図る。

<湯西川農産物処理加工実習施設>

設置目的：農村と都市住民の相互理解を深めるとともに、農業の重要性及び農村の役割を学び都市と農村の交流の場を提供し、地域における農林業の振興と、地域の活性化を図る。

<栗山林業振興会館>

設置目的：林業経営の基盤及び技術の開発普及並びに所得の向上を図るため、森林の総合的利用を推進し、地域林業の振興と農林家の定住促進を図る。

<ふれあいの郷小来川>

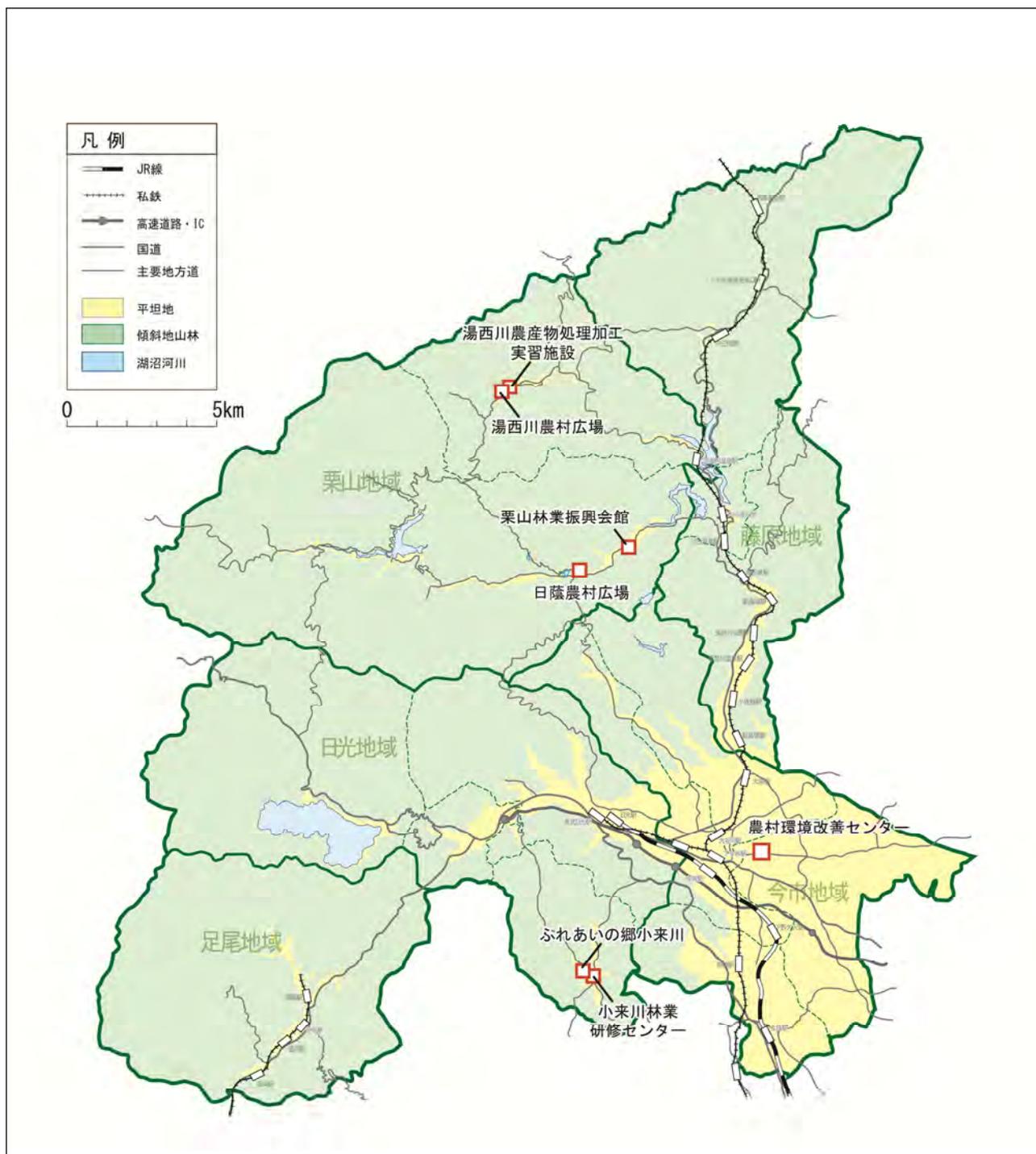
設置目的：農村と都市の交流を基に地域の活性化を推進することを図る。

(資料：日光市条例)

施設一覧

名称	住所	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	併設施設	備考
				児童クラブ	
1 農村環境改善センター	大室991番地	1,357.9	昭和55		
2 小来川林業研修センター	中小来川2667番地1	274.0	平成3	●	H23年度より一部、たんぼぼ広場として利用。
3 日蔭農村広場	日蔭25番地1	132.0	平成17		農産物生産施設 (ビニールハウス25棟)は除く
4 湯西川農村広場	湯西川1540番地	165.0	平成20		農産物生産施設 (ビニールハウス25棟)は除く
5 湯西川農産物処理加工実習施設	湯西川1156番地	142.0	昭和60		
6 栗山林業振興会館	日向1459番地	219.0	平成7		
7 ふれあいの郷小来川	中小来川2735番地2	251.1	平成16		
合計	-	2,541.0	-	-	-

産業系施設配置図

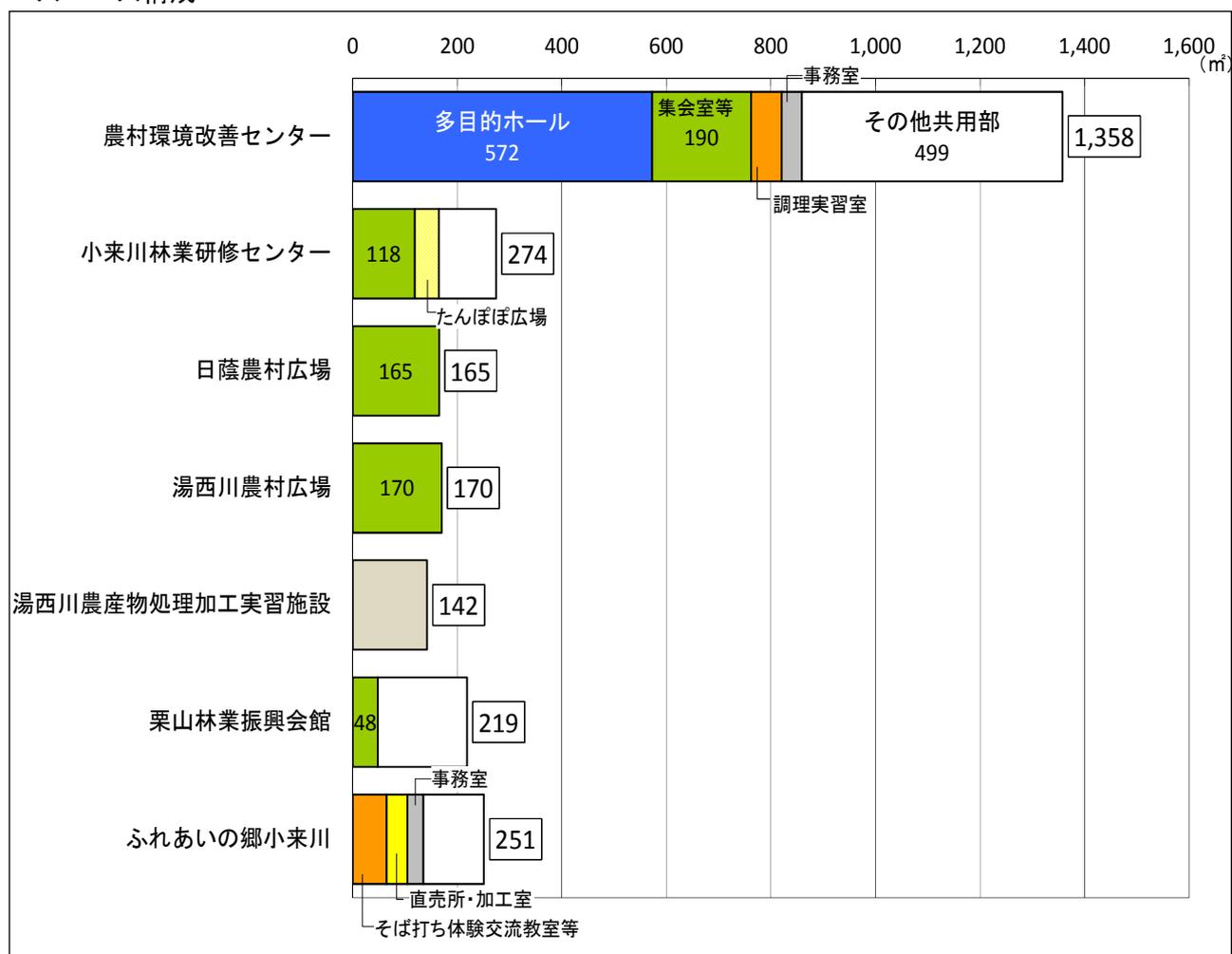


② スペース構成

産業系7施設の規模は、湯西川農産物処理加工実習施設の142㎡～農村環境改善センターの1,358㎡となっています。主な保有スペースは、会議・集会機能としての多目的ホール・集会室・会議室・和室、調理室等です。

また、農村環境改善センターは、572㎡の多目的ホールといったホール機能と多目的広場を保有しています。その他に、日蔭・湯西川農村広場には、農産物生産施設としてビニールハウス25棟（日蔭3,890㎡、湯西川3,490㎡）を保有しています。

スペース構成



③ 建物総合評価の結果

平成22年度における産業系7施設の建物総合評価を行いました。

施設名	基本情報		① 耐震化	② 老朽化	③ バリアフリー対応							④ 環境対応			⑤ 維持管理					
	建築年度	延床面積 (㎡)	耐震改修	築年数	※1 車いす用エレベータ	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	光熱水費	建物管理委託費	小規模修繕費	光熱水費	建物管理委託費	小規模修繕費
農村環境改善センター	昭和55	1,358	未実施	31	×	○	○	×	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	-
小来川林業研修センター	平成3	274	-	20	×	×	○	×	×	×	×	×	×	-	200	185	-	730	675	
日蔭農村広場	平成17	132	-	6	-	×	×	×	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	
湯西川農村広場	平成20	165	-	3	-	×	×	×	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	
湯西川農産物処理加工実習施設	昭和60	142	-	26	-	×	×	×	×	×	×	×	×	296	84	740	2,087	592	5,213	
栗山林業振興会館	平成7	219	-	16	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	
ふれあいの郷小来川	平成16	251	-	7	-	○	-	×	○	×	×	○	×	-	432	-	-	1,721	-	
合計		2,541												296	716	925	-	-	-	

※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等
 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

記載例	実施済み=○
	未実施 = ×
	不要 ⇒ -

※維持管理費は、市が直接支出している費用

産業系7施設のうち、農村環境改善センターは、旧耐震基準の建物であり、耐震安全性が確保されていないことから、早急な耐震化と老朽化対策が必要です。(パターン①)

湯西川農産物処理加工実習施設及び小来川林業研修センターは、新耐震基準の建物ですが、築20年を超えていることから、今後、老朽化対策の検討が必要となっています。(パターン③)

日蔭農村広場をはじめ4施設は、新しい施設ですが、一部バリアフリー対応及び環境対応が完了していないため、計画的な改修等での対応が必要となっています。(パターン④)

評価	パターン① 耐震性 老朽化	パターン③ 今後 老朽化	パターン④ バリアフリー・環境対応
評価	<p>・耐震安全性が確保されていない ・さらに、老朽化が進行している ⇒早急な耐震安全性の確保とともに、老朽化対策も必要な施設</p>	<p>・老朽化が進行している ⇒今後、老朽化対策の検討が必要な施設</p>	<p>・バリアフリー、環境対応が未完了 ⇒今後、バリアフリーや環境対応が完了していない部分の整備が望まれる施設</p>
該当施設	<p>該当施設 建築年度 農村環境改善センター 昭和55</p> <p>< 1 施設 ></p>	<p>該当施設 建築年度 小来川林業研修センター 平成3 湯西川農産物処理加工実習施設 昭和60</p> <p>< 2 施設 ></p>	<p>該当施設 建築年度 日蔭農村広場 平成17 湯西川農村広場 平成20 栗山林業振興会館 平成7 ふれあいの郷小来川 平成16</p> <p>< 4 施設 ></p>
コメント	<p>・農村環境改善センターは、旧耐震基準の建物で、特に築年も古く、早急な耐震化と老朽化対策が必要です。</p>	<p>・湯西川農産物処理加工実習施設は、新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。</p>	<p>・いずれも比較的新しい施設ですが、バリアフリーや環境対応が完了していないため、計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望まれます。</p>

2) 施設状況

① 開館状況

産業系7施設は、それぞれ運営形態が異なり、運営時間や施設の使用料等は、次のとおりとなっています。

なお、栗山林業振興会館は、現在貸出は行っていません。

運営時間等

名 称	開館時間	休館日
	施設名	料金
農村環境改善センター	午前8時30分～午後9時30分 (利用区分：日中・夜間)	月曜日(※) 年末年始(12月29日～1月3日)
	多目的ホール、会議室、和室、調理室、多目的広場	無料(市内の農業従事者及び農村地域在住者)
小来川林業研修センター	午前9時～午後9時 (利用区分：午前・午後・夜間)	月曜日(※) 年末年始(12月29日～1月3日)
	会議・集会施設	無料
日蔭・湯西川農村広場	特に定めていない	特に定めていない
	農産物施設、集会施設(ふれあい館)	農産物施設 1日：2,000円、 ふれあい館 1日：500円
湯西川農産物処理加工実習施設	午前9時～午後5時	特に定めていない
	農産物処理加工実習	1人(1時間)：200円
栗山林業振興会館	午前9時～午後9時	土曜日・日曜日・祝日 年末年始(12月29日～1月3日)
	会議室、和室	会議室、和室：500円(12月1日から翌年3月31日までは、600円)
ふれあいの郷小来川	午前8時30分～午後5時	特に定めていない
	交流館(交流室・直売所)、市民農園	交流館(交流室・直売所)：無料 市民農園：1区画(1年)10,000円

※祝日の場合は開館し、翌日が休館日となります。

② 利用状況

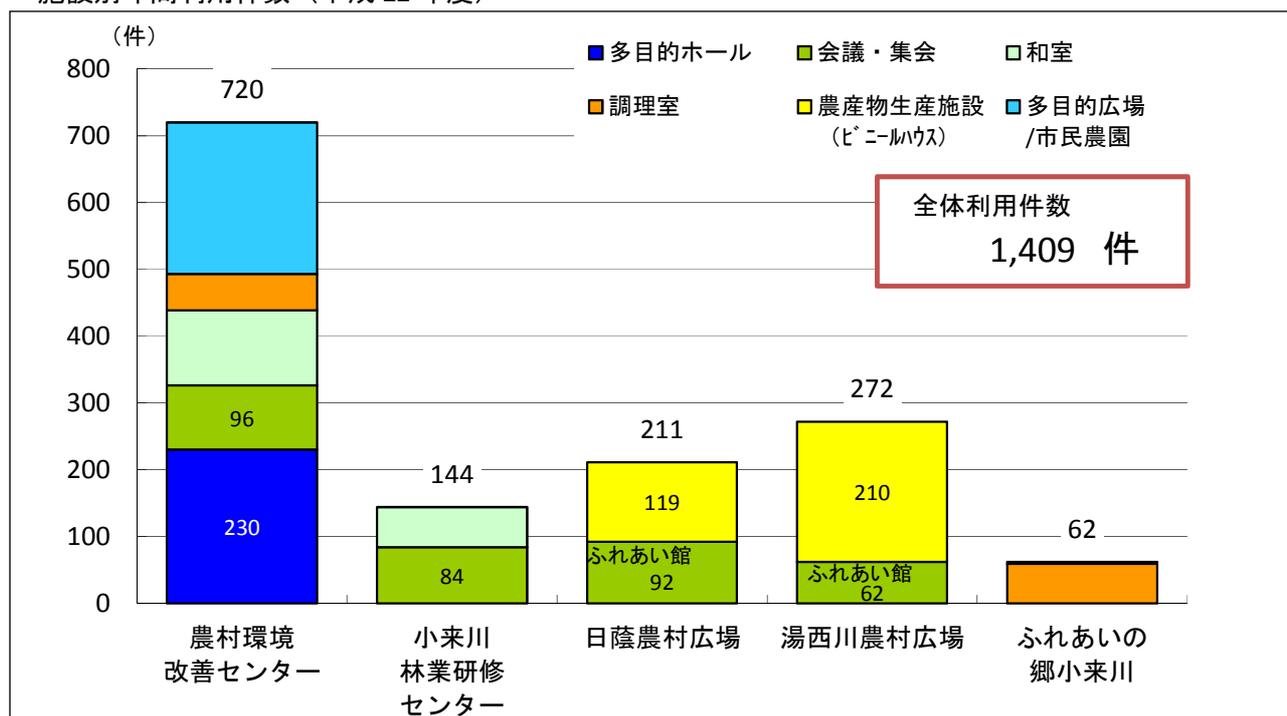
平成 22 年度の産業系 5 施設の全体利用件数は、1,409 件、利用者数は 23,234 人です。

施設別の利用件数は、ふれあいの郷小来川の 62 件から農村環境改善センターの 720 件となっています。また、施設別の利用者数は、日蔭農村広場の 1,266 人から農村環境改善センターの 14,855 人となっています。農村環境改善センターは、多目的ホールを体育室として卓球等で利用するなど、その他の諸室も含めて多くの地域住民に利用されています。

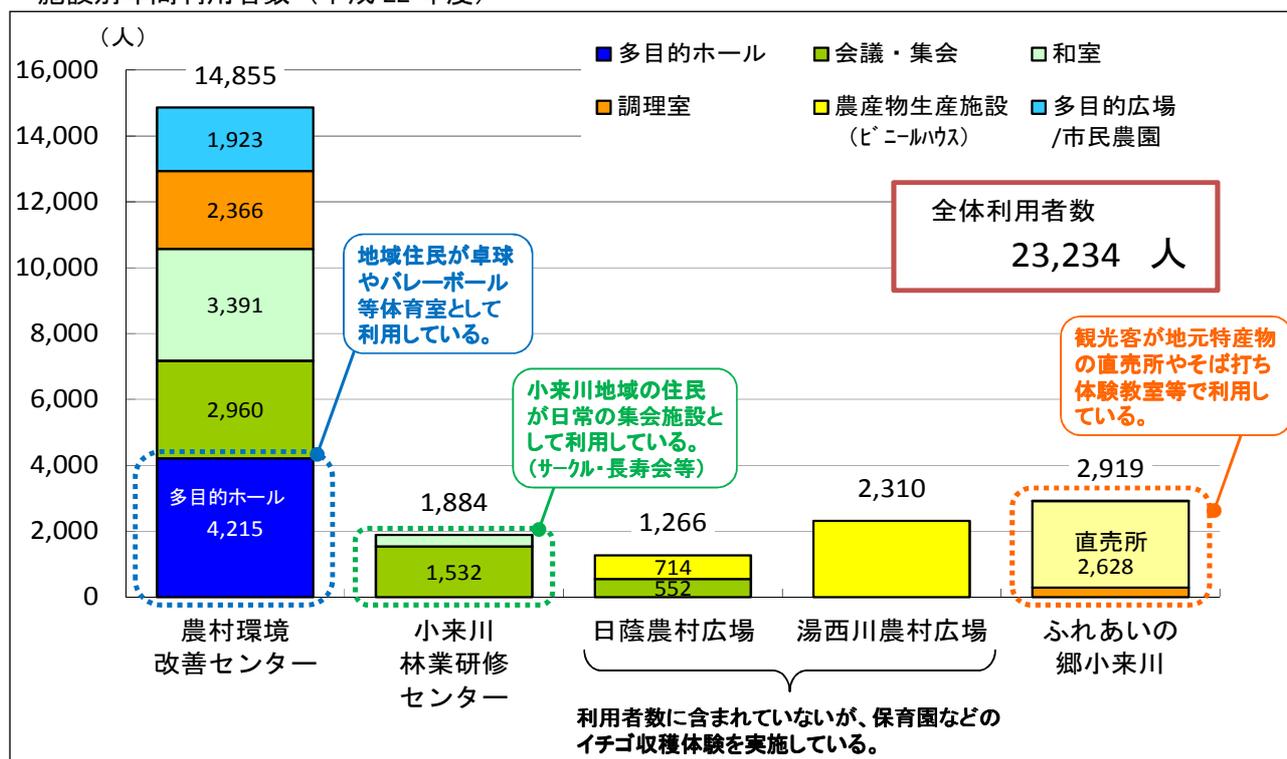
※湯西川農産物処理加工実習施設は、利用状況を把握していないため集計から除きます。

※栗山林業振興会館については、現在貸出を行っていないため集計から除きます。

施設別年間利用件数（平成 22 年度）



施設別年間利用者数（平成 22 年度）



③ 管理運営の状況

平成22年度の産業系7施設の管理運営は、農村環境改善センターが指定管理者による管理運営で、他の6施設は、市の直営施設ですが、施設の維持管理等を日光森林組合等に委託しています。

運営人員では、農村環境改善センターは、日光市土地改良区の職員4人（土曜日は1人）が常駐し、土地改良区の仕事のほか、施設の管理運営を行っています。小来川林業研修センターでは、施設に職員は在駐しておらず小来川支所職員が受付を行っています。日蔭・湯西川農村広場及び湯西川農産物処理加工実習施設は、施設を利用している人が組合を組織し、施設を管理しています。また、ふれあいの郷小来川は、日光森林組合が地域の事務所として利用し施設を管理していますが、運営は、地域住民で組織する、ふれあいの郷管理運営組合が行っています。

なお、現在貸し館業務を行っていない栗山林業振興会館は、日光森林組合が地域の事務所として利用しています。

運営形態（平成22年度）

	直営	指定管理者	委託(施設管理のみ)
農村環境改善センター		日光市土地改良区	
小来川林業研修センター	●		小来川林業振興会
日蔭農村広場農産物生産施設	●		生産組合
湯西川農村広場農産物生産施設	●		生産組合
湯西川農産物処理加工実習施設	●		生産組合
栗山林業振興会館	●		※日光森林組合
ふれあいの郷小来川	●		※日光森林組合 (運営はふれあいの郷管理運営組合)

※森林組合が事務所として利用

運営体制（平成22年度）

農村環境改善センター 運営体制		小来川林業研修センター 運営体制	
	8:30	17:15	21:30
平日	指定管理(日光土地改良区) 4人	※夜間の申請がある時のみ シルバー人材センター1人	
土曜日	指定管理(日光土地改良区) 1人	シルバー人材センター1人	
日曜日	8:30	17:15	21:30
	シルバー人材センター 1人(3人交代制)	※夜間の申請がある時のみ シルバー人材センター1人	
			8:30
平日	維持管理委託(小来川林業振興会) 1人		21:00
			※小来川支所職員が受付を兼任 ---人

3) コスト状況

① 施設別のトータルコスト

平成22年度の産業系7施設の施設別トータルコストは、湯西川農村広場の136万円から農村環境改善センターの2,041万円となっています。

各施設のコスト構成をみると、農村環境改善センターは指定管理委託料が、ふれあいの郷小来川は事業運営に関する委託費がかかっていますが、その他の5施設は施設にかかるコストのみとなっています。

※栗山林業振興会館については、施設にかかる費用すべてを日光森林組合で支出しています。

施設別行政コスト計算書（平成22年度）

(千円)

I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		農村環境改善センター	小来川林業研修センター	日蔭農村広場農産物生産施設	湯西川農村広場農産物生産施設	湯西川農産物処理加工実習施設	栗山林業振興会館	ふれあいの郷小来川	合計
施設にかかるコスト	修繕費	0	185	0	0	0	0	0	185
	光熱水費	0	0	0	0	0	0	0	0
	委託費	0	200	0	0	0	0	432	632
	使用料及び賃借料	3,658	0	290	0	0	0	0	3,948
	その他物件費	20	14	36	36	0	0	18	123
	施設にかかるコスト	3,678	399	326	36	0	0	450	4,889
運営	委託費	0	0	0	0	0	0	200	200
	事業運営にかかるコスト	0	0	0	0	0	0	200	200
指定管理料		5,873	0	0	0	0	0	0	5,873
現金収支を伴うコスト計		9,551	399	326	36	0	0	650	10,962

【収入の部】

収入	使用料収入	82	0	284	0	0	0	377	743
	諸収入	259	0	0	0	0	0	0	259
収入の合計		341	0	284	0	0	0	377	1,002

II. 現金収支を伴わないもの

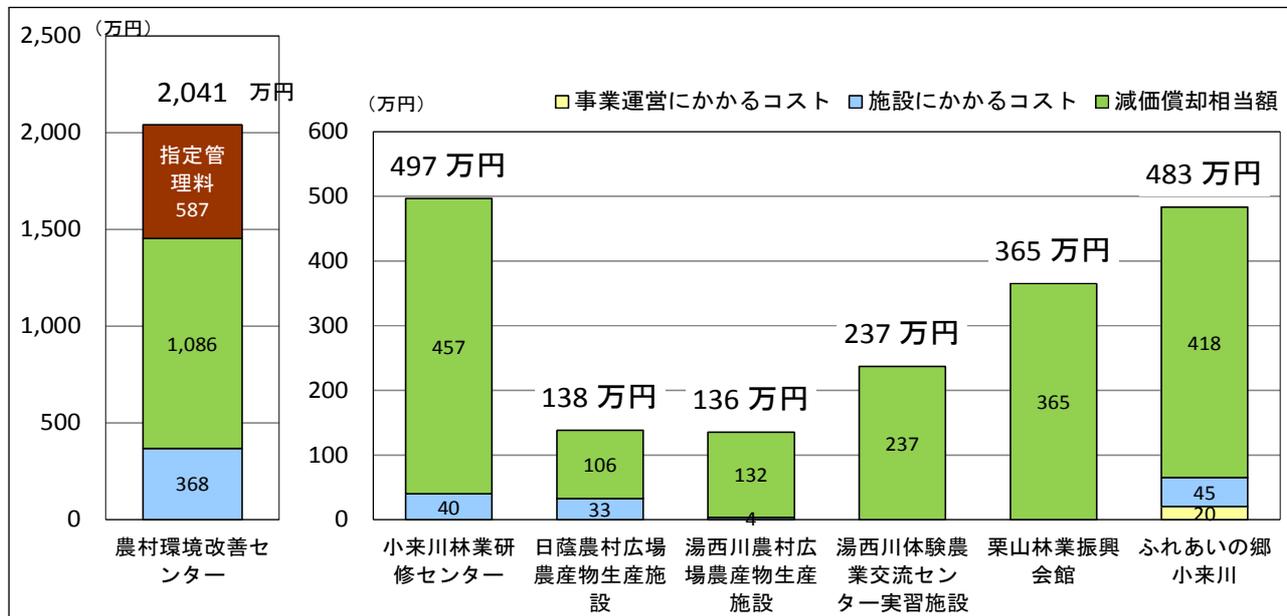
コスト	減価償却相当額	10,863	4,567	1,056	1,320	2,367	3,650	4,184	28,007
-----	---------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------

III. 総括

コストの部合計(トータルコスト)	20,414	4,966	1,382	1,356	2,367	3,650	4,834	38,969
収支差額(ネットコスト)	20,073	4,966	1,098	1,356	2,367	3,650	4,457	37,967

※農村環境改善センターの使用料収入とは自動販売機の設置料、諸収入は大室ダムパイプライン使用料です。

施設別トータルコスト（平成22年度）

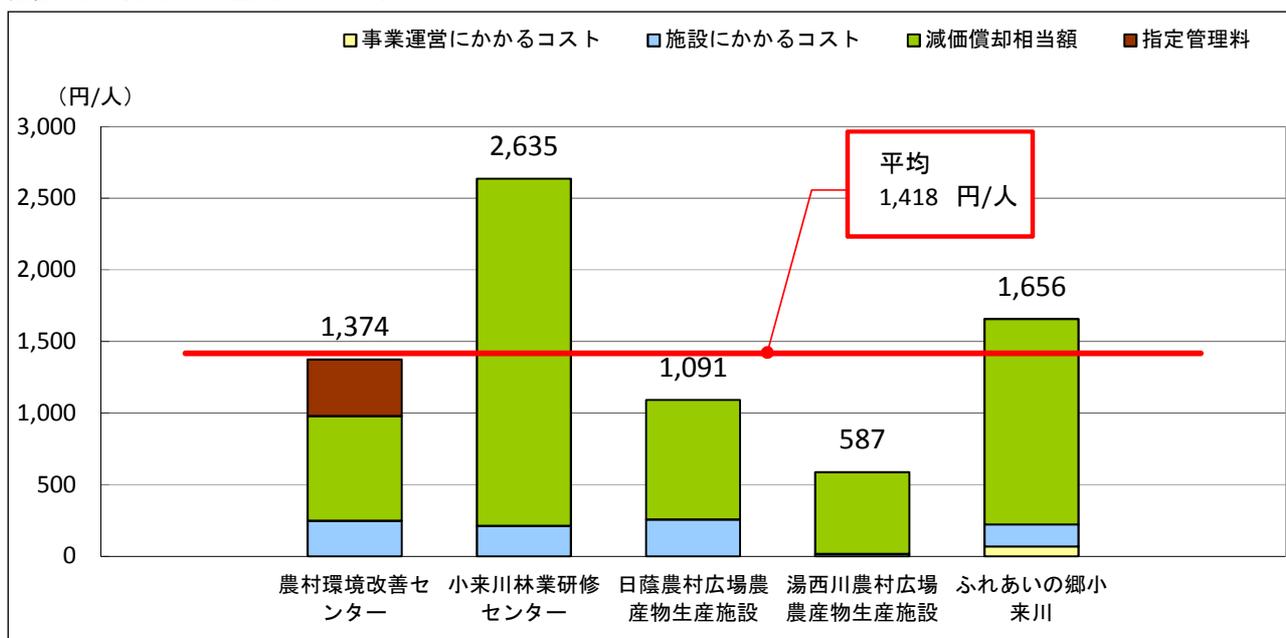


② 利用当たりのコストと床面積当たりのコスト

■ 利用者 1 人当たりのコスト

平成 22 年度の利用者数を把握している 5 施設について、施設別の年間利用者数とトータルコストから利用者 1 人当たりにかかるコストを算出すると、湯西川農村広場の 587 円/人から小来川林業研修センターの 2,635 円/人となっています。5 施設の平均は 1,418 円/人となっています。

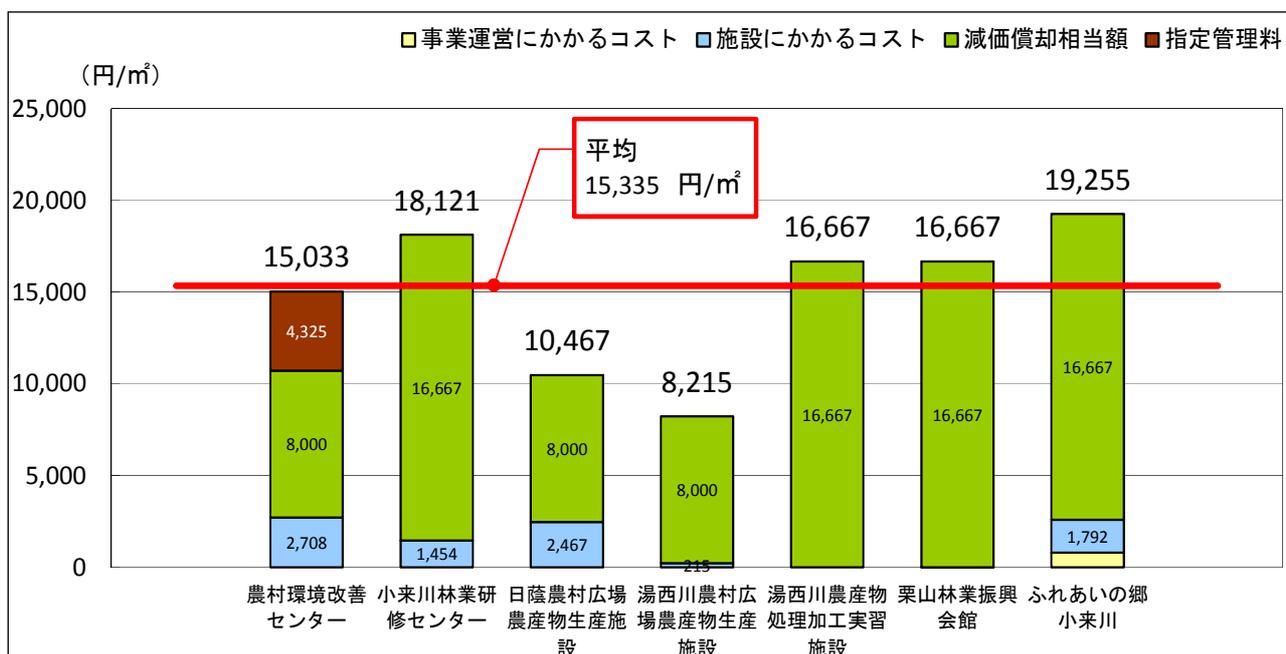
施設別 利用 1 人当たりコスト



■ 床面積 (1 m²) 当たりのコスト

延床面積とトータルコストから単位床面積当たりにかかるコストを算出すると、湯西川農村広場の 8,215 円/m²からふれあいの郷小来川の 19,255 円/m²となっています。7 施設の平均は、15,335 円/m²となっています。

施設別 単位床面積当たりコスト



4) 今後の検討の視点

- 耐震性、老朽化の面では、産業系7施設の建物のうち、農村環境改善センターは耐震安全性が確保されていないことから、早急な対応が必要な施設です。
- 小来川林業研修センターは、設置当初は木材の有効利用の試験研究等が目的となっていました。農村広場2施設は、地域住民と都市住民との交流推進が設置目的となっていますが、現状は生産組合の利用が主となっています。湯西川農産物加工施設は、都市と農村の交流の場及び地域における農林業振興が設置目的ですが、実際は使用されていない状況です。このように、当初の設置目的との乖離がみられる施設については、利用者と施設のあり方について協議しながら、施設の有効活用を図る必要があります。
- 7施設のうち農村環境改善センターを除く6施設は直営となっています。これらのほとんどは、施設管理を地元の組合等に委託しているため、今回、分析対象としなかった小さな直売所等も含め、抜本的な施設運営のあり方を検討する必要があります。
- 利用者1人当たりコスト、延床面積当たりコストをみても分かる通り、施設を維持管理し、保有するだけでも毎年コストが発生しています。産業系施設について、今後の施設のあり方について、早急に検討する必要があります。

(5) 観光施設

1) 施設概要

① 施設一覧

市には、豊かな自然や歴史を語る文化遺産・産業遺産、良質な温泉資源に恵まれており、多くの観光客が訪れています。これら資源を活かすため、数多くの観光関連施設を所有しています。

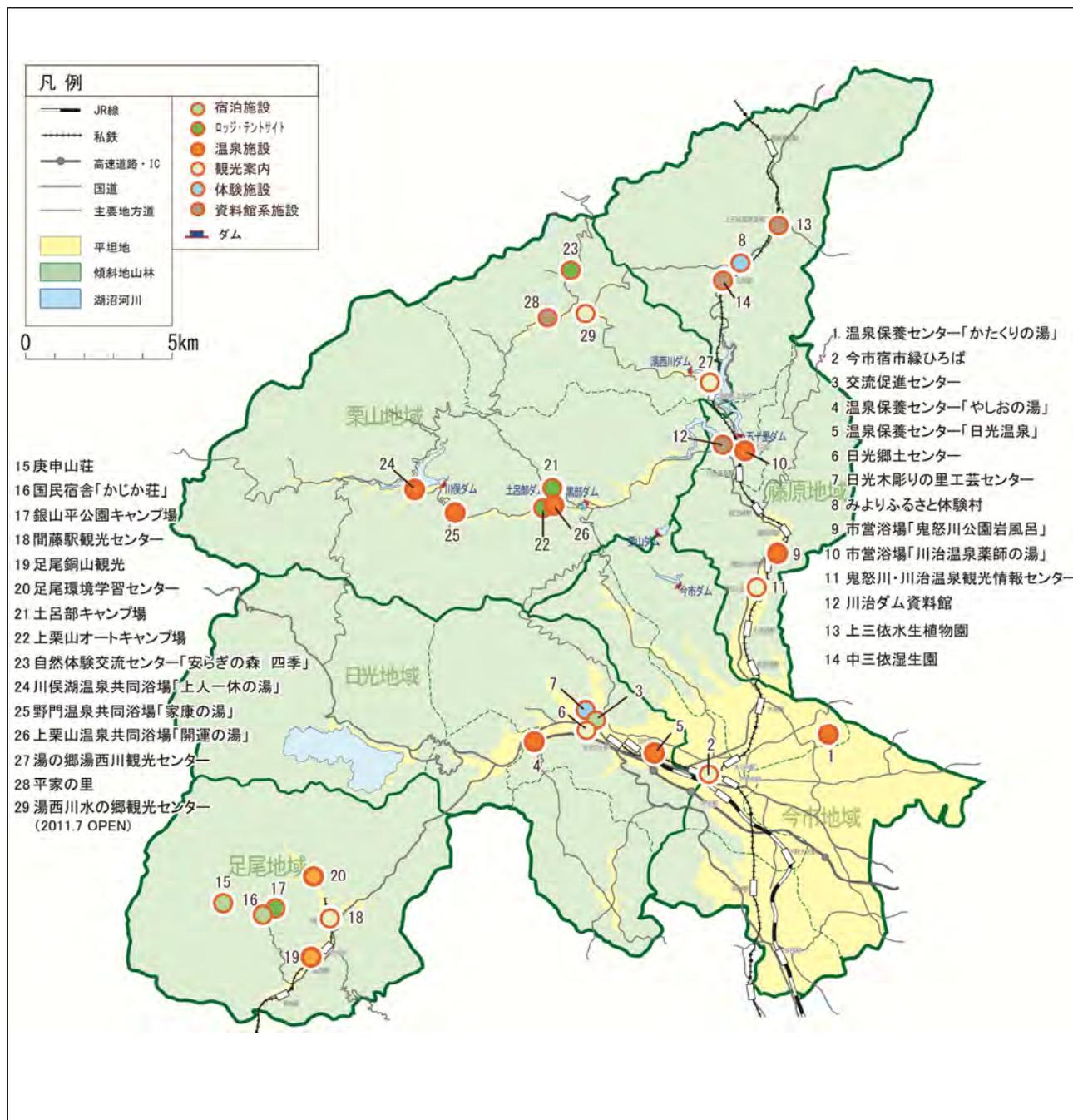
白書では、それら施設の中から、次の28施設・6機能について整理しました。

機能の分類：観光案内施設（5施設）、宿泊（宿舎）施設（2施設）、宿泊（ロッジ等）施設（6施設）、温泉施設（10施設）、資料館等施設（6施設）、体験施設（2施設）

施設一覧

地域	名称	住所	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	保有機能						併設 機能
					観光 案内	宿泊施設		温泉	資料館	体験	
					宿泊	ロッジ					
今市	1 温泉保養センター「かたくりの湯」	町谷1866番地1	1,857.7	平成5				●			
今市	2 今市宿市縁ひろば	今市600番地1	370.6	平成7	●						
日光	3 交流促進センター	所野2854番地	1,205.0	平成11		●					
日光	4 温泉保養センター「やしおの湯」	清滝和の代町1726番地4	1,200.0	平成7				●			
日光	5 温泉保養センター「日光温泉」	七里680番地1	137.0	昭和63				●			
日光	6 日光郷土センター	御幸町591番地	992.0	昭和61	●						
日光	7 日光木彫りの里工芸センター	所野2848番地	996.5	昭和63						●	公園
藤原	8 みよりふるさと体験村	中三依407番地1	615.0	平成11		●				●	温泉
藤原	9 市営浴場「鬼怒川公園岩風呂」	藤原19番地	467.0	平成5				●			
藤原	10 市営浴場「川治温泉薬師の湯」	川治温泉川治278番地2	221.0	平成21				●			
藤原	11 鬼怒川・川治温泉観光情報センター	鬼怒川温泉大原1404番地1	175.0	平成17	●						
藤原	12 川治ダム資料館	川治温泉川治292番地3	467.0	昭和58					●		
藤原	13 上三依水生植物園	上三依682番地	249.9	昭和63					●		
藤原	14 中三依湿生園	中三依221番地	9.9	昭和62					●		
足尾	15 庚申山荘	足尾町木ノ面5494番地	222.0	昭和60		●					
足尾	16 国民宿舎「かじか荘」	足尾町銀山平5488番地	1,852.0	昭和42		●		●			
足尾	17 銀山平キャンプ場	足尾町丸石沢5488番の4	428.0	昭和55		●					公園
足尾	18 間藤駅観光センター	足尾町下間藤2番1号	351.7	平成6	●						集会所
足尾	19 足尾銅山観光	足尾町通洞9番地2	2,386.6	昭和54					●		公園
足尾	20 足尾環境学習センター	足尾町885番地2	496.9	平成8					●		公園
栗山	21 土呂部キャンプ場	土呂部97番地	605.0	平成4		●					
栗山	22 上栗山オートキャンプ場	上栗山561番地	230.0	平成12		●					
栗山	23 自然体験交流センター「安らぎの森 四季」	湯西川1878番地3	645.0	平成20		●					
栗山	24 川俣湖温泉共同浴場「上人一休の湯」	川俣740番地	334.0	平成7				●			
栗山	25 野門温泉共同浴場「家康の湯」	野門186番地	177.0	平成7				●			
栗山	26 上栗山温泉共同浴場「開運の湯」	上栗山179番地31	91.0	平成12				●			
栗山	27 湯の郷湯西川観光センター	西川478番地1	1,297.0	平成18	●			●			足湯
栗山	28 平家の里	湯西川1042番地	939.0	昭和58					●		
	合計		18,876.4	—	5ヶ所	2ヶ所	6ヶ所	10ヶ所	6ヶ所	2ヶ所	—

観光施設配置図

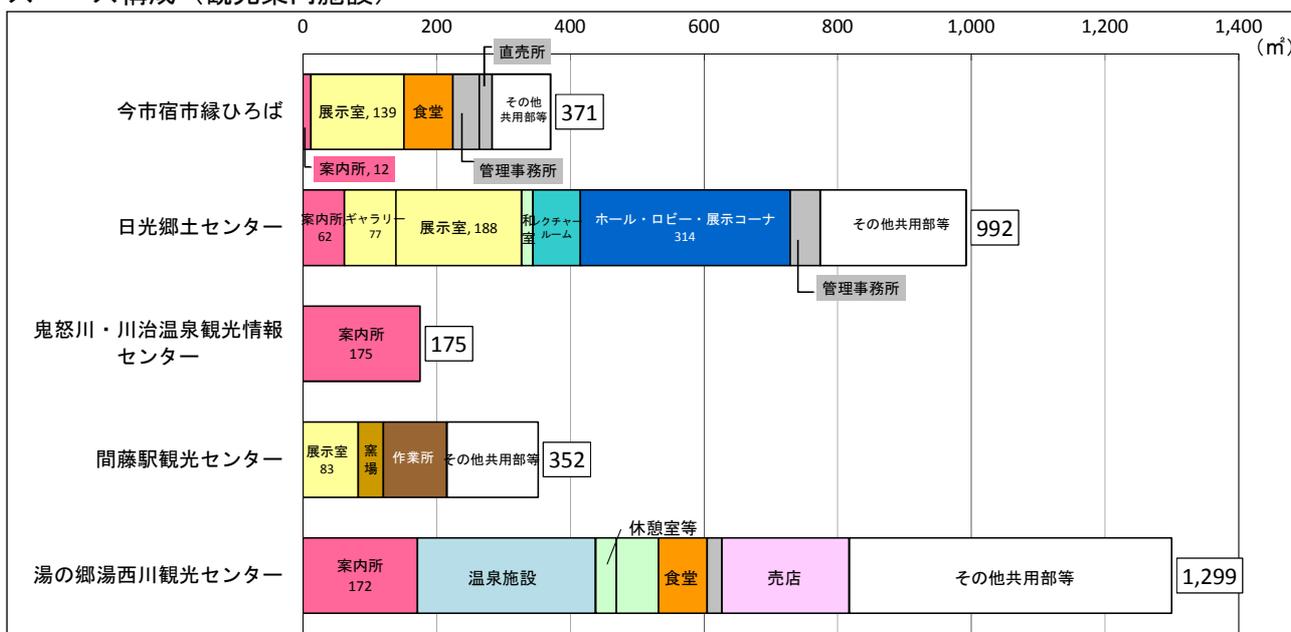


② スペース構成

<観光案内施設>

観光案内施設は、各地域に1施設、計5施設あり、施設の規模は、鬼怒川・川治温泉観光情報センターの175㎡～日光郷土センターの992㎡となっています。いずれの施設も、案内所のほか展示室やギャラリーが主な構成で、ビデオやパネル展示、観光パンフレットの掲出等を行っています。

スペース構成（観光案内施設）



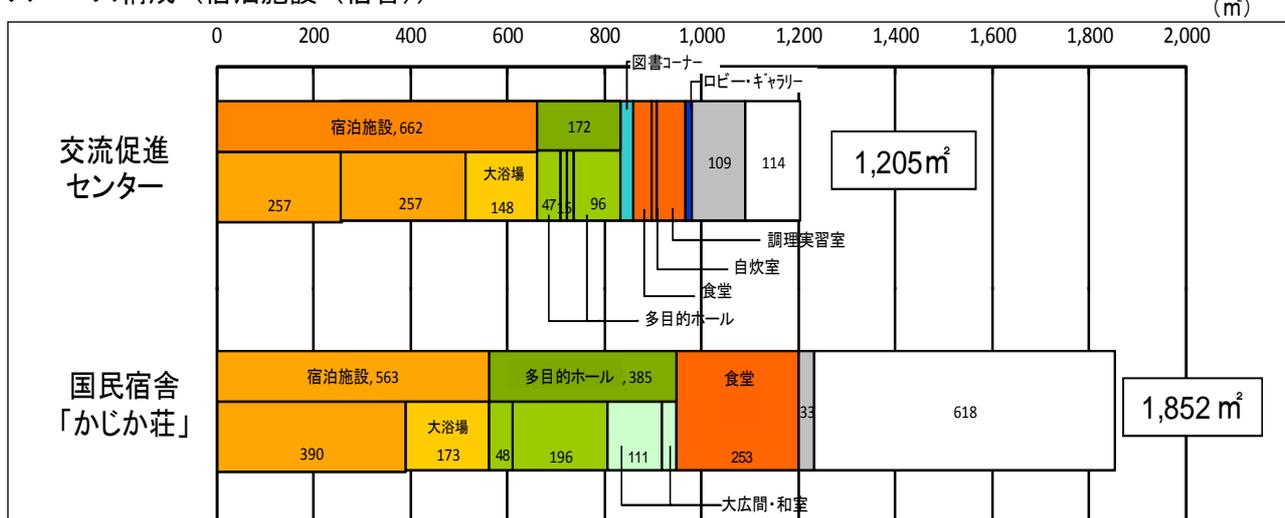
<宿泊施設（宿舎）>

宿泊（宿舎）2施設の規模は、交流促進センターの1,205㎡とかじか荘の1,852㎡となっています。スペース構成は、各施設とも客室関連の延床面積が半数を占めています。

交流促進センターは、和室5室、洋室7室の他に、研修室も備えており、旅行以外にも会社・団体等の研修にも利用できます。

国民宿舎「かじか荘」は、和室20室、団体は100人まで宿泊できます。客室の他に、大広間1、研修室1、大浴場（温泉施設）：男女各1（露天風呂付）、低温サウナ、レストラン、売店があり、大浴場は日帰り入浴も可能となっています。

スペース構成（宿泊施設（宿舎））



< 宿泊施設 (ロッジ) >

宿泊 (ロッジ) 6 施設の規模は、庚申山荘の 222 m²~自然体験交流センター「安らぎの森 四季」の 645 m²となっています。用途の性質上、いずれの施設においても、木造で軽易な建築物が多くなっています。

「みよりふるさと体験村」キャンプ場は、ケビン 8 棟 (4 人用 : 7 棟, 8 人用 : 1 棟)、テントサイト 6 区画と屋外調理施設があり、地元自治会が運営する日帰り温泉施設「男鹿の湯」に隣接しています。

庚申山荘は、管理人等はおらず、登山客の休憩所となっています。料金收受等の管理は、かじか荘で行っています。

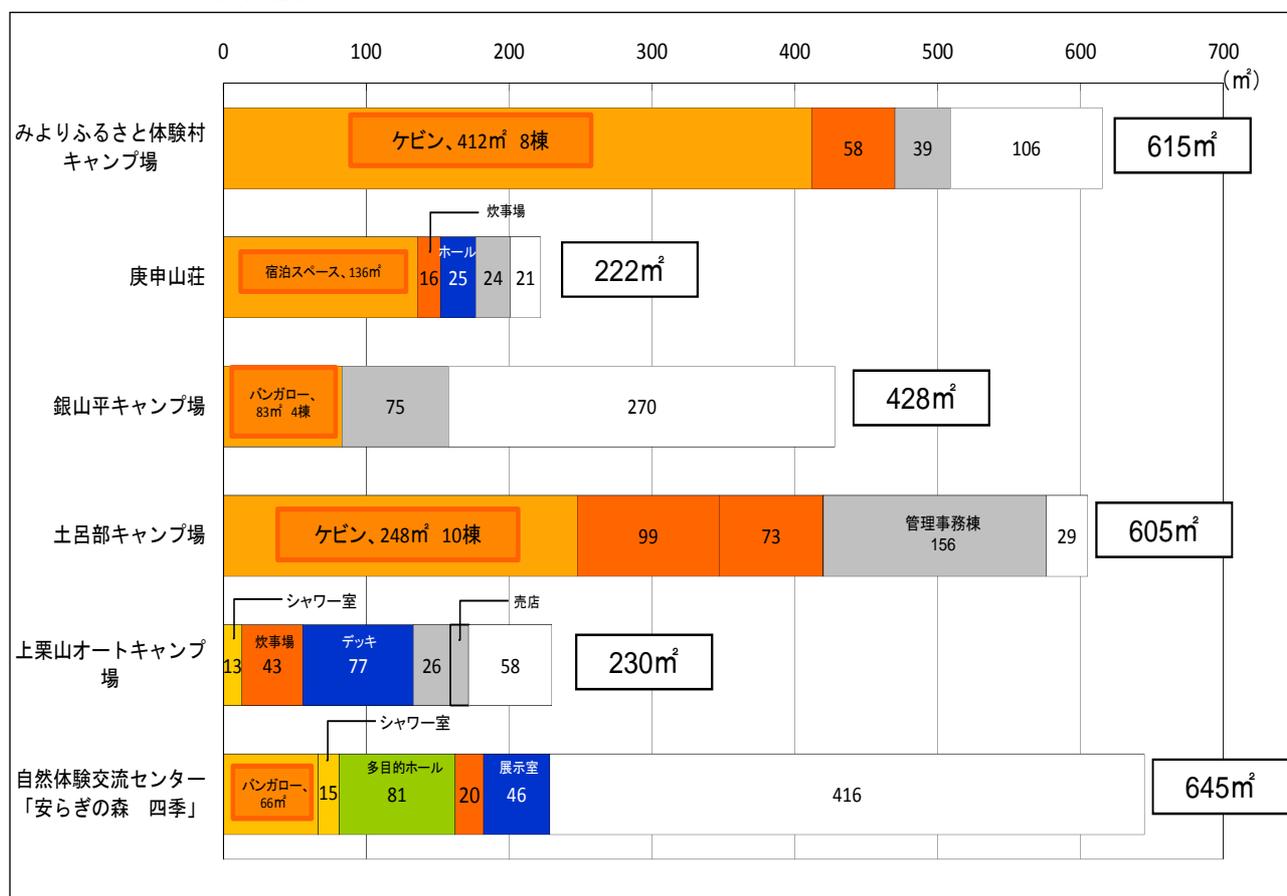
銀山平キャンプ場は、バンガローが 12 棟、管理棟、トイレがあります。国民宿舎「かじか荘」で入浴が可能となっています。

土呂部キャンプ場は、ケビン 10 棟 (4 人用)、テントサイト 30 区画、炊事棟 2 棟、バーベキュー棟 1 棟、トイレ 1 棟、管理棟 (シャワー、トイレ、休憩室など) があります。

上栗山オートキャンプ場はオートサイト、テントサイト、管理棟、トイレ、温水シャワー、売店、野外炉があります。

自然体験交流センター「安らぎの森 四季」は、湯西川財産区が所有する安ヶ森キャンプ場の管理棟を兼ねており、1 階には事務室・展示室・多目的ホール・食堂兼休憩室、2 階には宿泊室・ミーティングルームがあります。また、付属の体験施設として、囲炉裏焼き小屋、炭焼き窯もあり、周辺にはキャンプ場も備えています。

スペース構成 (宿泊施設 (ロッジ))



<温泉施設（かじか荘の温泉施設を除く）>

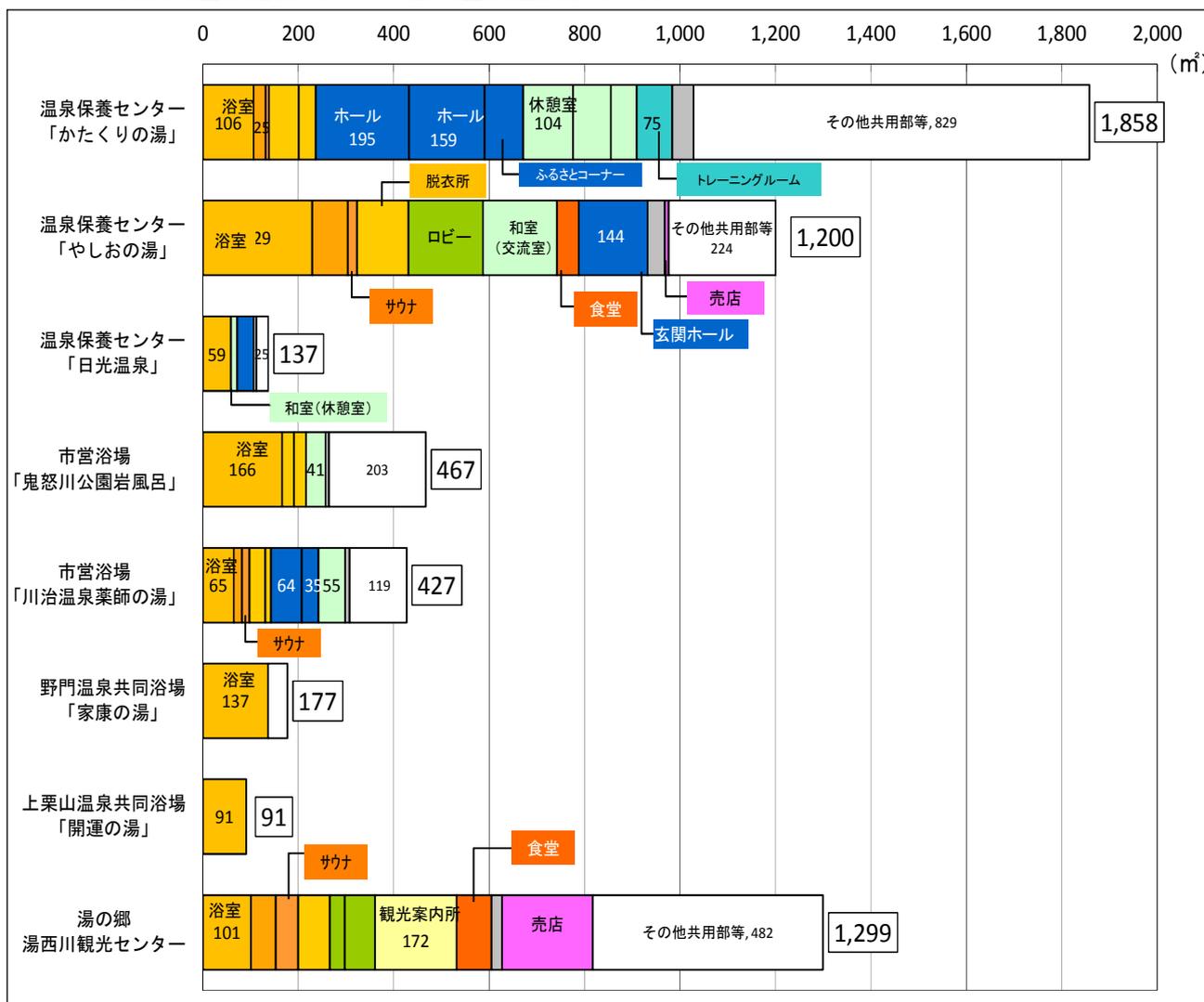
温泉9施設の規模は、上栗山温泉共同浴場「開運の湯」の91㎡～かたくりの湯の1,858㎡となっており、いずれの施設も、市民の保養と健康の増進と観光事業の振興を図ることを目的としています。

保養センターとしては、今市地域にかたくりの湯、日光地域に日光温泉とやしおの湯の計3施設あります。規模は、かたくりの湯が1,858㎡、やしおの湯が1,200㎡、日光温泉が137㎡となっており、浴室のほかにホールや休憩室、交流室等があります。

市営浴場及び共同浴場としては、開運の湯の91㎡～鬼怒川公園岩風呂の467㎡となっています。これらの施設は、浴室・脱衣室が延床面積の大部分を占めています。

湯の郷湯西川観光センターは、1,299㎡あり、温泉のほか観光案内所、売店・食堂等の機能を保有しています。なお、湯の郷湯西川観光センターは、湯西川温泉駅に直結しています。

スペース構成（温泉施設（かじか荘の温泉施設を除く））



＜資料館等施設＞

資料館等 6 施設の規模は、中三依湿生園（管理棟）15 m²～足尾銅山観光 2,387 m²となっております。

上三依水生植物園・中三依湿生園は、池や庭園等がメインであり、建物としては事務室（管理棟）になります。

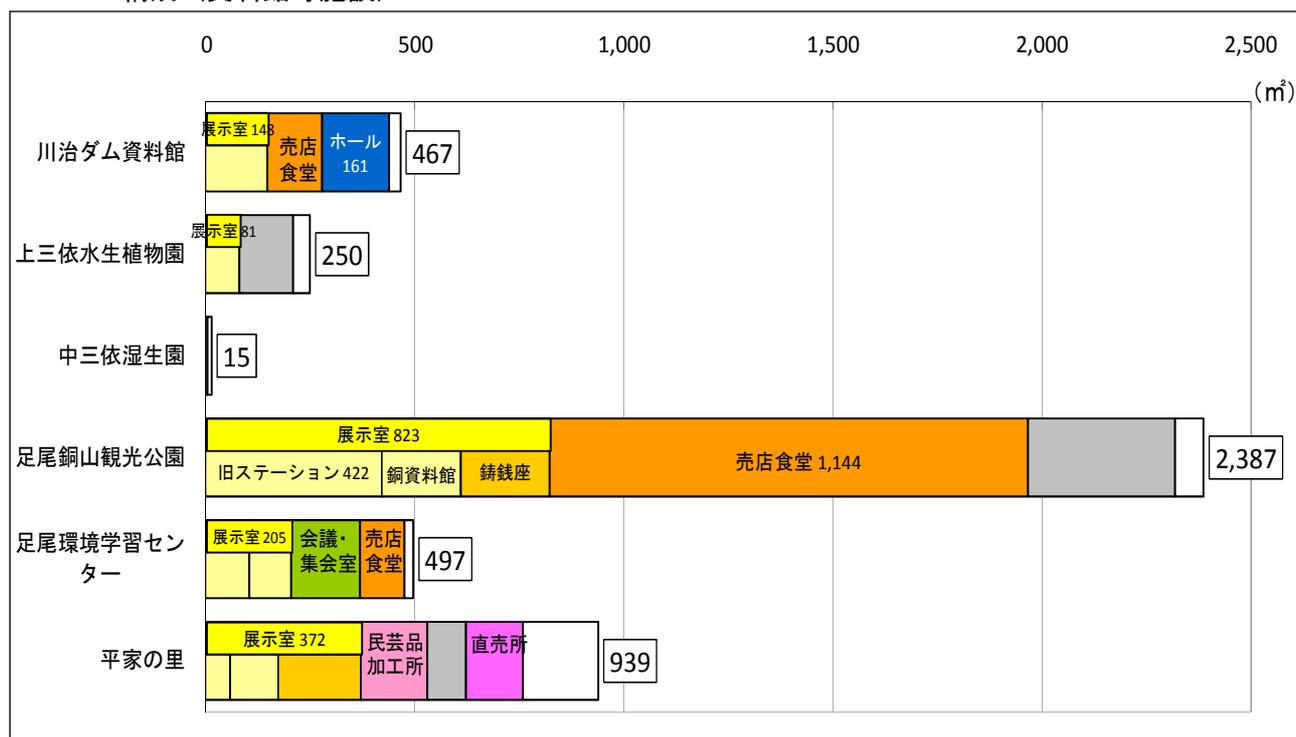
川治ダム資料館は、1 階が食堂、2階と3階が資料館として展示室やホールを保有しています。

足尾銅山観光では、通洞坑跡をトロッコに乗って坑内観光ができます。また、足尾で作られた寛永通宝「足字銭」をつくる様子を再現しているほか、鑄銭座、鉱石・写真・資料等を展示している銅資料館があります。また、売店、食堂があり、その割合が大きくなっています。

足尾環境学習センターは、旧松木村の煙害などの歴史を振り返ることができる写真資料や足尾の歴史と自然を紹介する展示室のほか、売店、食堂等を保有しています。

平家の里は、湯西川に残る平家落人伝説をもとに、茅葺き屋根の建物を配し、落人たちの山村生活を再現した施設で、手作りの木杓子・木鉢の販売所があり、落人が食べた栃もちやキビもちを賞味できる直売所や民芸品加工所等があります。

スペース構成（資料館等施設）



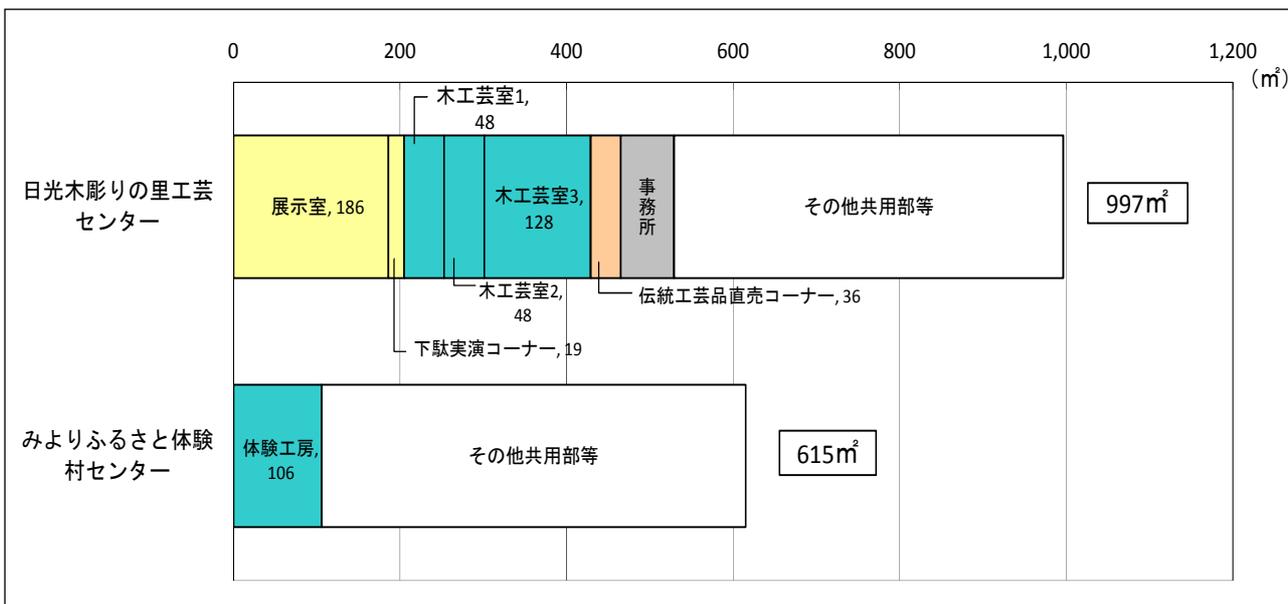
<体験施設>

体験2施設の規模は、日光木彫りの里工芸センターが997㎡、みよりふるさと体験村センターが615㎡となっています。

日光木彫りの里工芸センターは、体験教室を開催する木工工芸室と展示室が主なスペースで、その他、工芸品の直売コーナーや事務室があります。小・中学生の体験学習の場として活用されています。

みよりふるさと体験村センターは、キャンプ場（ケビン）に隣接したそば打ち体験施設となっています。

スペース構成（体験施設）



③ 建物総合評価の結果

平成22年度の観光施設28施設の建物総合評価を行いました。

施設名	基本情報		①耐震化	②老朽化	③バリアフリー対応							④環境対応			⑤維持管理				
	建築年度	延床面積(㎡)	耐震改修	築年数	※1車いす用エレベーター	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー・屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	光熱水費	建物管理委託費	小規模修繕費	光熱水費	建物管理委託費	小規模修繕費
温泉保養センター「かたくりの湯」	平成5	1,858	-	18	○	○	○	○	○	×	×	×	×	-	84	2,037	-	45	1,097
今市宿市緑ひろば	平成7	371	-	16	-	×	○	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	-
交流促進センター	平成11	1,205	-	12	-	○	×	○	×	×	×	×	-	-	467	-	-	-	388
温泉保養センター「やしおの湯」	平成7	1,200	-	16	-	×	○	×	×	×	×	×	-	-	258	-	-	-	215
温泉保養センター「日光温泉」	昭和63	137	-	23	-	×	×	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	-
日光郷土センター	昭和61	992	-	25	×	○	○	○	×	×	×	×	-	-	151	-	-	-	152
日光木彫りの里工芸センター	昭和63	997	-	23	○	○	○	○	○	×	×	×	-	-	1,983	-	-	-	1,990
みよりふるさと体験村	平成11	615	-	12	×	×	×	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	-
市営浴場「鬼怒川公園岩風呂」	平成5	467	-	18	-	×	×	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	-
市営浴場「川治温泉薬師の湯」	平成21	221	-	2	-	○	○	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	-
鬼怒川・川治温泉観光情報センター	平成17	175	-	6	-	×	×	○	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	-
川治ダム資料館	昭和58	467	-	28	×	×	×	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	-
上三依水生植物園	昭和63	250	-	23	-	○	○	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	-
中三依湿生園	昭和62	10	-	24	-	×	×	×	×	×	×	×	-	6	-	-	-	624	-
庚申山荘	昭和60	222	-	26	×	×	×	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	-
国民宿舎「かじか荘」	昭和42	1,852	未実施	44	×	×	×	○	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	-
銀山平キャンプ場	昭和55	428	未実施	31	×	×	×	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	-
間藤駅観光センター	平成6	352	-	17	-	×	×	×	×	×	×	×	-	629	-	-	-	1,789	-
足尾銅山観光	昭和54	2,387	未実施	32	×	○	○	×	○	×	×	×	4,462	3,948	-	1,870	1,654	-	-
足尾環境学習センター	平成8	497	-	15	-	×	○	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	-
土呂部キャンプ場	平成4	605	-	19	×	×	×	×	×	×	×	×	-	315	3,465	-	521	5,727	
上栗山オートキャンプ場	平成12	230	-	11	×	×	×	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	-
自然体験交流センター「安らぎの森 四季」	平成20	645	-	3	×	○	×	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	-
川俣湖温泉共同浴場「上人一休の湯」	平成7	334	-	16	×	×	○	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	-
野門温泉共同浴場「家康の湯」	平成7	177	-	16	×	×	×	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	-
上栗山温泉共同浴場「開運の湯」	平成12	91	-	11	-	×	×	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	-
湯の郷湯西川観光センター	平成18	1,297	-	5	○	○	○	○	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	-
平家の里	昭和58	939	-	28	-	×	○	×	×	×	×	×	-	-	1,205	-	-	-	1,283
合計		19,019											4,462	4,982	9,565	-	-	-	-

※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等
 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

記載例	実施済み=○
	未実施 =×
	不要 ⇒-

※維持管理費は、市が直接支出している費用

観光 28 施設のうち、国民宿舎「かじか荘」、銀山平キャンプ場及び足尾銅山観光公園の 3 施設は、旧耐震基準の建物であり、耐震安全性が確保されていないことから早急な耐震化と老朽化対策が必要です。(パターン①)

また、温泉保養センター「日光温泉」をはじめ 8 施設は、いずれも新耐震基準の建物ですが、築 20 年を超えており、今後、老朽化対策の検討が必要な施設となっています。(パターン③)

温泉保養センター「かたくりの湯」をはじめ 17 施設は、比較的新しい施設ですが、バリアフリー対応及び環境対応が一部完了していないため、計画的な改修等での対応が必要となっています。(パターン④)

	パターン① 耐震性 老朽化	パターン③ 今後 老朽化	パターン④ バリアフリー・環境対応																																																														
評価	<p>・耐震安全性が確保されていない ・さらに、老朽化が進行している ⇒早急な耐震安全性の確保とともに、老朽化対策も必要な施設</p> <p>(かじか荘、銀山平キャンプ場)</p>	<p>・老朽化が進行している ⇒今後、老朽化対策の検討が必要な施設</p> <p>(日光温泉、川治ダム資料館、湿生園、庚申山荘)</p>	<p>・バリアフリー、環境対応が未完了 ⇒今後、バリアフリーや環境対応が完了していない部分の整備が望まれる施設</p> <p>(鬼怒川公園岩風呂、キャンプ場3施設、共同浴場2施設)</p>																																																														
該当施設	<table border="1"> <thead> <tr> <th>該当施設</th> <th>建築年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国民宿舎「かじか荘」</td> <td>昭和42</td> </tr> <tr> <td>銀山平キャンプ場</td> <td>昭和55</td> </tr> <tr> <td>足尾銅山観光</td> <td>昭和54</td> </tr> </tbody> </table> <p>< 3 施設 ></p>	該当施設	建築年度	国民宿舎「かじか荘」	昭和42	銀山平キャンプ場	昭和55	足尾銅山観光	昭和54	<table border="1"> <thead> <tr> <th>該当施設</th> <th>建築年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温泉保養センター「日光温泉」</td> <td>昭和63</td> </tr> <tr> <td>日光郷土センター</td> <td>昭和61</td> </tr> <tr> <td>日光木彫りの里工芸センター</td> <td>昭和63</td> </tr> <tr> <td>川治ダム資料館</td> <td>昭和58</td> </tr> <tr> <td>上三依水生植物園</td> <td>昭和63</td> </tr> <tr> <td>中三依湿生園</td> <td>昭和62</td> </tr> <tr> <td>庚申山荘</td> <td>昭和60</td> </tr> <tr> <td>平家の里</td> <td>昭和58</td> </tr> </tbody> </table> <p>< 8 施設 ></p>	該当施設	建築年度	温泉保養センター「日光温泉」	昭和63	日光郷土センター	昭和61	日光木彫りの里工芸センター	昭和63	川治ダム資料館	昭和58	上三依水生植物園	昭和63	中三依湿生園	昭和62	庚申山荘	昭和60	平家の里	昭和58	<table border="1"> <thead> <tr> <th>該当施設</th> <th>建築年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温泉保養センター「かたくりの湯」</td> <td>平成5</td> </tr> <tr> <td>今市宿市縁ひろば</td> <td>平成7</td> </tr> <tr> <td>交流促進センター</td> <td>平成11</td> </tr> <tr> <td>温泉保養センター「やしおの湯」</td> <td>平成7</td> </tr> <tr> <td>みよりふるさと体験村</td> <td>平成11</td> </tr> <tr> <td>市営浴場「鬼怒川公園岩風呂」</td> <td>平成5</td> </tr> <tr> <td>市営浴場「川治温泉薬師の湯」</td> <td>平成21</td> </tr> <tr> <td>鬼怒川・川治温泉観光情報センター</td> <td>平成17</td> </tr> <tr> <td>間藤駅観光センター</td> <td>平成6</td> </tr> <tr> <td>足尾環境学習センター</td> <td>平成8</td> </tr> <tr> <td>土呂部キャンプ場</td> <td>平成4</td> </tr> <tr> <td>上栗山オートキャンプ場</td> <td>平成12</td> </tr> <tr> <td>自然体験交流センター「安らぎの森 四季」</td> <td>平成20</td> </tr> <tr> <td>川俣湖温泉共同浴場「上人一休の湯」</td> <td>平成7</td> </tr> <tr> <td>野門温泉共同浴場「家康の湯」</td> <td>平成7</td> </tr> <tr> <td>上栗山温泉共同浴場「開運の湯」</td> <td>平成12</td> </tr> <tr> <td>湯の郷湯西川観光センター</td> <td>平成18</td> </tr> </tbody> </table> <p>< 17 施設 ></p>	該当施設	建築年度	温泉保養センター「かたくりの湯」	平成5	今市宿市縁ひろば	平成7	交流促進センター	平成11	温泉保養センター「やしおの湯」	平成7	みよりふるさと体験村	平成11	市営浴場「鬼怒川公園岩風呂」	平成5	市営浴場「川治温泉薬師の湯」	平成21	鬼怒川・川治温泉観光情報センター	平成17	間藤駅観光センター	平成6	足尾環境学習センター	平成8	土呂部キャンプ場	平成4	上栗山オートキャンプ場	平成12	自然体験交流センター「安らぎの森 四季」	平成20	川俣湖温泉共同浴場「上人一休の湯」	平成7	野門温泉共同浴場「家康の湯」	平成7	上栗山温泉共同浴場「開運の湯」	平成12	湯の郷湯西川観光センター	平成18
該当施設	建築年度																																																																
国民宿舎「かじか荘」	昭和42																																																																
銀山平キャンプ場	昭和55																																																																
足尾銅山観光	昭和54																																																																
該当施設	建築年度																																																																
温泉保養センター「日光温泉」	昭和63																																																																
日光郷土センター	昭和61																																																																
日光木彫りの里工芸センター	昭和63																																																																
川治ダム資料館	昭和58																																																																
上三依水生植物園	昭和63																																																																
中三依湿生園	昭和62																																																																
庚申山荘	昭和60																																																																
平家の里	昭和58																																																																
該当施設	建築年度																																																																
温泉保養センター「かたくりの湯」	平成5																																																																
今市宿市縁ひろば	平成7																																																																
交流促進センター	平成11																																																																
温泉保養センター「やしおの湯」	平成7																																																																
みよりふるさと体験村	平成11																																																																
市営浴場「鬼怒川公園岩風呂」	平成5																																																																
市営浴場「川治温泉薬師の湯」	平成21																																																																
鬼怒川・川治温泉観光情報センター	平成17																																																																
間藤駅観光センター	平成6																																																																
足尾環境学習センター	平成8																																																																
土呂部キャンプ場	平成4																																																																
上栗山オートキャンプ場	平成12																																																																
自然体験交流センター「安らぎの森 四季」	平成20																																																																
川俣湖温泉共同浴場「上人一休の湯」	平成7																																																																
野門温泉共同浴場「家康の湯」	平成7																																																																
上栗山温泉共同浴場「開運の湯」	平成12																																																																
湯の郷湯西川観光センター	平成18																																																																
コメント	<p>・いずれも旧耐震基準の建物で、特に築年も古く、早急な耐震化と老朽化対策が必要です。</p>	<p>・いずれも新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。</p>	<p>・比較的新しい施設ですが、バリアフリーや環境対応が完了していないため、計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望まれます。</p>																																																														

2) 施設状況

① 開館時間・休館日

観光施設 28 施設の開館時間及び休館日は、次のとおりそれぞれ個別に設定しています。ただし、休館日については、観光客の利用を考慮し、無休の施設や平日休みとなっています。

地域	名称	開館時間	休館日	備考
今市	1 温泉保養センター「かたくりの湯」	午前10時～午後9時	月曜日(国民の祝日にあたる時はその翌日)・12月29日～1月3日	
今市	2 今市宿市緑ひろば	午前9時～午後5時	無休	
日光	3 交流促進センター	終日	無休	
日光	4 温泉保養センター「やしおの湯」	午前10時～午後9時	木曜日(国民の祝日にあたる時はその翌日)・12月30日～1月1日	
日光	5 温泉保養センター「日光温泉」	午前10時～午後9時	火曜日(国民の祝日にあたる時はその翌日)・12月30日～1月1日	
日光	6 日光郷土センター	午前9時～午後5時	無休	
日光	7 日光木彫りの里工芸センター	午前9時～午後5時	木曜日(11月～3月)・12月29日～31日	
藤原	8 みよりふるさと体験村	宿泊:午後2時～午前10時	無休	
藤原	9 市営浴場「鬼怒川公園岩風呂」	午前10時～午後9時	火曜日・年末年始	
藤原	10 市営浴場「川治温泉薬師の湯」	午前10時～午後9時	水曜日	
藤原	11 鬼怒川・川治温泉観光情報センター	午前8時半～午後6時	無休	
藤原	12 川治ダム資料館	午前9時～午後5時	4月1日から11月30日無休 12月1日から3月31日休館	
藤原	13 上三依水生植物園	午前9時～午後4時半	4月15日から8月31日無休 9月1日から11月30日毎週水曜日休園(祝日は開園) 12月1日から4月14日休園	
藤原	14 中三依湿生園	午前9時～午後4時半	4月15日から7月31日無休 8月1日から4月14日休園	
足尾	15 庚申山荘	終日	無休	
足尾	16 国民宿舎「かじか荘」	終日	無休	
足尾	17 銀山平キャンプ場	終日	4月1日から11月30日無休 12月1日から3月31日休場	
足尾	18 間藤駅観光センター	午前10時半～午後4時半	木曜日・12月29日～31日	
足尾	19 足尾銅山観光	午前9時～午後4時半	無休	
足尾	20 足尾環境学習センター	午前9時～午後4時半	12月1日～3月31日	
栗山	21 土呂部キャンプ場	終日	4月1日から11月30日無休 12月1日から3月31日休場	
栗山	22 上栗山オートキャンプ場	終日	4月1日から11月30日無休 12月1日から3月31日休場	
栗山	23 自然体験交流センター「安らぎの森 四季」	終日	4月1日から11月30日無休 12月1日から3月31日休場	
栗山	24 川俣湖温泉共同浴場「上人一休の湯」	午前9時～午後9時	水曜日(12月～3月)	
栗山	25 野門温泉共同浴場「家康の湯」	午前9時～午後9時	無休	
栗山	26 上栗山温泉共同浴場「開運の湯」	午前9時～午後9時	無休	
栗山	27 湯の郷湯西川観光センター	午前9時～午後9時	無休	
栗山	28 平家の里	午前8時半～午後5時	無休	

② 利用状況

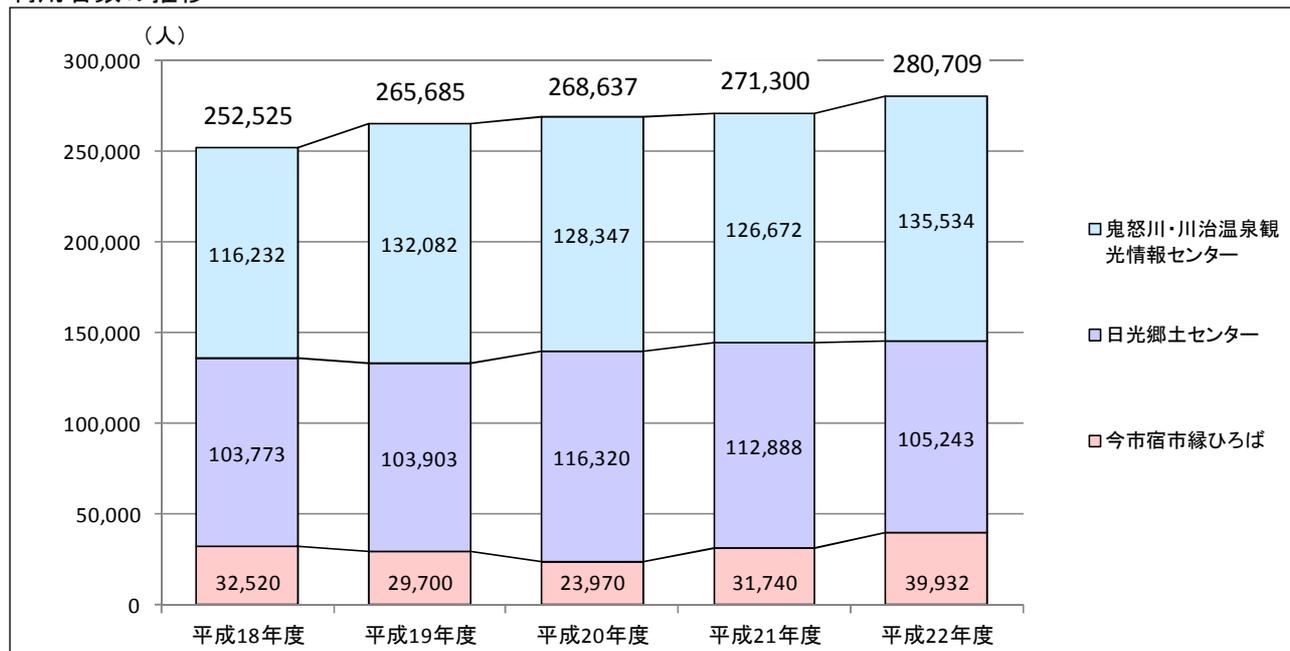
＜観光案内施設＞

■ 推移（間藤駅観光センター・湯の郷湯西川観光センターを除く）

観光案内3施設の直近5年間の利用者数推移をみると、平成18年度252,525人から平成22年度280,709人と増傾向で推移しています。

施設別では、鬼怒川・川治温泉観光情報センターの利用者が最も多く、平成22年度では全体の約48%を占めています。

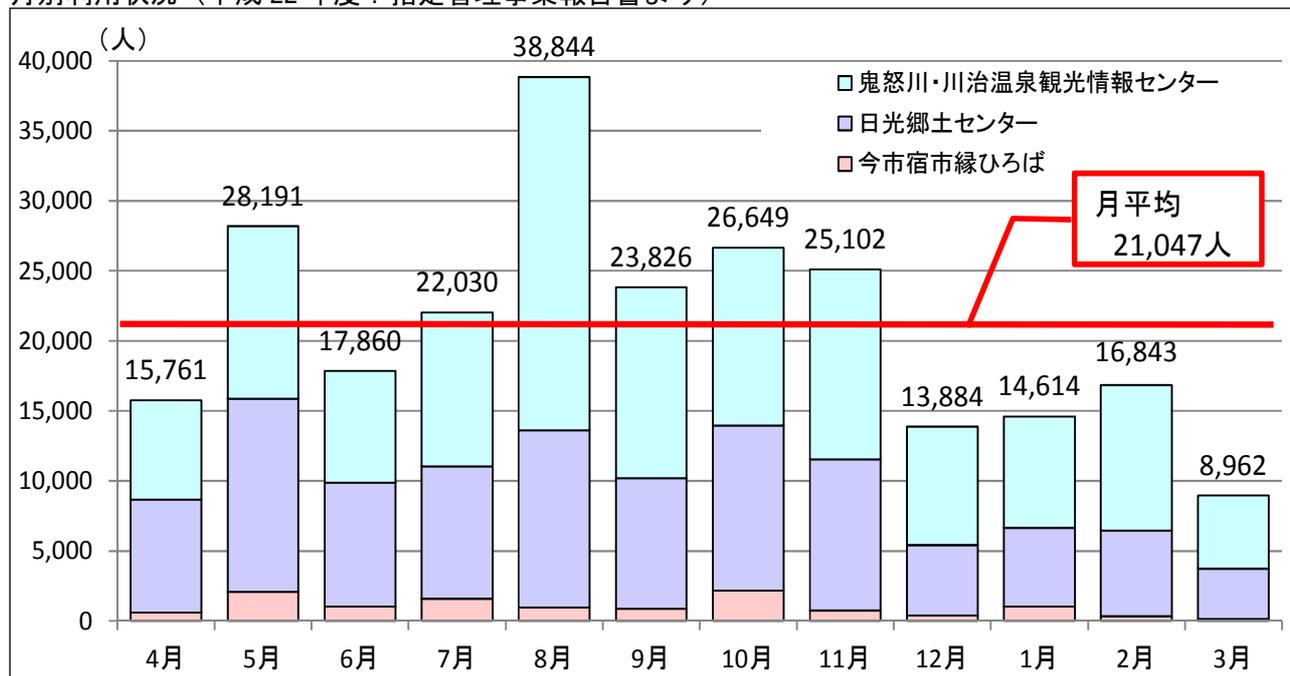
利用者数の推移



■ 月別利用状況（間藤駅観光センター・湯の郷湯西川観光センターを除く）

平成22年度の月別利用者数をみると、3施設の月平均は、21,047人の利用があります。特に、8月の利用者数が最も多く、次に5・10・11月に利用が集中しています。

月別利用状況（平成22年度：指定管理事業報告書より）



< 宿泊施設（宿舎） >

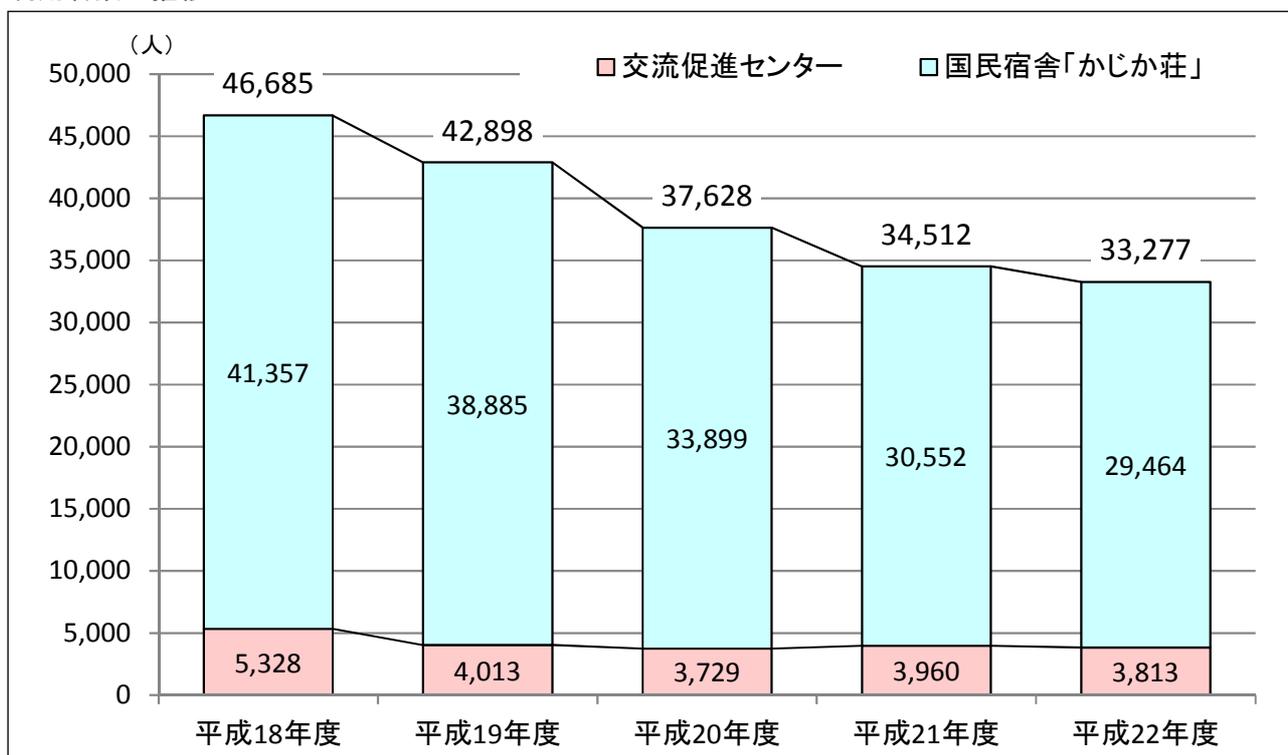
■ 推移

宿泊（宿舎）2施設の直近5年間の利用者数推移をみると、平成18年度46,685人から平成22年度33,277人と約29%減少しています。

特に施設別では、国民宿舎「かじか荘」の利用者数が宿泊客・休憩客を合わせると全体の約89%を占めていますが、平成18年度41,357人から平成22年度が29,464人と約29%減少しています。

ただし、市全体の宿泊者数に対する2施設の利用者は、1%前後とほぼ横ばいになっています。

利用者数の推移

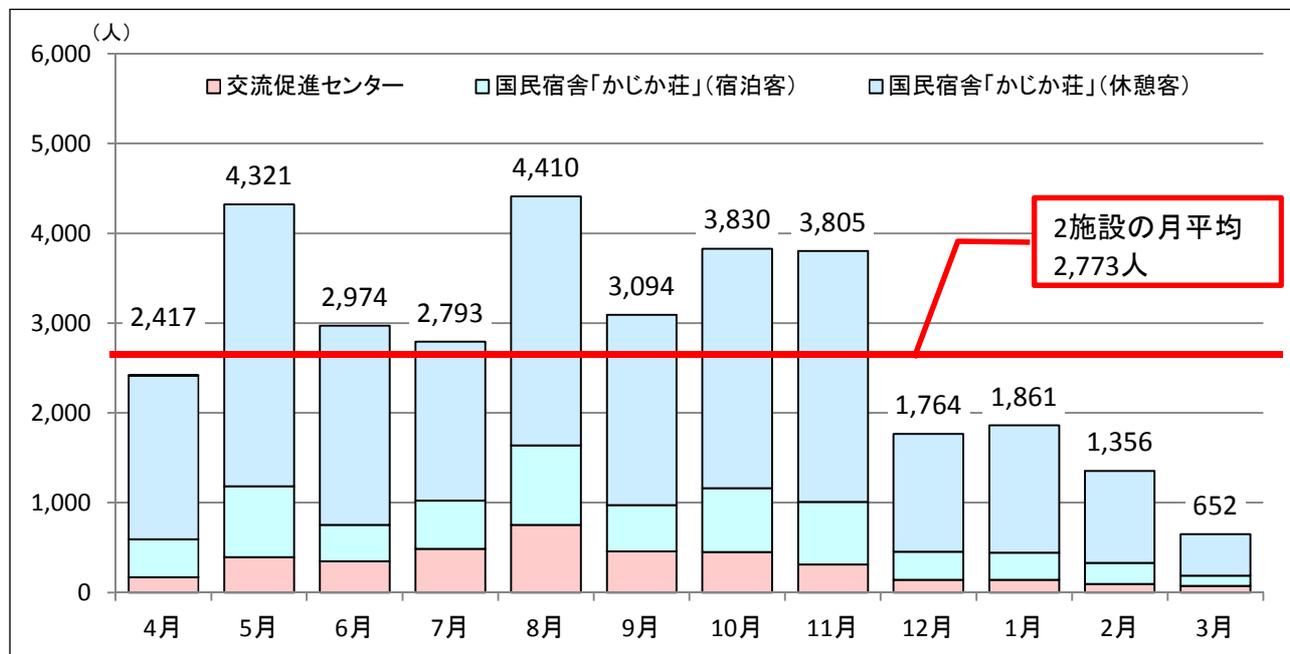


	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
交流促進センター	5,328	4,013	3,729	3,960	3,813
国民宿舎「かじか荘」	41,357	38,885	33,899	30,552	29,464
(うち宿泊者数)	(8,177)	(7,706)	(7,005)	(6,488)	(5,930)
合計	46,685	42,898	37,628	34,512	33,277
市全体の宿泊者に占める割合	1.2%	1.1%	1.0%	1.0%	0.9%

■ 月別利用状況

平成 22 年度の月別利用状況をみると、国民宿舎「かじか荘」及び交流促進センターは、5月～11月に利用が集中しています。

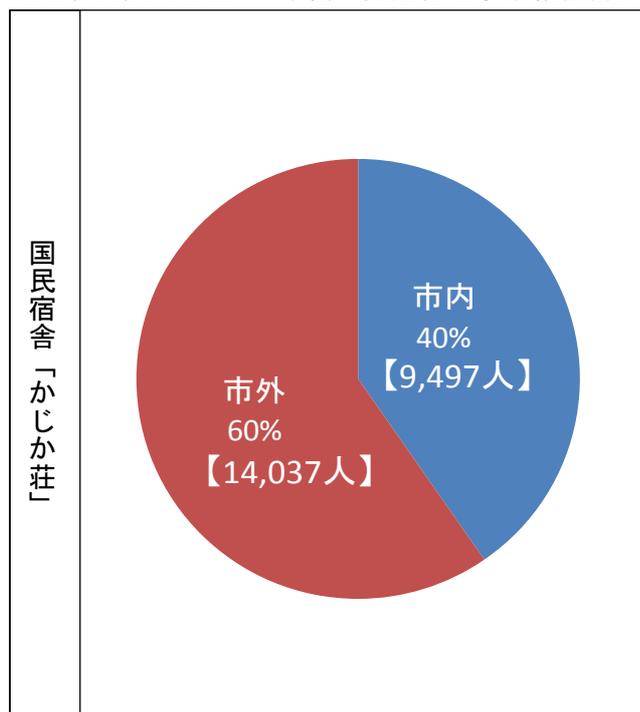
月別利用状況



■ 居住区別利用状況

国民宿舎「かじか荘」の居住区別利用状況をみると、市外の利用者が約60%と市内の利用者より多くなっていることが分かります。

利用者内訳（平成 22 年度：指定管理事業報告書より）



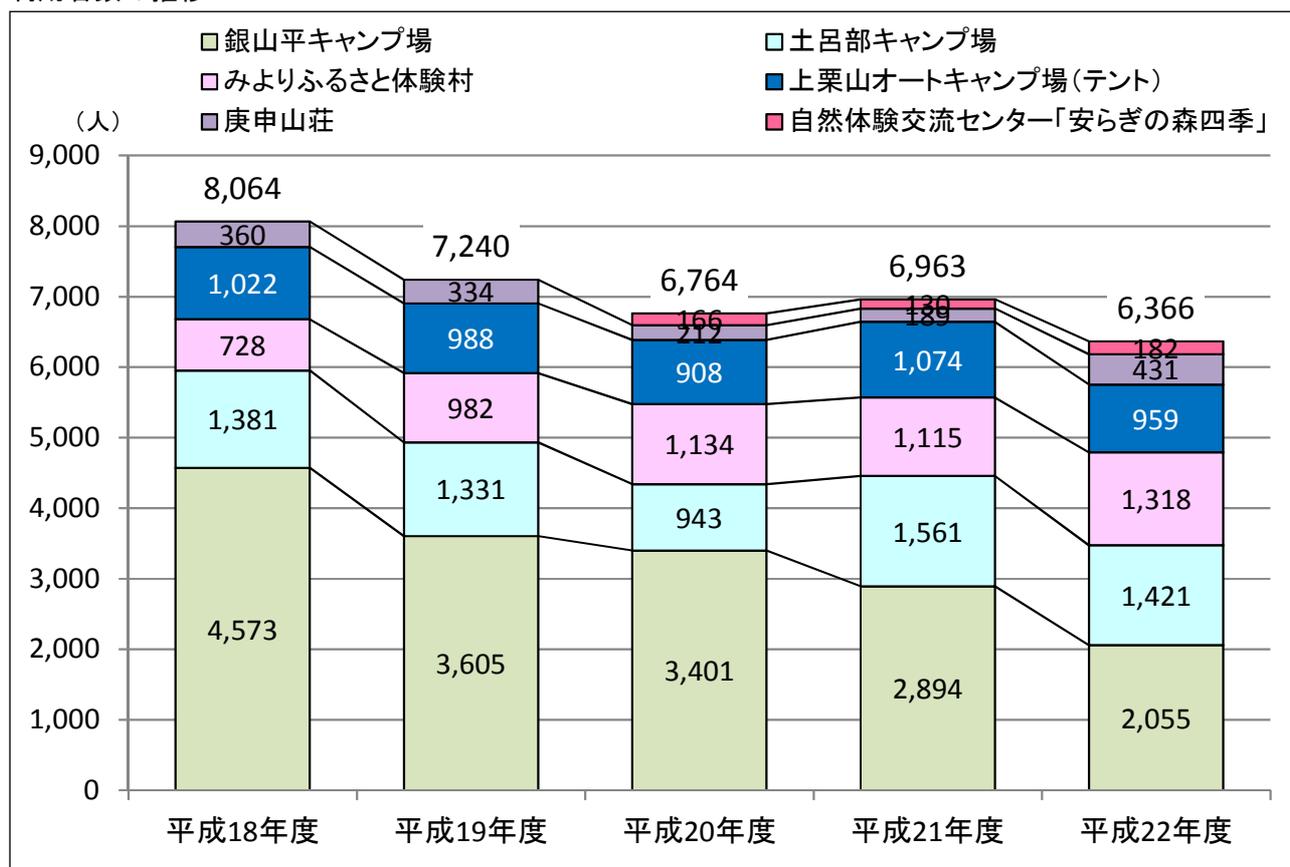
< 宿泊施設（ロッジ） >

■ 推移

宿泊（ロッジ）6施設の利用者数推移をみると、平成18年度の8,064人から平成22年度には6,366人と約21%減少しています。

施設別にみると、銀山平キャンプ場が平成18年度4,573人から平成22年度2,055人と約55%減少しています。しかし、みよりふるさと体験村キャンプ場では、平成18年度728人から平成22年度1,318人と約1.8倍増加しています。

利用者数の推移



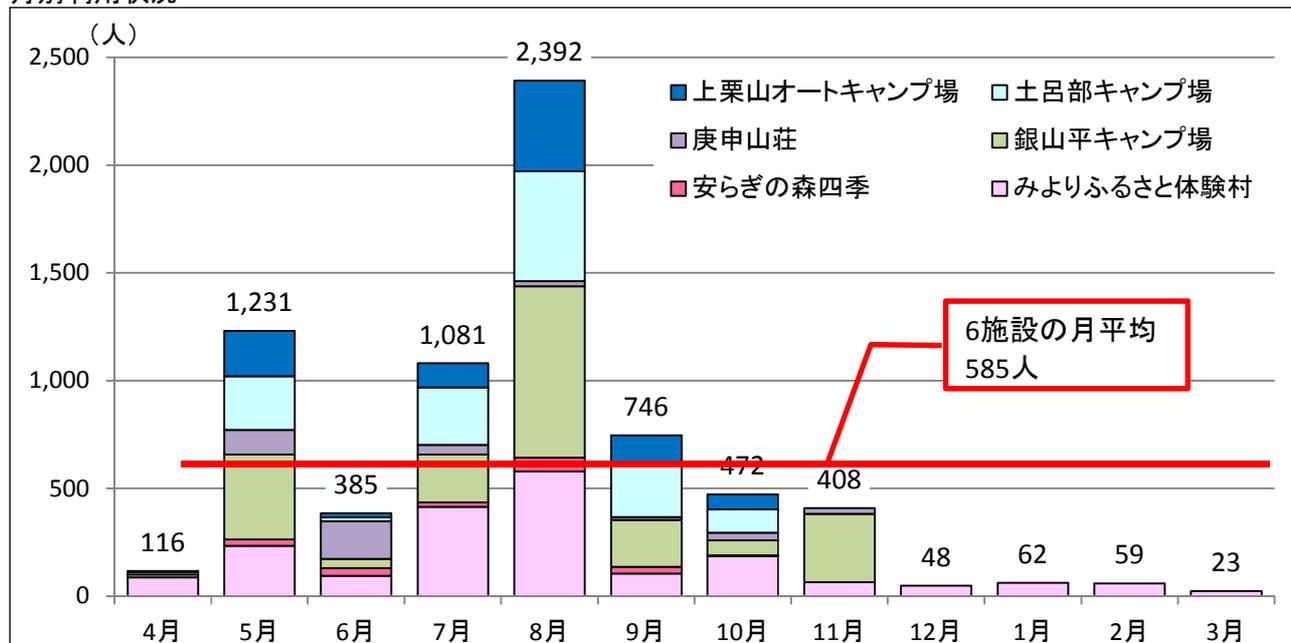
※自然体験交流センター「安らぎの森四季」は平成20年度からの推移となります。

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
自然体験交流センター「安らぎの森四季」			166	130	182
庚申山荘	360	334	212	189	431
銀山平キャンプ場	4,573	3,605	3,401	2,894	2,055
土呂部キャンプ場	1,381	1,331	943	1,561	1,421
(うちケビン利用)	(771)	(753)	(943)	(769)	(764)
みよりふるさと体験村	728	982	1,134	1,115	1,318
上栗山オートキャンプ場(テント)	1,022	988	908	1,074	959
合計	8,064	7,240	6,764	6,963	6,366
市全体の宿泊者に占める割合	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%

■ 月別利用状況

平成 22 年度の月別利用状況をみると、みよりふるさと体験村を除く 5 施設は、利用期間が 4 月～11 月（庚申山荘は 5 月から、土呂部・上栗山は 10 月まで）と限定されています。庚申山荘を除く 5 施設では、夏休み期間中である 8 月の利用者が最も多く、次に 5・7 月（銀山平キャンプ場では 11 月）に利用が集中しています。庚申山荘は 5・6 月に利用者が集中しています。

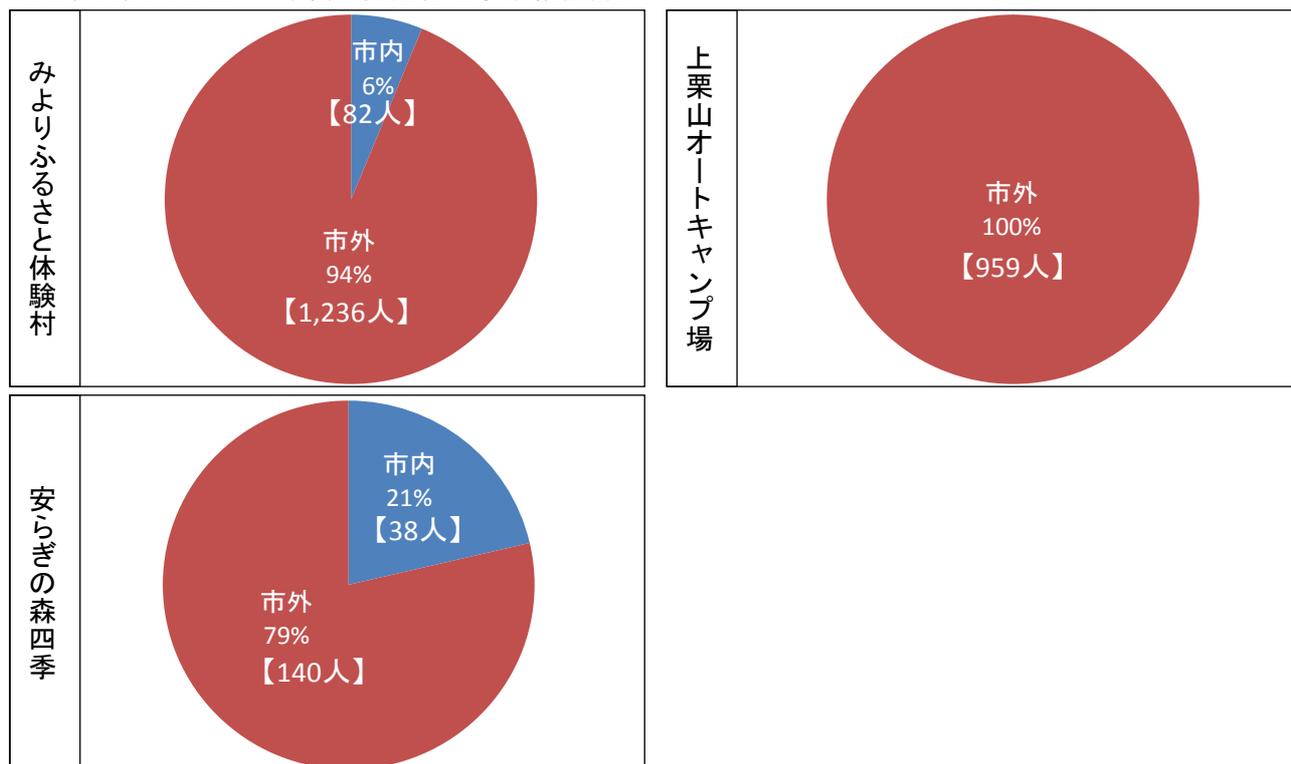
月別利用状況



■ 居住区別利用状況

居住区別利用状況を把握している 3 施設をみると、市外の利用者が大半を占めていることがわかります。

利用者内訳（平成 22 年度：指定管理事業報告書より）



<温泉施設>

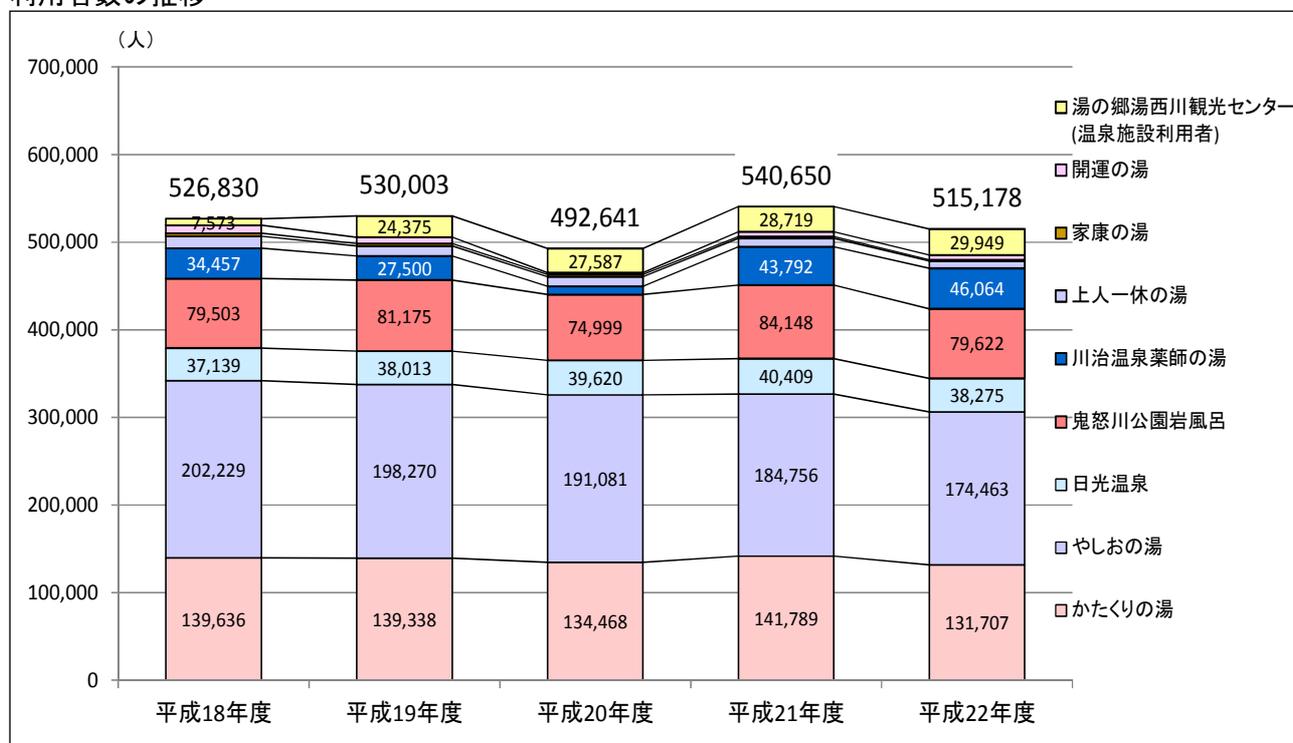
■ 推移

温泉9施設の直近5年間の利用者数推移をみると、平成18年度の526,830人から平成22年度には515,178人とほぼ横ばいで推移しています。

施設別にみると、かたくりの湯、日光温泉、鬼怒川公園岩風呂は、直近5年間ほぼ横ばいで推移していますが、やしおの湯では、平成18年に比べ、27,766人（約14%）減少していることがわかります。また、上人一休の湯、家康の湯、開運の湯では、約40%～約65%と大幅に減少しています。一方で、川治温泉薬師の湯、湯の郷湯西川観光センターは、増加傾向にあり、施設によって利用者数の増減の傾向は様々となっています。

市全体の観光客入込数に対する温泉9施設の利用者は、毎年4.5%程度となっています。

利用者数の推移

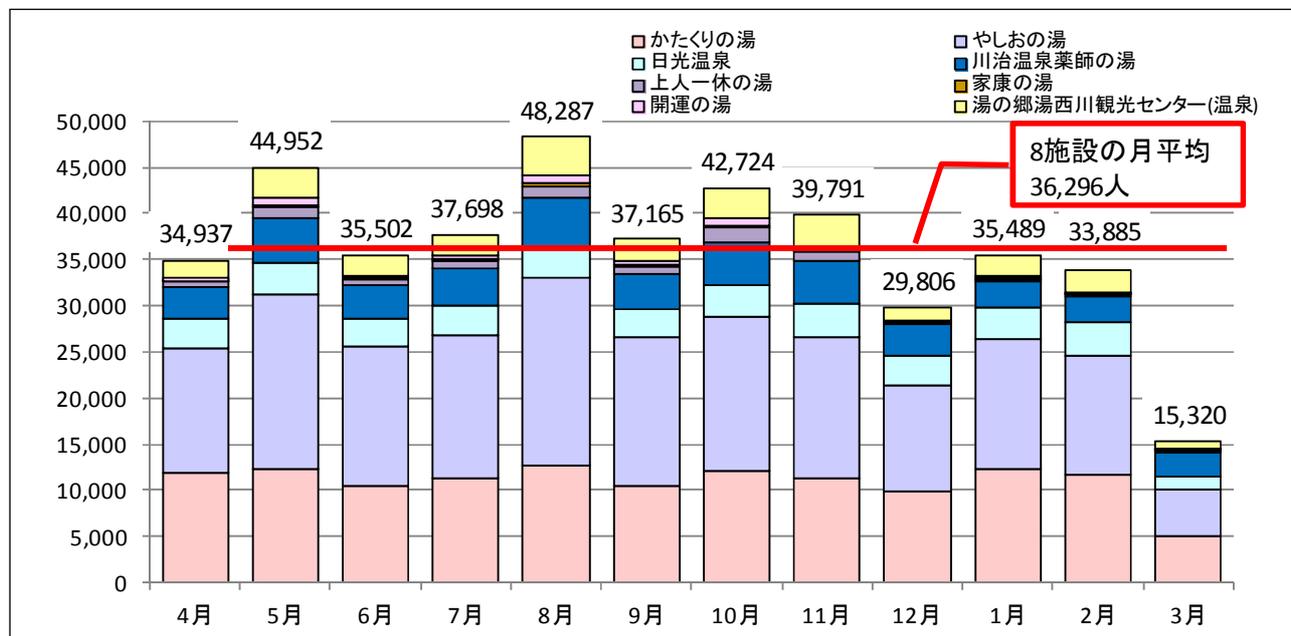


	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
かたくりの湯	139,636	139,338	134,468	141,789	131,707
やしおの湯	202,229	198,270	191,081	184,756	174,463
日光温泉	37,139	38,013	39,620	40,409	38,275
鬼怒川公園岩風呂	79,503	81,175	74,999	84,148	79,622
川治温泉薬師の湯	34,457	27,500	9,498	43,792	46,064
上人一休の湯	13,702	11,401	10,736	9,507	8,303
家康の湯	3,399	2,915	2,563	1,974	1,550
開運の湯	9,192	7,016	2,089	5,556	5,245
湯の郷湯西川観光センター (温泉施設利用者)	7,573	24,375	27,587	28,719	29,949
合計	526,830	530,003	492,641	540,650	515,178
日光市全体観光客入込数に占める割合	4.6%	4.6%	4.4%	4.8%	4.5%

■ 月別利用状況（鬼怒川公園岩風呂を除く）

平成 22 年度の月別利用者をみると、月平均 36,296 人の利用がありますが、12 月（年末）・3 月（年度末）の利用者が他の月に比べ減少しています。なお、3 月は、東日本大震災の影響により利用者が他の月に比べ 50～60%まで減少しています。

月別利用状況（平成 22 年度：指定管理事業報告書より）

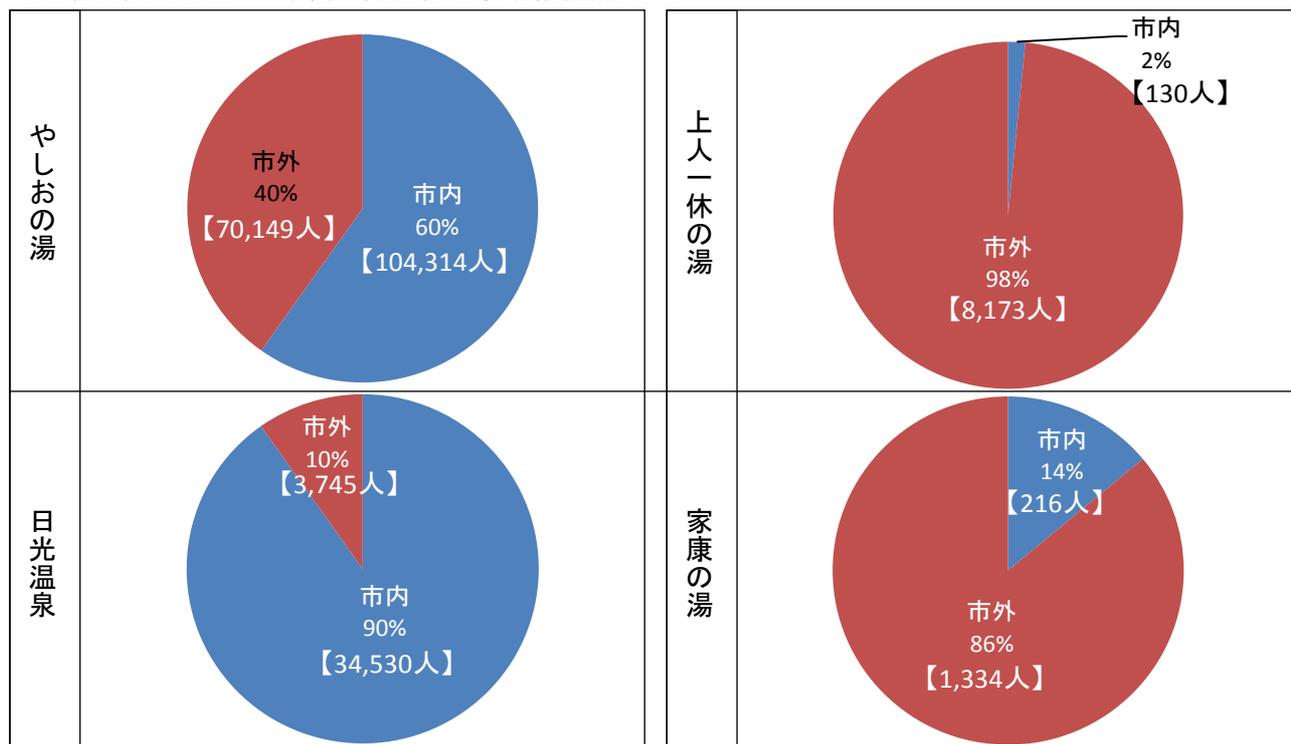


■ 居住区別利用状況

居住区別利用状況を把握している4施設をみると、やしおの湯・日光温泉は、市外よりも市内の利用者が多く、市民が日常的に利用している様子がうかがえます。

一方、栗山地域の上人一休の湯や家康の湯は、市外利用者が大半を占めています。

利用者内訳（平成 22 年度：指定管理事業報告書より）



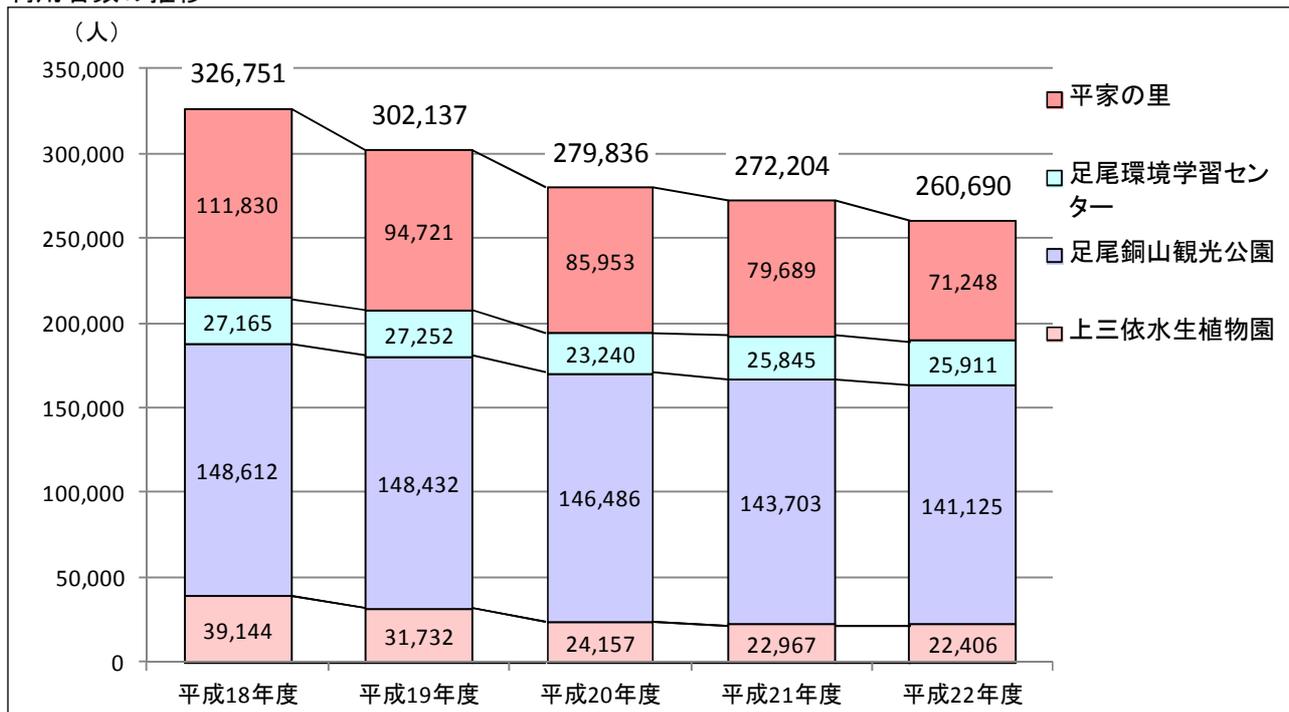
<資料館等施設>

■ 推移 (川治ダム資料館・中三依湿生園を除く)

資料館等4施設の直近5年間の利用者数推移をみると、平成18年度の326,751人から平成22年度には260,690人と約20%減少しています。

施設別では、足尾銅山観光公園は直近5年間ほぼ横ばいで推移していますが、上三依水生植物園は5年間で約43%、平家の里は約36%減少というように施設によって傾向が異なります。

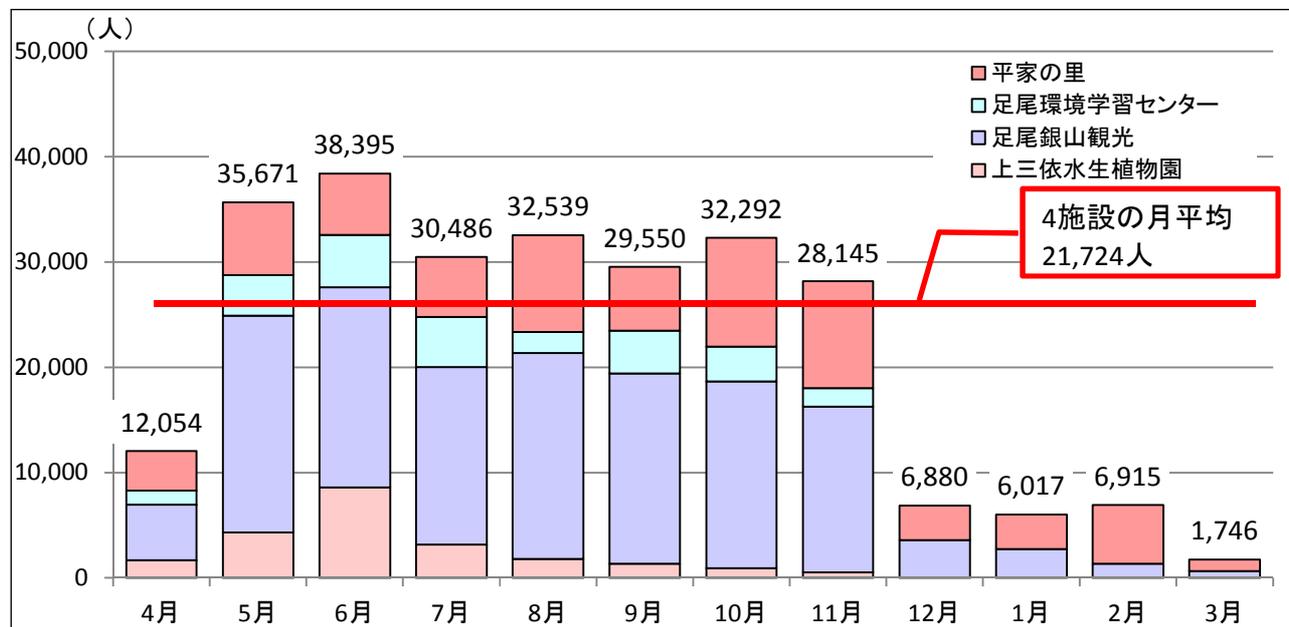
利用者数の推移



■ 月別利用状況 (川治ダム資料館・中三依湿生園を除く)

平成22年度の月別利用者をみると、上三依水生植物園・足尾環境学習センターは12月～3月まで閉園していますが、月別利用者をみると、上三依水生植物園は植生との関係で6月が最も多く、足尾銅山観光公園は5～11月に、平家の里は8～11月の利用が集中しています。

月別利用状況 (平成22年度：指定管理事業報告書より)

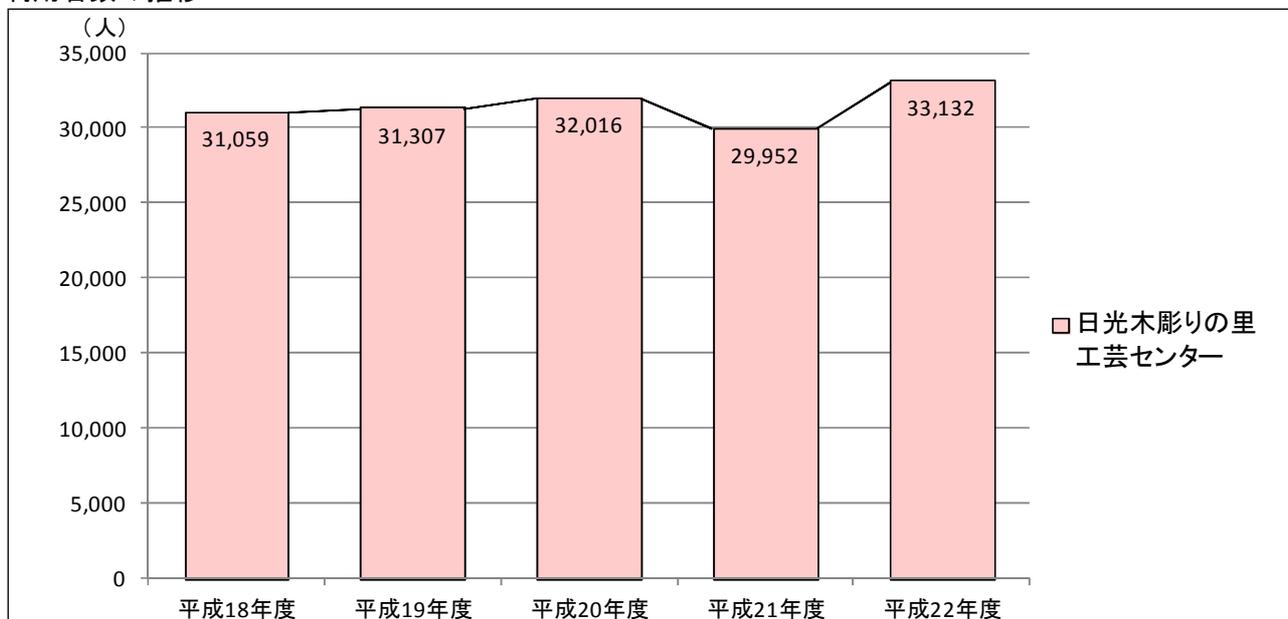


<体験施設>

■ 推移（みよりふるさと体験村を除く）

体験施設のうち日光木彫りの里工芸センターの直近5年間の利用者数推移をみると、平成18年度から平成21年度までは、ほぼ横ばいで推移しておりましたが、平成22年度は33,132人と微増傾向となっています。

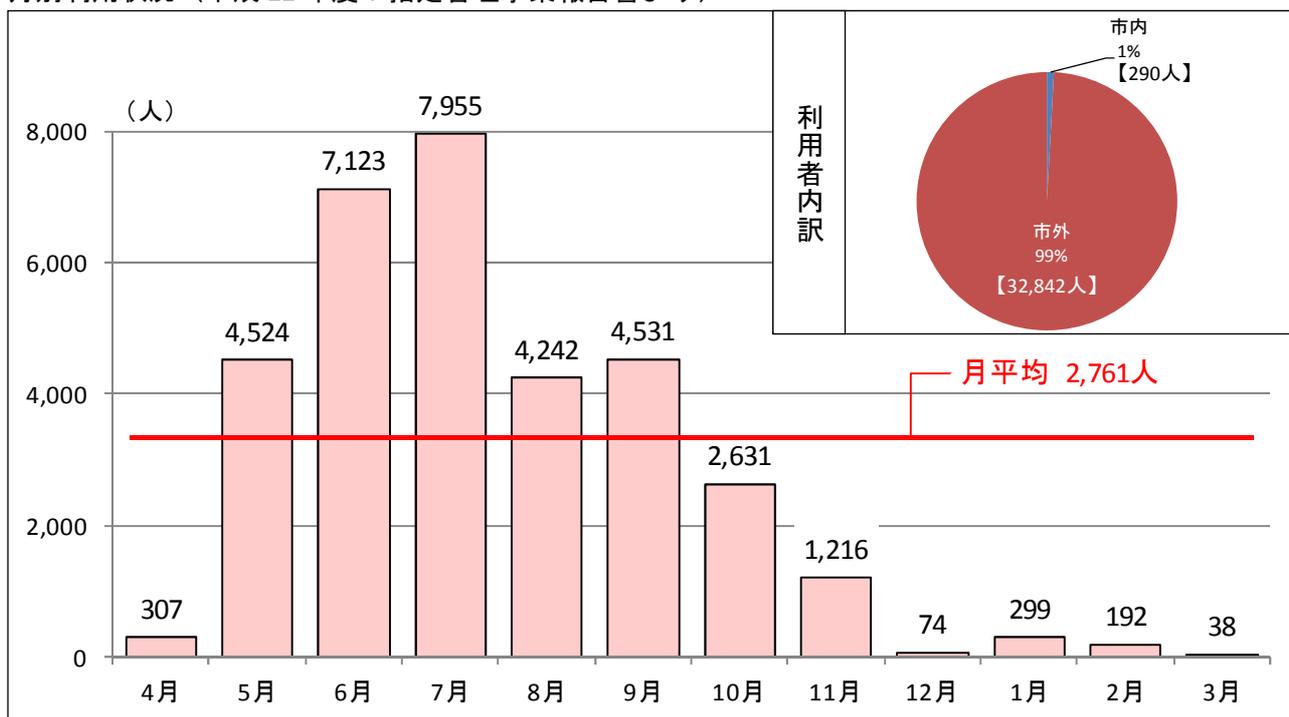
利用者数の推移



■ 月別利用状況（みよりふるさと体験村を除く）

平成22年度の月別利用者を見ると、木彫りの里工芸センターは修学旅行生が多く訪れる5月～9月にかけて利用者が集中しています。また利用者の内訳では、市外の利用者が大半を占めています。

月別利用状況（平成22年度：指定管理事業報告書より）



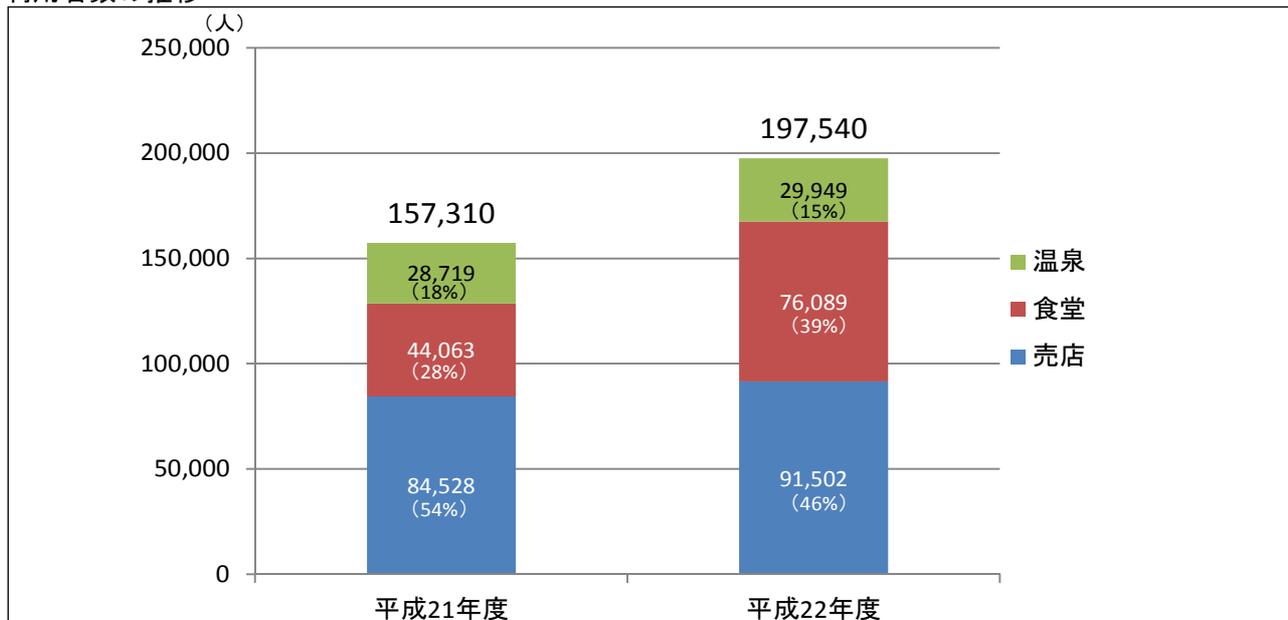
<湯の郷湯西川観光センター>

湯の郷湯西川観光センターは、湯西川温泉駅に直結した施設で、物産店や食堂のほかに、温泉施設や足湯、岩盤浴も備えた施設となっています。

■ 推移

平成 21 年度と平成 22 年度の利用状況をみると、平成 21 年度は 157,310 人、平成 22 年度は 197,540 人と 40,230 人（約 1.3 倍）増加しています。利用目的別では、特に食堂の利用者が 1 年間で約 1.7 倍と他の施設に比べて増加しています。

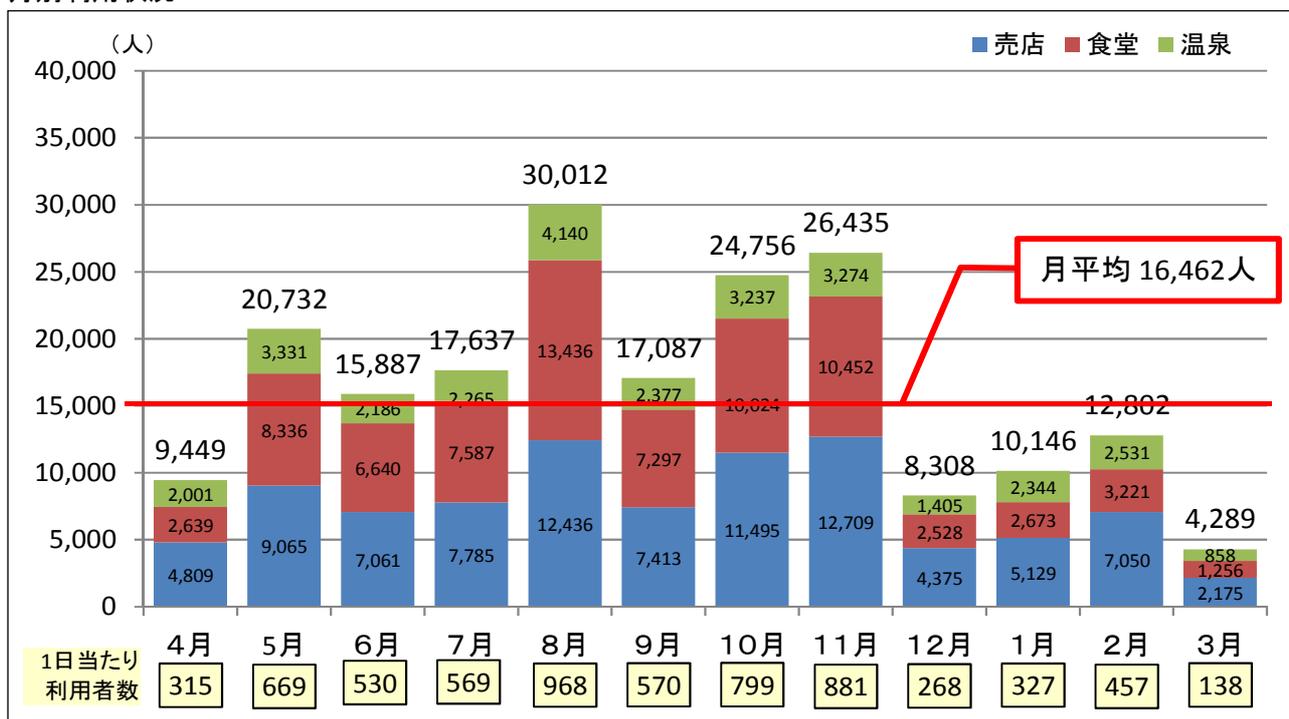
利用者数の推移



■ 月別利用状況

平成 22 年度の月別利用者をみると、8 月を中心として 5 月～11 月に利用者が集中しています。1 日当たり利用者数は、3 月の 138 人～8 月の 968 人となっています。

月別利用状況



③ 管理運営の状況

観光 28 施設のうち 23 施設が指定管理者による管理運営を行っています。

地域等	施設名称	運営の状況	指定管理者	指定期間	利用料金制
今市地域	1 温泉保養センター「かたくりの湯」	指定管理	財団法人 日光市公共施設振興公社	18. 4. 1～23. 3. 31 23. 4. 1～28. 3. 31	○ ○
	2 今市宿市縁ひろば	指定管理	今市観光協会	18. 4. 1～21. 3. 31 21. 4. 1～26. 3. 31	○ ○
日光地域	3 交流促進センター	指定管理	日光温泉旅館協同組合	21. 4. 1～24. 3. 31 24. 4. 1～29. 3. 31	○ ○
	4 温泉保養センター「やしおの湯」	指定管理	財団法人 日光市公共施設振興公社	18. 4. 1～23. 3. 31 23. 4. 1～28. 3. 31	× ○
	5 温泉保養センター「日光温泉」	指定管理	財団法人 日光市公共施設振興公社	18. 4. 1～23. 3. 31 23. 4. 1～28. 3. 31	× ○
	6 日光郷土センター	指定管理	社団法人 日光観光協会	22. 4. 1～27. 3. 31	×
	7 日光木彫りの里工芸センター	指定管理	日光彫り体験教室運営協議会	21. 4. 1～24. 3. 31 24. 4. 1～29. 3. 31	× ×
	8 みよりふるさと体験村	指定管理	中三依自治会	18. 4. 1～21. 3. 31 21. 4. 1～26. 3. 31	○ ○
	9 市営浴場「鬼怒川公園岩風呂」	直営	—	—	—
藤原地域	10 市営浴場「川治温泉薬師の湯」	指定管理	一般社団法人 川治薬師の湯管理協会	21. 4. 1～24. 3. 31 24. 4. 1～29. 3. 31	○ ○
	11 鬼怒川・川治温泉観光情報センター	指定管理	特定非営利活動法人 鬼怒川・川治温泉観光協会	18. 4. 1～21. 3. 31 21. 4. 1～26. 3. 31	× ×
	12 川治ダム資料館	直営	—	—	—
	13 上三依水生植物園	指定管理	栃木県造園建設業協同組合 有限会社 山加園	20. 4. 1～23. 3. 31 23. 4. 1～28. 3. 31	○ ○
	14 中三依湿生園	直営	—	—	—
	15 庚申山荘	指定管理	足尾観光協会 有限会社 E & K S 共和国	18. 4. 1～22. 3. 31 22. 4. 1～27. 3. 31	× ×
	16 国民宿舎「かじか荘」	指定管理	有限会社 E & K S 共和国	18. 3. 1～22. 3. 31 22. 4. 1～27. 3. 31	○ ○
足尾地域	17 銀山平公園キャンプ場	指定管理	足尾観光協会 有限会社 E & K S 共和国	18. 4. 1～22. 3. 31 22. 4. 1～27. 3. 31	○ ○
	18 間藤駅観光センター	直営	—	—	—
	19 足尾銅山観光	直営	—	—	—
	20 足尾環境学習センター	指定管理	特定非営利活動法人 足尾に緑を育てる会	18. 4. 1～22. 3. 31 22. 4. 1～27. 3. 31	○ ○
栗山地域	21 自然体験交流センター「安らぎの森 四季」	指定管理	安ヶ森管理組合	20. 4. 1～23. 3. 31 23. 4. 1～28. 3. 31	○ ○
	22 土呂部キャンプ場	指定管理	土呂部キャンプ場管理組合	18. 4. 1～23. 3. 31 23. 4. 1～28. 3. 31	○ ○
	23 上栗山オートキャンプ場	指定管理	上栗山開運の里管理組合	18. 4. 1～23. 3. 31 23. 4. 1～28. 3. 31	○ ○
	24 川俣湖温泉共同浴場「上人一休の湯」	指定管理	川俣湖温泉ふれあいの里管理組合	18. 4. 1～23. 3. 31 23. 4. 1～28. 3. 31	○ ○
	25 野門温泉共同浴場「家康の湯」	指定管理	平家高原家康の里開発組合	18. 4. 1～23. 3. 31 23. 4. 1～28. 3. 31	○ ○
	26 上栗山温泉共同浴場「開運の湯」	指定管理	上栗山開運の里管理組合	18. 4. 1～23. 3. 31 23. 4. 1～28. 3. 31	○ ○
	27 湯の郷湯西川観光センター	指定管理	ビジターセンター管理組合 株式会社 湯の郷	19. 1. 1～22. 3. 31 22. 4. 1～27. 3. 31	○ ○
	28 平家の里	指定管理	平家の里湯西川協同組合	18. 4. 1～28. 3. 31	○

※利用料金制とは、施設の使用料について指定管理者の収入とすることができる制度です。そのため、施設の維持管理にかかる費用は、指定管理料と指定管理者が收受する利用料金で賄う場合と指定管理者が收受する利用料金のみで賄う場合があります。

3) コスト状況

<観光案内施設>

① 施設別トータルコスト状況

平成22年度の観光案内4施設の年間トータルコストは、3,798万円です。

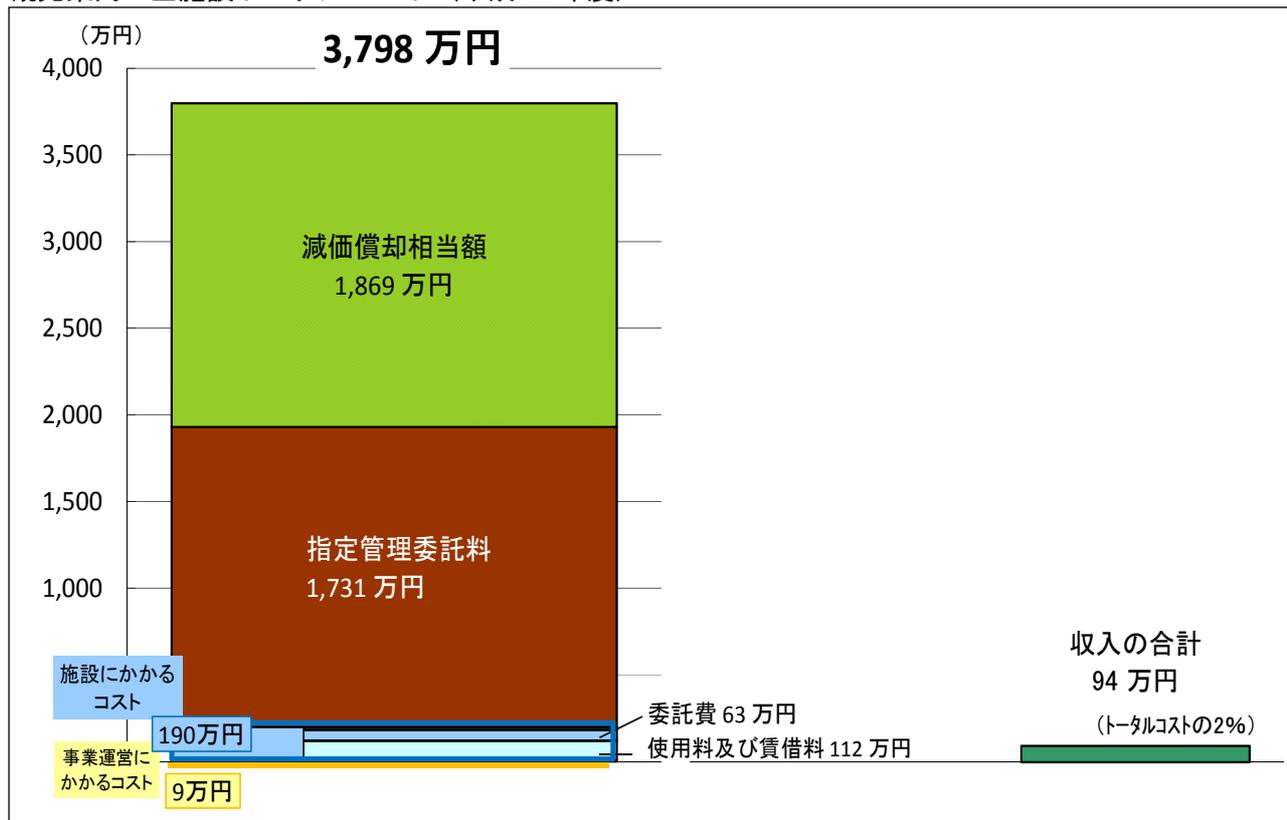
年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（建物管理委託費・使用料及び賃借料等）は190万円（約5%）、事業運営にかかるコスト（人件費・修繕費等）は9万円（約0.2%）、指定管理委託料は1,731万円（約46%）、減価償却相当額は1,869万円（49%）です。

※湯の郷湯西川観光センターについては、155ページに記載してあります。

施設別行政コスト計算書（平成22年度）

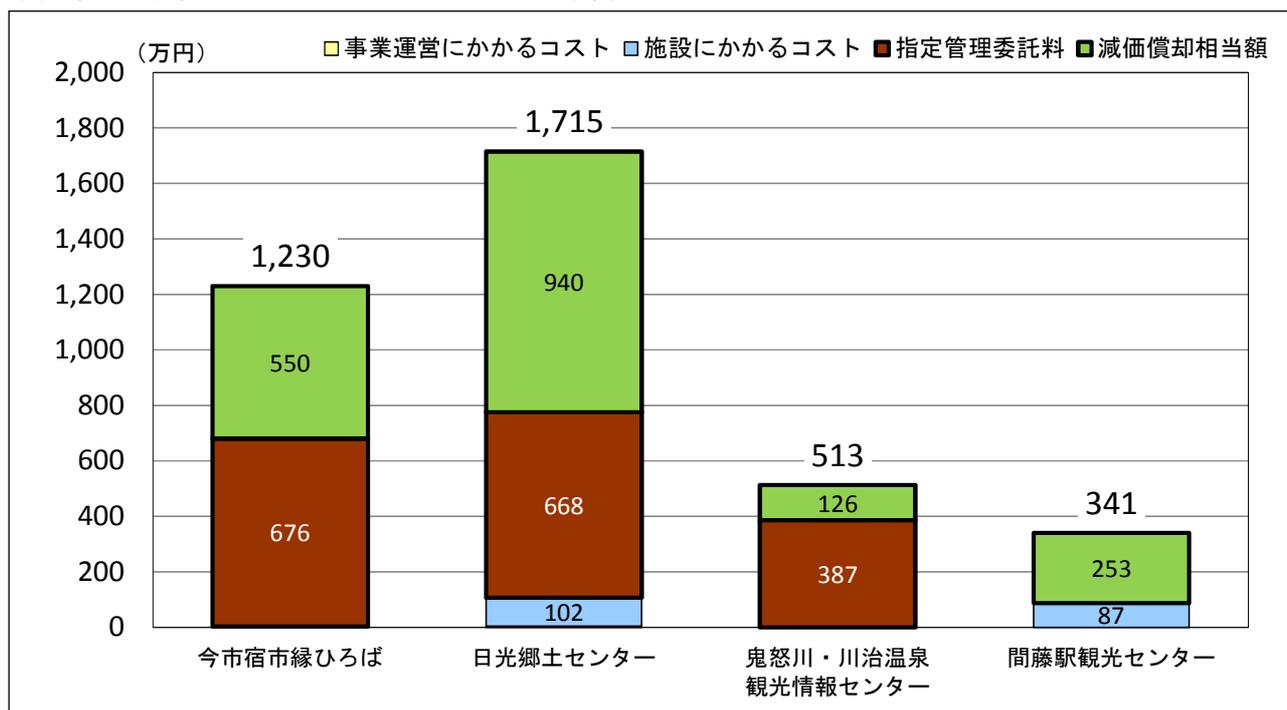
I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		今市宿市縁 ひろば	日光郷土セ ンター	鬼怒川・川治 温泉観光情 報センター	間藤駅観光 センター	合計	(千円)
コカ施 スカ設 トるに	修繕費	0	151	0	0	151	
	委託費	0	0	0	629	629	
	使用料及び賃借料	0	870	0	245	1,115	
	施設にかかるコスト	0	1,021	0	874	1,895	
運事 営業	その他物件費	39	51	0	0	90	
	事業運営にかかるコスト	39	51	0	0	90	
指定管理委託料		6,762	6,678	3,866	0	17,306	
現金収支を伴うコスト 計		6,801	7,750	3,866	874	19,291	
【収入の部】							
収入	使用料収入	0	192	3	745	940	
収入の合計		0	192	3	745	940	
II. 現金収支を伴わないもの							
コスト	減価償却相当額	5,501	9,398	1,260	2,532	18,691	
III. 総括							
コストの部合計(トータルコスト)		12,302	17,148	5,126	3,406	37,982	
収支差額(ネットコスト)		12,302	16,956	5,123	2,661	37,042	

観光案内 全施設トータルコスト（平成 22 年度）



施設別トータルコストでは、間藤駅観光センターの 341 万円～日光郷土センターの 1,715 万円となっています。間藤駅観光センターを除く 3 施設は、指定管理委託料が中心のコスト構成となっています。

観光案内 施設別トータルコスト（平成 22 年度）

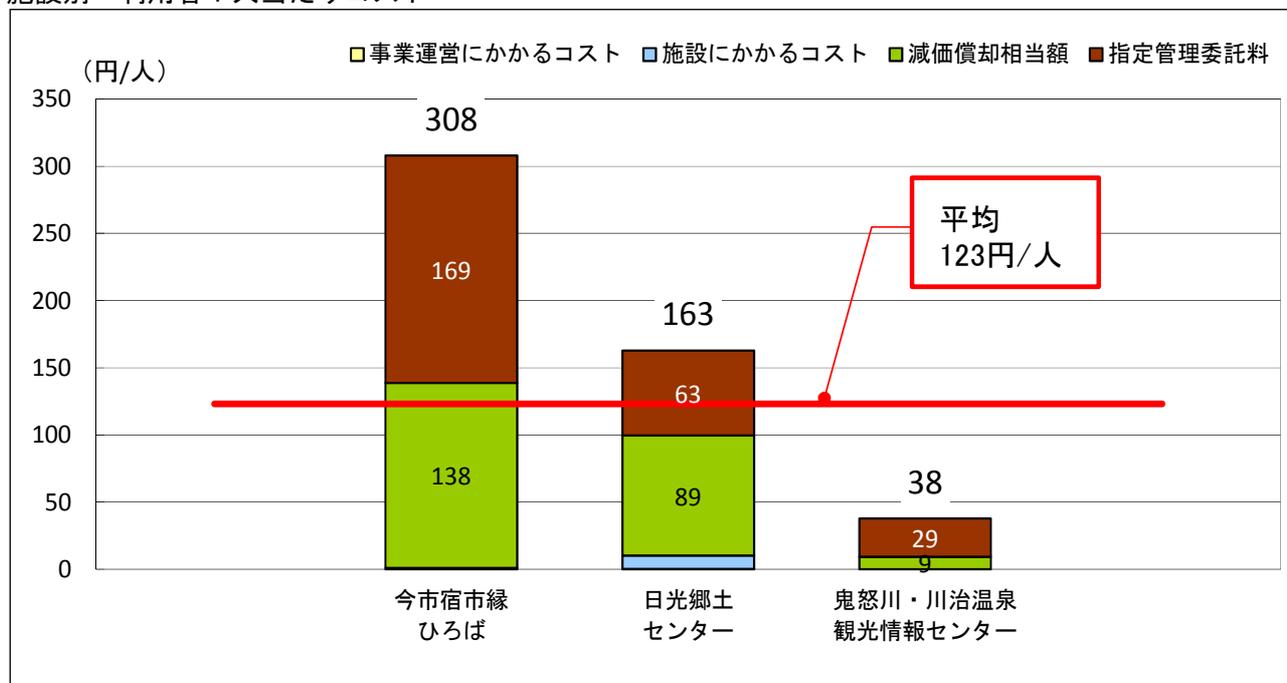


② 利用当たりのコストと床面積当たりのコスト状況

■ 利用者1人当たりのコスト（間藤駅観光センター除く）

平成22年度の年間利用者数とトータルコストから利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、鬼怒川・川治温泉観光情報センターが38円/人から今市宿市縁ひろばが308円/人となっています。観光案内3施設の平均は123円/人です。

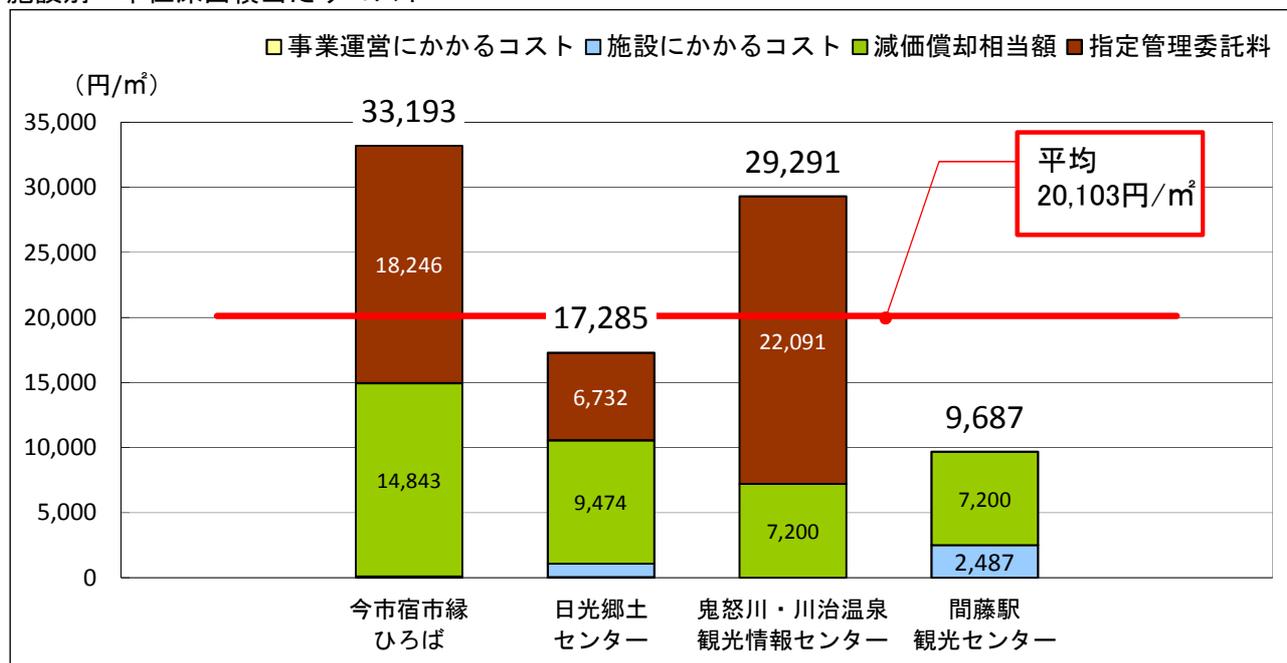
施設別 利用者1人当たりコスト



■ 床面積 (㎡) 当たりのコスト

延床面積とトータルコストから単位床面積当たりにかかるコストを算出すると、間藤駅観光センターの9,687円/㎡から今市宿市縁ひろばの33,193円/㎡となっています。観光案内5施設の平均は20,103円/㎡です。

施設別 単位床面積当たりコスト



< 宿泊施設（宿舎・ロッジ） >

① 施設別トータルコスト状況

平成22年度の宿泊（宿舎・ロッジ）8施設の年間トータルコストは、6,903万円です。

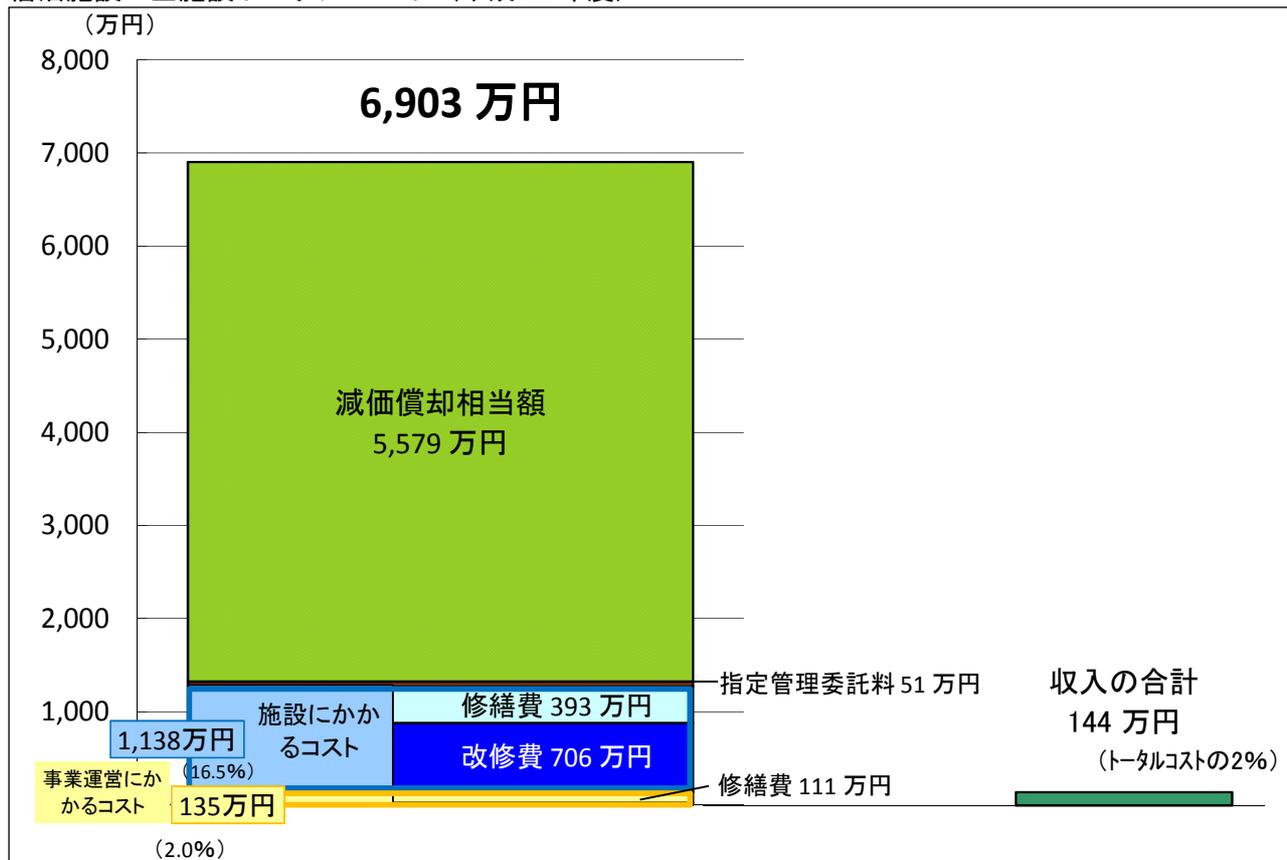
年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（修繕費・使用料及び賃借料等）は1,138万円（約17%）、事業運営にかかるコスト（人件費・修繕費等）は135万円（約2%）、減価償却相当額は5,579万円（約81%）です。

施設別行政コスト計算書（平成22年度）

（千円）

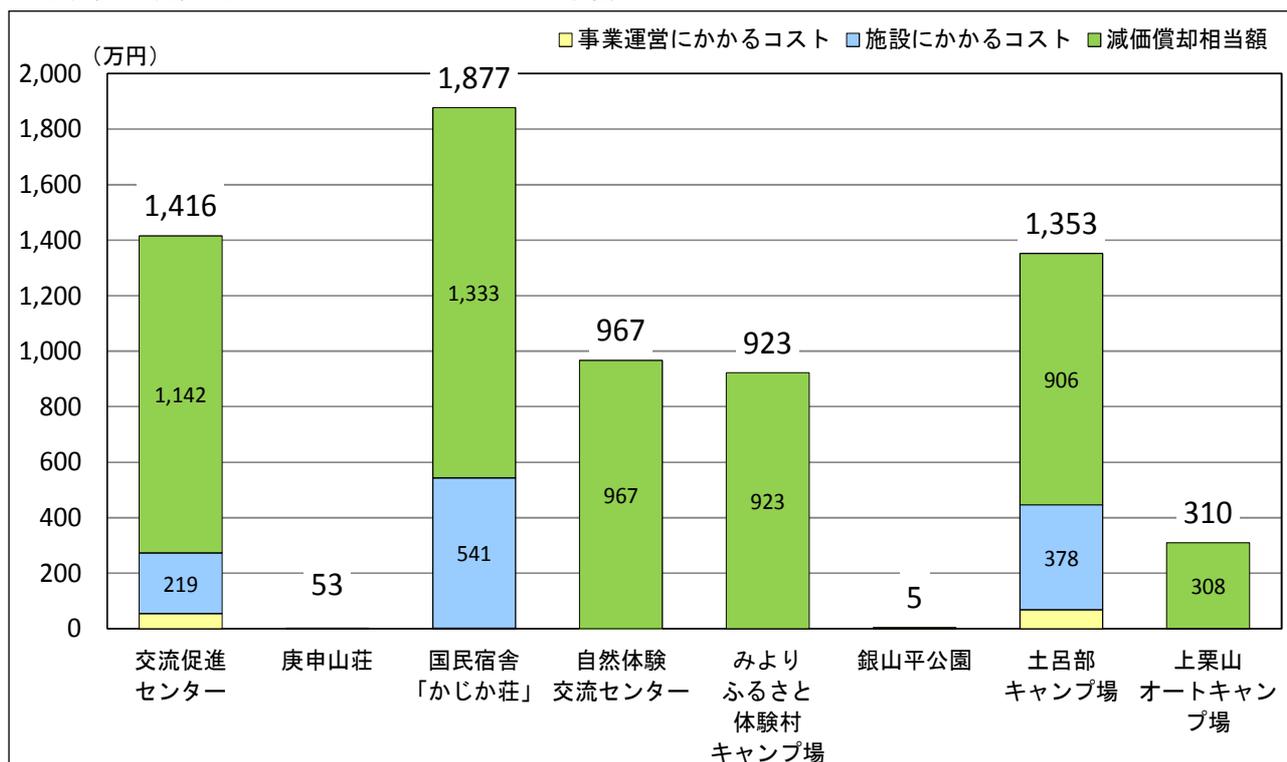
I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		交流促進センター	庚申山荘	国民宿舎「かじか荘」	自然体験交流センター「安らぎの森四季」	みよりふるさと体験村キャンプ場	銀山公園	土呂部キャンプ場	上栗山オートキャンプ場	合計
施設にかかるコスト	修繕費	467	0	0	0	0	0	3,465	0	3,932
	改修費	1,718	0	5,340	0	0	0	0	0	7,058
	委託費	0	0	0	0	0	0	315	0	315
	使用料及び賃借料	0	0	73	0	0	0	0	0	73
	施設にかかるコスト	2,185	0	5,413	0	0	0	3,780	0	11,378
事業運営にかかるコスト	修繕費	481	0	0	0	0	0	630	0	1,111
	その他物件費	73	20	24	0	0	46	57	18	238
	事業運営にかかるコスト	554	20	24	0	0	46	687	18	1,349
指定管理委託料		0	510	0	0	0	0	0	0	510
現金収支を伴うコスト 計		2,739	530	5,437	0	0	46	4,467	18	13,237
【収入の部】										
収入	使用料収入	0	485	959	0	0	0	0	0	1,444
収入の合計		0	485	959	0	0	0	0	0	1,444
II. 現金収支を伴わないもの										
コスト	減価償却相当額	11,419	0	13,334	9,670	9,225	0	9,060	3,081	55,789
III. 総括										
コストの部合計（トータルコスト）		14,158	530	18,771	9,670	9,225	46	13,527	3,099	69,026
収支差額（ネットコスト）		14,158	45	17,812	9,670	9,225	46	13,527	3,099	67,582

宿泊施設 全施設トータルコスト（平成 22 年度）



施設別トータルコストでは、銀山平公園の5万円~かじか荘の1,877万円となっています。各施設とも減価償却相当額がトータルコストの大半を占めており、自然体験交流センター「安らぎの森 四季」とみよりふるさと体験村キャンプ場は、市の支出はありませんでした。

宿泊施設 施設別トータルコスト（平成 22 年度）

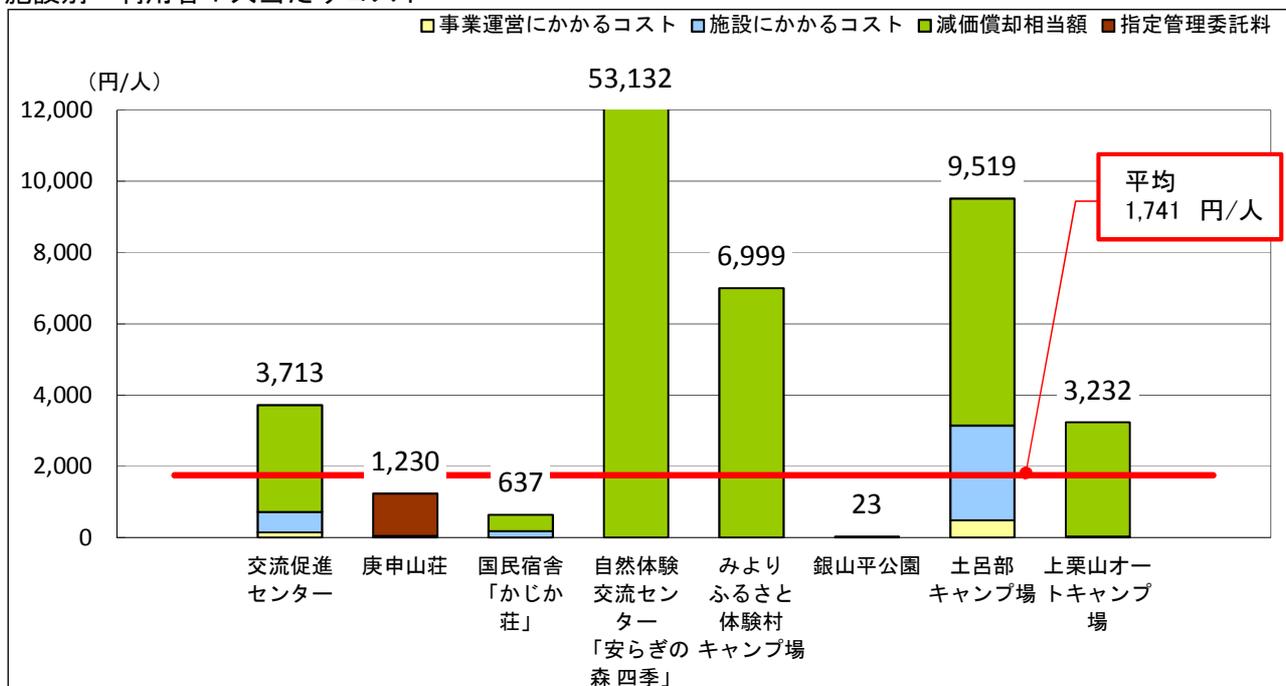


② 利用当たりのコストと床面積当たりのコスト状況

■ 利用者1人当たりのコスト

平成22年度の年間利用者数とトータルコストから利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、銀山平公園の23円/人から自然体験交流センター「安らぎの森 四季」の53,132円/人となっています。宿泊8施設の平均は1,741円/人となっています。

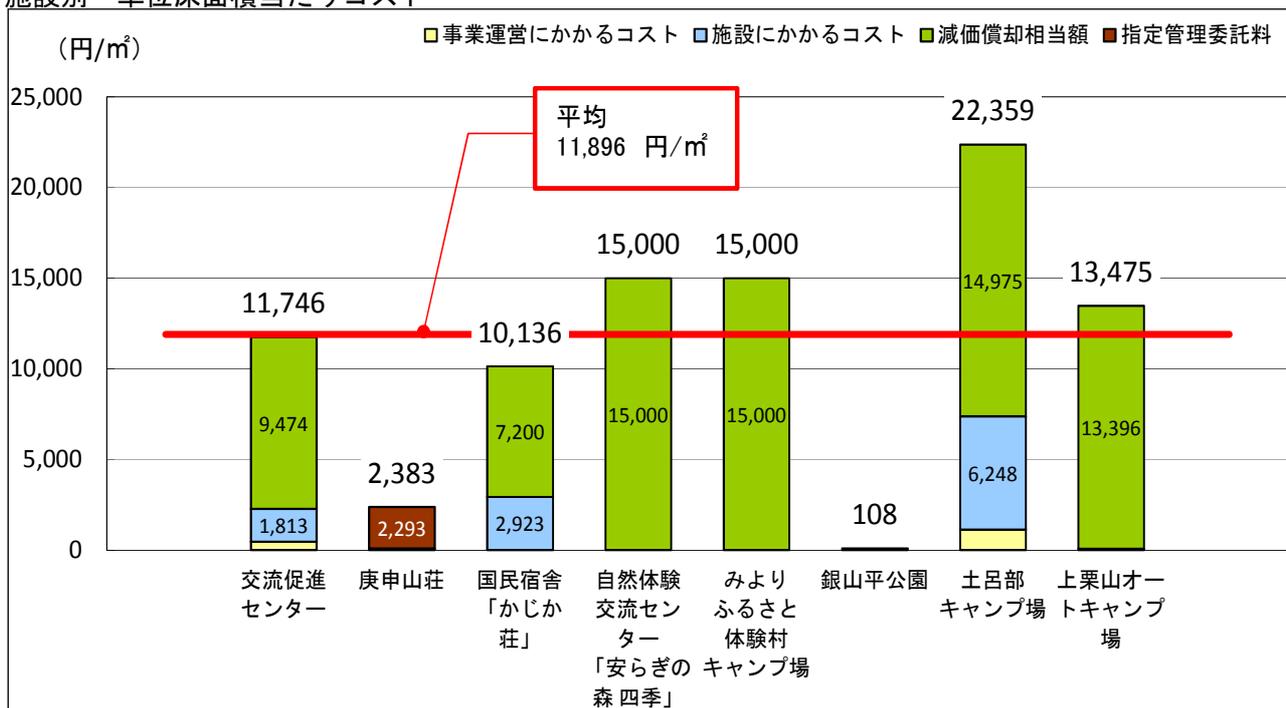
施設別 利用者1人当たりコスト



■ 床面積 (㎡) 当たりのコスト

延床面積とトータルコストから単位床面積当たりにかかるコストを算出すると、銀山平公園の108円/㎡から土呂部キャンプ場の22,359円/㎡となっています。宿泊8施設の平均は11,896円/㎡です。

施設別 単位床面積当たりコスト



<温泉施設>

① 施設別トータルコスト状況

平成22年度の温泉8施設の年間トータルコストは、2億7,925万円です。

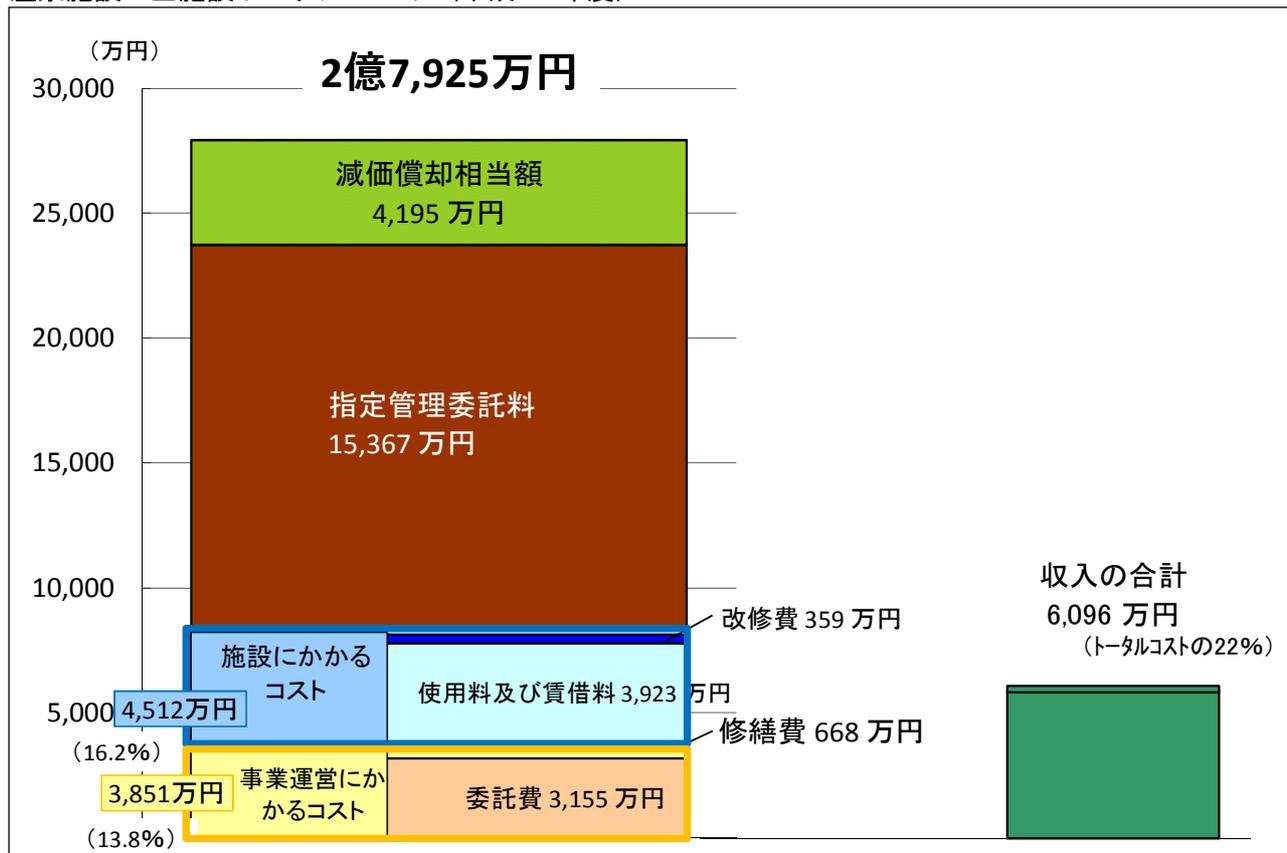
年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト(修繕費・改修費等)は4,512万円(約16%)、事業運営にかかるコスト(修繕費・委託費等)は3,851万円(約14%)、指定管理委託料は1億5,367万円(約55%)、減価償却相当額は4,195万円(15%)です。

施設別行政コスト計算書(平成22年度)

(千円)

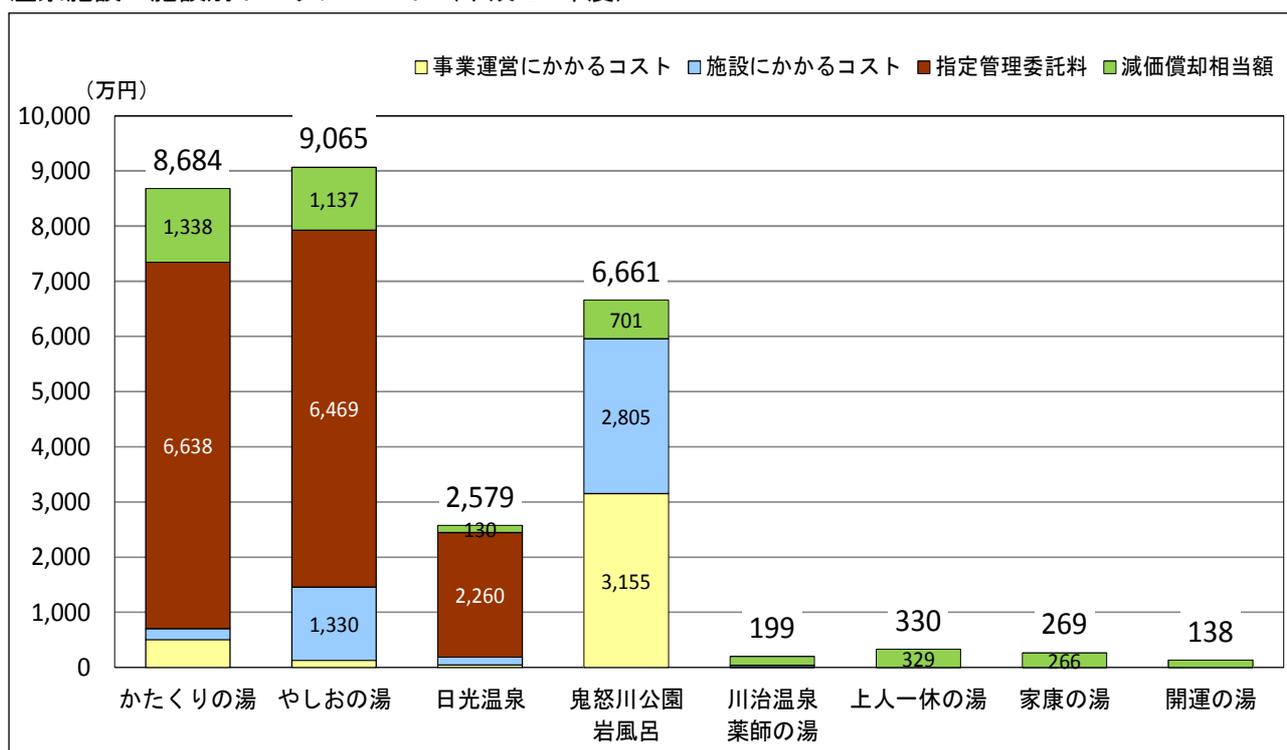
I 現金収支を伴うもの 【コストの部】		かたくりの湯	やしおの湯	日光温泉	鬼怒川公園 岩風呂	川治温泉 薬師の湯	上人一休の湯	家康の湯	開運の湯	合計
施設 コスト にか か	修繕費	1,953	258	0	0	0	0	0	0	2,211
	改修費	0	3,589	0	0	0	0	0	0	3,589
	委託費	84	0	0	0	0	0	0	0	84
	使用料及び賃借料	0	9,450	1,421	28,048	314	0	0	0	39,233
	施設にかかるコスト	2,037	13,297	1,421	28,048	314	0	0	0	45,117
事業 コスト にか か	修繕費	5,012	1,200	466	0	0	0	0	0	6,678
	委託費	0	0	0	31,553	0	0	0	0	31,553
	其他物件費	36	103	0	0	88	9	32	13	281
	事業運営にかかるコスト	5,048	1,303	466	31,553	88	9	32	13	38,512
指定管理委託料		66,383	64,686	22,604	0	0	0	0	0	153,673
現金収支を伴うコスト 計		73,468	79,286	24,491	59,601	402	9	32	13	237,302
【収入の部】										
収入	使用料収入	0	53,085	5,272	0	0	0	0	0	58,357
	諸収入	0	2,466	139	0	0	0	0	0	2,605
収入の合計		0	55,551	5,411	0	0	0	0	0	60,962
II 現金収支を伴わないもの										
コスト	減価償却相当額	13,375	11,368	1,298	7,005	1,591	3,291	2,655	1,365	41,948
III 総括										
コストの部合計(トータルコスト)		86,843	90,654	25,789	66,606	1,993	3,300	2,687	1,378	279,250
収支差額(ネットコスト)		86,843	35,103	20,378	66,606	1,993	3,300	2,687	1,378	218,288

温泉施設 全施設トータルコスト（平成 22 年度）



施設別トータルコストでは、開運の湯の 138 万円～やしおの湯の 9,065 万円となっています。かたくりの湯、日光温泉、やしおの湯は、指定管理料が、鬼怒川公園岩風呂は委託費が中心のコスト構成となっています。

温泉施設 施設別トータルコスト（平成 22 年度）

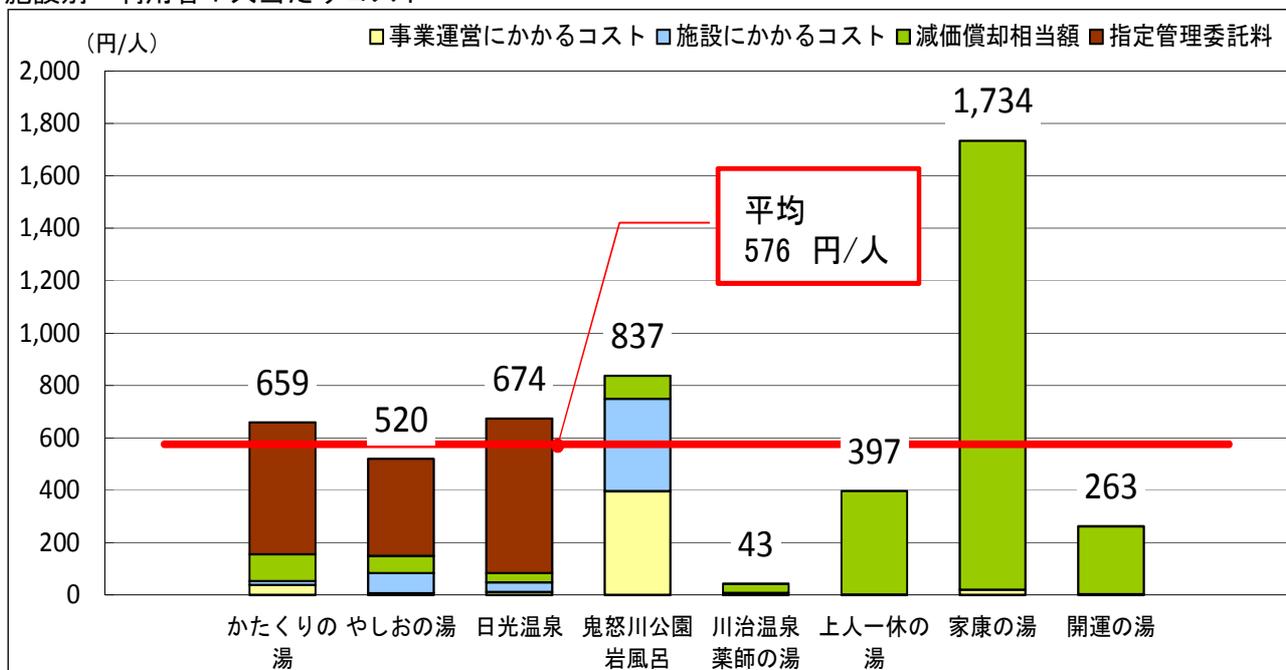


② 利用当たりのコストと床面積当たりのコスト状況

■ 利用者1人当たりのコスト

平成22年度の年間利用者数とトータルコストから利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、川治温泉薬師の湯の43円/人から家康の湯の1,734円/人となっています。温泉施設8施設の平均は576円/人となっています。

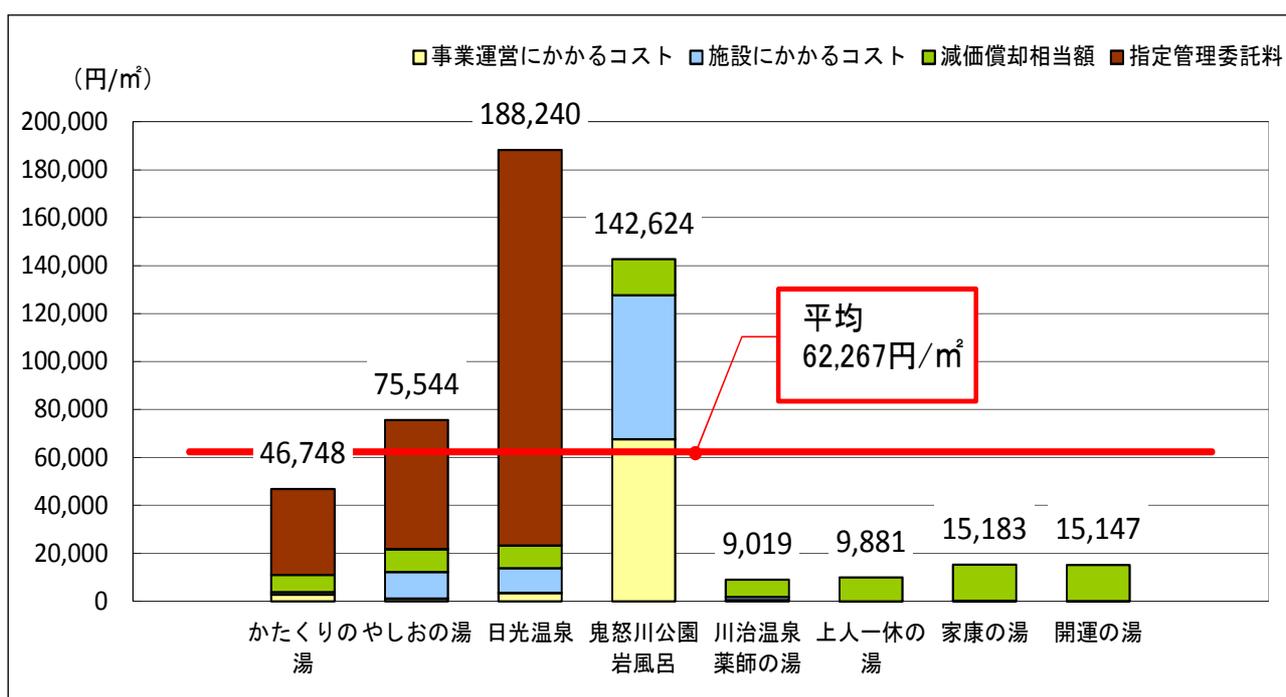
施設別 利用者1人当たりコスト



■ 床面積 (㎡) 当たりのコスト

延床面積とトータルコストから単位床面積当たりにかかるコストを算出すると、川治温泉薬師の湯の9,019円/㎡から日光温泉の188,240円/㎡となっています。温泉8施設の平均は62,267円/㎡です。

施設別 単位床面積当たりコスト



＜資料館等施設＞

① 施設別トータルコスト状況

平成22年度の資料館等6施設の年間トータルコストは、1億2,757万円です。

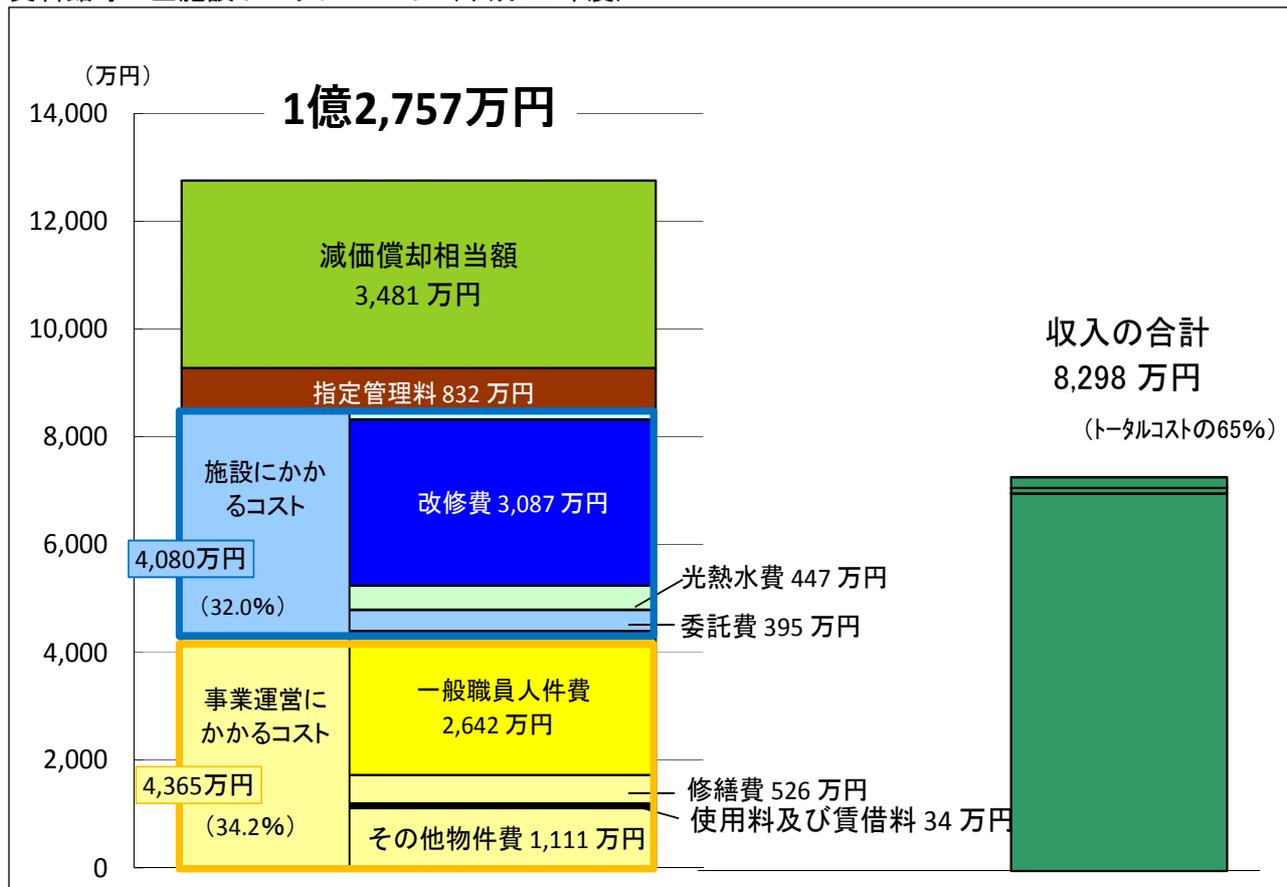
年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（光熱水費・建物管理委託費等）は4,080万円（約32%）、事業運営にかかるコスト（人件費・修繕費等）は4,365万円（約34%）、指定管理委託料は832万円（約7%）、減価償却相当額は3,481万円（27%）です。

施設別行政コスト計算書（平成22年度）

（千円）

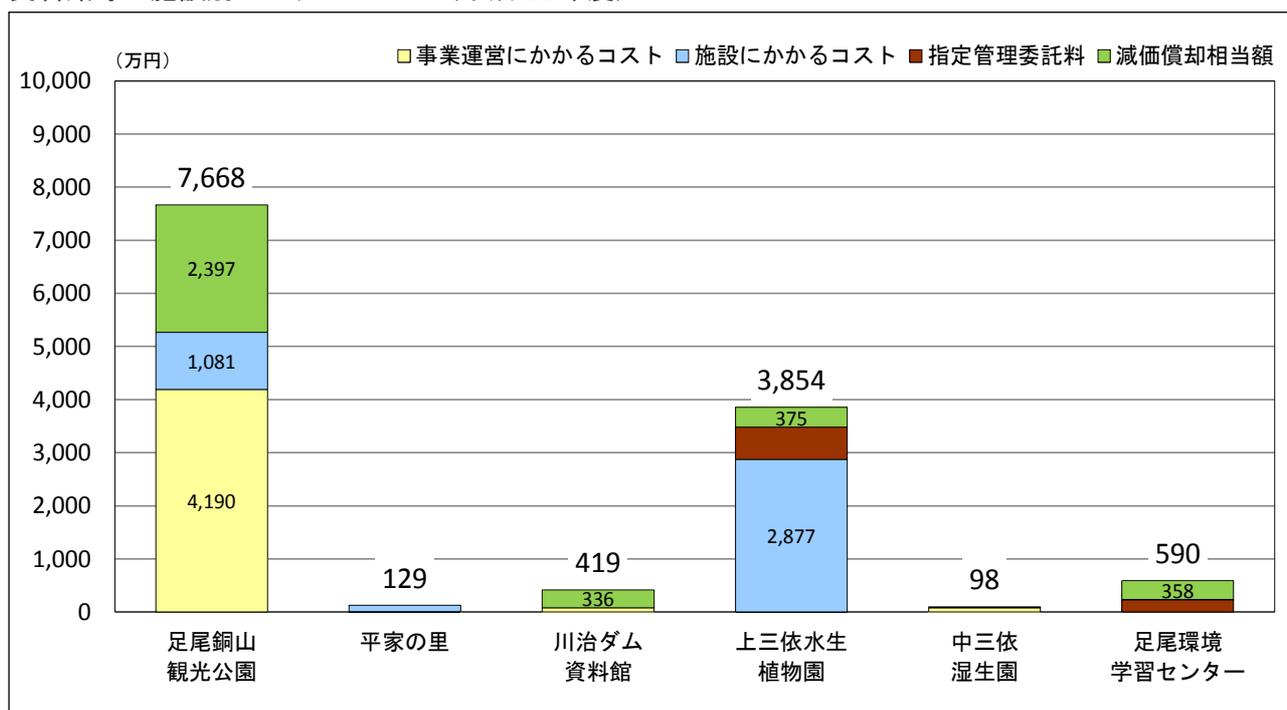
I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		足尾銅山観 光	平家の里	川治ダム資 料館	上三依水生 植物園	中三依湿生 園	足尾環境学 習センター	合計
施設にか かる コスト	修繕費	0	1,205	0	0	0	0	1,205
	改修費	2,384	0	0	28,487	0	0	30,871
	光熱水費	4,462	0	0	0	6	0	4,468
	委託費	3,948	0	0	0	0	0	3,948
	使用料及び賃借料	21	0	0	288	0	0	309
	施設にかかるコスト	10,815	1,205	0	28,775	6	0	40,801
事業運 営にか か る コスト	一般職員人件費	24,767	0	826	0	826	0	26,419
	修繕費	5,264	0	0	0	0	0	5,264
	使用料及び賃借料	337	0	0	0	0	0	337
	備品購入費	383	0	0	0	0	0	383
	負担金補助及び交付金	130	0	0	0	0	0	130
	その他物件費	11,014	85	0	15	0	0	11,114
事業運営にかかるコスト	41,895	85	826	15	826	0	43,647	
指定管理料		0	0	0	6,000	0	2,320	8,320
現金収支を伴うコスト 計		52,710	1,290	826	34,790	832	2,320	92,768
【収入の部】								
収入	分担金及び負担金(収入)	79,553	0	0	0	0	0	79,553
	使用料収入	761	0	432	0	0	0	1,193
	諸収入	2,235	0	0	0	0	0	2,235
収入の合計		82,549	0	432	0	0	0	82,981
II. 現金収支を伴わないもの								
コスト	減価償却相当額	23,971	0	3,362	3,749	149	3,578	34,809
III. 総括								
コストの部合計(トータルコスト)		76,681	1,290	4,188	38,539	981	5,898	127,577
収支差額(ネットコスト)		-5,868	1,290	3,756	38,539	981	5,898	44,596

資料館等 全施設トータルコスト（平成 22 年度）



施設別トータルコストでは、中三依湿生園の 98 万円～足尾銅山観光公園の 7,668 万円となっています。

資料館等 施設別トータルコスト（平成 22 年度）

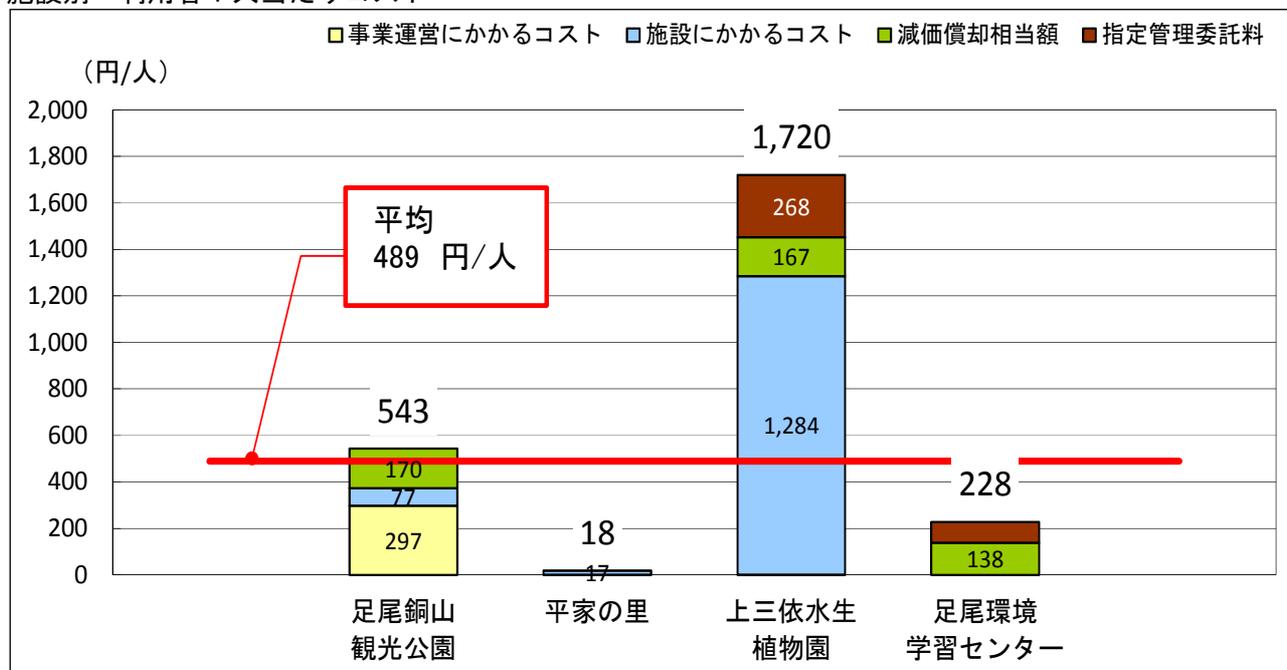


② 利用当たりのコストと床面積当たりのコスト状況

■ 利用者1人当たりのコスト（川治ダム資料館、中三依湿生園を除く）

平成22年度の年間利用者数とトータルコストから利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、平家の里の18円/人から上三依水生植物園の1,720円/人となっています。資料館等4施設の平均は489円/人となっています。

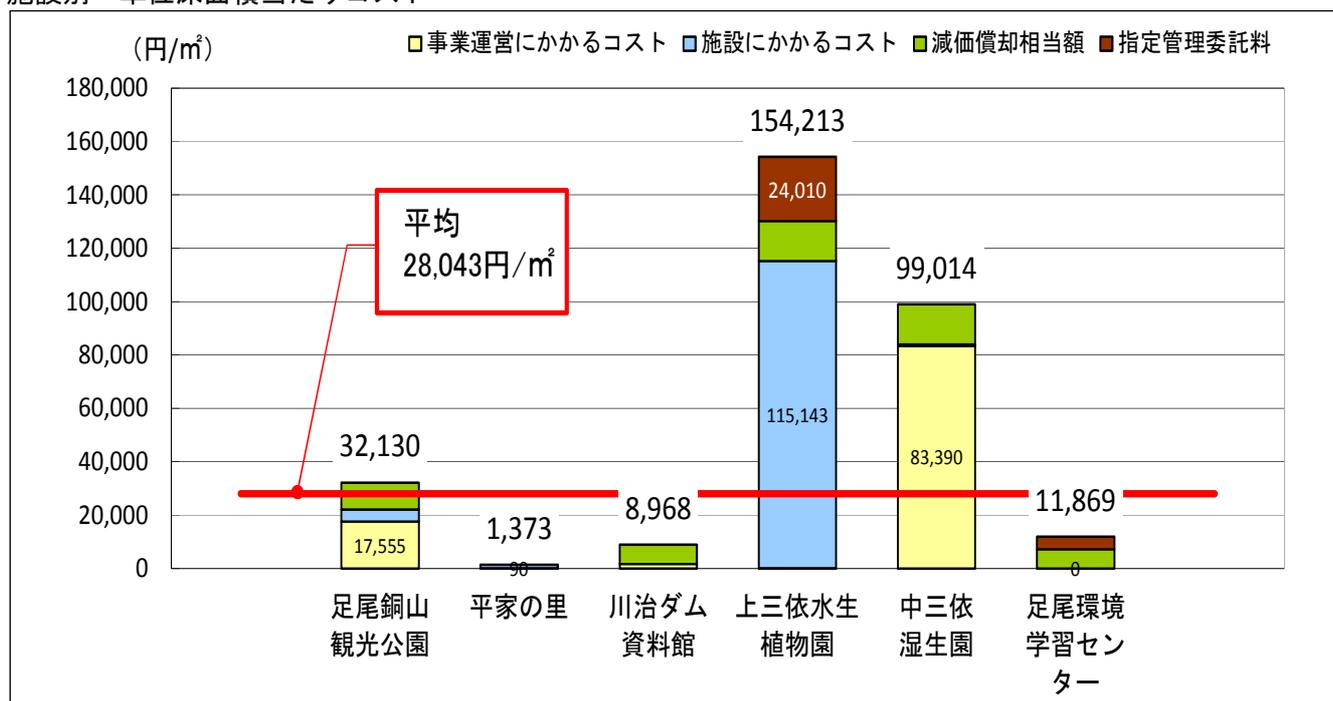
施設別 利用者1人当たりコスト



■ 床面積 (㎡) 当たりのコスト

延床面積とトータルコストから単位床面積当たりにかかるコストを算出すると、平家の里の1,373円/㎡から上三依水生植物園の154,213円/㎡となっています。資料館等6施設の平均は28,043円/㎡です。

施設別 単位床面積当たりコスト



<体験施設>

① 施設別トータルコスト状況

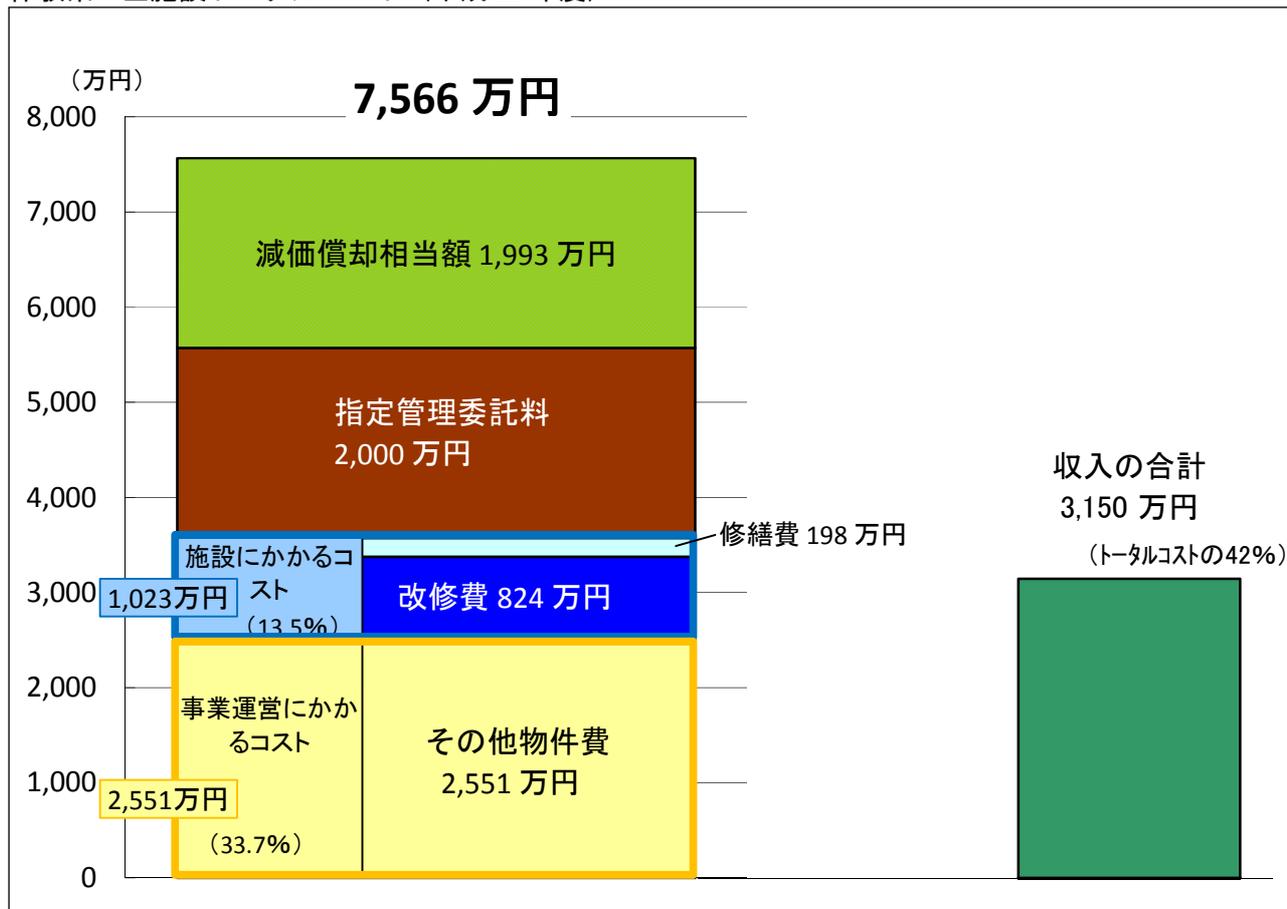
平成22年度の体験2施設の年間トータルコストは、7,566万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト(修繕費・改修費)は1,023万円(約14%)、事業運営にかかるコスト(その他物件費)は2,551万円(約34%)、指定管理委託料は2,000万円(約26%)、減価償却相当額は1,993万円(26%)です。

施設別行政コスト計算書(平成22年度)

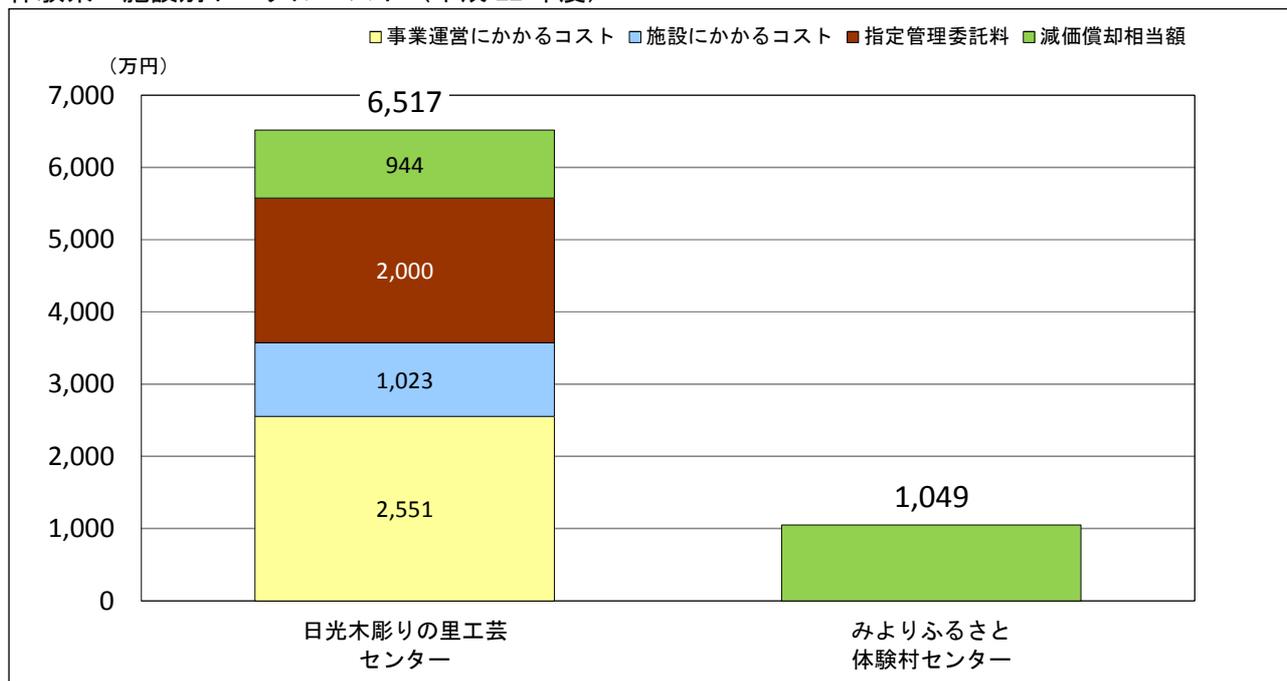
I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		日光木彫りの 里工芸セン ター	みよりふるさ と体験村セン ター	合計	(千円)
コカ施 スカ設 トるに	修繕費	1,983	0	1,983	
	改修費	8,243	0	8,243	
	施設にかかるコスト	10,226	0	10,226	
運事 営業	その他物件費	25,508	0	25,508	
	事業運営にかかるコスト	25,508	0	25,508	
指定管理委託料		20,000	0	20,000	
現金収支を伴うコスト 計		55,734	0	55,734	
【収入の部】					
収入	分担金及び負担金(収入)	36	0	36	
	使用料収入	46	0	46	
	諸収入	31,423	0	31,423	
収入の合計		31,505	0	31,505	
II. 現金収支を伴わないもの					
コスト	減価償却相当額	9,440	10,485	19,925	
III. 総括					
コストの部合計(トータルコスト)		65,174	10,485	75,659	
収支差額(ネットコスト)		33,669	10,485	44,154	

体験系 全施設トータルコスト（平成 22 年度）



施設別トータルコストでは、日光木彫りの里工芸センターが 6,517 万円で、指定管理料のほか、日光彫体験教材購入費が中心のコスト構成となっています。みよりふるさと体験村センターは、市の支出がありませんでした。

体験系 施設別トータルコスト（平成 22 年度）

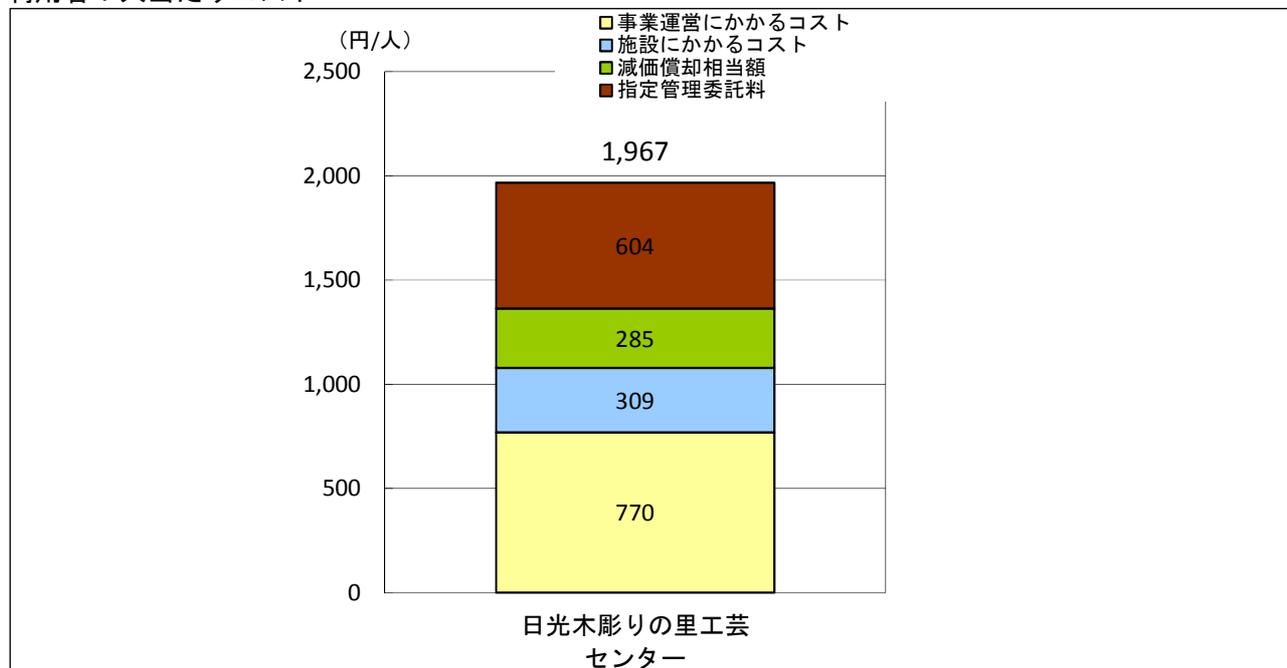


② 利用当たりのコストと床面積当たりのコスト状況

■ 利用者1人当たりのコスト（みよりふるさと体験村センター除く）

平成22年度の年間利用者数とトータルコストから利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、日光木彫りの里工芸センターは1,967円/人となっています。

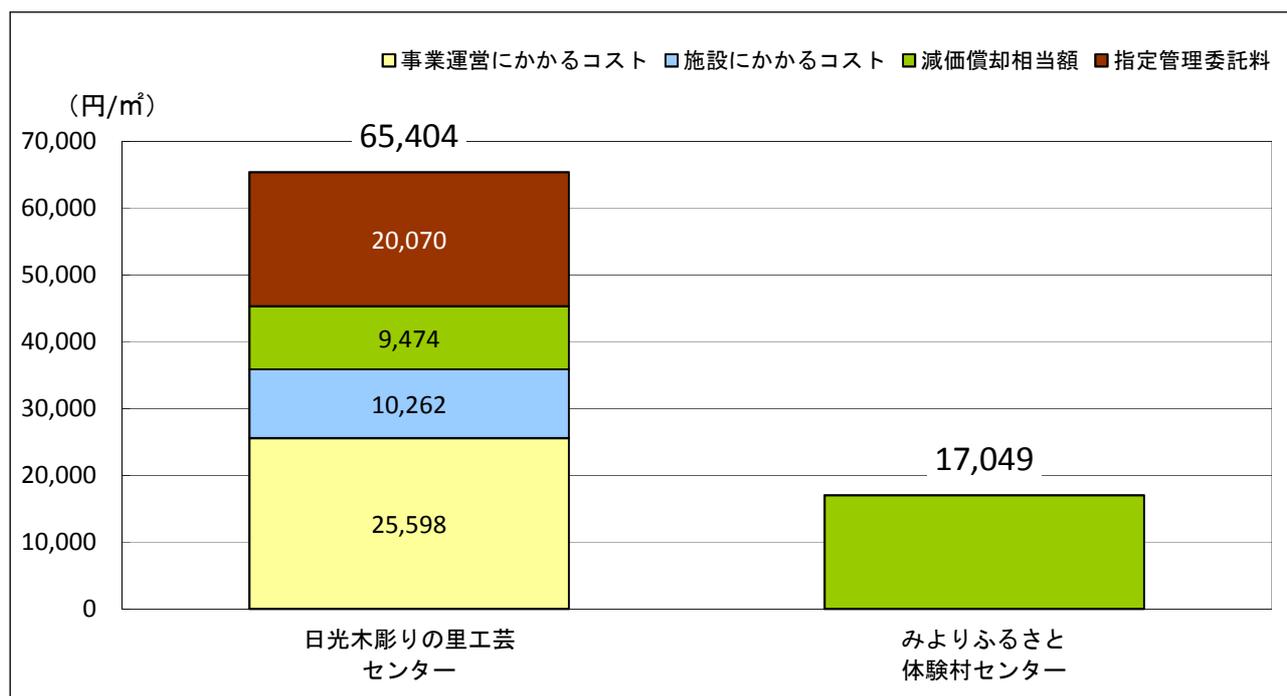
利用者1人当たりコスト



■ 床面積 (㎡) 当たりのコスト

延床面積とトータルコストから単位床面積当たりにかかるコストを算出すると、日光木彫りの里工芸センターが65,404円/㎡、みよりふるさと体験村センターが17,049円/㎡となっています。

施設別 単位床面積当たりコスト



＜湯の郷湯西川観光センター＞

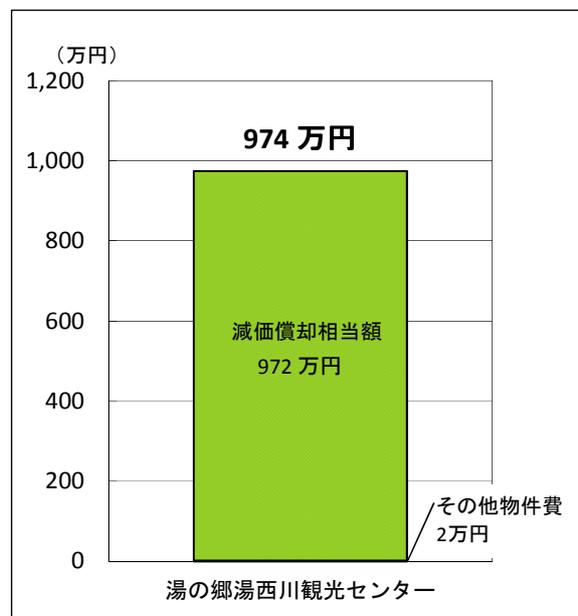
① コスト状況

平成22年度の湯の郷湯西川観光センターの年間トータルコストは、974万円です。

年間トータルコストのうち、事業運営にかかるコスト（その他物件費）は2万円（約0.2%）、減価償却相当額は972万円（99.8%）です。

行政コスト計算書（平成22年度）

I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		湯の郷湯西川観光センター	(千円)
運 事 営 業	その他物件費	20	20
	事業運営にかかるコスト	20	
【収入の部】			
収 入	使用料収入	0	0
収入の合計		0	0
II. 現金収支を伴わないもの			
コ ス ト	減価償却相当額	9,721	9,721
III. 総括			
コストの部合計(トータルコスト)		9,741	9,741
収支差額(ネットコスト)		9,741	9,741



② 利用当たりのコストと床面積当たりのコスト状況

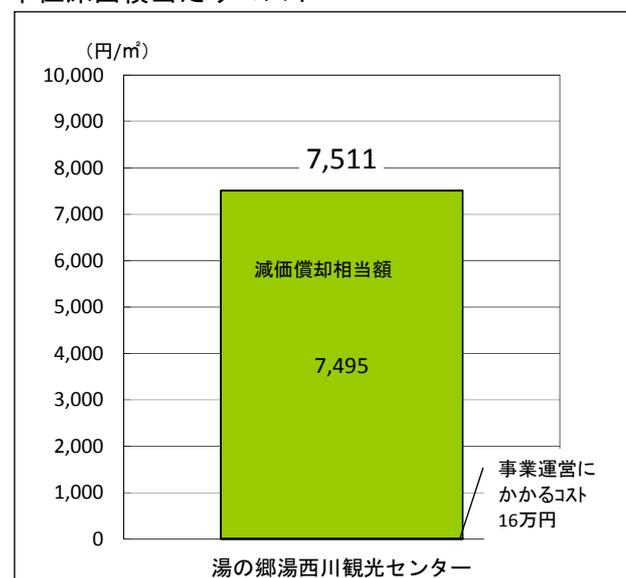
平成22年度の年間利用者数とトータルコストから利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、19,483円/人となっています。

また、延床面積とトータルコストから単位床面積当たりにかかるコストを算出すると、7,511円/㎡となっています。

利用者1人当たりコスト



単位床面積当たりコスト



4) 今後の検討の視点

- 建物の耐震性、老朽化の面では、国民宿舎「かじか荘」、間藤駅観光センター及び足尾銅山観光公園の3施設は、耐震安全性が確保されていないことから、早急な対応が必要です。
- 宿泊施設については、ロッジ・キャンプ場を含めて、直近利用者数は減少傾向にあり、また、市全体の観光客数に占める利用者も1%前後と低い状況です。運営形態をみると、宿泊8施設全施設が指定管理者制度を導入しており、庚申山荘を除く7施設では利用料金制の指定管理者制度となっているため、独立採算で運営されています。今後も、施設の安定的な運営に向け、指定管理者と共同で利用者数増加に対する検討が必要です。
- 観光案内所の利用者数は増加傾向にあります。資料館や体験施設等その他の観光施設の利用者数は減少傾向となっています。今後は、各地域を訪れた観光客をその他の地域への周遊へ結び付けるなど、観光施設の有機的な連携を図り効果的な運営を検討する必要があります。
- コスト面では、観光施設の多くが市からの現金支出がほとんどない、指定管理者が収受する利用料金のみで賄う利用料金制の指定管理施設になります。しかし、減価償却相当額のように保有しているだけでも費用はかかっており、今後ますます厳しくなる財政状況を考慮すると、観光施設の保有機能、提供サービス等を再整理し、施設の老朽化問題を含めて市全体で一体的に観光施設のあり方を検討する必要があります。

(6) 福祉施設

1) 施設概要

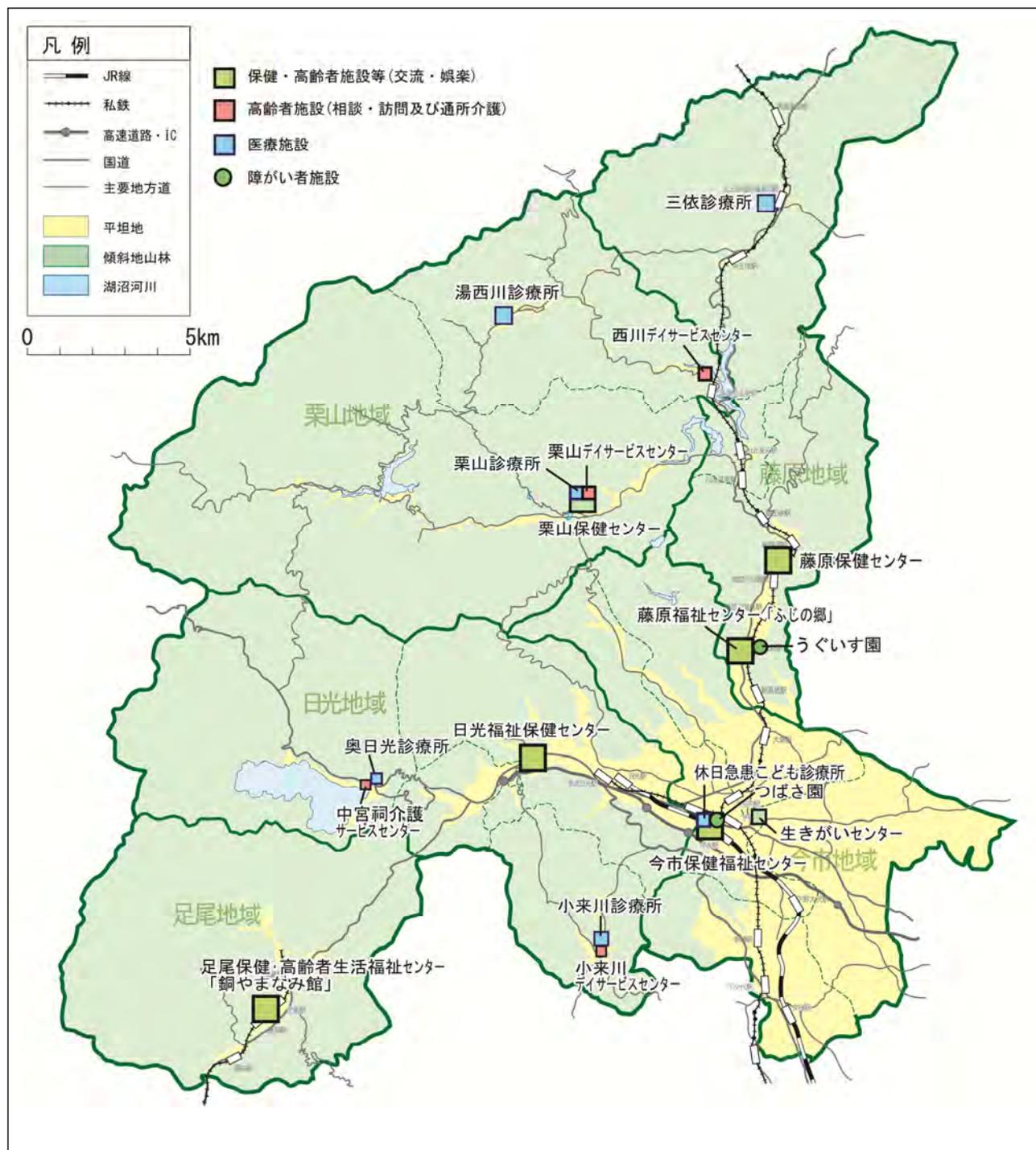
① 施設一覧

市では、保健・福祉施設を6施設、医療施設を6施設、高齢者福祉施設を5施設、障がい者(児)福祉施設を2施設保有しています。

施設一覧

区分	名称	住所	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	併設施設
保健・福祉施設	1 今市保健福祉センター	平ヶ崎109番地	2,098.5	昭和62	休日急患こども診療所(132.9㎡) つばさ園(277㎡)
	2 日光福祉保健センター	花石町1942番地2	1,509.8	平成2	
	3 藤原保健センター	藤原19番地	636.0	昭和56	
	4 藤原福祉センター「ふじの郷」	鬼怒川温泉大原2番地6	1,423.0	平成12	
	5 足尾保健・高齢者生活福祉センター 「銅やまなみ館」	足尾町赤沢3番23号	1,788.5	平成6	
	6 栗山保健センター	日蔭575番地	740.0	昭和58	栗山診療所(174㎡) 栗山デイサービスセンター(156㎡)
医療施設	1 休日急患こども診療所	平ヶ崎109番地	2,098.5	昭和62	今市保健福祉センター(1,688.7㎡) つばさ園(277㎡)
	2 小来川診療所	中小来川2668番地2	128.3	平成5	
	3 奥日光診療所	中宮祠2478番地22	273.4	平成11	
	4 三依診療所	中三依321番地	229.0	平成18	
	5 栗山診療所	日蔭575番地	740.0	昭和58	栗山保健センター(410㎡) 栗山デイサービスセンター(156㎡)
	6 湯西川診療所	湯西川1168番地1	305.6	平成19	
高齢者福祉施設	1 生きがいセンター	今市1659番地10	512.2	平成7	
	2 小来川デイサービスセンター	小来川2668番地1	118.0	平成2	
	3 中宮祠介護サービスセンター	中宮祠2478番地31	169.0	平成22	
	4 栗山デイサービスセンター	日蔭575番地	740.0	昭和58	栗山保健センター(410㎡) 栗山診療所(174㎡)
	5 西川デイサービスセンター	西川206番地7	326.8	平成21	
障がい者(児)福祉施設	1 つばさ園	平ヶ崎109番地	2,098.5	昭和62	今市保健福祉センター(1,688.7㎡) 休日急患こども診療所(132.9㎡)
	2 うぐいす園(休止)	鬼怒川温泉大原2番地24	60.9	平成15	

福祉施設配置図



② 建物総合評価の結果

平成 22 年度における 15 福祉施設の建物総合評価を行いました。

※ 今市福祉保健センターは、休日急患こども診療所及びつばさ園を併設している。

※ 栗山保健センターは、栗山デイサービスセンター及び栗山診療所を併設している。

施設名	基本情報		①耐震化	②老朽化	③バリアフリー対応							④環境対応			⑤維持管理					
	建築年度	延床面積 (㎡)	耐震改修	築年数	車いす用エレベータ※ 1	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー・ 屋上・壁面緑化等	環境対応設備※ 2	光熱水費	建物管理委託費	小規模修繕費	光熱水費	建物管理委託費	小規模修繕費	
今市保健福祉センター	昭和62	2,099	-	24	○	○	○	○	○	○	×	×	×	4,018	5,588	889	1,915	2,663	424	
日光福祉保健センター	平成2	1,510	-	21	○	○	○	○	○	○	×	×	×	-	-	-	-	-	-	
藤原保健センター	昭和56	636	-	30	×	○	○	○	○	×	×	×	×	863	97	50	1,357	153	79	
藤原福祉センター「ふじの郷」	平成12	1,423	-	11	-	○	○	○	○	○	×	×	×	-	-	-	-	-	-	
足尾保健・高齢者生活福祉センター「銅やまなみ館」	平成6	1,789	-	17	○	○	○	○	○	○	×	×	×	-	-	-	-	-	-	
栗山保健センター	昭和58	740	-	28	×	○	○	○	○	×	×	×	×	1,106	1,154	2,109	1,494	1,560	2,850	
小来川診療所	平成5	128	-	18	×	×	○	○	○	×	×	×	×	263	109	54	2,053	850	417	
奥日光診療所	平成11	273	-	12	×	×	○	○	○	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	
三依診療所	平成18	229	-	5	-	○	○	○	○	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	
湯西川診療所	平成19	306	-	4	-	○	○	○	○	○	×	×	×	789	1,116	126	2,582	3,651	412	
生きがいセンター	平成7	512	-	16	-	○	○	○	○	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	
小来川デイサービスセンター	平成2	118	-	21	-	○	○	×	○	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	
中宮祠介護サービスセンター	平成22	169	-	1	-	○	○	○	○	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	
西川デイサービスセンター	平成21	327	-	2	-	○	○	○	○	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	
うぐいす園(休止)	平成15	61	-	8	-	×	×	×	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	
合計		10,319												-	-	-	-	-	-	

※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等
 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

記載例	実施済み=○
	未実施 =×
	不要 ⇒-

※維持管理費は、市が直接支出している費用

15 福祉施設のうち、藤原保健センターは、耐震安全性は確保されているものの、老朽化が進行しており、建替え又は大規模改修等の老朽化対策が早急に必要施設となっています。(パターン②)

今市保健福祉センター等 4 施設は、いずれも新耐震基準の建物ですが、築 20 年以上が経過し、今後、老朽化対策の検討が必要な施設となっています。(パターン③)

藤原福祉センター「ふじの郷」をはじめ 10 施設は、比較的新しい施設ですが、環境対応等が一部完了していないため、計画的な改修等での対応が必要となっています。(パターン④)

	パターン② 老朽化	パターン③ 今後 老朽化	パターン④ バリアフリー・環境対応																																				
評価	<p>・かなり老朽化が進行している ⇒建替え又は大規模改修 などの老朽化対策が急がれる施設</p>	<p>・老朽化が進行している ⇒今後、老朽化対策の検討が必要な施設</p>	<p>・バリアフリー、環境対応が未完了 ⇒今後、バリアフリーや環境対応が完了していない部分の整備が望まれる施設</p>																																				
該当施設	<table border="1"> <thead> <tr> <th>該当施設</th> <th>建築年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>藤原保健センター</td> <td>昭和56</td> </tr> </tbody> </table> <p>< 1 施設 ></p>	該当施設	建築年度	藤原保健センター	昭和56	<table border="1"> <thead> <tr> <th>該当施設</th> <th>建築年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>今市保健福祉センター</td> <td>昭和62</td> </tr> <tr> <td>日光福祉保健センター</td> <td>平成2</td> </tr> <tr> <td>栗山保健センター</td> <td>昭和58</td> </tr> <tr> <td>小来川デイサービスセンター</td> <td>平成2</td> </tr> </tbody> </table> <p>< 4 施設 ></p>	該当施設	建築年度	今市保健福祉センター	昭和62	日光福祉保健センター	平成2	栗山保健センター	昭和58	小来川デイサービスセンター	平成2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>該当施設</th> <th>建築年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>藤原福祉センター「ふじの郷」</td> <td>平成12</td> </tr> <tr> <td>足尾保健・高齢者生活福祉センター「銅やまなみ館」</td> <td>平成6</td> </tr> <tr> <td>小来川診療所</td> <td>平成5</td> </tr> <tr> <td>奥日光診療所</td> <td>平成11</td> </tr> <tr> <td>三依診療所</td> <td>平成18</td> </tr> <tr> <td>湯西川診療所</td> <td>平成19</td> </tr> <tr> <td>生きがいセンター</td> <td>平成7</td> </tr> <tr> <td>中宮祠介護サービスセンター</td> <td>平成22</td> </tr> <tr> <td>西川デイサービスセンター</td> <td>平成21</td> </tr> <tr> <td>うぐいす園(休止)</td> <td>平成15</td> </tr> </tbody> </table> <p>< 10 施設 ></p>	該当施設	建築年度	藤原福祉センター「ふじの郷」	平成12	足尾保健・高齢者生活福祉センター「銅やまなみ館」	平成6	小来川診療所	平成5	奥日光診療所	平成11	三依診療所	平成18	湯西川診療所	平成19	生きがいセンター	平成7	中宮祠介護サービスセンター	平成22	西川デイサービスセンター	平成21	うぐいす園(休止)	平成15
該当施設	建築年度																																						
藤原保健センター	昭和56																																						
該当施設	建築年度																																						
今市保健福祉センター	昭和62																																						
日光福祉保健センター	平成2																																						
栗山保健センター	昭和58																																						
小来川デイサービスセンター	平成2																																						
該当施設	建築年度																																						
藤原福祉センター「ふじの郷」	平成12																																						
足尾保健・高齢者生活福祉センター「銅やまなみ館」	平成6																																						
小来川診療所	平成5																																						
奥日光診療所	平成11																																						
三依診療所	平成18																																						
湯西川診療所	平成19																																						
生きがいセンター	平成7																																						
中宮祠介護サービスセンター	平成22																																						
西川デイサービスセンター	平成21																																						
うぐいす園(休止)	平成15																																						
コメント	<p>・藤原保健センターは、耐震改修工事は完了しているものの、築30年と老朽化がかなり進行しており、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。</p>	<p>・いずれも新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。</p>	<p>・比較的新しい施設ですが、バリアフリーや環境対応が完了していないため、計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望めます。</p>																																				

2) 施設状況

<保健施設>

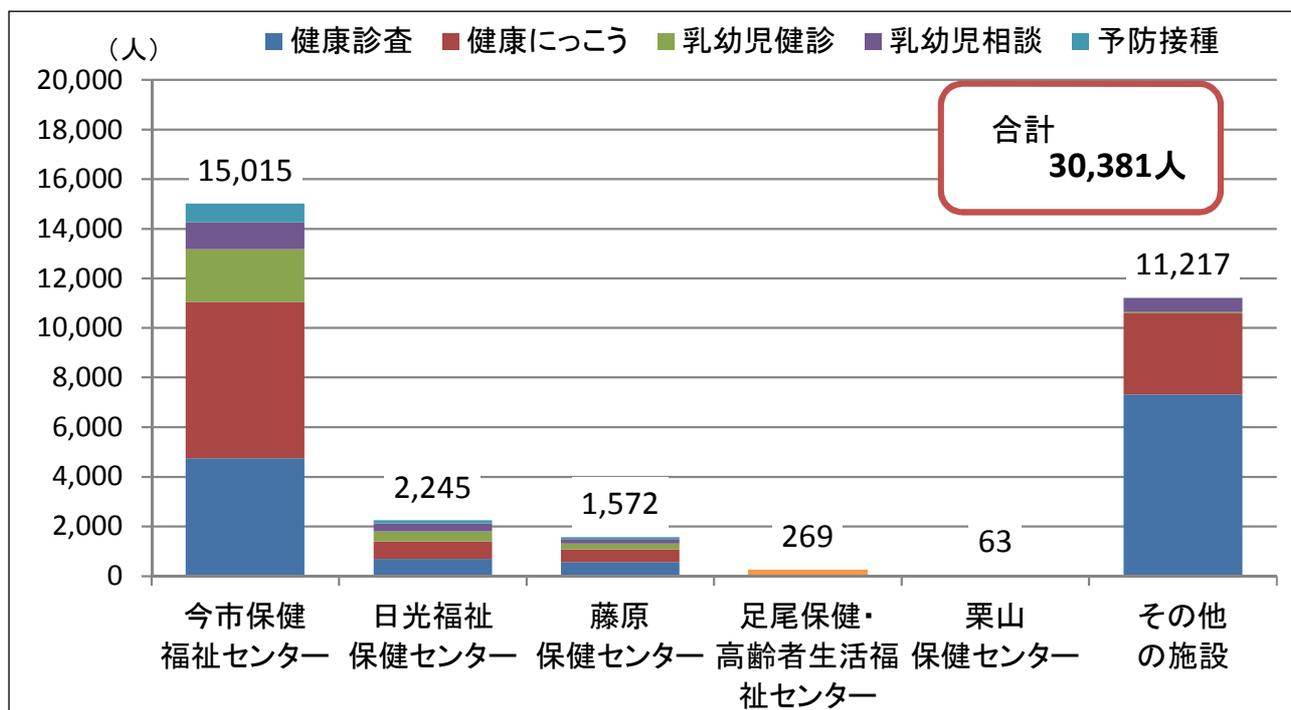
市では、健康診査や乳児検診等の各種保健事業を実施しています。

平成 22 年度の市全体の健康保健事業受診者は、30,381 人です。

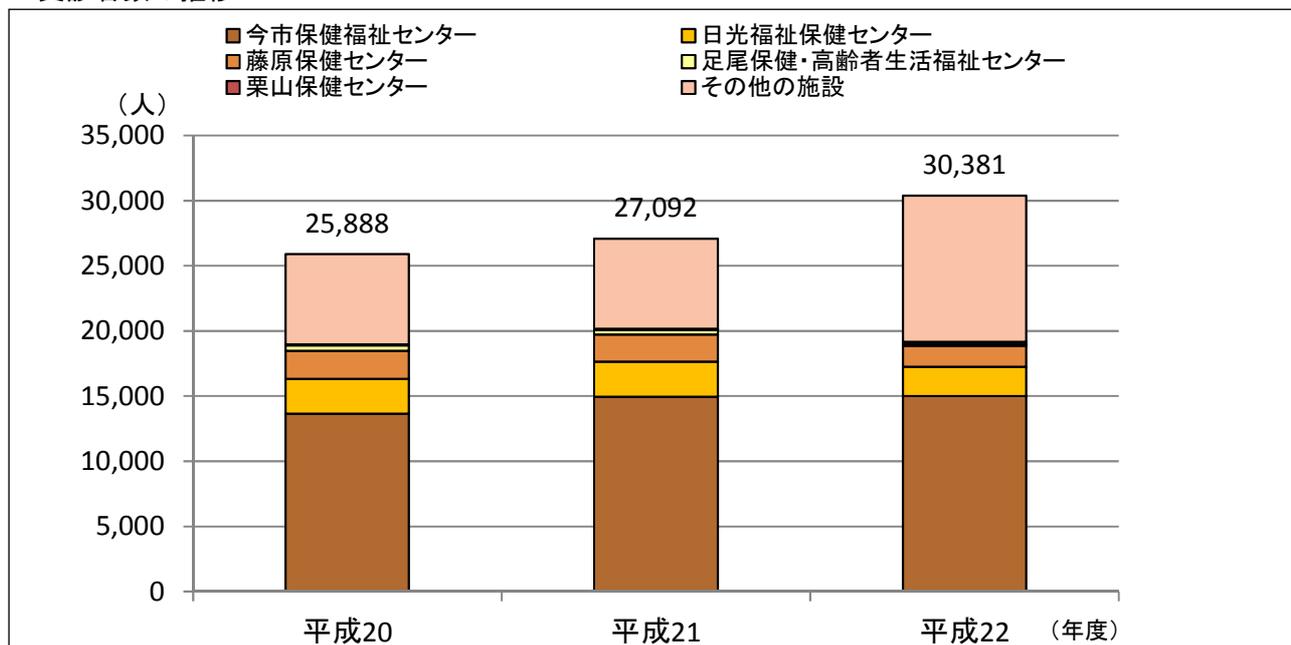
そのうち、施設別の受診者数は、栗山保健センターの 63 人～今市保健福祉センターの 15,015 人、その他の施設で 11,217 人となっています。今市保健福祉センターの受診者数が全体の約 49%を占めています。

直近 3 年間の受診者数の推移は、平成 20 年度の 25,888 人から平成 22 年度の 30,381 人と約 1.2 倍増加しています。

健康保健事業等受診者数（平成 22 年度）



受診者数の推移



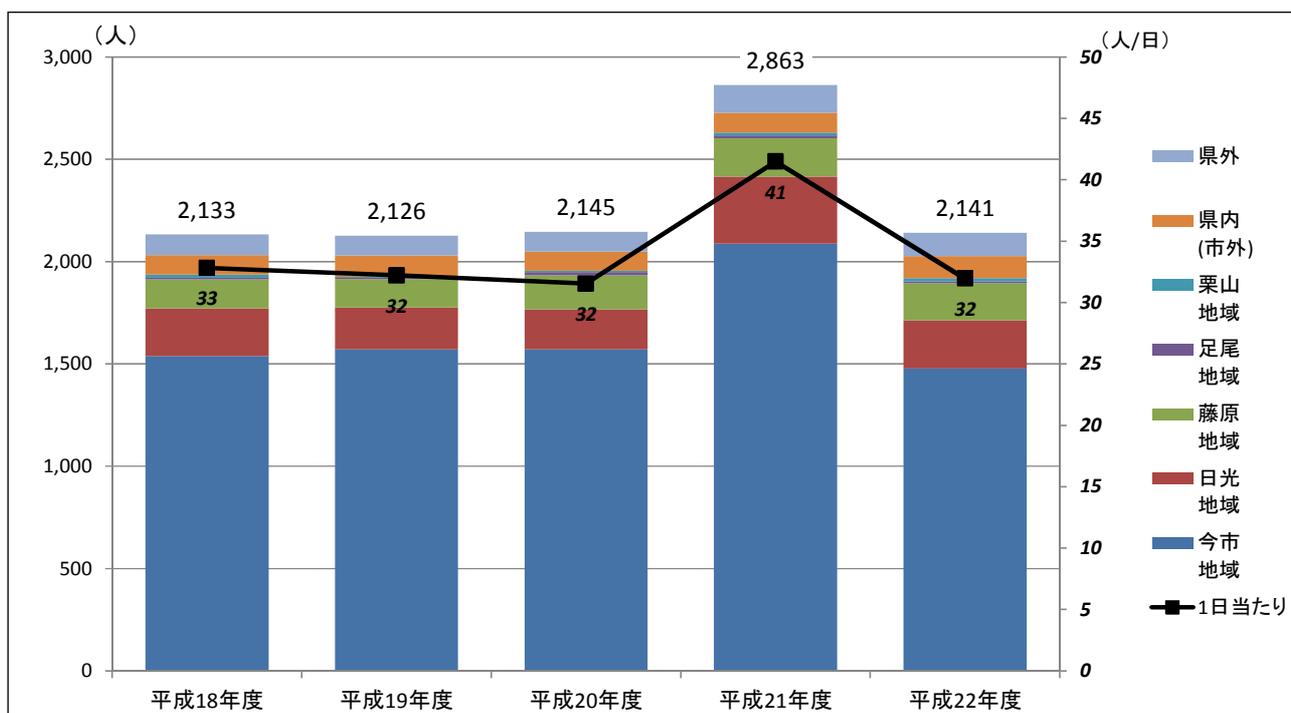
<医療施設>

■ 休日急患こども診療所

今市保健福祉センターで実施している休日急患こども診療所患者数の直近5年間の推移をみると、平成21年度は2,863人と例年に比べ患者数が約1.3~1.4倍増加しましたが、その他は2,100人前後で推移しており、平成22年度は2,141人となっています。

1日当たりの患者数は、平成16年度以降32人~41人となっています。

日光市立急患こども診療所 患者数の推移

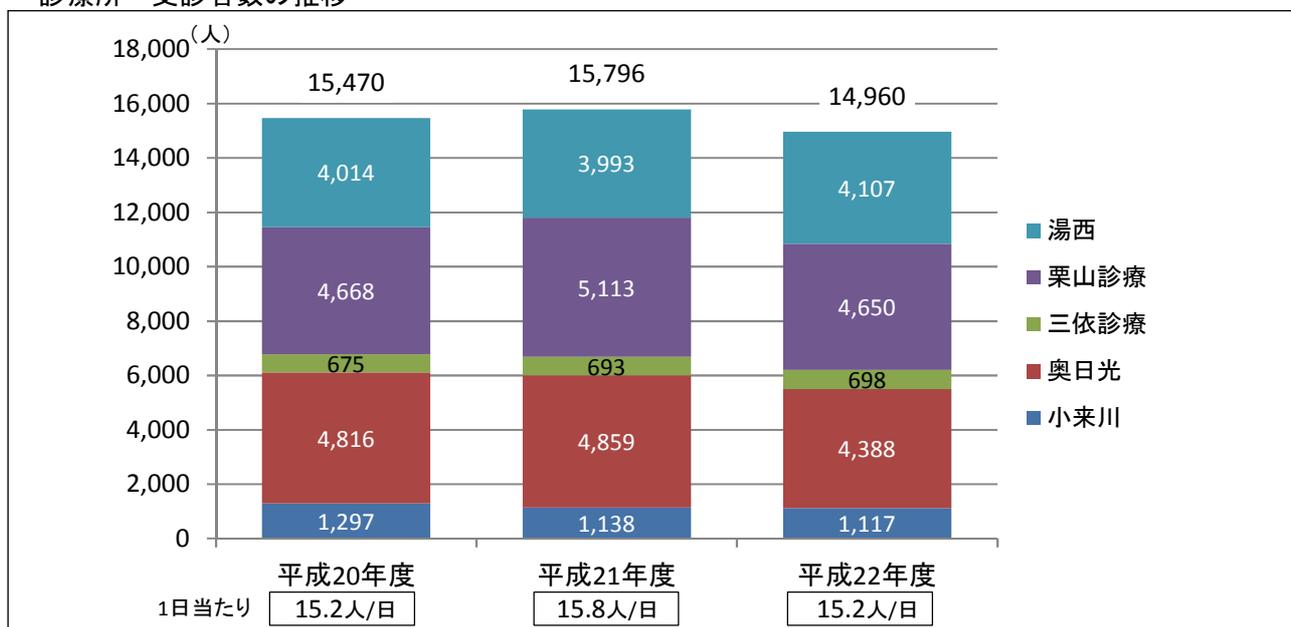


■ 診療所

診療所5施設を受診者数の直近3年間の推移をみると、平成20年度は15,470人から平成22年度は14,960人と約1.5万人前後で推移しています。

1日1施設当たりの受診者数は、15.2人~15.8人となっています。

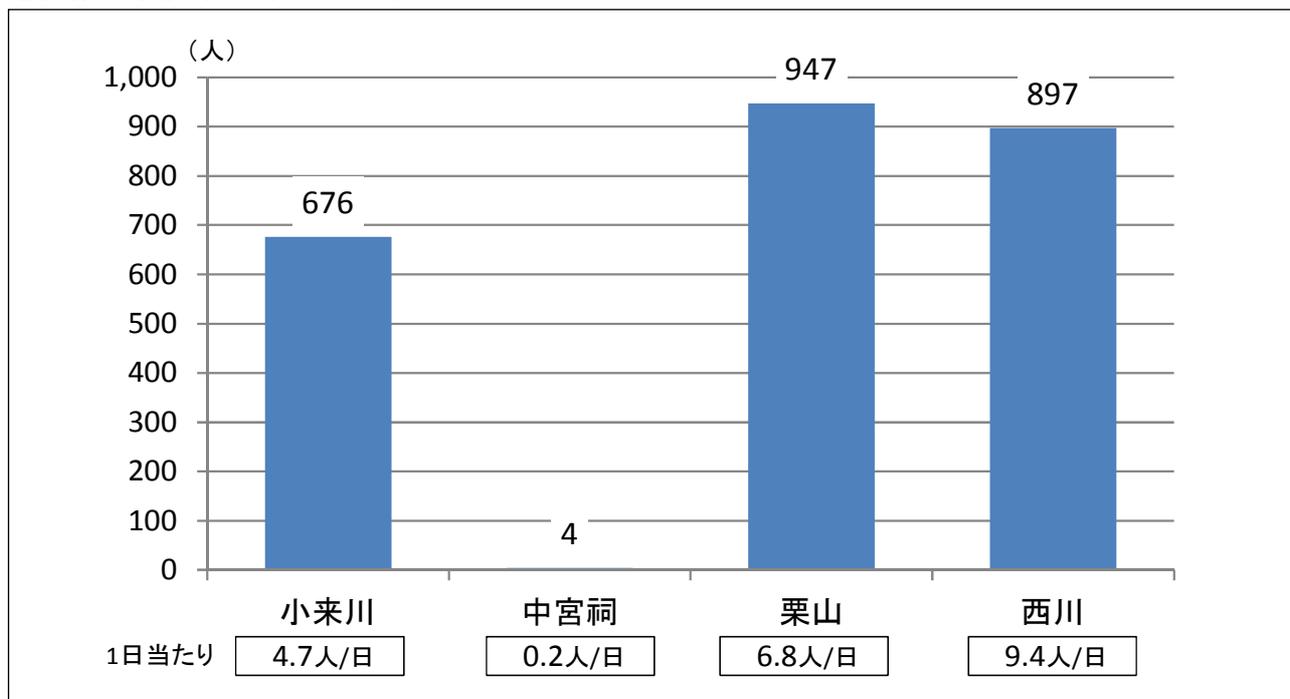
診療所 受診者数の推移



<高齢者福祉施設（デイサービス）>

平成23年3月に開館した中宮祠デイサービスセンターを除く3施設の平成22年度の利用状況は、小来川デイサービスセンターの676人から栗山デイサービスセンターの947人となっています。1日当たりの利用者数は、4.7人～9.4人です。

施設別 利用者数（平成22年度）



※中宮祠デイサービスセンターは、平成23年3月開館

3) コスト状況

① 民生費の状況（平成22年度）

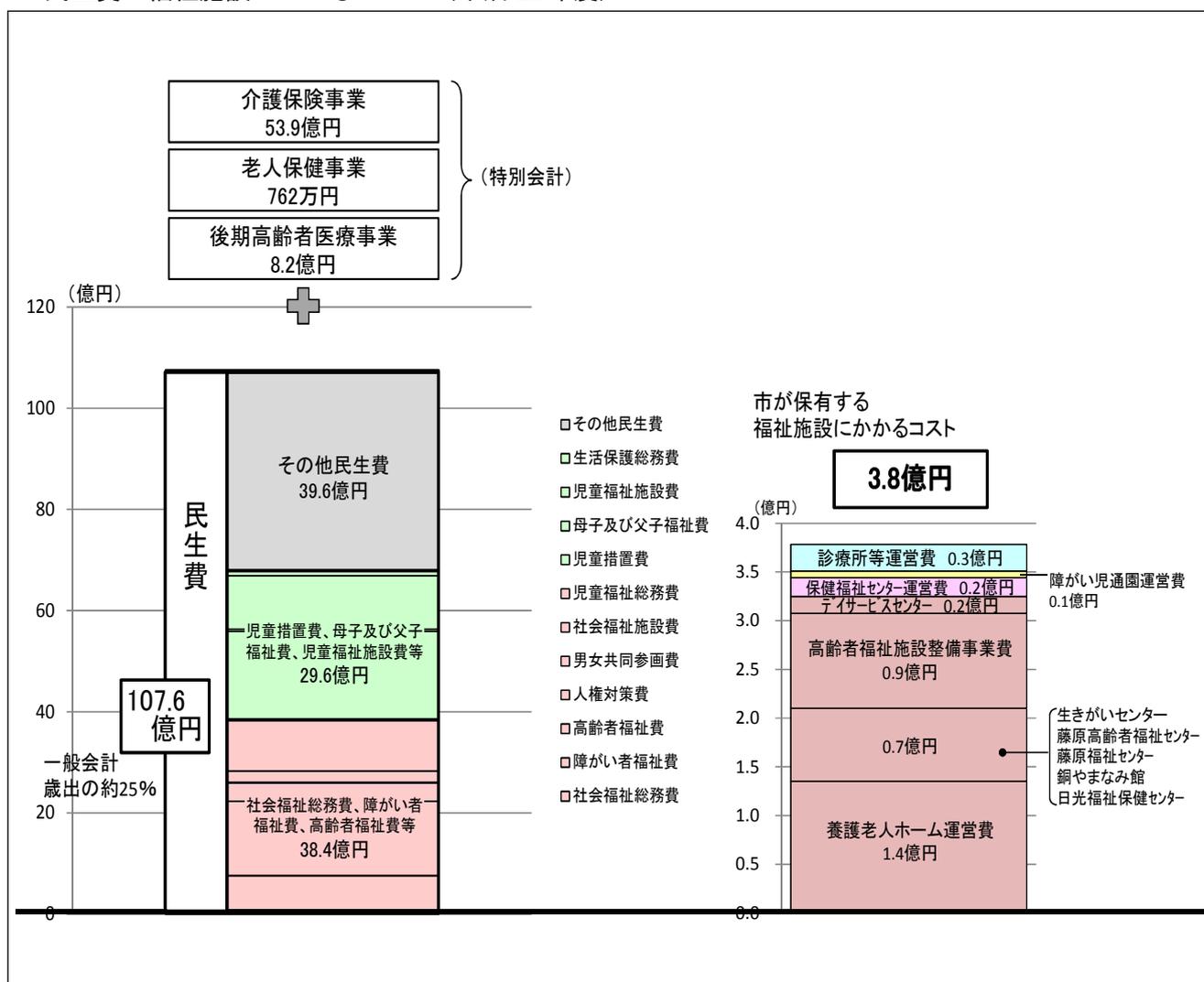
平成22年度の決算による民生費は、107億5,543万円（一般会計の約25%）です。

内訳は、社会福祉総務費等38.4億円、児童福祉施設費等29.6億円、生活保護費等その他民生費39.7億円となっています。

このうち、市が保有する福祉施設にかかるコストは、3億7,836万円です。主な内訳は、養護老人ホーム運営事業費が1億3,521万円、生きがいセンター等社会福祉施設運営事業費が7,485万円、高齢者福祉施設整備事業費9,739万円、デイサービスセンター等運営事業費が1,728万円となっています。

※養護老人ホームについては、平成23年度から民営化しています。

民生費の福祉施設にかかるコスト（平成22年度）

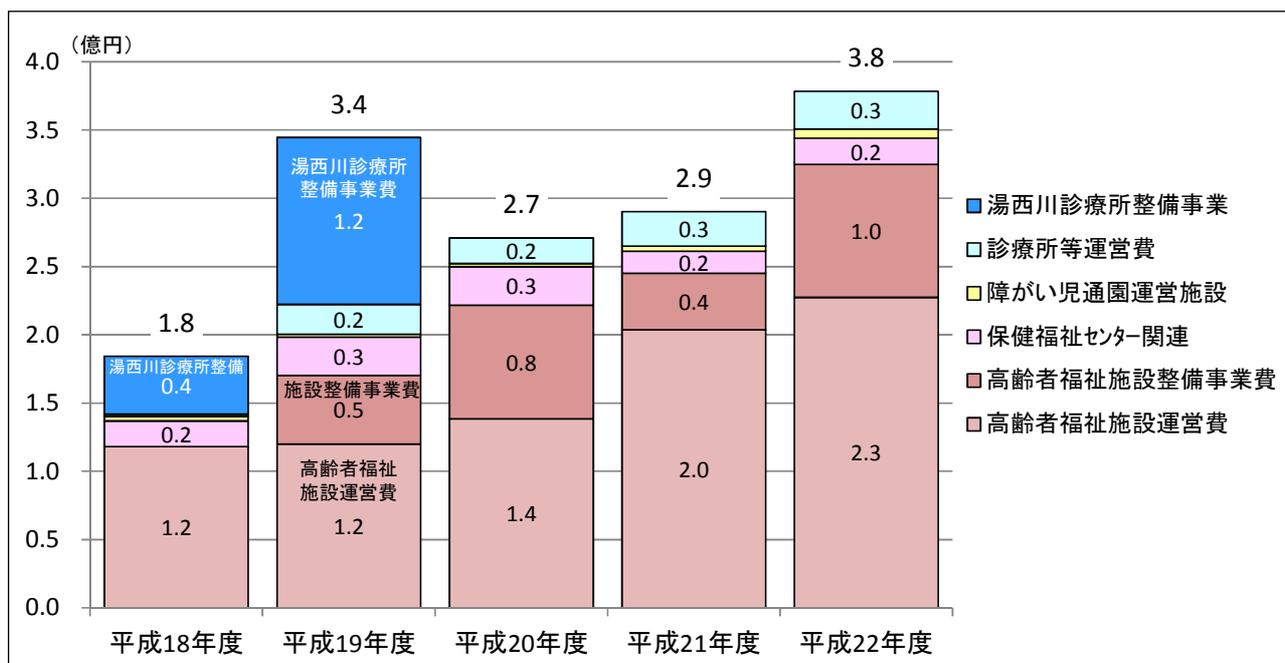


② コスト推移

■ 福祉施設にかかるコストの推移

直近5年間の福祉施設にかかるコストの推移では、平成18年度1.8億円から平成22年度3.8億円となっています。平成18・19年度は、湯西川診療所の整備事業が行われましたが、診療所整備事業費を除いた推移をみると、平成18年度1.4億円から平成22年度3.8億円と5年間で約2.7倍増加しています。

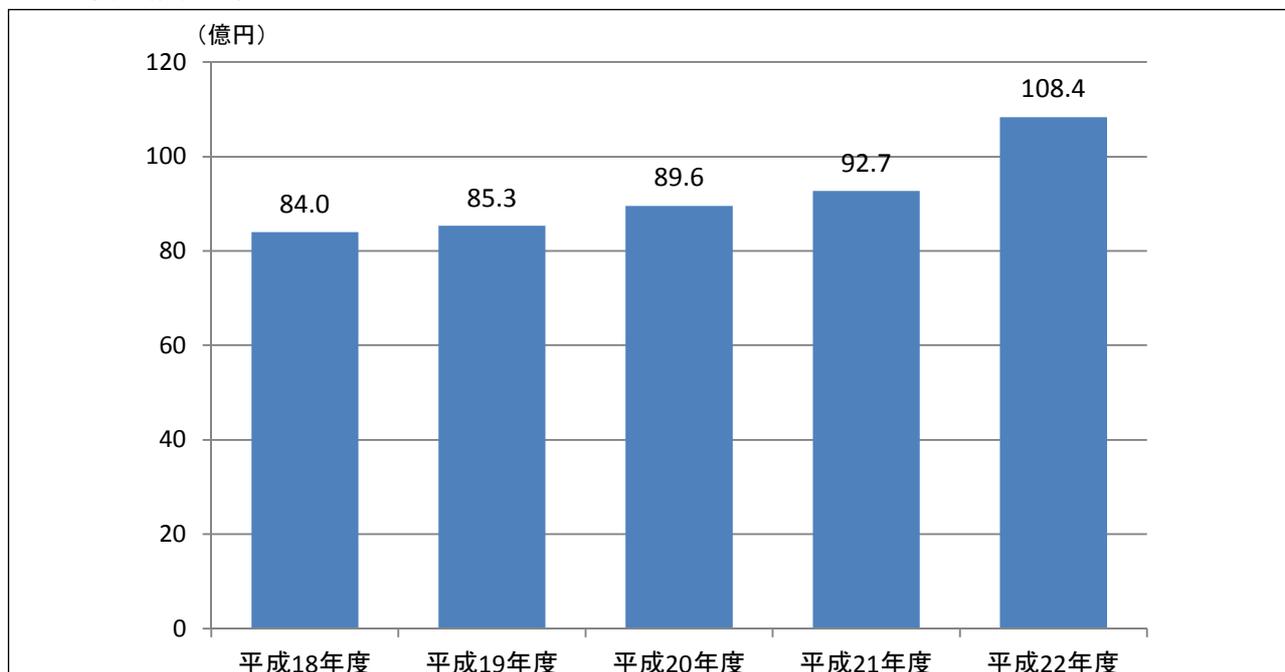
福祉施設にかかるコストの推移



■ 民生費の推移

直近5年間の民生費の推移では、平成18年度84億円から平成22年度108.4億円と、24.4億円約1.3倍増加しており、民生費は年々増加傾向となっています。

民生費の推移（普通会計）



4) 今後の検討の視点

- 建物の耐震性、老朽化の面では、15 福祉施設のうち、藤原保健センターは、耐震安全性は確保されているものの老朽化が進んでいることから、今後、大規模改修等を検討する必要があります。
- 福祉施設は、高齢化の進行や健康に関する関心の高まり等により、今後、利用者が増加することが考えられます。そのため、需要に見合ったサービスの提供については、民間活力の積極的な導入を含めて検討する必要があります。また、新たに施設整備が必要な場合には、近隣の公共施設の空きスペースの活用や用途変更等、市の保有資産の有効活用を含めた検討が必要です。